

「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」の現状等について

2019（令和元）年度から取り組んでいる「横浜みどりアップ計画」は、2022（令和4）年度に4年目となります。今回、2021（令和3）年度までの3か年について、事業・取組の評価・検証を行いましたので、ご報告します。

また、緑の保全や創造は、長期的な視点を持ちながら継続的に取り組む必要があるため、2024（令和6）年度以降の緑の取組について検討を進めておりますので、「これからの緑の取組の検討の方向性」についてもご説明します。

<ご説明の内容>

- 1 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] 3か年の事業・取組の評価・検証 資料1-1
- 2 横浜みどりアップ計画の評価・提案
（横浜みどりアップ計画市民推進会議 2021年度報告書（案）より） 資料1-2
- 3 これからの緑の取組の検討の方向性について 資料1-3、資料1-4

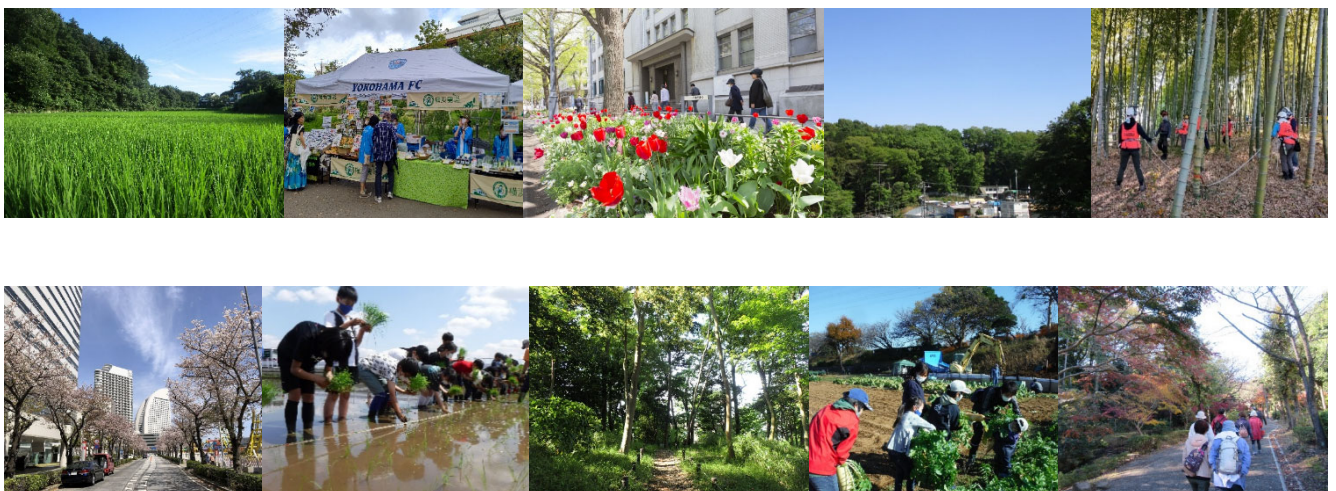
横浜みどりアップ計画

[2019 - 2023]



横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

3 か年(2019 年度～2021 年度)の 事業・取組の評価・検証



2022 年 10 月
環境創造局

目次

1 横浜みどりアップ計画の概要	
横浜みどりアップ計画 [2019-2023]	1-2
計画の方針	1-3
計画の体系	1-4
計画を進めるための財源について	1-5
横浜みどりアップ計画市民推進会議	1-6
2 3か年の主な成果と課題	
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	2-2
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	2-4
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	2-6
効果的な広報の展開	2-8
3 事業・取組の実績と評価・検証	
評価の考え方	3-2
3か年の事業・取組の評価一覧	3-3
各事業・取組の実績と評価・検証	3-5
3か年の事業・取組の実績一覧（実績累計）	3-96
3か年の事業・取組の実績一覧（事業費累計）	3-99
4 横浜みどりアップ計画市民推進会議	
2021年度の活動実績	4-2
評価と提案の概要	4-6
5 各区の実績	
鶴見区	5-3
神奈川区	5-9
西区	5-15
中区	5-21
南区	5-27
港南区	5-33
保土ヶ谷区	5-39
旭区	5-47

目次

磯子区	5-57
金沢区	5-63
港北区	5-71
緑区	5-79
青葉区	5-87
都筑区	5-97
戸塚区	5-105
栄区	5-115
泉区	5-123
瀬谷区	5-133

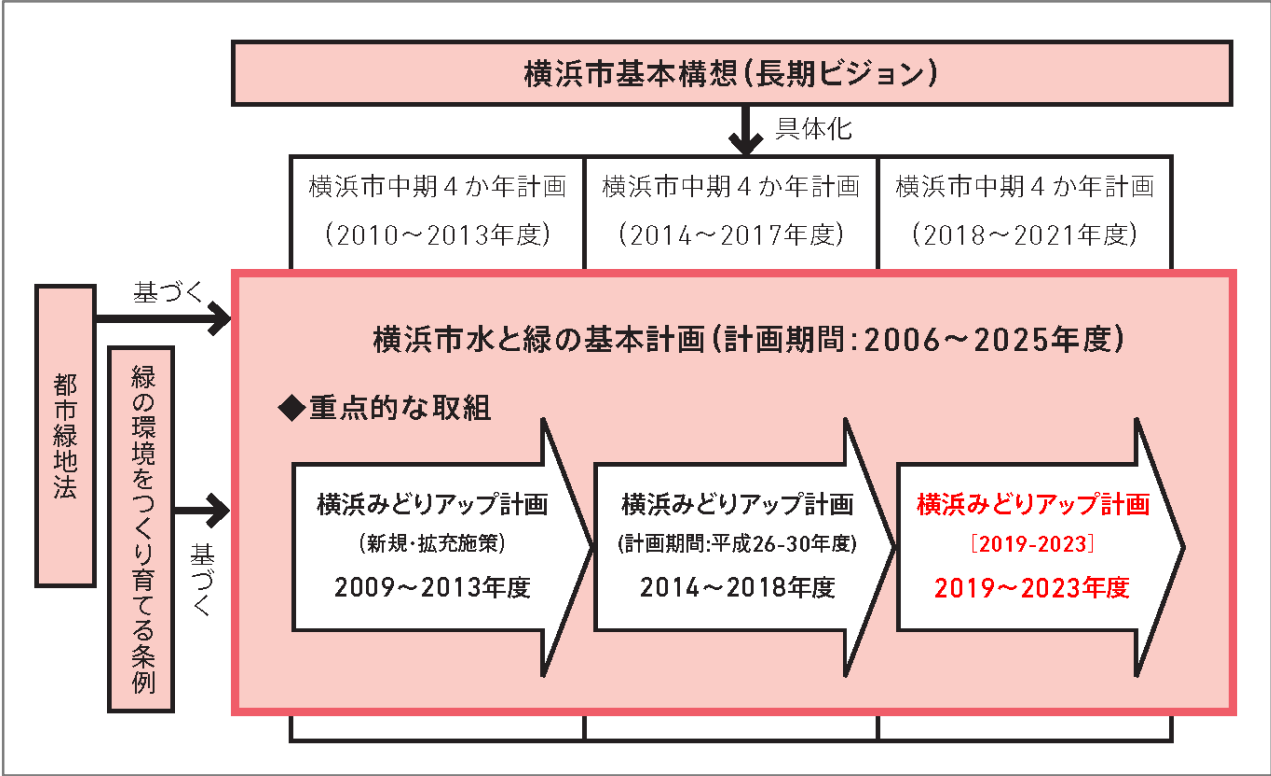
実績の面積、事業費については、端数処理により、合計が一致しないことがあります。

1 横浜みどりアップ計画の概要

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に、多くの樹林地や農地などの多様な緑を有しています。これらの緑を次世代に引き継ぐため、「横浜市水と緑の基本計画」を2006年に策定し、2016年の改定で「多様なライフスタイルを実現できる水・緑豊かな都市環境」を目標像に掲げ、水と緑の環境を育む様々な取組を展開しています。2009年度からは、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した重点的な取組として「横浜みどりアップ計画」を推進しています。

緑の保全や創出は長い時間をかけて継続的に取り組むことが必要です。これまでの取組の成果や課題、この計画の素案に対する市民意見募集の結果などを踏まえ、2019年度以降に重点的に取り組む「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」を策定しました。



【図】「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の位置付け

計画の方針

計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

計画の理念のもと、2019年度から2023年度までの5か年の目標を、次のとおりとします。

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全面積など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

計画の柱

5か年の目標の実現に向けて、「横浜みどりアップ計画」では、次の3つの計画の柱と、効果的な広報に重点的に取り組みます。

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森（樹林地）の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

効果的な
広報の
展開

計画の体系

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



施策1
樹林地の確実な保全の推進

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

施策2
良好な森を育成する取組の推進

事業② 良好な森の育成

事業③ 森を育む人材の育成

施策3
森と市民とをつなげる取組の推進

事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



施策1
農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

事業② 農とふれあう場づくり

施策2
地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



施策1
市民が実感できる緑をつくり、
育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成

施策2
緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

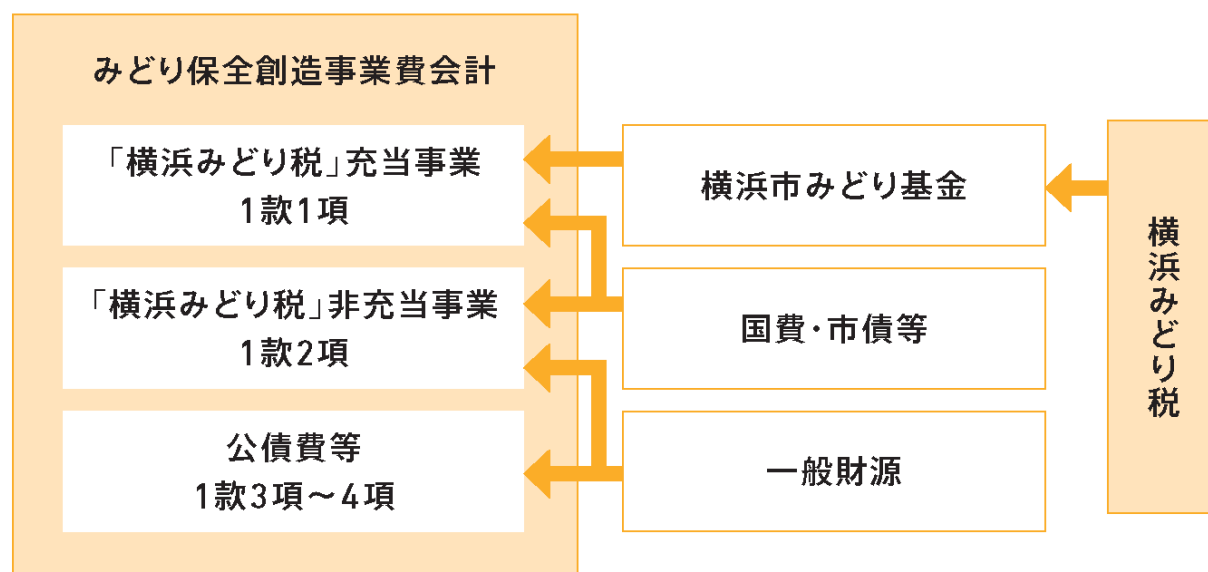
計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創造に取り組むために必要な、安定的な財源を確保するため、2009年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き2019年度から2023年度までご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用しています。

対象	税率	期間	備考
個人	市民税の均等割に年間900円上乗せ	2019年度から2023年度まで	所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方は課税対象から除く
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額	2019年4月1日から2024年3月31日までの間に開始する事業年度分	

横浜みどりアップ計画のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業



横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」を2009年に設置し、2012年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けています。

市民推進会議では、全体会議や各種部会、現地調査などにより、みどりアップ計画の評価・提案に向けた議論を行っているほか、広報誌や報告書を発行し、市民推進会議の活動内容や、みどりアップ計画の取組を紹介しています。

活動		取組内容
全体会議		みどりアップ計画の事業目標や事業進捗状況について意見交換、報告書について検討
部会	施策別専門部会	みどりアップ計画の取組の柱ごとに、取組の内容と進捗状況について意見交換を行い、評価・提案について検討
	広報・見える化部会	広報誌の編集 みどり税やみどりアップ計画のわかりやすい伝え方の検討
	調査部会	みどりアップ計画の取組が進められている現場を調査
広報誌の発行		市民推進会議の活動内容や、みどりアップ計画の取組を紹介する広報誌を発行
報告書の発行		みどりアップ計画の評価・提案等を報告書として発行

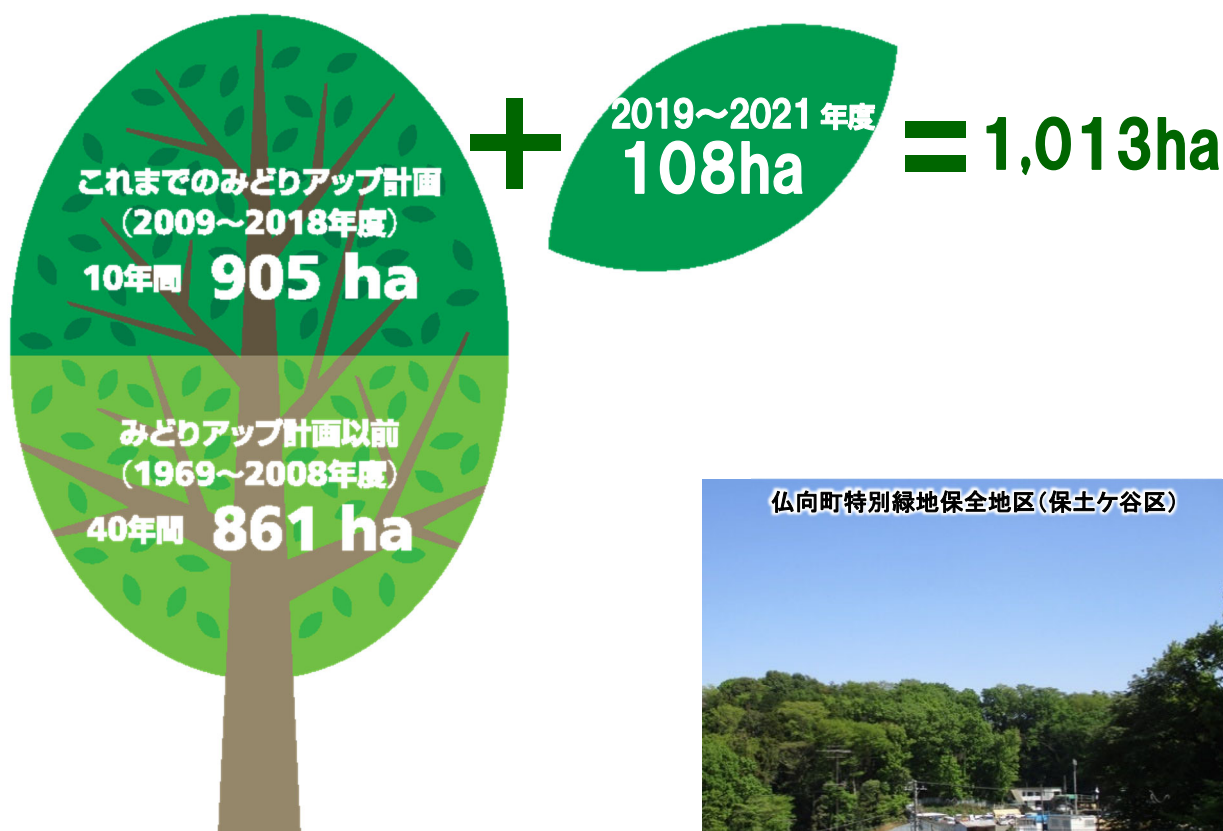
2

3か年の主な成果と課題

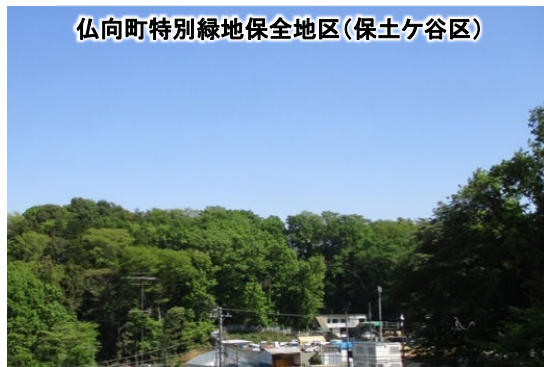
1. 樹林地の保全の進展



- 3か年で108haの樹林地を新たに緑地保全制度により指定しました。2009年度のみどりアップ計画開始以降の13年間では、1,013haを指定しています。これは、みどりアップ計画以前の40年間の861haを越える面積となります。
- 緑地保全制度による新規指定の3か年の実績は、コロナ禍の影響を受けて目標には及びませんでした。着実に指定を進めることができました。
- 土地所有者からの買入れ申し出に確実に対応しています。
- 今後も、緑の拠点となるまとまりある樹林地や市民利用を図る上で大切な場所にある樹林地などの保全に向け、土地所有者に継続した指定の働きかけをしていくことが必要です。



仏向町特別緑地保全地区(保土ヶ谷区)



緑地保存地区(鶴見区)



源流の森保存地区(泉区)



緑地保存地区(南区)



■3か年の主な実績(累計)

- 緑地保全制度による新規指定：108.0ha [5か年目標：300ha]
- 市による買取り：57.7ha [5か年想定：113ha]

計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

2. 市民が森に親しむための取組の展開



- ・市民が気軽に森の中に入り、森に親しむことができるように、市民の森などの整備を進めました。
- ・コロナ禍で市民の身近な自然にふれあうニーズが高まるなか、ガイドマップを作成、更新することや、森に関わる子ども向けのイベントなどを工夫して開催しました。今後も、保全した樹林地をより一層活用し、子どもをはじめとした多くの市民が森に関わるきっかけとなるよう、様々な取組を増やす必要があります。



■3か年の主な実績（累計）

- ・保全した樹林地の整備：227 か所 [5か年目標：推進]
- ・市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施：151回 [5か年目標：180回]

3. 保全した樹林地の良好な維持管理や安全の確保を市民協働で推進



- ・市が管理する樹林地を安全に維持管理しながら、緑の機能が発揮されるような森づくりを進めました。また、民有樹林地では、土地所有者が実施する維持管理の負担の軽減のため、倒木や枯れ木の撤去処分などの助成を拡大して支援しました。
- ・今後も、ナラ枯れや台風被害にも対応しながら、樹林地を良好な状態に保ち続けるための取組が必要です。
- ・市民協働で良好な森づくりを推進するため、森づくり活動団体を支援しました。また、新しく森づくりを担う森づくりボランティアを増やすために森づくりボランティア体験会を実施しています。



■3か年の主な実績（累計）

- ・森の維持管理：樹林地 464 か所、公園 112 か所 [5か年目標：推進]
- ・維持管理の助成：414 件 [5か年目標：500 件]
- ・森づくりを担う人材の育成：研修の実施 38 回、体験会の開催 24 回 [5か年目標：推進]

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



1. 良好な農景観の保全の推進

- 市内の水田面積の約9割を保全しました。
- 農地縁辺部の草刈りや植栽により良好な農景観を維持・形成しました。
- 遊休農地の復元を支援し、意欲ある農家等へ貸し付けることで、良好な農景観を保全しました。
- 今後も、担い手の減少や高齢化などによる遊休農地化を防ぐための取組をより一層進めていく必要があります。

水田の保全



(戸塚区)



(都筑区)



(栄区)



(瀬谷区)



農地縁辺部への植栽(金沢区)

遊休農地の復元 左:復元前 右:復元後 (保土ヶ谷区)



■3か年の主な実績(累計)

- 水田保全面積：112.2ha [5か年目標：125ha]
- 集団農地維持面積：679.0ha [5か年目標：730ha]
- 井戸の改修：8地区 [5か年目標：5地区]
- 牧草等による環境対策：14.48ha [5か年目標：20ha]
- 遊休農地の復元支援：1.38ha [5か年目標：1.5ha]

※水田保全面積及び集団農地維持面積は、2021年度の保全面積及び維持面積を3か年の実績としています。

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

2. 農とふれあう場や機会の増加



- ・市民が気軽に農とふれあうために様々なニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、感染症対策をとりながら、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。
- ・コロナ禍で、子育て世代をはじめとした多くの市民からの身近に農とふれあえる機会へのニーズが高まっており、人材や施設などの地域の資源をいかながら、取組を充実していく必要があります。



市民農園(青葉区)



農体験教室(緑区)



市民農業大学講座(保土ヶ谷区)

■3か年の主な実績(累計)

- ・様々なニーズに合わせた農園の開設：12.5ha [5か年目標：22.8ha]
- ・横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：227回 [5か年目標：450回]
- ・市民農業大学講座の開催：40回 [5か年目標：100回]

3. 地産地消の拡大



- ・市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等の支援を行い、コロナ禍でも市民が安心して野菜を購入できる自動販売機の設置などを支援しました。
- ・Instagramに横浜農場アカウントを開設し、横浜の農の魅力を発信するなど、地産地消の情報をSNSも活用しながら発信しました。
- ・地産地消を広げる人材「はまふうどコンシェルジュ」を増やし、活動を支援しました。
- ・はまふうどコンシェルジュなど地産地消に関わる人材がさらに活躍できるよう支援していく必要があります。



みなどみらい農家朝市(西区)



自動販売機(青葉区)

はまふうどコンシェルジュ講座



10 はまふうどナビ

情報誌「はまふうどナビ」



yokohama_farm_official

横浜農場 Instagram 公式アカウントページ

■3か年の主な実績(累計)

- ・直売所・青空市等の支援：133件 [5か年目標：285件]
- ・情報発信・PR活動：情報誌などの発行：18回 [5か年目標：30回]
- ・はまふうどコンシェルジュの活動支援等：87件 [5か年目標：150件]

1. 市民が実感できる緑と花の空間づくりの推進



- 公共施設や公園、保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出しました。
- 老木化したサクラの植え替えなど地域の花の名所を継承しています。
- 創出した緑を良好に維持管理するための支援を継続していく必要があります。



こども自然公園(旭区)



久良岐公園(港南区)



六角橋四丁目公園(神奈川区)



保育園の園庭(青葉区)



港北区庁舎(港北区)



磯子産業道路(磯子区)

2. 緑や花による街の賑わいづくりの推進



- 多くの市民が集まる都心部の公共空間などで、緑や花による空間演出を集中的に展開し、街の魅力の向上、賑わいづくりを進めています。
- コロナ禍の中、市民が身近な街なかで緑や花を楽しむ機会が増えたことで、みどりアップ計画の成果をより多くの市民に実感いただいています。今後も効果的な場所で取組を進めていく必要があります。



グランモール公園(西区)



日本大通り(中区)



里山ガーデン(旭区)



山下公園(中区)



新横浜駅周辺(港北区)



港の見える丘公園(中区)

■3か年の主な実績(累計)

- 公共施設・公有地での緑の創出：21 箇所 [5 か年目標：36 箇所]
- 並木の再生：9 路線 [5 か年目標：10 路線]
- 公有地化によるシンボリックな緑の創出：創出 1 箇所、整備中 1 箇所 [5 か年目標：推進]
- 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出：131 箇所 [5 か年目標：100 箇所]
- 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理：44 箇所 [5 か年目標：推進]

※並木の再生は、整備完了または整備中の路線数を3か年の実績としています。

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

3. 全区での市民や企業との協働による緑と花の取組の展開 

- 地域緑のまちづくりで、その地区ならではの緑のまちづくりを推進しました。
- オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。併せて、取組の成果をガーデンネックレス横浜の中で発信し、市民や地域・企業等の関心の高まりへとつなげました。今後も多様な主体と連携した取組を推進しながら、緑や花の取組に積極的な地域・企業が継続的に関わられるよう、支援を充実していく必要があります。
- 公園愛護会と連携した地域の花いっぱいにつながる取組などを全市的に展開し、2027年国際園芸博覧会開催に向けた機運醸成につなげていきます。



■3か年の主な実績(累計)

- 地域緑のまちづくり：15地区 [5か年目標：30地区]
- 緑や花を身近に感じる各区の取組：18区で推進 [5か年目標：18区で推進]
- 地域の花いっぱいにつながる取組：推進 [5か年目標：推進]

効果的な広報の展開

1. 効果的な広報の展開

- 様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画を知っていただけるよう広報を展開しています。
- 若年層に向けたSNSでの広報など、今後も工夫しながら取り組む必要があります。

横浜みどりアップ計画を進めています

「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として進めている「横浜みどりアップ計画(2019~2023)」について、2020年度の主な実績を紹介いたします。

2020年度の主な実績 ~2020年度報告書は11月頃から区役所などで閲覧できます~

<p>市民とともに次世代につなぐ森を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> 密着会など連携して良好な森づくりを推進(200か所) 森づくり活動の研修会・体験会を実施(16回) 	<p>市民が身近に農を感じる場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに合わせた農園を開発(3,98ha) 市民が農を楽しむ体験教室などの実施(56回) 	<p>市民が実感できる緑や花をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域緑のまちづくりや、緑や花を身近に感じる取組を推進 校庭の芝生化など、子どもを育む場所での緑の創出・育成を推進
--	--	---

※研修や体験などの活動は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施しました。

市内の身近な場所で、緑や花を楽しんでみませんか

<p>里山ガーデン 秋の大花壇を自宅から楽しもう</p> <p>里山ガーデンの大花壇の様子を動画で公開しています。 ※秋の里山ガーデンフェスタは中止(非公開)となりました</p>	<p>秋のバラ</p> <p>美しい海の風景を背景に、山下公園や港の見える丘公園では秋のバラを楽しめます。</p>	<p>市民の森</p> <p>市内41か所の市民の森では、自然観察や散策ができます。</p>
--	--	---

横浜 GO GREEN @yokohama_kankyo · 2021年7月1日
【横浜みどりアップ計画メールマガジン・ぜひ登録を！】
7/1号では
●地産地消キッチンカーでおいしいお昼ご飯を
●山下公園では夏花壇のひまわりが見頃です
●よこはま野菜直売イベント 等についてご紹介いたします。
詳細はこちら
city.yokohama.lg.jp/kurashi/machiz...

#みどりアップ

広報よこはま市版

Twitter を活用した広報

知っているかな？ 横浜みどりアップ計画

みんなで、みどりアップに参加しよう

横浜みどりアップ葉っぱー

わたしたち、緑の音で育つための活動なんだ！等々は、まほうでみどりアップをしよう！等々は、緑の音で育つための活動なんだ！等々は、まほうでみどりアップをしよう！

こどもタウンニュース

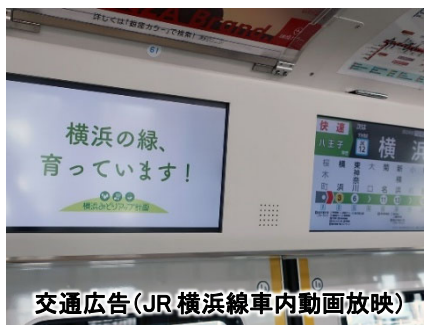
横浜みどりアップ計画とは？

横浜みどりアップ計画
横浜市環境創造局

#みんなでみどりアップ

横浜みどりアップ計画は、市民・事業者の皆さまと進めています

横浜みどりアップ葉っぱーが解説する計画紹介アニメーション



■3か年の主な実績

- 計画の周知や実績報告：推進 [5か年目標：推進]

3

事業・取組の実績と評価・検証

評価の考え方

2019年度から2021年度までの事業・取組をふりかえり、3か年の事業・取組の実績・内容について、以下の方法により評価しました。

なお、評価にあたっては、横浜みどりアップ計画市民推進会議からの意見（P4-6）も参考にしています。

ア 進捗状況の評価

全27の取組ごとの、5か年の目標及び計画事業費に対する3か年の進捗および執行率を、次の評価基準により評価しました。

〔進捗状況についての評価基準〕

◎:60%以上

○:40%以上～60%未満

△:40%未満

イ 3か年の総合評価

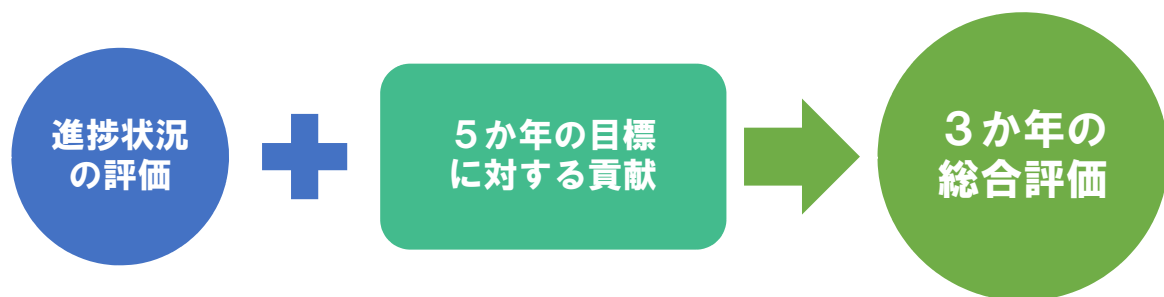
アに加えて、緑の総量の維持、緑の質の向上や緑と関わる機会の増加など、計画全体としての5か年の目標に対する貢献も含めて、各事業・取組の成果を総合的に評価しました。いくつかの取組において新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難な状況となりましたが、できるだけ工夫しながら実績を上げたこともふまえて評価しました。

〔3か年の総合評価〕

A:計画を上回る成果

B:概ね計画通りの成果

C:計画を下回る成果



5か年の目標（再掲）

- 1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など
- 2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
森の保全管理など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など
- 3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します
森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

3か年の事業・取組の評価一覧

事業・取組		総合評価	掲載ページ
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む			
施策1 樹林地の確実な保全の推進			
事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り			
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	B	3-5
施策2 良好な森を育成する取組の推進			
事業② 良好な森の育成			
2	森の多様な機能に着目した森づくりの推進	B	3-12
3	指定した樹林地における維持管理の支援	A	3-15
事業③ 森を育む人材の育成			
4	森づくりを担う人材の育成	A	3-17
5	森づくり活動団体への支援	B	3-20
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進			
事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり			
6	森の楽しみづくり	A	3-23
7	森に関する情報発信	B	3-26
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる			
施策1 農に親しむ取組の推進			
事業① 良好な農景観の保全			
8	水田の保全	B	3-29
9	特定農業用施設保全契約の締結	B	3-32
10	農景観を良好に維持する活動の支援	B	3-34
11	多様な主体による農地の利用促進	A	3-39
事業② 農とふれあう場づくり			
12	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	B	3-41
13	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	A	3-45
施策2 地産地消の推進			
事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進			
14	地産地消にふれる機会の拡大	B	3-48
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開			
15	地産地消を広げる人材の育成	B	3-52
16	市民や企業等との連携	A	3-55

3 事業・取組の実績と評価・検証

事業・取組		総合評価	掲載ページ
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる			
施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進			
事業① まちなかでの緑の創出・育成			
17	公共施設・公有地での緑の創出・育成	B	3-60
18	街路樹による良好な景観の創出・育成	B	3-62
19	シンボリックな緑の創出・育成	B	3-65
20	建築物緑化保全契約の締結	B	3-68
21	名木古木の保存	B	3-70
施策2 緑や花に親しむ取組の推進			
事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり			
22	地域緑のまちづくり	B	3-72
23	地域に根差した緑や花の楽しみづくり	A	3-75
24	人生記念樹の配布	B	3-80
事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成			
25	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	A	3-82
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成			
26	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	A	3-85
効果的な広報の展開			
事業① 市民の理解を広げる広報の展開			
27	計画の周知や実績報告	B	3-88

柱別 総合評価の集計

	A	B	C
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	3	4	0
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	3	6	0
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	3	7	0
効果的な広報の展開	0	1	0
合計	9	18	0

各事業・取組の実績と評価・検証

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- 土地所有者ができるだけ樹林地を持ち続けられるよう、固定資産税の減免などの優遇措置の適用や維持管理などの負担軽減が可能となる緑地保全制度による指定を進め、樹林地等を保全します。
- 特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合に、市が買取りに対応します。
- 市民の森や市が取得した樹林地について、良好に維持管理するため、管理に必要なスペースの確保、柵の設置やのり面の安全対策、越境している樹木等のせん定や間伐などを行います。また、市民の森では、散策路やトイレなどの市民が自然に親しむために必要な施設の整備を行います。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	緑地保全制度による 新規指定	市による買取り	保全した樹林地の 整備
2019年度実績	47.2ha	19.2ha	64か所
2020年度実績	28.9ha	18.9ha	77か所
2021年度実績	31.9ha	19.6ha	86か所
3か年累計(a)	108.0ha	57.7ha	227か所
5か年目標(b)	300ha	想定113ha	推進
進捗率(a/b)	36.0%	51.1%	—
評価	△	○	—

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	7,460百万円	1,767百万円
2020年度決算額	6,339百万円	1,002百万円
2021年度決算額	5,683百万円	944百万円
3か年累計(a)	19,482百万円	3,713百万円
5か年計画額(b)	32,682百万円	4,084百万円
執行率(a/b)	59.6%	90.9%
評価	○	◎

■3か年の評価・検証

- 今期のみどりアップ計画では、緑の10大拠点の樹林地や、市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進することとし、5か年での指定目標300haのうち、3か年で108.0haを指定しています。
- また、特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合の対応として、3か年で57.7haを買取り、市内に残る緑地の保全を進めています。
- 2020～2021年度は、新型コロナウイルスの影響により、指定の働きかけに支障が生じています。
- これまで、大規模な樹林地の土地所有者から順次働きかけを行い、指定にご協力いただいておりますが、近年では働きかけの対象となる樹林地の面積が小規模化している傾向があります。また、過去に働きかけを行ったものの指定にまで至らなかった土地所有者への再度の働きかけに、より一層、丁寧かつ時間をかけた説明が必要となっております。
- 今後も、緑の拠点となるまとまりある樹林地や市民利用を図る上で大切な場所にある樹林地などの保全に向け、土地所有者に継続した指定の働きかけをしていくことが必要です。
- 保全した樹林地において、土地所有者のご協力により園路や柵などを整備し、3か年で3か所を市民の森として公開し、市民の皆様に散策や自然観察などを楽しんでいただいております。より多くの樹林地を市民の森として公開できるよう、引き続き土地所有者の皆様に働きかけていきます。
- 樹林地外周部のがけ地に対しては、調査の結果必要な場合には、のり面保護や土留めを設置して住宅地や道路への防災対策を行いました。引き続き、必要な場所に対策工事を行い、樹林地外周部のがけ地の安全性を高めていきます。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□緑地保全制度による新規指定

※四捨五入のため合計と内訳は一致しないことがあります。

制度／面積	地区詳細
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区 ／44.5ha	<p>【2019年度】27.7ha 野庭・上永谷町特別緑地保全地区（港南区）\square 1.1ha、今宿西町特別緑地保全地区（旭区）0.5ha、白根五丁目特別緑地保全地区（旭区）1.7ha、市沢町特別緑地保全地区（旭区）\square 0.4ha、追分特別緑地保全地区（旭区）\square 14.1ha、上白根町小池特別緑地保全地区（旭区）\square 0.4ha、朝比奈特別緑地保全地区（金沢区）\square 0.7ha、円海山近郊緑地特別保全地区（金沢区）\square 7.6ha、長津田町長月特別緑地保全地区（緑区）\square 0.7ha、大棚町特別緑地保全地区（都筑区）\square 0.4ha、和泉町早稲田特別緑地保全地区（泉区）\square 0.1ha</p> <p>【2020年度】7.3ha 峰沢町特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）0.9ha、仏向町横谷特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）0.5ha、上白根町後谷特別緑地保全地区（旭区）\square 0.5ha、大倉山特別緑地保全地区（港北区）\square 0.2ha、綱島特別緑地保全地区（港北区）\square 0.4ha、長津田町長月特別緑地保全地区（緑区）\square 1.4ha、寺家町居谷戸特別緑地保全地区（青葉区）2.5ha、恩田町特別緑地保全地区（青葉区）\square 0.2ha、岡津町金堀谷特別緑地保全地区（泉区）\square 0.2ha、阿久和南一丁目藤ヶ谷特別緑地保全地区（瀬谷区）0.5ha</p> <p>【2021年度】9.5ha 中里三丁目特別緑地保全地区（南区）1.4ha、仏向町特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）\square 0.1ha、中希望が丘特別緑地保全地区（旭区）1.1ha、川井本町特別緑地保全地区（旭区）\square 0.8ha、上白根町小池特別緑地保全地区（旭区）\square 2.9ha、寺家町居谷戸特別緑地保全地区（青葉区）\square 2.5ha、下永谷特別緑地保全地区（戸塚区）\square 0.1ha、和泉町蟹沢特別緑地保全地区（泉区）0.6ha</p>
市民の森等 ／5.1ha	<p>【2019年度】2.2ha （仮称）市沢市民の森（旭区）\square 1.1ha、追分市民の森（旭区）\square 0.1ha、（仮称）御伊勢山・権現山市民の森（金沢区）\square 0.8ha、（仮称）富岡東三丁目市民の森（金沢区）\square 0.001ha、新治市民の森（緑区）\square 0.2ha</p> <p>【2020年度】0.4ha 下永谷市民の森（港南区）\square 0.02ha、氷取沢市民の森（磯子区）\square 0.3ha、綱島市民の森（港北区）\square 0.004ha、鍛冶ヶ谷市民の森（栄区）\square 0.05ha</p> <p>【2021年度】2.5ha 獅子ヶ谷市民の森（鶴見区）\square 0.04ha、金沢市民の森（金沢区）\square 1.7ha、（仮称）富岡東三丁目市民の森（金沢区）\square 0.05ha、熊野神社市民の森（港北区）\square 0.02ha、新治市民の森（緑区）\square 0.6ha、名瀬・上矢部市民の森（戸塚区）\square 0.03ha、舞岡ふるさとの森（戸塚区）\square 0.03ha</p>
緑地保存地区 ／11.7ha	<p>【2019年度】3.4ha 【2020年度】5.6ha 【2021年度】2.7ha</p>
源流の森保存地区 ／41.2ha	<p>【2019年度】13.4ha 【2020年度】15.3ha 【2021年度】12.5ha</p>
その他 ／5.5ha	<p>【2019年度】0.5ha 【2020年度】0.3ha 【2021年度】4.7ha</p> <p>※その他は、寄附、建築緑化保全、地区計画緑化保全等による緑地</p>



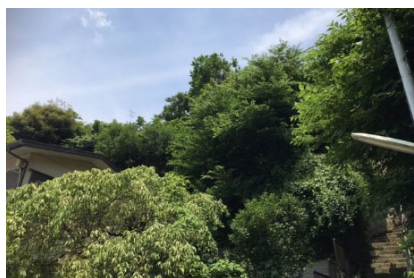
仏向町特別緑地保全地区
(保土ヶ谷区)



中希望が丘特別緑地保全地区
(旭区)



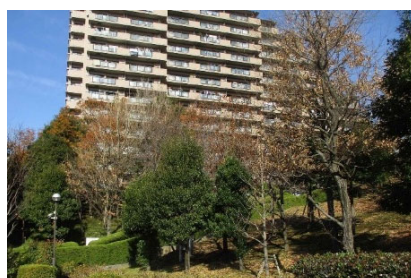
和泉町蟹沢特別緑地保全地区
(泉区)



緑地保存地区 (南区)



緑地保存地区 (緑区)



緑地保存地区 (都筑区)



源流の森保存地区 (港南区)



源流の森保存地区 (旭区)



源流の森保存地区 (戸塚区)

□買入れ申し出への対応

制度	地区名
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区	<p>【2019年度】 馬場五丁目特別緑地保全地区（鶴見区）、獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区（鶴見区）、野庭町特別緑地保全地区（港南区）、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、今井町美立橋特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、川島特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、仏向町特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、市沢町特別緑地保全地区（旭区）、川島町二ノ沢特別緑地保全地区（旭区）、今川町特別緑地保全地区（旭区）、上川井町露木谷特別緑地保全地区（旭区）、上白根町後谷特別緑地保全地区（旭区）、氷取沢町特別緑地保全地区（磯子区）、円海山近郊緑地特別保全地区（磯子区）、大丸山近郊緑地特別保全地区（金沢区）、小机城址特別緑地保全地区（港北区）、熊野神社特別緑地保全地区（港北区）、三保特別緑地保全地区（緑区）、長津田町深田特別緑地保全地区（緑区）、台村町特別緑地保全地区（緑区）、恩田東部特別緑地保全地区（青葉区）、奈良町西ノ谷特別緑地保全地区（青葉区）、名瀬・上矢部特別緑地保全地区（戸塚区）、上郷・中野特別緑地保全地区（栄区）、上郷町瀬上特別緑地保全地区（栄区）、上郷・尾月特別緑地保全地区（栄区）、和泉町天王森特別緑地保全地区（泉区）</p> <p>【2020年度】 東寺尾六丁目特別緑地保全地区（鶴見区）、菅田町赤坂特別緑地保全地区（神奈川区）、野庭町特別緑地保全地区（港南区）、野庭・上永谷町特別緑地保全地区（港南区）、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、今井町特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、市沢町特別緑地保全地区（旭区）、上川井町露木谷特別緑地保全地区（旭区）、上白根町小池特別緑地保全地区（旭区）、追分特別緑地保全地区（旭区）、円海山近郊緑地特別保全地区（磯子区）、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区（金沢区）、釜利谷特別緑地保全地区（金沢区）、大丸山近郊緑地特別保全地区（金沢区）、寺家特別緑地保全地区（青葉区）、元石川町平崎北特別緑地保全地区（青葉区）、寺家町居谷戸特別緑地保全地区（青葉区）、鉄町下ノ谷戸特別緑地保全地区（青葉区）、恩田東部特別緑地保全地区（青葉区）、恩田町特別緑地保全地区（青葉区）、大棚町特別緑地保全地区（都筑区）、池辺町滝ヶ谷戸特別緑地保全地区（都筑区）、汲沢四丁目特別緑地保全地区（戸塚区）、和泉町早稲田特別緑地保全地区（泉区）</p> <p>【2021年度】 獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区（鶴見区）、菅田町堀上特別緑地保全地区（神奈川区）、菅田町赤坂特別緑地保全地区（神奈川区）、峰沢町特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、市沢町特別緑地保全地区（旭区）、追分特別緑地保全地区（旭区）、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区（金沢区）、朝比奈特別緑地保全地区管理用地（金沢区）、大丸山近郊緑地特別保全地区（金沢区）、大倉山特別緑地保全地区（港北区）、三保特別緑地保全地区（緑区）、寺家町居谷戸特別緑地保全地区（青葉区）、川和特別緑地保全地区（都筑区）、大棚町特別緑地保全地区（都筑区）、池辺町八所谷戸特別緑地保全地区（都筑区）、和泉町早稲田特別緑地保全地区（泉区）、宮沢・蟹沢特別緑地保全地区（瀬谷区）</p>

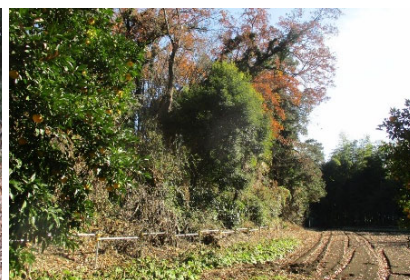
制度	地区名
市民の森等	<p>【2019年度】 下永谷市民の森（港南区）、（仮称）今井・境木市民の森（保土ヶ谷区）、峯市民の森（磯子区）、綱島市民の森（港北区）、新治市民の森（緑区）、まさかりが淵市民の森（戸塚区）、深谷市民の森（戸塚区）、古橋市民の森（泉区）</p> <p>【2020年度】 （仮称）今井・境木市民の森（保土ヶ谷区）、峯市民の森（磯子区）、新治市民の森（緑区）、舞岡ふるさとの森（戸塚区）、深谷市民の森（戸塚区）、鍛冶ヶ谷市民の森（栄区）</p> <p>【2021年度】 追分市民の森（旭区）、南本宿市民の森（旭区）、称名寺市民の森管理用地（金沢区）</p>
公園樹林部	<p>【2019年度】 南本宿公園（旭区）、高田西公園（港北区）、馬場二丁目公園（鶴見区）</p> <p>【2020年度】 南本宿公園（旭区）、四季美台ふれあい公園（旭区）</p>
計	90 地区 57.7ha



菅田町堀上特別緑地保全地区
(神奈川区)



川和特別緑地保全地区
(都筑区)



和泉町早稲田特別緑地保全地区
(泉区)

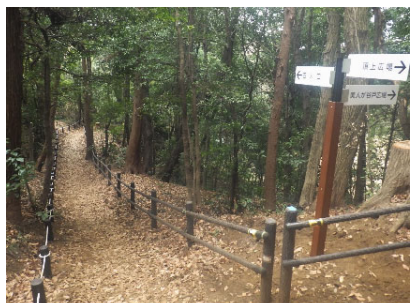


樹林地の土地所有者の声

- ・自然を残して鳥や樹木、花などが生息する為の保存は必要だと思います。
- ・樹林地所有者として、この取組にはとても感謝しています。樹林地の管理にも、市に協力していただいているので義務感だけではなく「やりがい」を感じるようになりました。身近な場所の緑が減ってマンションや擁壁になる昨今、みどりアップ計画が周知・利用される事を願っています。
- ・樹林地の保全は地球温暖化の問題や自然環境を守る上でとても大切だと思います。個人で管理するのはとても大変なので助成制度が活用できればいいと思います。

□保全した樹林地の整備

市民の森において、散策路や野外卓などの施設整備を行い、樹林地の散策等を楽しめるようにしました。また、樹林地の安全性を確保するため、防災工事や住宅隣接地の樹木の伐採作業を実施するとともに、良好に樹林地を維持管理するための柵、倉庫、管理車両用駐車スペースなどの整備を進めました。



【柵、案内サイン等の整備】
名瀬・上矢部市民の森（戸塚区）



【広場の整備】
今井・境木市民の森（保土ケ谷区）



【野外卓の設置】
三保市民の森（緑区）



【危険樹木の伐採】
大貫谷公園（旭区）



【土留めの設置】
大曾根台特別緑地保全地区
（港北区）



【側溝の整備】
鴨居原市民の森（緑区）



利用者の声

- ・危険木の伐採や野外卓の設置など散策路が整備されたことで、より安全で快適に歩くことができるようになりました。



近隣住民の声

- ・以前、崖崩れがあった場所であり、工事が行われて安心。暖かくなり、植物が芽吹いてくるのを楽しみにしています。
- ・地域に新しい市民の森ができて、歩いてみると気持ちのよいところでした。保育園から散歩に来ている園児たちも見かけます。
- ・愛護会の活動に欠かせない道具を収納できる倉庫ができ、作業のたびに道具を持ち寄らなくてよくなり、活動しやすくなりました。

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

- 市民の森、ふれあいの樹林、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。森づくりにあたっては、地域の特性等を踏まえて策定した管理計画に沿って、愛護会など多様な主体と連携しながら実施します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	森の維持管理			
	保安全管理計画の策定		保安全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理	
	樹林地	公園	樹林地	公園
2019年度実績	3か所	4か所	141か所	34か所
2020年度実績	1か所	2か所	160か所	40か所
2021年度実績	2か所	2か所	163か所	38か所
3か年累計(a)	6か所	8か所	464か所	112か所
5か年目標(b)	推進			
進捗率(a/b)	—			
評価	—			

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	524百万円	386百万円
2020年度決算額	615百万円	460百万円
2021年度決算額	577百万円	414百万円
3か年累計(a)	1,717百万円	1,259百万円
5か年計画額(b)	3,076百万円	2,313百万円
執行率(a/b)	55.8%	54.4%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

- 市民の森や公園内のまとまった樹林などにおいて保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、愛護会等と共通の認識を持ちながら、良好な森づくりを進めることができました。
- 保全管理計画や森づくりガイドラインを活用して森に手を入れることで、多様な環境が形成され、多くの生きものが確認できるなど、生物多様性の保全につながる成果が見られたほか、管理された樹林地外周部の斜面では、豪雨時の土砂流出が抑制されるなど森の防災・減災機能が向上しました。
- 森の持つ多様な機能を維持するためには、今後も継続的な維持管理作業が重要であり、その作業の成果を調査・検証し、作業内容を見直す順応的管理を行っていくことが必要です。
- 管理する樹林地は年々増加しており、効果的かつ効率的な管理手法を検討・試行し、実施していくことが必要です。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□保全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。

保全管理計画策定か所		区名
市民の森等	柏町市民の森	旭
	上川井市民の森	旭
	鶴ヶ峰ふれあいの樹林	旭
	上矢部ふれあいの樹林	戸塚
	舞岡ふるさとの森	戸塚
	泉の森ふれあい樹林	泉
まとまった樹林のある都市公園	白幡公園	鶴見
	金沢自然公園	金沢
	能見堂緑地	金沢
	牛久保公園	都筑
	烏山公園	都筑
	小雀公園	戸塚
	舞岡公園	戸塚
天王森泉公園	泉	



【保全管理計画の策定 検討会の様子】
鶴ヶ峰ふれあいの樹林（旭区）



- 行政と愛護会の役割分担が明確になってよかったです。
- 愛護会の中でも管理のルールが共有できました。

□保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理

市民の森や公園内のまとまった樹林などを対象に、維持管理の技術的指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。



柏町市民の森（旭区）



境木ふれあいの樹林（保土ヶ谷区）



利用者の声

- ・森に手が入ることによって園路も明るくなり、安全で快適に歩くことができました。
- ・野草を保全しながら草が刈られ、解説看板も置かれているので、散策を楽しめました。

3 指定した樹林地における維持管理の支援

- 土地所有者の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、緑地保全制度により指定した樹林地の外周部で土地所有者が行う危険・支障樹木のせん定・伐採や草刈りなどの維持管理作業や、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分などの費用の一部を助成します。これにより、緑地保全制度による指定を推進します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	維持管理の助成
2019年度実績	122件
2020年度実績	162件
2021年度実績	130件
3か年累計(a)	414件
5か年目標(b)	500件
進捗率(a/b)	82.8%
評価	◎

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	97百万円	97百万円
2020年度決算額	142百万円	142百万円
2021年度決算額	120百万円	120百万円
3か年累計(a)	359百万円	359百万円
5か年計画額(b)	530百万円	530百万円
執行率(a/b)	67.8%	67.8%
評価	◎	◎

■ 3か年の評価・検証

- 緑地保全制度の指定地において土地所有者が行う外周部の危険木やナラ枯れなどの枯損木を含む危険木の除去の維持管理作業にかかる費用を助成することで、樹林地の保全と指定の拡大に寄与しました。
- 2019年度に発生した台風では、外周部の維持管理作業に加えて、拡充したメニューである樹林地内部の倒木・枯れ木の撤去処分にかかる費用への助成も活用していただき、土地所有者の維持管理にかかる負担の軽減につなげました。
- より多くの土地所有者に制度を使っていたため、手続きのさらなる効率化が必要です。

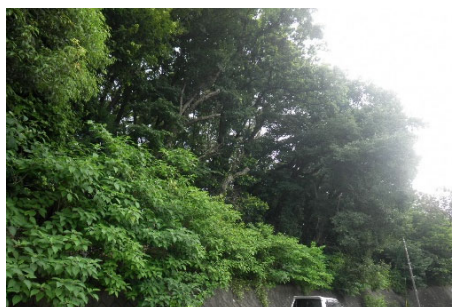
3か年の総合評価	A
----------	---

■ 3か年の実績詳細

□指定した樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。

区名	件数	区名	件数
鶴見	7	金沢	31
神奈川	13	港北	39
西	2	緑	24
中	8	青葉	24
南	11	都筑	30
港南	21	戸塚	56
保土ケ谷	32	栄	31
旭	30	泉	28
磯子	15	瀬谷	12
		計	414



【維持管理の支援】
上：作業前 下：作業後（緑区）

🗨️ 助成利用者の声

- ・樹林地の管理に計画的に制度を利用することができ、とても助かっています。
- ・台風で倒れてしまった木を撤去しました。多数あるので、引き続き制度を利用したいです。

4 森づくりを担う人材の育成

- 森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための研修や、活動のスキルアップのための研修を開催します。
また、ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行うほか、森づくりボランティアが団体の活動に参加できる取組を推進します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	森づくりを担う人材の育成		広報誌等での森づくり活動に関する情報発信
	研修の実施	体験会の開催	
2019年度実績	17回	7回	4回
2020年度実績	10回	7回	4回
2021年度実績	11回	10回	4回
3か年累計(a)	38回	24回	12回
5か年目標(b)	推進		20回
進捗率(a/b)	—		60.0%
評価	—		◎

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	10百万円	10百万円
2020年度決算額	16百万円	16百万円
2021年度決算額	7百万円	7百万円
3か年累計(a)	33百万円	33百万円
5か年計画額(b)	75百万円	75百万円
執行率(a/b)	44.0%	44.0%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

- 森づくりボランティア登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に研修を実施し、森づくり活動を行う際の安全管理やスキルアップに寄与しました。
- 森づくりボランティア体験会の実施により、森づくりボランティアが団体の活動に参加できる機会が創出され、森づくりボランティア登録者や団体への入会が増え、森づくり活動が活性化されました。
- ニュースレターやウェブサイトを活用した森づくりに関する情報発信により、森づくりボランティアや森づくり活動団体の活動の円滑化や活性化につなげました。
- 体験会等を通じて、森づくりの活動への多様な関わり方が求められていることが分かりました。
- コロナ禍により、集合研修ができなかったため、動画やアンケート形式等、集めない方法を工夫して人材育成を実施しました。

3か年の総合評価	A
----------	---

■ 3か年の実績詳細

□ 森づくりを担う人材の育成（研修の実施）

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための講習会・研修を開催しました。

研修名	回数
自然観察講習会	8
森づくり作業研修	9
道具の使い方研修	6
ロープワーク実習	2
森づくりボランティア入門講座	5
安全管理研修	6
森づくり現場見学会	1
森づくり救急救命講習会	1



【森づくりボランティア入門講座】（戸塚区）

□森づくりを担う人材の育成（体験会の開催）

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、市内の市民の森やふれあいの樹林において、3か年で計 24 回、森づくりボランティアが個人で森づくりを体験する「森づくり体験会」を開催しました。

参加者の声

- 初めての体験でしたが、丁寧に指導いただきました。
- 今までしたことのない体験ができました。
- 作業が多くて、やりがいがあり、とても楽しかったです。
- 体験会に参加し、団体へ入会しようと思いました。



【森づくり体験会】（戸塚区）

□森づくり活動に関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、「よこはまの森ニュースレター」を年 4 回、計 12 回発行しました。

【よこはまの森ニュースレター】

5 森づくり活動団体への支援

- 市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。

維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化したり、樹名板を作成するなどの活用を推進します。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	森づくり活動団体への支援		森づくり活動団体への専門家派遣		チップターの貸出し
	樹林地	公園	樹林地	公園	
2019年度実績	25団体	5団体	3回	1回	11か所
2020年度実績	27団体	6団体	3回	1回	11か所
2021年度実績	30団体	6団体	4回	0回	6か所
3か年累計(a)	99団体		12回		28か所
5か年目標(b)	150団体		20回		推進
進捗率(a/b)	66.0%		60.0%		—
評価	◎		◎		—

※チップターの貸出の実績数値については、過年度の報告書から修正しました。

□ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	11百万円	10百万円
2020年度決算額	11百万円	10百万円
2021年度決算額	7百万円	7百万円
3か年累計(a)	29百万円	27百万円
5か年計画額(b)	54百万円	50百万円
執行率(a/b)	53.7%	54.0%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

- 森づくり活動団体を対象に、研修の実施、ガイドブックや市民向け森づくり活動入門書の作成への助成、道具の支援により、良好な森づくりを進めることができました。
- 課題を抱える森づくり活動団体に対して専門家（アドバイザー）派遣を行い、団体に草刈り等の作業の仕方や時期などのアドバイスを行うことで、希少種の保全や生物多様性に配慮した森づくりが促進され、課題の解決や団体の活動のスキルアップに寄与しました。
- 森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材を樹林地内でチップ化したり樹名板を作成することで、間伐材の有効活用が促進されました。
- 今後も、安全かつ幅広い森づくり活動を行っていただくために、団体への研修等の支援を継続させていくことが必要です。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ 森づくり活動団体への支援

来訪者の散策時に貴重な生育植物を紹介するためのガイドブック作成や、森づくり活動を通して培った知識や経験を一冊にまとめた市民向け森づくり活動入門書の作成に対して、助成を行いました。また、カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具、救急セットなどの安全対策用の道具、腕章や帽子などの道具を貸し出して、活動への支援を行いました。

□ 森づくり活動団体への専門家派遣

森づくり活動団体が抱える課題解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。

区名	回数
保土ケ谷	1
磯子	3
都筑	1
栄	5
泉	2



【アドバイザー派遣】（磯子区）

□チップターの貸出し

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して、園路に敷くなど有効活用を図るため、チップターの貸出しを行いました。

区名	か所数
鶴見	1
保土ケ谷	1
旭	6
金沢	2
緑	4
青葉	3
都筑	4
戸塚	2
栄	3
泉	2



【チップ化作業支援】（緑区）

活動団体の声

- 木の枝や篠竹などをチップ化し、カブトムシの養育床や、散策路の滑り止めとして活用できました。
- 間伐材から出来上がったチップを、ぬかるみになりやすい場所の補修に利用することができました。森が綺麗になりました。

6 森の楽しみづくり

- 各区での催し等において、森に関わるきっかけとなり環境を学ぶ機会にもなるイベントや広報の取組を展開します。特に、森に関わる第一歩として、親子で参加できるイベントの充実などに取り組みます。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座などを開催します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	市内大学や関係団体などと連携したイベントや、 区主催による地域の森でのイベントの実施
2019年度実績	75回
2020年度実績	34回
2021年度実績	42回
3か年累計(a)	151回
5か年目標(b)	180回
進捗率(a/b)	83.9%
評価	◎

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	12百万円	12百万円
2020年度決算額	7百万円	7百万円
2021年度決算額	6百万円	6百万円
3か年累計(a)	26百万円	26百万円
5か年計画額(b)	100百万円	100百万円
執行率(a/b)	25.5%	25.5%
評価	△	△

■ 3か年の評価・検証

- 新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、子どもから大人まで楽しめる幅広いイベントの開催をすることができました。今後も引き続き、子どもをはじめとした多くの市民の皆様に関わるきっかけを提供できるよう、様々な取組を増やす必要があります。
- インタープリター養成講座では、森づくり活動をより充実させ、森の魅力を伝えるためのさまざまな手法を、座学と実習を通して習得することができました。インタープリターの活動場所を広げるための支援が必要です。

3か年の総合評価

A

■ 3か年の実績詳細

□ 森の楽しみづくり

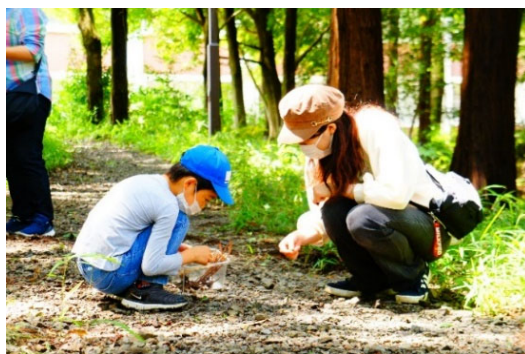
● 親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」など市民を対象としたイベントを開催しました。

連携大学：東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、
横浜創英大学、横浜市立大学

参加者の声

- ・コロナ禍で外出が減っていたので、自然の中でのびのびできて良かった。
- ・子どもが興味を持っている姿を見て、来てよかったと思った。
- ・学生がとても細やかに森の中を案内してくれました。



【よこはま森の楽校】
東洋英和女学院大学（緑区）

● 間伐材を活用したクラフト教室の開催

市内の樹林地を手入れする際に発生した間伐材を活用したクラフトキットを作成し、市内各所でクラフト教室の開催や、各種イベントでの配布によって、木にふれあう機会をつくりました。

参加者の声

- ・かわいいキーホルダーができたので、すぐにかばんにつけました。
- ・木に絵を描いたり色を塗るのが楽しかったです。



【間伐材クラフト】（都筑区）

●図書館と連携したイベントの開催

子どもたちが自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるネイチャーゲームを組み入れたイベントを市内4館（中図書館、保土ヶ谷図書館、都筑図書館、瀬谷図書館）の図書館と連携して開催しました。



- ・自然にふれあい、知らなかったことをたくさん学ぶことができました。
- ・みんなと協力して自然について知ることができました。



【図書館の子ども向けのイベント】
「森の中のプレイパーク」（中区）

□自然解説、プログラムリーダーの育成

●インタープリター養成講座の開催

市民が樹林地等に関心を持ち、保全へとつなげるために、自然を楽しみながら人々の関心を引き出し、自然と人との関わりや自然の大切さを伝える役割を担う人材であるインタープリターを養成する講座を開催しました。



- ・若い人に自然を伝えるツールとして大変参考になった。
- ・この研修で自分の活動を見直す機会となった。
- ・これらの学びをいかして活動の場を広げたい。



【インタープリター養成講座】
フォローアップ研修（保土ヶ谷区）

7 森に関する情報発信

- ・ 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ・ ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業のCSR活動などと連携しながら実施し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等
2019年度実績	8回
2020年度実績	8回
2021年度実績	10回
3か年累計(a)	26回
5か年目標(b)	50回
進捗率(a/b)	52.0%
評価	○

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	40百万円	2百万円
2020年度決算額	43百万円	3百万円
2021年度決算額	39百万円	2百万円
3か年累計(a)	122百万円	7百万円
5か年計画額(b)	230百万円	30百万円
執行率(a/b)	53.0%	23.3%
評価	○	△

■ 3か年の評価・検証

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、市内5か所あるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら周辺の森に関するイベントや講座の開催などを行い、市民が森に関わるきっかけを提供することができました。
- 新規に指定された市民の森ではガイドマップを作成し、市民の皆様に横浜の森の魅力を発信することができました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

市内5か所にあるウェルカムセンターでは、各館周辺にある緑の情報提供や、緑を知り、楽しむための講座等を開催し、緑の普及啓発・環境教育を行いました。

ウェルカムセンター	主な周辺の緑地を活用したイベント
寺家ふるさと村 四季の家	野鳥観察会 in 新横浜公園
新治里山公園 にいはる里山交流センター	旬の里山探訪
環境活動支援センター	トンボ塾
舞岡ふるさと村 虹の家	バードウォッチング入門、秋の緑地を歩く
横浜自然観察の森 自然観察センター	つながりの森を歩こう



【ウェルカムセンターのイベント】
トンボ塾（保土ケ谷区）



【ウェルカムセンターのイベント】
ウイトリッヒの森を訪ねて（戸塚区）



利用者の声

- ・自然と歴史のかかわりを実感できた。次回もこのような企画に期待している。
- ・森、自然を残すためにいろいろな方が努力されていることが認識できた。

□ガイドマップの作成・リニューアル

市民が気軽に森を訪れるきっかけとなるよう、ウォーキング等の散策にも活用できるガイドマップを発行しており、3か年で、古橋市民の森、長津田宿市民の森のガイドマップを新たに作成しました。

市民の森、ふれあいの樹林ガイドマップ	
1	寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林
2	長津田宿市民の森
3	新治市民の森
4	三保市民の森
5	瀬谷市民の森、上川井市民の森、追分市民の森、矢指市民の森、宮沢ふれあい樹林、東山ふれあいの樹林
6	泉の森ふれあい樹林、中田宮の台市民の森、新橋市民の森
7	中田ふれあいの樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、上矢部ふれあいの樹林
8	古橋市民の森
9	まさかりが淵市民の森、ウィトリッヒの森、深谷市民の森
10	川和市民の森、池辺市民の森
11	小机城址市民の森、鴨居原市民の森
12	白根ふれあいの樹林、上山ふれあいの樹林
13	南本宿市民の森、市沢ふれあいの樹林、境木ふれあいの樹林
14	今宿市民の森、柏町市民の森、鶴ヶ峰ふれあいの樹林
15	飯島市民の森、下永谷市民の森、舞岡ふるさとの森
16	上郷市民の森、荒井沢市民の森、鍛冶ヶ谷市民の森
17	熊野神社市民の森、綱島市民の森
18	豊顕寺市民の森
19	瀬上市民の森
20	横浜自然観察の森
21	峯市民の森、朝比奈北市民の森
22	駒岡中郷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林
23	獅子ヶ谷市民の森、東寺尾ふれあいの樹林
24	称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森



ガイドマップ 左：古橋市民の森（泉区） 右：長津田宿市民の森（緑区）

利用者の声

- ・ガイドマップを持って市民の森に行くのを楽しみにしています。

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



8 水田の保全

- 土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稲の作付を10年間継続することを条件に、奨励金を交付します。
- 水田景観を保全するために必要な水源や水路を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸や水路等の設置・改修を支援します。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	水田保全	水源・水路の確保
2019年度実績	113.5ha	2か所
2020年度実績	113.3ha	3か所
2021年度実績	112.2ha	2か所
3か年累計(a)	112.2ha	7か所
5か年目標(b)	125ha	10か所
進捗率(a/b)	89.8%	70.0%
評価	◎	◎

※水田保全の3か年累計は、2021年度の面積としています。

□ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	94百万円	31百万円
2020年度決算額	80百万円	31百万円
2021年度決算額	94百万円	32百万円
3か年累計(a)	267百万円	95百万円
5か年計画額(b)	490百万円	190百万円
執行率(a/b)	54.5%	50.0%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

○新規に保全された水田面積は、3か年で4.2haとなりました。市内の水田面積全体の約9割が保全されており、水田減少幅の抑制に効果があったと考えられます。

○水源・水路の確保については5か年目標10か所に対して、3か年で7か所の支援を実施し、概ね計画通りに取組が進んでいます。水田の耕作を続けるためには、井戸や取水堰などの水源施設や水路が欠かせないことから、今後も引き続き安定的な水源の確保や老朽化した施設の再整備を支援していくことが必要です。

3か年の総合評価

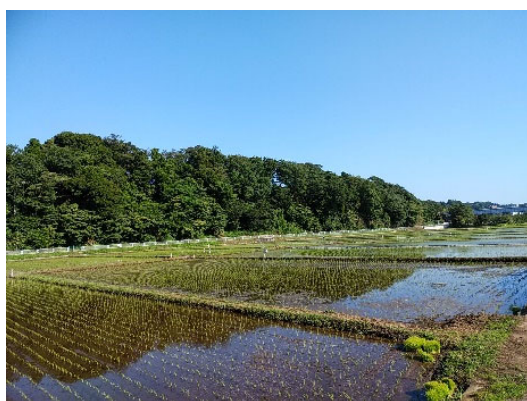
B

■ 3か年の実績詳細

□水田保全面積

市内の水田自体は減少傾向にありますが、約9割の水田の保全を支援しました。併せて新規申し出に向けた働きかけも粘り強く行い、新たに4.2haの水田の支援につながりました。

年度	水田保全面積 (ha)	うち新規申出面積 (ha)
2019	113.5	1.9
2020	113.3	1.2
2021	112.2	1.1



【保全された水田】（戸塚区）



【保全された水田】（都筑区）



農家の声

- 犬の散歩などで市民が私の田んぼの近くを歩いており、水田の風景が親しまれていると感じます。さらに多くの市民に水田の魅力を知ってほしいです。

□水源・水路の確保

水稻の栽培に不可欠な井戸や水路等の整備を支援しました。

年度	支援対象	か所数	区名
2019	井戸等の水源施設	1	青葉
	水路	1	青葉
2020	水路	3	緑、青葉、泉
2021	井戸等の水源施設	1	緑
	水路	1	緑
計		7	



【水路の再整備】（青葉区）



【井戸ポンプを動かす制御盤の更新】
（緑区）



農家の声

- ・老朽化した水路から水が漏れてしまい、田んぼに十分に水が届かず困っていました。施設の修繕には多額の費用がかかるので、支援はとても助かっています。

9 特定農業用施設保全契約の締結

- 農地を10年間適正に管理することと、農地の保全に不可欠な農業用施設を10年間継続利用することを条件として、農家の住宅敷地内等にある農業用施設用地の固定資産税・都市計画税を10年間軽減することにより、農地所有者の負担軽減と農地の保全を図ります。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	特定農業用施設保全契約の締結
2019年度実績	31件(0.36ha)
2020年度実績	27件(0.43ha)
2021年度実績	17件(0.27ha)
3か年累計(a)	75件(1.06ha)
5か年目標(b)	制度運用
進捗率(a/b)	—
評価	—

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	2百万円	0百万円
2020年度決算額	1百万円	0百万円
2021年度決算額	2百万円	0百万円
3か年累計(a)	5百万円	0百万円
5か年計画額(b)	10百万円	0百万円
執行率(a/b)	50.0%	0%
評価	○	—

■ 3か年の評価・検証

- 概ね計画どおりの進捗となり、申し出に対して着実に対応しました。
- 固定資産税の支払という農家の負担を軽減することによって、農業用施設の維持及び営農の継続を図り、農家が耕作する農地を保全することにつながりました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□特定農業用施設保全契約の締結

新規及び更新あわせて75件の契約を結んだことで、農家の負担軽減ができ、営農の継続及び農地の保全につながりました。



【特定農業用施設の例】
上：農業用倉庫
下：農業用倉庫及び作業場

区名	件数	指定面積(m ²)
鶴見	2	378
神奈川	6	805
港南	2	183
保土ヶ谷	4	874
旭	3	291
磯子	1	106
金沢	2	60
港北	2	258
緑	7	965
青葉	2	132
都筑	3	443
戸塚	4	703
泉	20	3,095
瀬谷	17	2,244
計	75	10,537



契約者の声

- ・農業を続けていく上で生産に必要な部分の固定資産税が軽減されるのはありがたいです。

10 農景観を良好に維持する活動の支援

- 良好な農景観を形成するため、水路等での清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源の確保のための井戸の改修などに対して支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出を防止する活動に対する支援や農地周辺の不法投棄対策を進めます。
- 都市の中で農景観を維持するためには、農地の周辺にお住まいの方々の農業への理解が必要です。このため、農地周辺の環境に配慮して、農地からの土ぼこりの飛散を予防・解消するために牧草等を栽培する活動や、農作業等により生じるせん定枝などを野焼きできない場合等に、たい肥化する活動などに対して支援します。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援			
	集団農地維持	農地縁辺部への植栽	井戸の改修	土砂流出防止対策
2019年度実績	641.7ha	15件	2地区	4件
2020年度実績	643.9ha	15件	4地区	5件
2021年度実績	679.0ha	18件	2地区	2件
3か年累計(a)	679.0ha	48件	8地区	11件
5か年目標(b)	730ha	55件	5地区	15件
進捗率(a/b)	93.0%	87.3%	160%	73.3%
評価	◎	◎	◎	◎

※集団農地維持の3か年累計は、2021年度の面積としています。

	周辺環境に配慮した活動への支援	
	牧草等による環境対策	たい肥化設備等の支援
2019年度実績	4.25ha	3件
2020年度実績	4.36ha	3件
2021年度実績	5.87ha	2件
3か年累計(a)	14.48ha	8件
5か年目標(b)	20ha	25件
進捗率(a/b)	72.4%	32.0%
評価	◎	△

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	91百万円	16百万円
2020年度決算額	96百万円	15百万円
2021年度決算額	89百万円	15百万円
3か年累計(a)	276百万円	45百万円
5か年計画額(b)	542百万円	111百万円
執行率(a/b)	50.9%	40.5%
評価	○	○

■3か年の評価・検証

- 集団農地維持は5か年目標730haに対して、2021年度は679haに支援を実施しました。活動団体数もわずかに増え、より多くの農家団体が農景観を維持する活動に取り組みました。
- 農地縁辺部への草花・花木などの景観植物の植栽は5か年目標55件に対して、3か年で48件を支援し、農景観づくりが進みました。
- 井戸の改修は5か年目標5地区に対して、3か年で8地区を実施しました。農地は耕作されることで農景観が保全されることから、耕作を続けるために必要な井戸の改修について引き続き支援していくことが必要です。
- 土砂流出防止対策は5か年目標15件に対して、3か年で11件を支援し、概ね計画通りに取組が進んでいます。土留め柵等を設置した農地では、土砂流出の発生が軽減され、着実に効果があらわれています。
- 牧草等による環境対策については、継続的な取組により申請面積が増え、農地での土ぼこり防止や、土砂流出対策に寄与しました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

● 集団農地維持

まとまりのある農地の周辺で、道路や水路の清掃や草刈りを行う農家団体を支援しました。

年度	面積 (ha)	区名
2019	641.7	神奈川、保土ケ谷、旭、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、栄、泉、瀬谷
2020	643.9	神奈川、保土ケ谷、旭、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、栄、泉、瀬谷
2021	679.0	神奈川、保土ケ谷、旭、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、栄、泉、瀬谷



【集団農地維持】（青葉区）

● 農地縁辺部への植栽

農地の縁辺部で、草花や花木などの景観植物を栽培・管理する農家団体を支援しました。

年度	件数	区名
2019	15	神奈川、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、泉、瀬谷
2020	15	神奈川、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、泉、瀬谷
2021	18	神奈川、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、泉、瀬谷



【農地縁辺部への植栽】（磯子区）



【農地縁辺部への植栽】（緑区）



市民の声

- 毎年秋に近所の農業専用地区を散歩すると、畑に沿ってコスモスが咲いている風景に出会うことができ、とても気持ちがよいです。こういった取組みが広がるといいですね。

●井戸の改修

まとまりのある農地を維持するために必要な、畑地かんがい用の井戸の施設の整備を支援しました。

年度	地区数	区名
2019	2	金沢、都筑
2020	4	神奈川、都筑（2件）、戸塚
2021	2	戸塚（2件）



【改修を行ったポンプ施設】（戸塚区）

●土砂流出防止対策

傾斜のある農地などで、台風やゲリラ豪雨などによって耕作土が流出することを防ぐため、法面の保護や土留め柵の設置を支援しました。

年度	件数	区名
2019	4	緑、青葉、都筑（2件）
2020	5	旭、磯子、都筑（2件）、戸塚
2021	2	都筑（2件）



【土留め柵を設置した農地】（都筑区）

□周辺環境に配慮した活動への支援

●牧草等による環境対策

土砂流出と土ぼこりの飛散を防ぐための対策として、牧草等を栽培する農家に対して支援を行いました。

区名	面積 (ha)	区名	面積 (ha)
神奈川	1.34	青葉	0.90
保土ヶ谷	0.55	都筑	2.15
旭	2.10	戸塚	0.85
金沢	0.10	栄	0.30
港北	0.65	泉	2.23
緑	1.91	瀬谷	1.40



【牧草等による環境対策】（瀬谷区）



- ・高台の傾斜地で土が下方に流出しやすい農地でしたが、本事業で麦類の植え付けをすることにより、土の流出を抑えることができました。
- ・休耕中の農地に牧草類を植え付けることで土ぼこりが減り、近隣に飛散することも少なくなりました。

●たい肥化設備等の支援（共同利用設備の整備）

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等をたい肥化してリサイクルに取り組む団体に対して、必要な機械や設備の購入を支援しました。

区名	件数
神奈川	1
旭	2
緑	3
都筑	1
戸塚	1



【たい肥化設備等の支援】（神奈川区）

11 多様な主体による農地の利用促進

- 遊休化して荒れた農地は、貸し借りが進まず、良好な農景観が損なわれます。このため、意欲ある農家や新規に参入を希望する個人・法人など多様な主体へ農地を貸し付けられるよう遊休化した農地の復元を支援することで、良好な農景観を保全します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	遊休農地の復元支援
2019年度実績	0.84ha
2020年度実績	0.28ha
2021年度実績	0.26ha
3か年累計(a)	1.38ha
5か年目標(b)	1.5ha
進捗率(a/b)	92.0%
評価	◎

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	26百万円	26百万円
2020年度決算額	22百万円	22百万円
2021年度決算額	21百万円	21百万円
3か年累計(a)	69百万円	68百万円
5か年計画額(b)	153百万円	153百万円
執行率(a/b)	45.1%	44.4%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

○5か年目標 1.5ha に対して、3か年で 1.38ha の遊休農地が解消し意欲ある農家等により有効利用されており、順調に取組が進められています。

○草や雑木が繁茂した荒地が、農地として適切に管理されることにより、農景観の保全に加えて、防犯や防災の観点でも周辺的环境に寄与すると考えられます。

3か年の総合評価	A
----------	---

■ 3か年の実績詳細

□遊休化した農地の復元を支援

遊休化して荒れた農地を、規模拡大を希望する農家等に貸し付けることを条件に、土地所有者等が農地を良好な状態に復元する取組を支援しました。

区名	か所数	面積 (ha)
保土ヶ谷	1	0.11
旭	3	0.64
青葉	1	0.20
都筑	2	0.42



【遊休農地の復元】左：復元前 右：復元後（保土ヶ谷区）



事業利用者の声

- ・（貸し手）自分では管理がしきれなくて困っていたので、大変助かりました。
- ・（借り手）自分の耕作地の近くの畑を借りることができて農地の集約化につながりました。

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

- 野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。
- 農作業の経験がない人でも農家から指導を受けることで栽培から収穫までを楽しめる農園や、利用者が自由に農作業を楽しめる農園など、土地所有者等が農園を開設するための支援を行います。また、農園の開設のノウハウを持った市民農園コーディネーターの活用などにより、円滑な農園開設に向けた支援を行います。
- 土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を公園として市が買取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を公園に開設します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	様々なニーズに合わせた農園の開設		
	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
2019年度実績	2.06ha	1.32ha	0.55ha
2020年度実績	2.87ha	1.11ha	0.00ha
2021年度実績	3.99ha	0.60ha	0.00ha
3か年累計(a)	12.50ha		
5か年目標(b)	22.80ha		
進捗率(a/b)	54.8%		
評価	○		

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	295百万円	37百万円
2020年度決算額	150百万円	56百万円
2021年度決算額	321百万円	41百万円
3か年累計(a)	765百万円	134百万円
5か年計画額(b)	2,453百万円	829百万円
執行率(a/b)	31.2%	16.2%
評価	△	△

■ 3か年の評価・検証

- 収穫体験農園の開設支援を行った農園での果物のもぎとりや市民農園での野菜の栽培など、市民が農を楽しむ場が多く作られました。
- 農園付公園は、2019年度に阿久和富士見小金台公園の整備を完了し、供用を開始しました。
- 農園付公園の整備では、公園として開設するための用地取得や周辺のインフラ等の施設を整える必要があり、供用までに長期間を要することが多くなっています。

3か年の総合評価	B
----------	---

■ 3か年の実績詳細

□ 収穫体験農園

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物を収穫体験できる農園が増えました。

- ・農園開設整備の支援 49件

区名	件数	区名	件数	区名	件数
神奈川	1	港北	3	戸塚	7
保土ヶ谷	1	緑	12	栄	1
旭	3	青葉	5	泉	4
金沢	2	都筑	8	瀬谷	2

- ・イモ掘取り等の支援 9件

区名	件数
緑	3
都筑	3
泉	3



【収穫体験農園】（戸塚区）

- ・果樹苗木育成の支援 3件

農園開設者の声

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、1回の受入人数を限定しながら、身近なところで農体験を楽しんでいただくように、日々、栽培に励んでいます。

□市民農園

土地所有者等が認定市民菜園や環境学習農園を開設するための支援を実施し、3 か年で3.03haの農園が開設されました。

市内で開設されている主な市民農園

- ・認定市民菜園

農園利用者が農地の一部の区画を借りて、農作物を自由に耕作する農園

- ・環境学習農園

児童や生徒などが農家と一緒に種まき、収穫などの農作業の一部を継続して体験できる農園

区名	認定市民菜園 (ha)	環境学習農園 (ha)
鶴見	0.15	-
神奈川	-	-
港南	0.40	-
旭	0.79	-
磯子	0.03	-
金沢	0.08	-
港北	0.28	0.05
緑	0.16	-
青葉	0.52	-
都筑	0.11	-
泉	0.39	0.08
小計	2.90	0.13
計	3.03	

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません。



【認定市民菜園】
上：（青葉区） 下：（都筑区）



- ・作物の成長過程を観察し作業することで、農地の大切さ、農業の楽しさや大変さを知ることができた。（環境学習農園の参加者）
- ・野菜づくりを通して、気持ちのリフレッシュになっています。（認定市民菜園の利用者）

□農園付公園

阿久和富士見小金台公園（瀬谷区）の整備を完了し、2020年4月1日に開園しました。利用者が自由に耕作できる区画貸しの分区園や協働農園のほか、広場や遊具などを設置した都市公園として、地域の憩いの場としてご利用いただいています。分区園では、指定管理者による利用者に向けた野菜の育て方指導や、協働農園での収穫体験イベントが開催されています。

農園付公園予定地（4.4ha）においては、用地の取得、設計等を実施しました。引き続き、開園に向けて取り組みます。

利用者の声

- 野菜を育てるのがおもしろい。友人が増えます。
- 管理が行き届いており、スタッフがさんが丁寧に対応してくださっています。
- 土をいじると元気になる！！



【農園付公園】阿久和富士見小金台公園（瀬谷区）
左：分区園 中：指定管理者による栽培相談会 右：収穫体験

13 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

- 横浜ふるさと村や恵みの里等で、苗の植え付けや農産物の収穫などを行う農体験教室、横浜の農を知ってもらおうアグリツーリズムの推進など、市民が農とふれあう機会を提供します。
- 市民農業大学講座や農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座の充実に取り組みます。また、援農コーディネーター等を活用し、市民農業大学講座修了生などによる農家への援農活動を支援します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	横浜ふるさと村、 恵みの里等で 農体験教室などの実施	市民農業大学講座の 開催	農体験講座の開催
2019年度実績	91回	20回	6回
2020年度実績	50回	0回	6回
2021年度実績	86回	20回	5回
3か年累計(a)	227回	40回	17回
5か年目標(b)	450回	100回	30回
進捗率(a/b)	50.4%	40.0%	56.7%
評価	○	○	○

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	8百万円	0百万円
2020年度決算額	14百万円	0百万円
2021年度決算額	19百万円	0百万円
3か年累計(a)	41百万円	0百万円
5か年計画額(b)	61百万円	0百万円
執行率(a/b)	67.2%	0%
評価	◎	—

■ 3か年の評価・検証

- 横浜ふるさと村、恵みの里での米作りやみそ造り等の教室、野菜や果物の収穫体験等の農体験教室などは、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度には開催数が大きく減りましたが、2021年度は感染予防対策を講じたうえで可能な限り開催し、市民が農とふれあう機会が確保されています。
- 市民農業大学講座では、市民の皆様が農作業の基礎を学ぶ機会を提供し、援農や緑化ボランティア等で活躍する人材育成を行いました。
- 農体験講座では、小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験することで、農とふれあう機会を提供しました。収穫に至るまでの様々な農作業を通じて、楽しみながら農業を身近に感じる体験の取組を進めました。

3か年の総合評価

A

■ 3か年の実績詳細

□農体験教室などの実施

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施する農体験教室等のイベントの開催を支援しました。また、2020年4月に緑区北八朔地区を市内5地区目の恵みの里として新たに指定しました。

地区	回数	内容
寺家ふるさと村	17	みそ造り、そば打ち
舞岡ふるさと村	59	梅もぎ取り、じゃがいも掘り、ねぎ狩りほか
田奈恵みの里	34	体験水田、落花生掘り、玉ねぎ掘りほか
都岡地区恵みの里	31	小麦作り、とうもろこし狩り、白菜・大根の収穫ほか
新治恵みの里	62	冬野菜作り、新米体験、里芋掘りほか
柴シーサイド恵みの里	16	みかん狩り、じゃがいも掘り、さつまいも掘りほか
北八朔恵みの里	8	体験水田
計	227	



教室参加者の声

- ・(収穫体験) 横浜でもこういった農体験ができるところがあるのはうれしい。
- ・(野菜作り教室) 子どもが毎回参加するのを楽しみにしていました。



【体験水田・田植え】(緑区)



【うどん作り教室】(青葉区)

□市民農業大学講座の開催

野菜・果樹や花・緑栽培管理の基礎について実習を中心として学び、修了後に農家での農作業のお手伝い（援農）や公園、緑地等でのボランティア活動など、地域で活躍していただく人材育成講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑を中心に開催しました。



【花壇づくり】



【トマトの植え付け】



受講生の声

- ・基礎から丁寧に教えていただきとても良かったです。
- ・机上より実習で学ぶことが多いのに驚いた。
- ・農家の仕事は大変だが、農業が果たす役割の大切さを改めて認識した。
- ・実際の農作業を体験できてよかった。今後はボランティアとして農作業を手伝いたいと思う。

□農体験講座の開催

小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑で開催しました。



【ダイコンの種まき】



【ダイコンの収穫】



参加者の声

- ・収穫した野菜の美味しさで、食べず嫌いが減ったことや、頑張っって食べるようになりました。
- ・種を植えてから、収穫するまでの過程が分かり良かったです。
- ・子どもと自然や農業に触れる機会が持て、親子ともども楽しめました。
- ・食べ物の仕組み、植物の種類や食べ物のことがいろいろ分かって楽しかったです。あと、教えてもらったことをいかにして友達に話したいと思いました。

14 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所や加工所に必要な設備の導入等を支援します。
また、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催等を支援します。
- 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽等に活用し、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出します。
- 情報誌やパンフレットなどの制作・発行やウェブサイトなどの活用、地産地消に関する各区局での取組の支援により、地産地消の取組のPRを推進します。
また、「横浜農場」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションの強化を図ります。

※横浜農場：食や農に関わる多様な人々、農畜産物、農景観など
横浜らしい農業全体を一つの農場に見立てた言葉。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	直売所・青空市等の支援	緑化用苗木の配布	情報発信・PR活動： 情報誌などの発行
2019年度実績	43件	25,727本	6回
2020年度実績	41件	25,000本	6回
2021年度実績	49件	22,505本	6回
3か年累計(a)	133件	73,232本	18回
5か年目標(b)	285件	125,000本	30回
進捗率(a/b)	46.7%	58.6%	60.0%
評価	○	○	◎

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	42百万円	0百万円
2020年度決算額	47百万円	0百万円
2021年度決算額	43百万円	0百万円
3か年累計(a)	132百万円	0百万円
5か年計画額(b)	293百万円	0百万円
執行率(a/b)	45.1%	0%
評価	○	—

■ 3か年の評価・検証

- 直売所・加工所の設置に必要な機械・設備・備品等の導入支援のほか、生産者に直売での効果的な商品の見せ方などのアドバイスを行い、充実した直売所・加工所の運営につなげています。
- 市内の生産者等がマルシェに出店するための支援を行うことにより、市民が身近な場所で市内産農畜産物を購入できる機会を提供しました。また、市内各地の直売団体の青空市等の運営を支援するため、直売に活用できる物品を提供しました。
- 市民協働による緑化や市の主催するイベント等で、市内産の苗木を市民に配布したり、公共施設の緑化に役立てたりすることで、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出しました。
- 横浜の農業や農畜産物をより身近に感じていただくため、生産者・事業者の取組やマルシェ情報等を掲載する情報誌「はまふうどナビ」を発行しました。さらに、地産地消サポート店マップのデジタル化やInstagram等のSNSを用いた情報発信も行うなど、WEB媒体の広報手段を積極的に活用し、広く地産地消のPRを行いました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□直売所・青空市等の支援

●直売所・加工所整備の支援

直売所や加工所の整備支援として、自動販売機やレジ、冷蔵ショーケース、作業台やシンク等の導入に対して支援しました。

また、直売所・加工所を運営している生産者に、ディスプレイの方法やSNSを活用したPR方法などのアドバイスを行い、より良い運営ができるよう支援しました。

区名	件数	区名	件数	区名	件数
神奈川	1	港北	5	戸塚	6
中	1	緑	5	栄	3
南	1	青葉	2	泉	12
旭	4	都筑	4	瀬谷	5



【野菜の自動販売機】（青葉区）

生産者の声

- ・自宅そばに自動販売機を設置したことで、新鮮な農産物をより多くの市民の方に手にとってもらうことができました。
- ・自宅直売所の運営方法についてアドバイスをもらい、実際に看板や直売所のレイアウトなどに反映させたところ、集客を増やすことができました。

●青空市・マルシェ等への支援

市内の生産者等がマルシェに出店するための出店料支援のほか、直売団体に「横浜農場」ののぼり旗やプライスカード等の物品を提供し、青空市等の運営支援を行いました。

区名	件数	青空市等の名称
鶴見	1	JA 横浜鶴見支店駐車場直売所
西	3	みなとみらい農家朝市
中	32	横浜北仲マルシェ、戸塚4Hクラブ協議会よこはま野菜販売
保土ケ谷	9	西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会
旭	3	横浜農協二俣川直売所
磯子	2	杉田野菜直売所
金沢	3	柴シーサイド恵みの里直売所
港北	3	JA 小机農産物直売所
緑	10	長津田支店前野菜直売会、緑区役所直売、北八朔日曜朝市、北八朔農産物直売所
戸塚	12	東戸塚市民朝市、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、舞岡ふるさと村・JA 横浜ハマッ子直売所「舞岡や」、JA 横浜戸塚野菜直売所
泉	3	いずみ野即売会
瀬谷	3	上瀬谷直売所グループ

※マルシェへの出店支援は、1か所に対して複数回行う場合があります。



【みなとみらい農家朝市】（西区）



【横浜北仲マルシェ】（中区）

□緑化用苗木の配布

市内産の苗木を公共施設の緑化や、市民への配布、公園などに市民と協働で植樹することで、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出しました。



苗木を受け取った方の声

- ・横浜でも苗木が生産されていることを初めて知りました。頑張ってます！
- ・団地の緑化のために、使いたいと思います。



【苗木の市民配布】（中区）

□情報発信・PR活動

市民が農を身近に感じるための取組として、3 か年を通して地産地消の情報誌「はまふうどナビ」を年に3回発行しました。また、Instagramに横浜農場アカウントを開設し、農風景や農畜産物の写真など横浜の農の魅力を発信するほか、各地で開催されている農のイベント情報や地産地消の取組などの情報発信を行いました。加えて、Instagramを活用して、市内産農畜産物や加工品などのプレゼントキャンペーンを行い、実際に横浜の農の魅力を味わっていただきました。

年度	回数	PR内容
2019	6	はまふうどナビ(3回/年)、よこはま地産地消サポート店マップ(新横浜エリア)の作成、横浜農場プレゼントキャンペーンの実施、デジタルサイネージを活用した地産地消月間のPR活動
2020	6	はまふうどナビ(3回/年)、横浜農場 Instagram アカウントの運用、マルシェカレンダーの更新、よこはま地産地消サポート店マップデジタル版の公開
2021	6	はまふうどナビ(3回/年)、横浜農場 Instagram アカウントの運用、マルシェカレンダーの更新、地産地消月間(11月)における地産地消キャンペーンの実施

・はまふうどナビ

第51号	横浜のニューウェーブフルーツ特集
第52号	鉄人たちの地産地消
第53号	横浜の大学×地産地消
第54号	はまふうどコンシェルジュのおうちごはん
第55号	農福連携
第56号	横浜のお酒
第57号	小学生の食育
第58号	横浜の直売とマルシェイベントの現在地
第59号	はまふうどコンシェルジュのヒミツ



【はまふうどナビ】左：第58号、右：第59号

・横浜農場公式 Instagram



【横浜農場 Instagram 公式アカウント】



【プレゼントキャンペーン】



・どの野菜も本当においしくて、珍しくて。久しぶりに晩ご飯のメニューを考えるのが楽しくなりました。

15 地産地消を広げる人材の育成

- ・ 講座の開催により、地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成します。また、コンシェルジュの自発的な活動を支援します。
- ・ 直売を行う生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催し、ネットワークづくりを支援することで、「農のプラットフォーム」の充実を図ります。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	はまふうどコンシェルジュの活動支援等	地産地消ネットワーク交流会の開催
2019年度実績	28件	1回
2020年度実績	27件	1回
2021年度実績	32件	1回
3か年累計(a)	87件	3回
5か年目標(b)	150件	5回
進捗率(a/b)	58.0%	60.0%
評価	○	◎

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	2百万円	0百万円
2020年度決算額	1百万円	0百万円
2021年度決算額	2百万円	0百万円
3か年累計(a)	5百万円	0百万円
5か年計画額(b)	25百万円	0百万円
執行率(a/b)	20.0%	0%
評価	△	—

■ 3か年の評価・検証

- はまふうどコンシェルジュの育成は着実に進んでおり、市民向けのマルシェ、農作業体験教室等の活動が活発になっています。コンシェルジュによる自主的な活動の場や機会をさらに充実させるため、引き続き、きめ細やかに育成・支援を進める必要があります。
- ネットワーク交流会については、毎年テーマを変えながら開催することで、生産者、事業者、市民の皆様の情報交換や交流の機会を創出しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえながら一部オンラインで実施するなど、出席する人が参加しやすいよう工夫しました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□はまふうどコンシェルジュの活動支援等

地産地消を広げる人材である、はまふうどコンシェルジュの育成講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年度は中止、2021年度は規模を縮小して開催しました。コンシェルジュが開催するマルシェなどの活動に支援するほか、公共機関で実施する地産地消の講座や、料理教室の講師としてコンシェルジュを派遣するなどの支援も行っています。

3か年で奨励事業85件・講師派遣制度2件の計87件の活動支援を行いました。

奨励事業（件）		講師派遣制度（件）	
マルシェの開催	63	教育機関における味覚の授業	1
農作業体験教室の開催（単日）	11	公共機関における料理教室	1
農作業体験教室の開催（期間）	11		

※はまふうどコンシェルジュ：横浜の「食」と「農」をつなぎ地産地消を広めるための活動を行い、市が主催する講座を修了された方をはまふうどコンシェルジュとして認定しています。

・はまふうどコンシェルジュ育成講座

2019 年度	第1回	横浜の「農」と地産地消（市の農業の概要と地産地消の取組についての講義）
	第2回	横浜の「農」を味わう（中央卸売市場の見学と横浜野菜を使った調理実習等）
	第3回	横浜の「農」を体験する（生産者と一緒に収穫や直売の体験）
	第4回	横浜の「農」を巡る（市内の生産現場を見学するバスツアー）
	第5回	これからの地産地消（今後の活動などを考えるワークショップを実施）
2021 年度	第1回	横浜の「農」と地産地消（市の農業の概要と地産地消の取組についての講義）
	第2回	横浜の「農」を体験する（生産者と一緒に収穫や直売の体験）
	第3回	横浜の「農」を巡る（市内の生産現場を見学するバスツアー）
	第4回	これからの地産地消（中央卸売市場の見学と今後の活動を考えるワークショップ）



【コンシェルジュの活動支援】
マルシェ開催（金沢区）



【はまふうどコンシェルジュ育成講座】



**はまふうどコンシェルジュ
講座参加者の声**

- 座学だけでなく、農家体験や直売所・農地の見学もできて、内容が濃かったです。
- 講座受講が終わりではなく、スタートとして地産地消に取り組んでいきたい。

□地産地消ネットワーク交流会の開催

地産地消に取り組む市民・企業等の交流や情報交換等を行うフォーラムを、市民・企業と連携して開催しました。

年度	内容
2019	<ul style="list-style-type: none"> • 基調講演 「なぜ、地産地消？ ～地産地消の効果について～」 • 「情報で横浜の地産地消をつなぐ」 • 地産地消の取組紹介 • パネルディスカッション • 市内農家による横浜野菜直売
2020	<ul style="list-style-type: none"> • 事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> • 工夫あふれるよこはま地産地消サポート店の取組 • 農業の新規参入による活気ある取組 • グループワーク
2021	<ul style="list-style-type: none"> • 地産地消を取り入れた地域活性の事例紹介 • パネルディスカッション



【食と農のフォーラムのチラシ】



フォーラム参加者の声

- 地産地消の取組事例が聞けるのはとても参考になる。
- グループワークを通して他業種の方の考えや意見を聴くことができ、刺激になった。
- 新たなつながりから地産地消の取組の幅が広がりそう。



【食と農のフォーラム】

16 市民や企業等との連携

- 地産地消を広げるため、生産者と企業等とのマッチングなどにより、連携を推進します。
- 地産地消に貢献する新たなビジネスに取り組む意欲のある市民や市内中小企業等を対象に、ビジネスプランを策定するための講座を開催し、選定されたプランを支援します。
- 小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業などと連携し、学校給食での市内産農産物の一斉供給や、小学生を対象とした料理コンクールを開催します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	市民や企業等との連携	地産地消ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の一斉供給	料理コンクールの開催
2019年度実績	13件	1件	327校	1回
2020年度実績	15件	3件	316校	1回
2021年度実績	13件	5件	311校	1回
3か年累計(a)	41件	8件	954校	3回
5か年目標(b)	50件	16件	推進	5回
進捗率(a/b)	82.0%	50.0%	—	60.0%
評価	◎	○	—	◎

※地産地消ビジネス創出支援は、1年目は育成講座、2年目から事業支援の実施となります。

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	5百万円	0百万円
2020年度決算額	4百万円	0百万円
2021年度決算額	6百万円	0百万円
3か年累計(a)	15百万円	0百万円
5か年計画額(b)	42百万円	0百万円
執行率(a/b)	35.7%	0%
評価	△	—

■ 3か年の評価・検証

- 地産地消に関心のある企業との連携により、横浜農場のPRを効果的に実施することができました。市内産農畜産物やそれらを使用した加工品を販売するマルシェの開催、ホテルや飲食店における市内産農畜産物を使用したメニューの提供など市民が横浜の農を味わう機会を創出しました。
- 地産地消ビジネスの創出支援により、市内産農畜産物を使用した新たな加工品やサービスが生まれるなど、様々な取組が広がっています。
- 小学校給食での市内産農産物（ダイコン、キャベツなど）の一斉供給を行うとともに、小学生が市内産農産物を使用した学校給食のメニューを提案する「はま菜ちゃん料理コンクール」の取組でも年々参加者が増加し、子どもたちに地産地消の重要性が浸透しています。

3か年の総合評価

A

■ 3か年の実績詳細

□ 市民や企業等との連携

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRを図りました。

年度	連携実績
2019 (13件)	JR東日本との連携によるマルシェの開催
	春の里山ガーデンフェスタでのJA横浜による市内産農畜産物の販売
	ガーデンネックレス横浜 2019「ローズ&ガーデンマーケット」での地産地消サポート店による市内産農産物を使ったお弁当の販売
	横浜ガストロノミ協議会との連携によるアペリティフ in 横浜 2019の開催
	かながわ食育フォーラムでのパネル展示、クイズ等による横浜農場のPR
	秋の里山ガーデンフェスタでの地産地消サポート店によるキッチンカー出店やJA横浜による市内産農産物の販売
	東京ガス、横浜ガストロノミ協議会との連携による「生産者と飲食店の交流会」開催
	横浜国立大学との協力による朝市やマルシェでのアンケート調査の実施
	市内のレストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催
	横浜ワールドポーターズ及び西武東戸塚店との連携による花き展覧会のPR
	北仲マルシェとの連携による「食と農の祭典」の開催
	株式会社横浜赤レンガへの協力による「Yokohama Strawberry Festival 2020」での市内産イチゴの販売・PR
	イオンリテール株式会社、JA横浜との連携による「イオンスタイル戸塚」への市内生産者野菜コーナーの設置

年度	連携実績
2020 (15件)	JA 横浜との連携による市庁舎直売の開催
	JA横浜及び株式会社ベネフィット・ワンとの連携によるハマッ子直売所等におけるグルメクーポンの利用開始
	横浜国立大学との連携による地産地消の見える化に向けた調査の実施
	横浜ハンマーヘッドへの協力によるマルシェへの「横浜農場ブース」出展
	秋の里山ガーデンフェスタにおけるキッチンカー（地産地消サポート店）の出店
	北仲マルシェにおける「横浜農場ブース」の展開
	西武東戸塚店との連携による市内産シクラメンの展示
	株式会社東北新社との連携による食と農の祭典における「ひつじのショー」の活用
	セカンドリーグ神奈川との連携によるひとり親世帯等への市内産野菜の提供
	市庁舎北プラザにおける地産地消サポート店のキッチンカー出店
	横浜銀行及び株式会社ルミネとの連携によるニューマン横浜における地産地消フェアの開催
	cubic 株式会社への情報提供による情報誌「mirea」での地産地消情報の発信
	CDA 合同会社との連携による市庁舎北プラザにおける市内産農畜産物を使用したキッチンカーの出店
	JA 横浜青壮年部との連携した横浜市役所アトリウムでの市内産農産物の直売実施
	スターツ出版株式会社及びJA横浜との連携によるランドマークプラザにおける「地産地消を食べて応援。春の横浜ベジフルフェア」の開催
2021 (13件)	北仲マルシェ・いそご丘の上マルシェへの協力による「横浜農場ブース」の展開
	JA 横浜との連携による市庁舎直売の開催
	株式会社グリーンピースとの連携による市庁舎内「TSUBAKI 食堂」における18区丼の実施
	株式会社ルミネへの協力による「LUMINE AGRI MARCHE」の開催
	横浜 FC との連携による横浜 FC ホームゲームにおける地産地消イベントの実施
	株式会社相鉄ビルマネジメントへの協力による「相鉄いずみ野線旅するマルシェ」での横浜農場ブースの展開
	横浜ベイサイドマリーナマルシェ運営事務局への協力による「横浜ベイサイドマリーナマルシェ」での「横浜農場ブース」の展開
	一般社団法人横浜みなとみらい21及びJA横浜と連携した、クイーンズスクエアにおける「横浜花き品評会」の開催
	株式会社良品計画との連携による無印良品港南台パース店における市内産農畜産物のPR
	CDA 合同会社との連携による市内産農畜産物を使ったメニューを提供するキッチンカーの市庁舎北プラザ出店
	ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル内のプッフェ・ダイニング「オーシャンテラス」において開催された「ヨコハマ・マルシェ」での横浜農場ノベルティの配布
	横浜商工会議所への協力による「農商工連携セミナー」の開催
	株式会社三越伊勢丹への協力による「フード&タイムイセタン大船 地域連携マルシェ」への「横浜農場ブース」の展開



【JA 横浜と連携した市庁舎直売】（中区）



【横浜 FC ホームゲームにおける地産地消イベント】（神奈川区）



市庁舎直売利用者の声

- 横浜産の野菜や卵を買う場所が近隣になかったので、とても嬉しい。
- 横浜に農業のイメージはなかったが、買ってみたら新鮮でおいしかった。

□地産地消ビジネス創出支援

市内産農畜産物を用いた新たな商品やサービスの開発などのビジネスプランを持っている方を対象に、プランの充実を図るための育成講座を実施しました。開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンラインを活用するなど、感染症対策に留意しました。

また、育成講座後に支援の対象となるプランを選定し、金沢区の農水産物を使用した調味料の商品化や、市内産のこんにゃく芋を使用した加工品の製造・販売等に対して、事業開始にかかる初期費用の補助や経営に関する相談対応を行いました。

- 育成講座

年度	講座内容	
2019	第1回	事業計画の作成を見据えた基本コンセプト作り
	第2回	事業計画の作成（収支計画・資金計画）
	第3回	事業計画のブラッシュアップ
	第4回	先輩企業家の事例紹介
	第5回	収益力向上とプレゼンテーション講座
	第6回	ビジネスプラン発表会
2020	第1回	事業計画の作成を見据えた基本コンセプト作り（オンライン）
	第2回	事業計画の作成（収支計画）（オンライン）
	第3回	事業計画のブラッシュアップ（オンライン）
	第4回	地産地消ビジネス先行事例の紹介（オンライン）
	第5回	収益力向上とプレゼンテーション講座（オンライン）
	第6回	ビジネスプラン発表会
2021	第1回	事業計画の作成を見据えた基本コンセプト作り（オンライン）
	第2回	事業計画の作成（収支計画）（オンライン）
	第3回	地産地消ビジネス先行事例の紹介（オンライン併用）
	第4回	収益力向上とプレゼンテーション講座（オンライン）
	第5回	ビジネスプラン発表会（オンライン併用）



【育成講座の様子】（西区）



【地産地消ビジネス創出支援事業で支援した商品】
左：商品名「ベジピュレ」、右：商品名「KOMBAT」



育成講座参加者の声

- ・事業計画の目線、確度を上げるのに大変役立ちました。横のつながりという点でも充実のプログラムでした。
- ・短期間でビジネスプランを何度もゼロベースで見直し、発表や相談によってシミュレーションの精度を上げ、人脈も新たに作れたことが何よりです。

□学校給食での市内産農産物の一斉供給利用促進

横浜市教育委員会、（公財）よこはま学校食育財団、JA 横浜及び市内の生産者等と連携し、市内の小学校・特別支援学校に、給食で使用するダイコンやキャベツを届け、子ども達に提供しました。

□料理コンクールの開催（はま菜ちゃん料理コンクール）

市内の小学生を対象に、市内産農産物を使用した学校給食のメニューを募集する「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。横浜市教育委員会、（公財）よこはま学校食育財団、JA 横浜の協力のもと、応募作品の書類審査を行い、各年6作品ずつ選出しました。2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、入選作品の考案者を集めて実際に調理・試食を行う本選は中止しましたが、レシピ集やレシピ動画を作成し、ホームページに掲載しました。



【選出作品レシピ集】



はま菜ちゃん料理コンクール参加者の声

- ・自分の考えたレシピが自分の学校でメニューとして出してもらえて、とても嬉しかった。
- ・アレルギーなどがある人でも食べられるよう、メニューを考えるのが難しかった。
- ・応募したことで関心が高まったのか、積極的に料理に参加するようになった。（保護者）



【料理コンクール本選】

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

- 各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。また、充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持管理します。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	緑の創出	緑の維持管理
2019年度実績	4か所	63か所
2020年度実績	12か所	50か所
2021年度実績	5か所	47か所
3か年累計(a)	21か所	160か所
5か年目標(b)	36か所	推進
進捗率(a/b)	58.3%	—
評価	○	—

□ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	80百万円	0百万円
2020年度決算額	91百万円	0百万円
2021年度決算額	86百万円	0百万円
3か年累計(a)	257百万円	0百万円
5か年計画額(b)	690百万円	0百万円
執行率(a/b)	37.2%	0%
評価	△	—

■ 3か年の評価・検証

- 多くの市民が利用する各区の公共施設や公有地で緑化整備を行いました。
- 各施設では、花壇整備、屋上や壁面での緑化など、多様な緑化を進めました。
- 今後も、多くの市民が利用する公共施設を率先して緑化することで、市民が実感できる緑を創出するとともに、創出した緑を良好に維持管理することが必要です。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ 緑の創出

港北区庁舎、ハンマーヘッドパーク、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター、センター北広場など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。

区名	施設名	か所数
中	ハンマーヘッドパーク（2019年度、2020年度）	2
港南	港南台北公園こどもログハウス	1
保土ケ谷	西谷地区センター	1
旭	旭台中央公園、帷子川親水護岸、ふるさと尾根道緑道（2020年度、2021年度）	4
磯子	洋光台西公園、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	2
金沢	富岡緑地（2020年度、2021年度）	2
港北	菊名コミュニティハウス、港北区庁舎	2
青葉	市ケ尾第三公園、松風台第三公園	2
都筑	センター北広場、東山田地域ケアプラザ、東山田中学校コミュニティハウス	3
泉	泉区民文化センター、下和泉地区センター	2



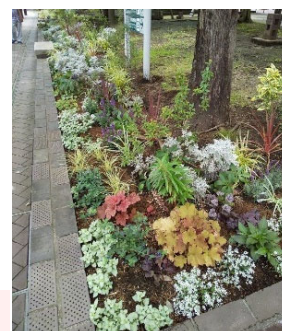
港北区庁舎（屋上）（港北区）



下和泉地区センター（泉区）

□ 緑の維持管理

創出した緑を良好に維持するために、各施設において適切な維持管理が行われました。



センター南広場（都筑区）

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

- ・ 老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、空いている植栽柵への補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。
- ・ 駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	並木の再生	空き樹の補植	良好な維持管理
2019年度実績	8路線	高木0本 低木 889本	18,428本
2020年度実績	6路線	高木180本 低木 1,080本	17,710本
2021年度実績	4路線	高木29本 低木 788本	16,993本
3か年累計(a)	9路線	高木209本 低木 2,757本	53,131本
5か年目標(b)	10路線	推進	18区で推進
進捗率(a/b)	90%	—	—
評価	◎	—	—

※並木の再生の累計は、2021年度末時点で整備完了または整備中の路線数です。

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	477百万円	477百万円
2020年度決算額	502百万円	502百万円
2021年度決算額	458百万円	458百万円
3か年累計(a)	1,437百万円	1,437百万円
5か年計画額(b)	2,910百万円	2,910百万円
執行率(a/b)	49.4%	49.4%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

- 地域に愛されている桜並木などの街路樹を再生しました。
- 空いている植栽柵に補植することで、良好な景観づくりを進めました。
- 市民が目にする機会が多い街路樹を計画的にせん定することで、良好な街並みを形成しました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ 並木の再生

本牧通り、本牧桜道、港南桜道などの地域で愛されている桜並木などを再生しました。

路線名	区名	状況
本牧通り	中	完了
本牧桜道	中	完了
谷戸坂	中	完了
大岡川プロムナード	南	整備中
港南桜道	港南	完了
月見台	保土ケ谷	完了
環状4号線	緑	整備中
あざみ野中学校通り	青葉	整備中
たまプラーザ駅周辺	青葉	完了



たまプラーザ駅周辺／サクラ（ソメイヨシノ）
（青葉区）

□ 空き樹の補植

枯損等で空いていた植栽柵に高木、低木を補植しました。



あざみ野桜通り（黒須田第307号線）（青葉区）

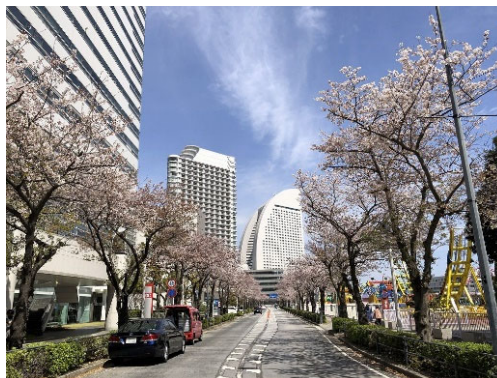
□良好な維持管理

街路樹を良好に育成するために、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、街路樹剪定士の指導のもと、計画的なせん定をしています。

全ての区の街路樹で毎年事業を実施したことで、街路樹の健全な育成が進み、良好な景観を創出しました。



磯子産業道路／イチヨウ（磯子区）



さくら通り／サクラ（西区）



- 街路樹の枝が広がったことで、道路上に日陰ができ、夏の暑さがやわらぎました。

19 シンボリックな緑の創出・育成

- 多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。
また、花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。
- 多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	公有地化によるシンボリックな 緑の創出・管理	公開性のある緑空間の創出支援
2019年度実績	緑の創出：1か所 整備完了 1か所 整備中 緑の管理：2か所	1か所
2020年度実績	緑の創出：1か所 整備中 緑の管理：2か所	2か所
2021年度実績	緑の創出：1か所 整備中 緑の管理：2か所	1か所
3か年累計(a)	緑の創出：1か所 整備完了 1か所 整備中 緑の管理：6か所	4か所
5か年目標(b)	推進	推進
進捗率(a/b)	—	—
評価	—	—

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	559百万円	185百万円
2020年度決算額	91百万円	25百万円
2021年度決算額	97百万円	19百万円
3か年累計(a)	747百万円	229百万円
5か年計画額(b)	1,789百万円	497百万円
執行率(a/b)	41.8%	46.1%
評価	○	○

■3か年の評価・検証

- 公有地化によるシンボリックな緑の創出では、2019年度に六角橋四丁目公園を整備し公開しました。また、新たに整備中の箇所（中区山手町）において、発掘された文化財の調査などを実施しました。
- これまで本事業で整備した箇所では、地域のシンボリックな緑となる公園として、質の高い維持管理を進めています。
- 緑の少ない市街地における新たな用地の確保が難しい中、引き続き、多くの市民の目にふれる場所で地域からのニーズも高い緑化のための用地を機会を捉えて確保していくことが必要です。
- 多くの市民の目に触れる場所で制度がさらに活用され、まちなかの緑の創出が実感できる取組のモデルとなるよう、効果的に広報を行い、市民・事業者の相談・利用につなげていく工夫が必要です。
- 公開性のある緑空間の創出支援事業については、より多くの市民に活用していただけるよう、事業の周知をさらに進める必要があります。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ 公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

廃止された国家公務員宿舎の跡地について市が用地を取得し、2020年4月1日に六角橋四丁目公園が開園しました。また、これまでに本事業で整備し開園した下野谷町三丁目公園（鶴見区）、伊勢町もくせい公園（西区）において、緑豊かな空間を維持するために、草刈り等の頻度を上げた維持管理を毎年行い、多くの市民の目にふれる場所での貴重な緑の育成に貢献しました。



【シンボリックな緑の創出】
六角橋四丁目公園（神奈川区）



【シンボリックな緑の管理】
下野谷町三丁目公園（鶴見区）

地域住民の声

- ・六角橋四丁目公園が開園してから子どもも多く利用し、賑わっています。

□ 公開性のある緑空間の創出支援

多くの人を訪れる公開性のある民有地において、地面や屋上、壁面などに法令等で定める基準以上の緑化を行う市民、事業者に対し、その費用の一部を助成し緑化にかかる経費負担を軽減しました。3か年で、鶴見区、西区、港南区（2件）で支援を実施し、緑化創出面積は、699.24 m²となりました。

事業者の声

- ・助成を受けることで、質の高い緑化を行えました。



港南ゴルフセンター（港南区）

20 建築物緑化保全契約の締結

- ・ 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	建築物緑化保全契約の締結
2019年度実績	35件(22.0ha)
2020年度実績	15件(66.1ha)
2021年度実績	2件(8.2ha)
3か年累計(a)	52件(96.3ha)
5か年目標(b)	制度運用
進捗率(a/b)	—
評価	—

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	2百万円	0百万円
2020年度決算額	1百万円	0百万円
2021年度決算額	1百万円	0百万円
3か年累計(a)	4百万円	0百万円
5か年計画額(b)	5百万円	0百万円
執行率(a/b)	80.0%	0%
評価	◎	—

■ 3か年の評価・検証

- この制度の活用により、市民や企業が主体となった緑地保全が進み、地域の緑の保全につながっています。
- 制度を周知するため、区役所や財政局の協力を得ながら、固定資産税納税通知書発送時の案内チラシの同封や、「税の知識」等へ案内記事を掲載するなど積極的に周知に取り組みました。
- 制度開始当初（2009、2010年度）の契約が全契約件数に対する高い割合を占めていたことから、それらが契約満了を迎える2019年度から契約者に再契約のご案内をしたことで、再度多くの契約を締結することができました。

3か年の総合評価

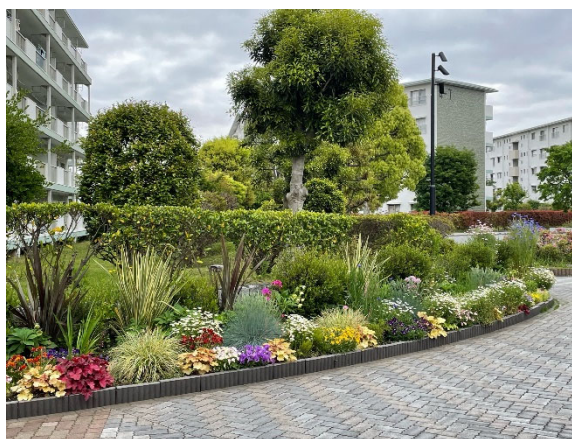
B

■ 3か年の実績詳細

□建築物緑化保全契約の締結

3か年で、集合住宅15件、個人宅34件、事業所3件について保全契約を締結し、約96.3haの緑地が10年間保全されることになりました。

区名	件数
鶴見	5
神奈川	3
中	2
南	2
港南	4
旭	5
磯子	4
金沢	2
港北	2
緑	3
青葉	3
戸塚	6
泉	5
瀬谷	6



【建築物緑化保全契約を締結した緑地】（磯子区）



活用(希望)者の声

- ・緑地の保全に取り組むインセンティブを生む良い制度であり、横浜市の緑化推進に貢献したい。

21 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を、保存すべき樹木として指定します。
また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	名木古木の保存	
2019年度実績	新規指定：27本	維持管理の助成：40本
2020年度実績	新規指定：28本	維持管理の助成：72本
2021年度実績	新規指定：11本	維持管理の助成：82本
3か年累計(a)	新規指定：66本	維持管理の助成：194本
5か年目標(b)	推進	
進捗率(a/b)	—	
評価	—	

※維持管理の助成の実績数値については、過年度の報告書から修正しました。

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	14百万円	10百万円
2020年度決算額	17百万円	14百万円
2021年度決算額	18百万円	16百万円
3か年累計(a)	49百万円	40百万円
5か年計画額(b)	88百万円	74百万円
執行率(a/b)	55.7%	54.1%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

- 制度の周知が図られ、3か年で新たに66本を名木古木に指定したほか、維持管理等にかかる助成金は194本に対して行うなど、高い実績となりました。
- 指定された名木古木には、定期調査として、樹木の専門家である樹木医が育成状況を確認するとともに、維持管理について適切な助言をするなど、所有者に対する支援を行いました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ 名木古木の保存

名木古木の指定のご希望がある樹木所有者から指定申請をいただき、書類審査や樹木医による調査を経て、基準に該当する樹木が名木古木に指定されました。指定には、単指定（1本）と群指定（複数本）があります。

名木古木の枯損防止や病害虫の駆除、良好な育成の管理に助成金をご活用いただきました。

3か年で新たに66本を名木古木に指定したほか、194本に対して維持管理等にかかる助成を行い、名木古木の保存に役立ちました。

区名	新規指定（本）	維持管理に対する助成（本）
鶴見	6	12
神奈川	3	6
西	1	—
中	4	36
南	—	5
港南	7	5
保土ヶ谷	—	9
旭	9	17
磯子	13	9
金沢	3	16
港北	—	15
緑	2	8
青葉	—	2
都筑	10	20
戸塚	8	22
栄	—	2
泉	—	7
瀬谷	—	3
計	66	194



【名木古木指定樹木】イロハモミジ
(都筑区)



名木古木所有者の声

- ・大きくて立派な木だが維持費が高額で困っていた。助成金があればこれからも維持できるのでうれしい。
- ・古木の維持管理にはお金がかかる。維持の断念も考えるが、助成金があるので継続できている。

22 地域緑のまちづくり

- 「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりに協働で取り組みます。
ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みを継続しながら、地域での緑化整備や維持管理活動を支援します。
また、2018年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して支援を行います。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	地域緑のまちづくり
2019年度実績	4地区
2020年度実績	4地区
2021年度実績	7地区
3か年累計(a)	15地区
5か年目標(b)	30地区
進捗率(a/b)	50.0%
評価	○

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	54百万円	54百万円
2020年度決算額	40百万円	40百万円
2021年度決算額	53百万円	53百万円
3か年累計(a)	147百万円	147百万円
5か年計画額(b)	446百万円	446百万円
執行率(a/b)	33.0%	33.0%
評価	△	△

■ 3か年の評価・検証

○地域の緑化計画に基づく緑化活動により、住宅地から商業・工業地域まで、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動も盛んになりました。

○市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように、団体同士の交流会などの支援の取組を、今後も継続する必要があります。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□地域緑のまちづくり事業

新たに 15 地区と協定を締結しました。

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、緑化やまちづくりの専門家による提案計画づくりの支援を行い、3 か年で 15 地区の団体と新たに協定を締結しました。

商業・住居系の地区では、少ないスペースを活用して、多くの方が目にする店先や沿道にプランターなどを用いて緑化することで、地区の緑化が進みました。

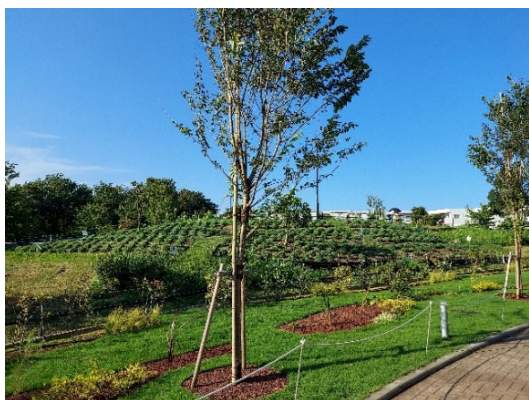
各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。

・新規地区 15 地区

協定締結年度	地区名	区名
2019	磯子3丁目地区	磯子
	綱島西地区	港北
	六浦台地区	金沢
	若葉台もみじ自治会周辺地区	旭
2020	すすき野三丁目地区	青葉
	日吉地区	港北
	緑園都市地区	泉
	元町河岸通り地区	中
2021	白根二丁目地区	旭
	深谷町東山地区	戸塚
	野庭団地地区	港南
	青葉台地区	青葉
	中川西地区	都筑
	お三の宮通り周辺地区	南
	関内桜通り地区	中

・前計画からの継続地区

地区名	区名	協定締結年度
中之丸地区	港南	2017
日野団地地区	港南	2017
武蔵中山台地区	緑	2017
前田町桜の丘地区	戸塚	2017
霧が丘六丁目地区	緑	2017
汐見台2丁目地区	磯子	2017
磯子・岡村地区	磯子	2017
山下公園通り地区	中	2018
洋光台五街区周辺地区	磯子	2018
上菅田地区	保土ヶ谷	2018
新横浜二丁目地区	港北	2018
大倉山地区	港北	2018



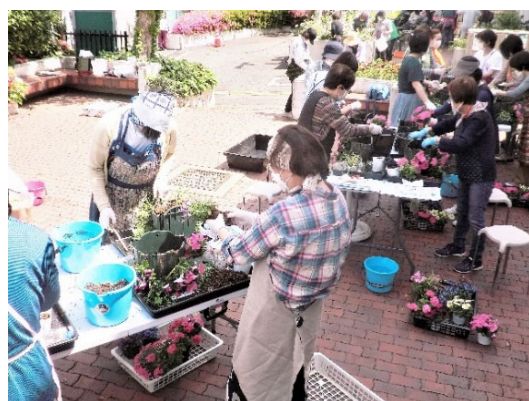
磯子3丁目地区（磯子区）



日吉地区（港北区）



六浦台地区（金沢区）



綱島西地区（港北区）

 **活動団体の声**

- ・花壇やプランターの植物の維持管理をすることで、地域のコミュニティが活性化されました。
- ・緑化を通じて、ポイ捨てや放置自転車等の地域の課題が解決されました。

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

- ・ 緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	緑や花を身近に感じる 各区の取組	地域の花いっぱいにつながる 取組
2019年度実績	18区で推進	推進
2020年度実績	18区で推進	推進
2021年度実績	18区で推進	推進
3か年累計(a)	18区で推進	推進
5か年目標(b)	18区で推進	推進
進捗率(a/b)	—	—
評価	—	—

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	39百万円	0百万円
2020年度決算額	46百万円	0百万円
2021年度決算額	51百万円	0百万円
3か年累計(a)	136百万円	0百万円
5か年計画額(b)	209百万円	0百万円
執行率(a/b)	65.1%	0%
評価	◎	—

■ 3か年の評価・検証

- オープンガーデン等の緑や花に関するイベントの開催、駅前での花壇整備や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や、それを担う人材育成等を推進しました。
- 新型コロナウイルス感染症対策をしながら緑や花に親しむ取組を企画したり、イベントの実施に代わり動画配信を実施するなど、工夫して緑と花の取組を実施しました。
- 令和4年度には、鶴見区、青葉区においても新たにオープンガーデンの実施を予定しており、市民・企業・団体などの皆様との連携をさらに拡大・強化していきます。
- 緑や花への関心や市民参加の広がりを全市的に展開することで、2027年国際園芸博覧会に向けた緑や花による機運醸成につながっています。
- 公園愛護会を対象とした花壇講習会を実施し、球根・花苗等を公園愛護会に毎年配布しました。各区の公園花壇に植えていただき、地域の花いっぱいにつなげました。

3か年の総合評価	A
----------	---

■ 3か年の実績詳細

□ 緑や花を身近に感じる各区の取組

オープンガーデンなどの緑や花に関するイベントの開催、駅前での花壇整備や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組を推進しました。

区名	実施内容
鶴見	・ JR 鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー（2019～2021 年度）
神奈川	・ 反町公園等における花壇整備 ・ 東横フラワー緑道における花壇整備
西	・ 回遊性向上を目的としたガーデンベアフォトスポット及びハンギングバスケット設置 ・ バラ育成講座の開催
中	・ 市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜」PR事業 ・ 「ガーデンネックレス横浜」に関連したウォーキングツアー実施
南	・ 公園愛護会活動周知看板の設置、花苗の支援 ・ 区内公園での桜の更新
港南	・ 地域住民とのひまわり栽培 ・ 区内公園における花壇整備
保土ヶ谷	・ 星川中央公園での「ほどがや花フェスタ」の実施 ・ 区庁舎における花時計設置

区名	実施内容
旭	<ul style="list-style-type: none"> 区民利用施設における花壇整備 区内公園の花壇整備及び花苗支援
磯子	<ul style="list-style-type: none"> はまぎんこども宇宙科学館でのガーデンベア立体花壇の設置 区の花 PR を目的とした区内の公園愛護会および指定管理者への種配布
金沢	<ul style="list-style-type: none"> 区内公園における区の花「ボタン」の植栽 谷津坂第一公園におけるプロデのガーデナーによる維持管理講習会の実施
港北	<ul style="list-style-type: none"> オープンガーデンの開催支援 大倉山観梅会の実施
緑	<ul style="list-style-type: none"> 区内公園愛護会への花苗支援 寄せ植え講座の実施
青葉	<ul style="list-style-type: none"> 地元 NPO と連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラムの実施（2019～2021 年度）
都筑	<ul style="list-style-type: none"> センター南すきっぷ広場、センター北駅前広場の花壇整備 江川せせらぎ緑道における花壇の植栽
戸塚	<ul style="list-style-type: none"> 阿久和川周辺における土壌整備、シバザクラ植栽 区内鉄道駅における花植えや植栽の維持管理
栄	<ul style="list-style-type: none"> オープンガーデンの開催支援 いたち川の桜ライトアップ
泉	<ul style="list-style-type: none"> 区内各駅における植栽設置 区民利用施設における花壇整備
瀬谷	<ul style="list-style-type: none"> オープンガーデンの実施 旧上瀬谷通信施設でのイベント実施

※各区の 2019～2021 年度の取組を 2 例ずつ記載しています。



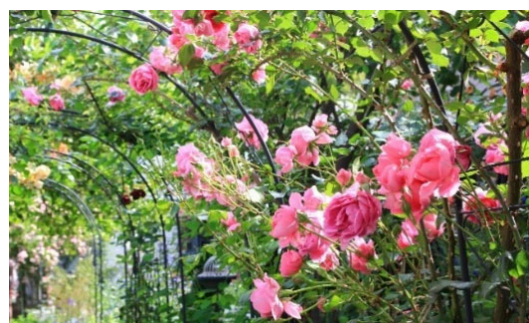
【JR 鶴見線で巡る緑のスタンプラリー】
(鶴見区)



【区庁舎における花時計設置】(保土ケ谷区)



【バラ育成講座の開催】(西区)



【オープンガーデンの実施】(瀬谷区)

 **参加者の声**

- ・参加させていただき有意義な時間となりました。まだまだ発展途上にありますが、皆さまの先進事例を学ばせていただき、より良い愛護会活動を楽しんでいきたいと思えます。
- ・実際に活動して、実績を積み上げている方々のお話はとても興味のあるもので、今後の活動の活力になりました。
- ・毎年参加し、花を通じてお話しできる方々が増えてきました。

□地域の花いっぱいにつながる取組

公園愛護会を対象に山下公園や各区での花壇講習会などの開催、花苗の配布などを実施しました。

年度	実施内容
2019	山下公園で公園愛護会を対象とした市民連携花壇講座の実施（4月、5月、10月）
	各区公園愛護会とともに花いっぱい推進の実施（4公園）
	各区の公園愛護会への花苗の配布（224公園 約18,000鉢）
	各区の公園愛護会への花の種（マリーゴールド、ひまわり、百日草）の配布
2020	山下公園で公園愛護会を対象とした市民連携花壇講座の実施（7月）
	公園愛護会を対象とした「球根ミックス花壇の作り方」動画作成（12月）
	各区の公園愛護会への球根の配布（957公園 107,000球）
	各区の公園愛護会への多年草の配布（243公園 4,000鉢）
	各区の公園愛護会への花の種（マリーゴールド、百日草、ミニヒマワリ等）の配布
2021	山下公園で公園愛護会を対象とした市民連携花壇講座の実施（11月）
	各区の公園で花壇づくり講習会の実施（7月栄区・鶴見区、11月港北区）
	各区の公園愛護会への球根の配布（1,148公園 256,000球）
	各区の公園愛護会への多年草の配布（387公園 9,500鉢）
	各区の公園愛護会への堆肥の配布（12,000kg）



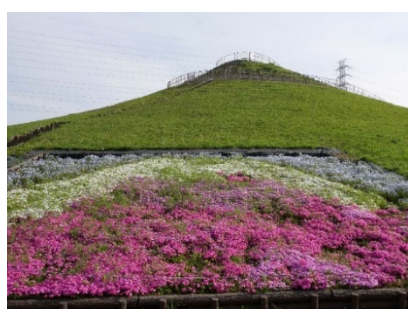
【市民連携花壇講座】山下公園（中区） 左：講義 中：球根の植付け講習 右：開花の観察と手入れ講習



【各区の公園での花壇づくり講習会】
左：中町公園（鶴見区） 右：いの山南公園（栄区）



【球根の配布】 左：久保町公園（西区） 中：大川公園（金沢区） 右：大倉山公園（港北区）



【花苗の配布】 左：本郷台駅前公園（栄区） 中：川和富士公園（都筑区） 右：和泉土橋公園（泉区）



公園愛護会の声

- 公園の花壇側が人通りの多い道路で、通学路にもなっており、花壇の手入れをしているときに、道行く人から声をかけられ励みになりました。地域の方々にも大変喜ばれました。
- 球根や花苗を配布していただき、公園で花壇づくりを行うきっかけになりました。今年も花植えに参加したいと思います。
- コロナで気持ちも沈みがちでしたが、花壇の管理作業をすることが、とても心を癒してくれ、毎日の楽しみになりました。
- 3~4 日ごとに花壇の景色が変わり、朝・昼・夕方でも変化するのが楽しみでした。色の移り変わりを写真に撮って記録しました。

24 人生記念樹の配布

- 多くの市民の皆様に緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、希望した市民に、苗木を無料で配布します。

■ 3か年の実績

□進捗状況

	人生記念樹の配布
2019年度実績	6,403本
2020年度実績	6,284本
2021年度実績	7,423本
3か年累計(a)	20,110本
5か年目標(b)	40,000本
進捗率(a/b)	50.3%
評価	○

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	6百万円	2百万円
2020年度決算額	8百万円	3百万円
2021年度決算額	9百万円	3百万円
3か年累計(a)	24百万円	8百万円
5か年計画額(b)	58百万円	15百万円
執行率(a/b)	41.4%	53.3%
評価	○	○

■ 3か年の評価・検証

- 横浜市内産苗木を活用することで、みどりアップ計画の一環である地産地消にも取り組みました。
- 問合せの多い内容等について、ホームページに随時反映するなど利用しやすい制度となるよう改善に取り組みました。
- 教育委員会の協力を得て、小学校入学説明会での周知を行いました。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ 人生記念樹の配布

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に、希望した苗木を無料で配布しました。

区名	配布本数	区名	配布本数	区名	配布本数
鶴見	1,017	保土ケ谷	898	青葉	2,670
神奈川	913	旭	1,450	都筑	1,500
西	502	磯子	989	戸塚	1,756
中	546	金沢	1,349	栄	640
南	614	港北	1,524	泉	752
港南	1,173	緑	978	瀬谷	839
				計	20,110



【人生記念樹配布】（南区）



【人生記念樹配布】（戸塚区）

利用者の声

- ・もらった木の開花を毎年楽しみにしています。木の成長とともに記念を思い出します。
- ・果物のように食べられるものや、低木・花のようにマンションでも育てられるものを追加してほしいです。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

- 子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。
また、創出した緑を良好に維持するとともに、芝生やビオトープに関する技術支援を行います。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	緑の創出	緑の維持管理
2019年度実績	43か所	115か所
2020年度実績	41か所	120か所
2021年度実績	47か所	102か所
3か年累計(a)	131か所	337か所
5か年目標(b)	100か所	推進
進捗率(a/b)	131.0%	—
評価	◎	—

□ 事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	62百万円	7百万円
2020年度決算額	59百万円	3百万円
2021年度決算額	48百万円	6百万円
3か年累計(a)	170百万円	16百万円
5か年計画額(b)	414百万円	67百万円
執行率(a/b)	41.1%	23.9%
評価	○	△

■ 3か年の評価・検証

- 保育園、幼稚園、小中学校において、PRにより制度の周知が進んだことから、3か年で5か年目標値を達成し、多様な緑を創出しました。
- 子どもたちが日常的に利用している芝生やビオトープを、常に良好な状態で維持していくためには、施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援が必要です。

3か年の総合評価

A

■ 3か年の実績詳細

□緑の創出

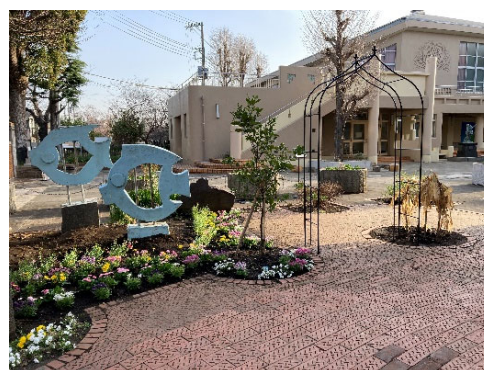
校庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

小学校等からのビオトープの整備に関するアドバイスを求める声に応じるため、専門家の派遣も実施しました。

区名	か所数	区名	か所数
鶴見	8	金沢	6
神奈川	6	港北	6
西	3	緑	8
中	3	青葉	16
南	14	都筑	20
港南	2	戸塚	3
保土ヶ谷	10	栄	7
旭	8	泉	3
磯子	7	瀬谷	1
		計	131



【園庭の芝生化】（青葉区）



【小学校の花壇整備】（南区）

□緑の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するとともに、芝生の維持管理についての技術講習会や訪問指導、ビオトープの維持管理の訪問指導を実施しました。

区名	か所数	区名	か所数
鶴見	6	金沢	6
神奈川	66	港北	5
西	8	緑	3
中	10	青葉	15
南	50	都筑	10
港南	11	戸塚	7
保土ヶ谷	6	栄	26
旭	46	泉	37
磯子	10	瀬谷	15
		計	337



【小学校での緑の維持管理】（神奈川区）



【校庭・園庭芝生の育て方講座】
（保土ヶ谷区）

利用者の声

- ・専門家から芝生に関するアドバイスを聞いて、今後の維持管理の参考になりました。
- ・ビオトープに適した環境を教えてもらったので良かったです。

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

- みなとみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。

あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

■ 3か年の実績

□ 進捗状況

	緑花による空間づくりと維持管理
2019年度実績	15か所
2020年度実績	15か所
2021年度実績	14か所
3か年累計(a)	44か所
5か年目標(b)	推進
進捗率(a/b)	—
評価	—

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	800百万円	322百万円
2020年度決算額	721百万円	329百万円
2021年度決算額	683百万円	306百万円
3か年累計(a)	2,204百万円	957百万円
5か年計画額(b)	2,712百万円	1,119百万円
執行率(a/b)	81.3%	85.5%
評価	◎	◎

■3か年の評価・検証

- 都市公園や港湾緑地、街路樹などにおいて緑のネットワーク形成が進み、季節の花による空間演出が行われ、都心臨海部の季節の景観として定着しました。
- 山下公園や港の見える丘公園などでは、バラ園や美しい花壇が整備され、いつ訪れても緑や花が楽しめる質の高い管理が行われています。
- こども自然公園、横浜市児童遊園地などで桜などの花木による花の名所づくりが進み、里山ガーデンでは緑や花で会場を彩りました。
- 多くの市民や観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、質の高い維持管理を進めながら、緑や花により魅力を高めることが重要です。

3か年の総合評価

A

■3か年の実績詳細

□緑花による空間づくりと維持管理

3か年でみなとみらい21地区から山下地区を中心とした都心臨海部や、こども自然公園、横浜市児童遊園地、里山ガーデン、新横浜駅周辺などで空間づくりと維持管理を進めました。

区名	施設名
西	グランモール公園、キングモール橋
中	港の見える丘公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺
保土ケ谷	横浜市児童遊園地
旭	こども自然公園、里山ガーデン
港南	久良岐公園
港北	新横浜駅周辺



山下公園（中区）



港の見える丘公園（中区）



日本大通り（中区）



新横浜駅周辺（港北区）



横浜市児童遊園地（保土ヶ谷区）



久良岐公園（港南区）

効果的な広報の展開

27 計画の周知や実績報告

- ・ 広報よこはま等の広報紙への記事掲載
- ・ 実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明
- ・ 広告、動画等の各種メディアを活用したPR
- ・ ホームページの充実
- ・ メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信
- ・ 緑に関するイベントでのPR
- ・ 取組に基づいて実施したことを示す現地掲示（プレート）

■ 3か年の実績

□進捗状況

	計画の周知や実績報告
2019年度実績	推進
2020年度実績	推進
2021年度実績	推進
3か年累計(a)	推進
5か年目標(b)	推進
進捗率(a/b)	—
評価	—

□事業費執行状況

	事業費	うち横浜みどり税
2019年度決算額	14百万円	0百万円
2020年度決算額	11百万円	0百万円
2021年度決算額	17百万円	0百万円
3か年累計(a)	42百万円	0百万円
5か年計画額(b)	80百万円	0百万円
執行率(a/b)	52.5%	0%
評価	○	—

■ 3か年の評価・検証

- 広報よこはまへの記事掲載、実績リーフレットの自治会・町内会への配布など、広報効果の高い取組を毎年度実施し、取組及び事業実績の周知を着実に進めました。
- 財政局や各区役所と連携し、市連会・区連会での実績説明や、庁舎内のデジタルサイネージでの動画放映、イベントへのブース出展等を行い、横浜みどり税及び横浜みどりアップ計画の周知を進めました。
- 葉っぱや緑をモチーフとした親しみやすいマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」やロゴマークなどを活用し、より多くの方の目に留まるよう公園花壇などへの現地表示を行いました。また、視覚的に横浜の緑の魅力や横浜みどりアップ計画の取組が伝わるよう、アニメーションやプロモーション動画によるSNSや交通広告、市役所アトリウム等での映像PRを実施しました。
- 2019～2021年度に実施した「横浜みどりアップ計画認知度調査」の結果、計画を知っている割合は約40%、横浜みどり税を知っている割合は50%前後とほぼ横ばいでした。
- 新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが中止されるなどPRの機会が縮小となりましたが、一方で、市民の身近な緑に対するニーズが高まり、この機をとらえ、横浜みどりアップ計画の取組がより多くの方にご理解いただけるよう、現地表示やホームページ、動画PRなどを強化し、多様な手法による広報を進めていきます。
- 引き続き効果の高い広報よこはま等の広報紙、自治会・町内会への配布での情報提供を行うとともにSNSや映像を用いた交通広告など手法・媒体を工夫し、積極的に広報していく必要があります。
- 若年層に向け、SNSを活用した広報の充実、特にフォロワー数を増やすような魅力的な内容を他の事例から学ぶなど、さらに工夫した広報を増やしていくことが必要です。

3か年の総合評価

B

■ 3か年の実績詳細

□ 広報よこはま等の広報紙への記事掲載

市民の皆様へ、横浜みどりアップ計画の取組や事業実績を広く広報するため、広報よこはまをはじめとする広報紙に記事掲載を行いました。

- ・ 広報よこはま 市版：3か年 10回
- ・ 広報よこはま 区版：3か年 26回
- ・ その他広報紙：3か年 9回

「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として進めている「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」について、2020年度の実績を紹介しています。

2020年度の主な実績 ～2020年度報告書は11月頃から区役所などで閲覧できます～

- 市民とともに次世代につなぐ森を育む
 - 愛護会などと連携して良好な森づくりを推進(200か所)
 - 森づくり活動の研修会・体験会を実施(16回)
- 市民が身近に農を感じる場をつくる
 - 市民ニーズに合わせた農園を開設(3.98ha)
 - 市民が農を楽しむ体験教室などの実施(56回)
- 市民が実感できる緑や花をつくる
 - 地域緑のまちづくりや、緑や花を身近に感じる取組を推進
 - 校庭の定生化など、子どもを育む場所での緑の創出・育成を推進

市内の身近な場所で、緑や花を楽しんでみませんか

- 里山ガーデン 秋の大花壇を自宅から楽しもう**
里山ガーデンの大花壇の様子を動画で公開しています。今秋の里山ガーデンフェスタは中止(非公開)となりました。
- 秋のバラ**
美しい港の風景を背景に、山下公園や港の見える丘公園では秋のバラを楽しめます。
- 市民の森**
市内41か所の市民の森では、自然観察や散歩ができます。

市民の森に行ってみよう! 川和市民の森

市民の森は、自然観察や散歩が楽しめる。市民の森は、自然観察や散歩が楽しめる。市民の森は、自然観察や散歩が楽しめる。

横浜みどりアップ計画 みんなで、みどりアップに参加しよう

横浜みどりアップ計画 みんなで、みどりアップに参加しよう

左上：広報よこはま市版 (2021年10月号)
 右上：広報よこはま都筑区版 (2021年5月号)
 左下：こどもタウンニュース (2021年11月発行)

□ 実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明

市民の皆様へ、横浜みどりアップ計画の事業の実績を分かりやすく伝えるため、事業報告書及び実績リーフレットを毎年度作成し、自治会・町内会への説明と、公共施設等への配架を行いました。

<3か年実施>

- ・ 市連会・区連会への実績説明
- ・ 事業報告書の公共施設での配架
- ・ 実績リーフレットの自治会・町内会、駅PRボックス等での配布

左：2020(令和2)年度事業報告書
 右：2020(令和2)年度実績リーフレット

横浜みどりアップ計画 [2019-2023] 2020(令和2)年度 事業報告書

横浜みどりアップ計画 [2019-2023] 2020(令和2)年度の実績 概要版

口広告、動画等の各種メディアを活用した PR

視覚的に横浜みどりアップ計画をアピールするため、プロモーション動画や横浜みどりアップ葉っぱーが計画を解説するアニメーションを作成し、市役所や交通広告での放映、YouTube での動画配信を行いました。

<動画関連>

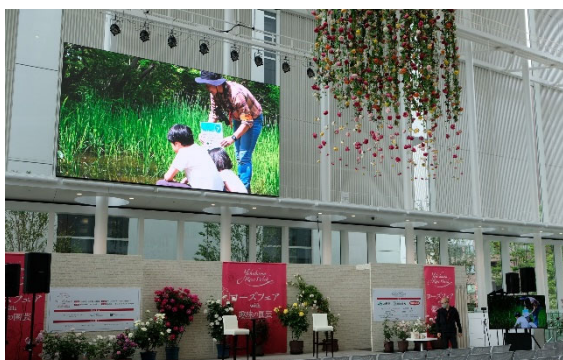
- 横浜市役所アトリウム及び市役所デジタルサイネージ動画放映：2 か年実施
- 18 区役所で動画放映：3 か年実施
- 交通広告での放映：市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン：2 か年実施
JR 横浜線、市営バス 3 営業所：1 か年実施
- YouTube 動画配信：2 か年実施

<ポスター等>

- 地域情報 web への記事掲載：1 か年実施
- 市営バス・公用車等への PR 用ステッカーの貼付掲載：3 か年実施
- 電車内ポスター掲出（京浜急行電鉄、東急東横線、相鉄線、みなとみらい線）：1 か年実施
- 日産スタジアムへの PR 看板の掲出：3 か年実施
- 横断幕の掲出（動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出）：3 か年実施 等



横浜みどりアップ葉っぱーが解説する計画紹介アニメーション



横浜市役所アトリウムでの
プロモーション動画放映



交通広告（JR 横浜線車内動画放映）

□ホームページの充実

みどりアップ計画の取組を体感してもらえよう、動画ページの充実や市民の皆様が参加できるイベントや体験スポット、制度を紹介するページを新設し、分かりやすい情報発信に努めました。

また、ホームページへ誘導するため、二次元バーコード入りのカードやリーフレットを作成し、イベント等で広く配布を行いました。

- 横浜市ホームページの更新
(実績報告書、計画関連動画の掲載 等)



イベント等で配布した二次元バーコード入りカード

□メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信

横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行や、Twitter を活用し、幅広く情報発信を行いました。

- 横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行（毎月1日の発行）
- Twitter を活用した広報



2021年4月 Twitter



2021年7月 Twitter

口緑に関するイベントでのPR

農と緑の感謝デーや里山ガーデンフェスタ等、市民向けイベントにブースを出展し、横浜みどりアップ計画についてPR活動を行いました。(3か年 11回)



【農と緑の感謝デー】 左：ブース出展 右：イベントでのPRの様子（保土ケ谷区）

参加者の声

- ・ 緑豊かなまちにするための活動ですばらしいです。協力できることがあったらしたいです。
- ・ 横浜みどりアップ計画、横浜みどり税、横浜みどりアップ葉っぱーについて知ろうと思いました。

口取組に基づいて実施したことを示す現地掲示（プレート）

多くの市民の方が訪れる公園花壇や里山ガーデンなどの取組実施箇所での現地表示看板の設置や、工事看板へのロゴマーク等の表示、市民の森・ふれあいの樹林の案内板へのロゴマークステッカーの掲示を行いました。

- ・ 取組実施箇所での現地表示看板の設置
(公園愛護会の取組と連携した約 1,300 枚の公園花壇現地表示プレートの設置 等)
- ・ 工事看板への表示
- ・ 市民の森・ふれあいの樹林の案内板へのロゴマークステッカーの掲示 等



公園花壇での現地表示



里山ガーデンでの現地表示

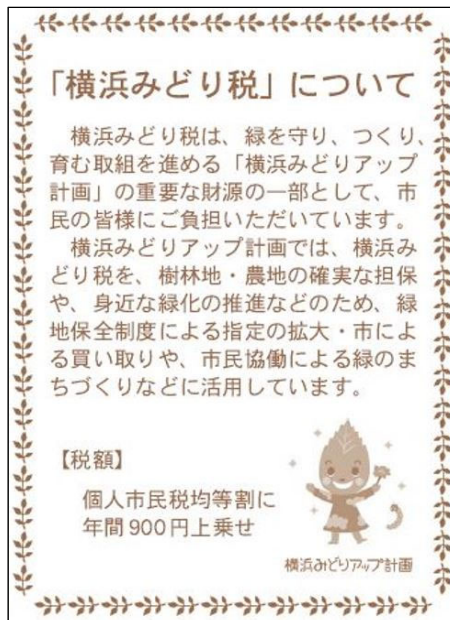


線路沿いでの現地表示

□横浜みどり税の広報

市民の皆様にご負担いただいている横浜みどり税について、実績説明や PR チラシの配布等を行いました。

- ・「広報よこはま」に記事掲載
- ・市連会・区連会での説明
- ・個人住民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載
- ・固定資産税納税通知書発送用封筒への案内掲載
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封
- ・横浜市ホームページへの案内掲載
- ・交通広告（市営地下鉄 LCD(テロップ) 広告・市営バス車内モニター）に案内掲載
- ・横浜市へ転入された方へのチラシ配布
- ・税務協力団体(法人会・青色申告会・間税会・納税貯蓄組合等)の会報誌へ記事掲載
- ・各区区民まつり等イベントでのブース出展及びチラシ配布
- ・市庁舎・区庁舎のデジタルサイネージ等に案内掲載
- ・冊子「税の知識」に案内掲載
- ・口座振替勧奨チラシに案内掲載
- ・「ひと目で分かる横浜の財政」へ記事掲載



特別徴収税額決定通知書の案内

□ロゴ・マスコットキャラクターを活用した PR

<ロゴマークを活用した広報>

2019 年度から横浜みどりアップ計画の 3 期目がスタートするのに合わせ、計画のロゴマークを更新し、幅広く広報に活用しました。



<マスコットキャラクターを活用した広報>

市民の皆様にも、より横浜みどりアップに親しんでいただくため、2015 年度に作成したマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」をイベント等で活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画を PR しました。

また、SNS や現地表示板、地域情報誌等にキャラクターのイラストを使用し、より市民の目に留まる工夫をしました。



□「横浜みどりアップ計画認知度調査」の実施

実施した広報手法を検証し、より効果的に広報を展開していくため、「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査を毎年実施しています。

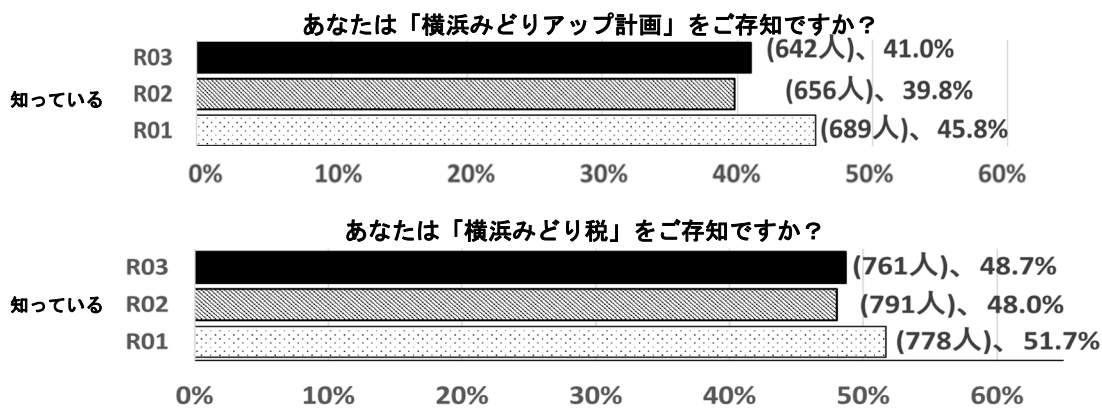
(1) 調査の概要 (2019~2021 年度の3年間)

	2021 年度	2020 年度	2019 年度
調査対象	市民 5,000 人(住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民)		
調査方法	郵送配布、郵送回収		
実施期間	2021 年 6 月 14 日~7 月 5 日	2020 年 10 月 21 日~11 月 11 日	2019 年 10 月 21 日~11 月 11 日
回収数	1,564 票 (回収率 31.3%)	1,647 票 (回収率 32.9%)	1,504 票 (回収率 30.1%)

(2) 主な調査結果 (2019~2021 年度の3年間)

(ア)あなたは「横浜みどりアップ計画」「横浜みどり税」をご存知ですか？

→計画を知っている人の割合は約 40%、税を知っている人の割合は 50%前後とほぼ横ばい。

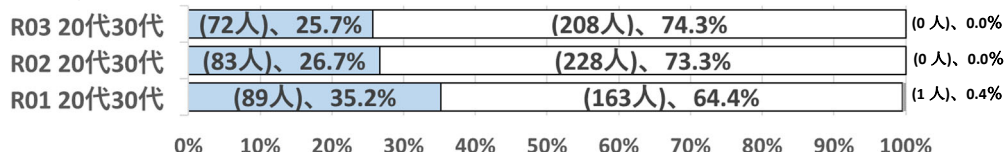


(イ)年代別の傾向

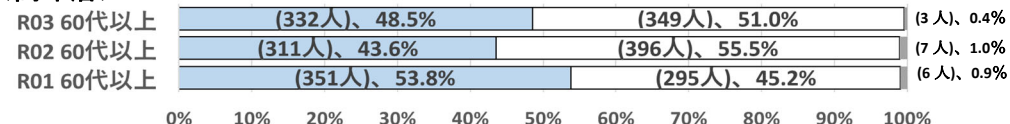
→計画を知っている人の割合※は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている。

(※「取組内容を知っている」「計画があることを知っている」「名称を見たことや聞いたことがある」と回答した人の割合)

<若年層>



<高年層>



□知っている □知らなかった ■無回答

3か年の事業・取組の実績一覧（実績累計）

事業・取組／取組内容		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	累計 (3か年)	5か年 目標
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む								
施策1 樹林地の確実な保全の推進								
事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り								
1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り								
緑地保全制度による新規指定(ha)		47.2	28.9	31.9	—	—	108.0	300
市による買取り(ha)		19.2	18.9	19.6	—	—	57.7	113
保全した樹林地の整備(か所)		64	77	86	—	—	227	推進
施策2 良好な森を育成する取組の推進								
事業② 良好な森の育成								
2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進								
森の維持管理	保全管理計画の策定(か所)	7	3	4	—	—	14	推進
	保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理(か所)	175	200	201	—	—	576	
3 指定した樹林地における維持管理の支援								
維持管理の助成(件)		122	162	130	—	—	414	500
事業③ 森を育む人材の育成								
4 森づくりを担う人材の育成								
森づくりを担う人材の育成	研修の実施(回)	17	10	11	—	—	38	推進
	体験会の開催(回)	7	7	10	—	—	24	
広報誌等での森づくり活動に関する情報発信(回)		4	4	4	—	—	12	20
5 森づくり活動団体への支援								
森づくり活動団体への支援(団体)		30	33	36	—	—	99	150
森づくり活動団体への専門家派遣(回)		4	4	4	—	—	12	20
チッパーの貸出し(か所)		11	11	6	—	—	28	推進
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進								
事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり								
6 森の楽しみづくり								
市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施(回)		75	34	42	—	—	151	180
7 森に関する情報発信								
ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等(回)		8	8	10	—	—	26	50

累計について

累計(3か年)は、各年度の実績を合計した数値としています。

※「8 水田の保全」の水田保全面積は、2021年度の実績を累計としています。

「10 農景観を良好に維持する活動の支援」の集団農地維持は、2021年度の実績を累計としています。

「18 街路樹による良好な景観の創出・育成」の並木の再生は、整備完了または整備中の路線数を累計としています。

「19 シンボリックな緑の創出・育成」の公有地化によるシンボリックな緑の創出は、整備完了または整備中のか所数を累計としています。

事業・取組／取組内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	累計(3か年)	5か年目標	
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる								
施策1 農に親しむ取組の推進								
事業① 良好な農景観の保全								
8 水田の保全								
水田保全面積(ha)	113.5	113.3	112.2	—	—	112.2	125	
水源・水路の確保(か所)	2	3	2	—	—	7	10	
9 特定農業用施設保全契約の締結								
特定農業用施設保全契約の保全(件)	31	27	17	—	—	75	制度運用	
10 農景観を良好に維持する活動の支援								
まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援	集団農地維持(ha)	641.7	643.9	679.0	—	—	679.0	730
	農地縁辺部への植栽(件)	15	15	18	—	—	48	55
	井戸の改修(地区)	2	4	2	—	—	8	5
	土砂流出防止対策(件)	4	5	2	—	—	11	15
周辺環境に配慮した活動への支援	牧草等による環境対策(ha)	4.25	4.36	5.87	—	—	14.48	20
	たい肥化設備等の支援(件)	3	3	2	—	—	8	25
11 多様な主体による農地の利用促進								
遊休農地の復元支援(ha)	0.84	0.28	0.26	—	—	1.38	1.5	
事業② 農とふれあう場づくり								
12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設								
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	収穫体験農園(ha)	2.06	2.87	3.99	—	—	12.50	22.80
	市民農園(ha)	1.32	1.11	0.60	—	—		
	農園付公園(ha)	0.55	0	0	—	—		
13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進								
横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施(回)	91	50	86	—	—	227	450	
市民農業大学講座の開催(回)	20	0	20	—	—	40	100	
農体験講座の開催(回)	6	6	5	—	—	17	30	
施策2 地産地消の推進								
事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進								
14 地産地消にふれる機会の拡大								
直売所・青空市等の支援(件)	43	41	49	—	—	133	285	
緑化用苗木の配布(本)	25,727	25,000	22,505	—	—	73,232	125,000	
情報発信・PR活動:情報誌などの発行(回)	6	6	6	—	—	18	30	
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開								
15 地産地消を広げる人材の育成								
はまふうどコンシェルジュの活動支援等(件)	28	27	32	—	—	87	150	
地産地消ネットワーク交流会の開催(回)	1	1	1	—	—	3	5	
16 市民や企業等との連携								
市民や企業等との連携(件)	13	15	13	—	—	41	50	
ビジネス創出支援(件)	—	3	5	—	—	8	16	
学校給食での市内産農産物の一斉供給(校)	327	316	311	—	—	954	推進	
料理コンクールの開催(回)	1	1	1	—	—	3	5	

3 事業・取組の実績と評価・検証

事業・取組／取組内容	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	累計 (3か年)	5か年 目標
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる							
施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進							
事業① まちなかでの緑の創出・育成							
17 公共施設・公有地での緑の創出・育成							
緑の創出(か所)	4	12	5	—	—	21	36
緑の維持管理(か所)	63	50	47	—	—	160	推進
18 街路樹による良好な景観の創出・育成							
並木の再生(路線)	8	6	4	—	—	9	10
空き樹の補植 高木(本)・低木(本)	0・ 889	180・ 1,080	29・ 788	—	—	209・ 2,757	推進
良好な維持管理(本)	18,428	17,710	16,993	—	—	53,131	18区で推進
19 シンボリックな緑の創出・育成							
公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理 創出(か所)・管理(か所)	2・2	1・2	1・2	—	—	2・6	推進
公開性のある緑空間の創出支援(か所)	1	2	1	—	—	4	推進
20 建築物緑化保全契約の締結							
建築物緑化保全契約の締結(件)	35	15	2	—	—	52	制度運用
21 名木古木の保存							
新規指定(本)・維持管理の助成(本)	27・40	28・72	11・82	—	—	66・194	推進
施策2 緑や花に親しむ取組の推進							
事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり							
22 地域緑のまちづくり							
地域緑のまちづくり(地区)	4	4	7	—	—	15	30
23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり							
緑や花を身近に感じる各区の取組	18区で推進	18区で推進	18区で推進	—	—	18区で推進	18区で推進
地域の花いっぱいにつながる取組	推進	推進	推進	—	—	推進	推進
24 人生記念樹の配布							
人生記念樹の配布(本)	6,403	6,284	7,423	—	—	20,110	40,000
事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成							
25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成							
緑の創出(か所)	43	41	47	—	—	131	100
緑の維持管理(か所)	115	120	102	—	—	337	推進
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成							
26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり							
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり (か所)	15	15	14	—	—	44	推進
効果的な広報の展開							
事業① 市民の理解を広げる広報の展開							
27 計画の周知や実績報告							
計画の周知や実績報告	推進	推進	推進	—	—	推進	推進

3か年の事業・取組の実績一覧（事業費累計）

事業費の欄の見方

上段:事業費
下段:うちみどり税

単位:百万円

事業・取組／取組内容	2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度	2023年度	累計 (3か年)	5か年 事業費
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む							
施策1 樹林地の確実な保全の推進							
事業①							
緑地保全制度による指定の 拡大・市による買取り	7,460 1,767	6,339 1,002	5,683 944	—	—	19,482 3,713	32,682 4,084
1 緑地保全制度による指定の 拡大・市による買取り	7,460 1,767	6,339 1,002	5,683 944	—	—	19,482 3,713	32,682 4,084
施策2 良好な森を育成する取組の推進							
事業②							
良好な森の育成	621 482	757 602	698 534	—	—	2,076 1,619	3,606 2,843
2 森の多様な機能に着目した 森づくりの推進	524 386	615 460	577 414	—	—	1,717 1,259	3,076 2,313
3 指定した樹林地における 維持管理の支援	97 97	142 142	120 120	—	—	359 359	530 530
事業③							
森を育む人材の育成	21 20	27 26	14 14	—	—	62 60	130 125
4 森づくりを担う人材の 育成	10 10	16 16	7 7	—	—	33 33	75 75
5 森づくり活動団体への 支援	11 10	11 10	7 7	—	—	29 27	54 50
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進							
事業④							
市民が森に関わるきっかけ づくり	53 15	50 10	45 8	—	—	148 33	330 130
6 森の楽しみづくり	12 12	7 7	6 6	—	—	26 26	100 100
7 森に関する情報発信	40 2	43 3	39 2	—	—	122 7	230 30
計画の柱1 合計	8,154 2,285	7,173 1,639	6,440 1,500	—	—	21,767 5,424	36,747 7,181

3 事業・取組の実績と評価・検証

事業費の欄の見方

上段:事業費
下段:うちみどり税

単位:百万円

事業・取組／取組内容		2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度	2023年度	累計 (3か年)	5か年 事業費
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる								
施策1 農に親しむ取組の推進								
事業① 良好な農景観の保全		212 73	199 68	206 68	—	—	617 209	1,194 454
8	水田の保全	94 31	80 31	94 32	—	—	267 95	490 190
9	特定農業用施設保全契約の締結	2 0	1 0	2 0	—	—	5 0	10 0
10	農景観を良好に維持する活動の支援	91 16	96 15	89 15	—	—	276 45	542 111
11	多様な主体による農地の利用促進	26 26	22 22	21 21	—	—	69 68	153 153
事業② 農とふれあう場づくり		303 37	164 56	340 41	—	—	806 134	2,513 829
12	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	295 37	150 56	321 41	—	—	765 134	2,453 829
13	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	8 0	14 0	19 0	—	—	41 0	61 0
施策2 地産地消の推進								
事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進		42 0	47 0	43 0	—	—	132 0	293 0
14	地産地消にふれる機会の拡大	42 0	47 0	43 0	—	—	132 0	293 0
事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開		7 0	5 0	8 0	—	—	20 0	66 0
15	地産地消を広げる人材の育成	2 0	1 0	2 0	—	—	5 0	25 0
16	市民や企業等との連携	5 0	4 0	6 0	—	—	15 0	42 0
計画の柱2 合計		563 110	415 124	598 109	—	—	1,576 342	4,067 1,283

事業費の欄の見方

上段:事業費
下段:うちみどり税

単位:百万円

事業・取組／取組内容	2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度	2023年度	累計 (3か年)	5か年 事業費
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる							
施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進							
事業① まちなかでの緑の創出・育成	1,132 672	703 541	660 493	—	—	2,494 1,706	5,481 3,481
17 公共施設・公有地での 緑の創出・育成	80 0	91 0	86 0	—	—	257 0	690 0
18 街路樹による良好な景 観の創出・育成	477 477	502 502	458 458	—	—	1,437 1,437	2,910 2,910
19 シンボリックな緑の創出・ 育成	559 185	91 25	97 19	—	—	747 229	1,789 497
20 建築物緑化保全契約の 締結	2 0	1 0	1 0	—	—	4 0	5 0
21 名木古木の保存	14 10	17 14	18 16	—	—	49 40	88 74
施策2 緑や花に親しむ取組の推進							
事業② 市民や企業と連携した緑の まちづくり	99 56	95 43	113 56	—	—	307 155	713 461
22 地域緑のまちづくり	54 54	40 40	53 53	—	—	147 147	446 446
23 地域に根差した緑や花 の楽しみづくり	39 0	46 0	51 0	—	—	136 0	209 0
24 人生記念樹の配布	6 2	8 3	9 3	—	—	24 8	58 15
事業③ 子どもを育む空間での緑の 創出・育成	62 7	59 3	48 6	—	—	170 16	414 67
25 保育園・幼稚園・小中学 校での緑の創出・育成	62 7	59 3	48 6	—	—	170 16	414 67
事業④ 緑や花による魅力・賑わいの 創出・育成	800 322	721 329	683 306	—	—	2,204 957	2,712 1,119
26 都心臨海部等の緑花に よる魅力ある空間づくり	800 322	721 329	683 306	—	—	2,204 957	2,712 1,119
計画の柱3 合計	2,093 1,057	1,577 917	1,504 860	—	—	5,174 2,834	9,320 5,128

3 事業・取組の実績と評価・検証

事業費の欄の見方 上段:事業費 下段:うちみどり税 単位:百万円

事業・取組／取組内容	2019年度 決算額	2020年度 決算額	2021年度 決算額	2022年度	2023年度	累計 (3か年)	5か年 事業費
効果的な広報の展開							
事業① 市民の理解を広げる広報の 展開	14 0	11 0	17 0	—	—	42 0	80 0
27 計画の周知や実績報告	14 0	11 0	17 0	—	—	42 0	80 0
広報 合計	14 0	11 0	17 0	—	—	42 0	80 0

事業費総計	10,824 3,451	9,176 2,680	8,558 2,469	—	—	28,559 8,601	50,214 13,592
-------	-----------------	----------------	----------------	---	---	-----------------	------------------

※端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

計画の柱別 3か年の事業費総額 (百万円)

	執行額	うち横浜みどり税充当額
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	21,767	5,424
計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	1,576	342
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	5,174	2,834
効果的な広報の展開	42	0
合計	28,559	8,601

※端数処理により、合計値は一致しないことがあります。

横浜市みどり基金残高の推移 (百万円)

	みどり基金積立金	執行額	基金残高
計画前			903
2019年度	2,848	3,471	281
2020年度	2,897	2,680	498
2021年度	2,798	2,469	827

2018年度分繰越を含む

※横浜市みどり基金について

緑の保全及び創造に資する事業の充実を図るために設置された基金で、横浜みどり税の税収相当額を積み立てて一般財源との分離を図ることで、税収の使途を明らかにするとともに、年度間の財源調整を行

4

横浜みどリアップ計画市民推進会議

2021 年度の活動実績

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、横浜みどりアップ計画の評価・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」を設置しています。

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症対策（リモート会議、検温、消毒等）をとりながら全体会議や各種部会、現地調査などを実施し、横浜みどりアップ計画の内容、進捗状況について意見交換等を行うとともに、広報誌「Yokohama みどりアップ Action」や森づくりボランティア体験会の案内チラシの発行等を行いました。

（1）全体会議

部会の構成や調査の実施など年間の活動内容を確認し、横浜みどりアップ計画の内容、進捗状況について質疑応答、意見交換を行い、市民推進会議 2020 年度報告書をまとめました。

	開催日	主な討議内容
第 34 回会議	7 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画の進捗状況について 市民推進会議 2020 年度報告書について
第 35 回会議	11 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画 2020 年度の事業実績について 市民推進会議 2020 年度報告書（案）について 市民推進会議 2022 年度の取組について

（2）部会

《施策別専門部会》

計画の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに、実績の説明を受け、意見交換、提案の検討を行いました。

	開催日	主な討議内容
第 14 回「森を育む」 施策を検討する部会	10 月 6 日	横浜みどりアップ計画「森を育む」施策の評価・提案について
第 14 回「農を感じる」 施策を検討する部会	9 月 28 日	横浜みどりアップ計画「農を感じる」施策の評価・提案について
第 14 回「緑をつくる」 施策を検討する部会	9 月 29 日	横浜みどりアップ計画「緑をつくる」施策の評価・提案について

《広報・見える化部会》

市民推進会議の広報誌「Yokohama みどりアップ Action」の編集を行いました。
また、若者をターゲットにした森づくりボランティア体験会の案内チラシの発行及び森づくりボランティア活動証明カードの検討を行いました。

市民の視点から、横浜みどりアップ計画と横浜みどり税を市民の皆様へわかりやすく伝える方法について引き続き検討しました。

	開催日	主な討議内容
第47回会議	6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度広報誌テーマ案について ・見える化企画案について
第48回会議	10月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・「効果的な広報の展開」事業の評価・提案について ・みどりアップ Action 第5号原稿案について ・見える化企画案について ・みどりアップ Action 第6号記事内容について
第49回会議	12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりアップ Action 第6号原稿案について ・2022年度みどりアップ Action テーマ案について

■ 広報誌等の発行

「みどりアップ Action」を11月と2月に発行しました。また、若い世代に向けた森づくりボランティア体験会の案内チラシも発行しました。



みどりアップ Action Vol.5



みどりアップ Action Vol.6



森づくりボランティア体験会の案内チラシ

《調査部会》

横浜みどりアップ計画の取組を実感し、現場で活動する方々の声を直接聞くため、現地調査を実施しました。

	開催日	主な討議内容
第 21 回会議	10月 27日	<p><場所></p> <p>①川和市民の森（都筑区）</p> <p>②田奈恵みの里 ハマツ子直売所「四季菜館」（青葉区）</p> <p>③並木の再生 環状4号線（緑区十日市場・霧が丘地区）</p> <p>④若葉台もみじ花と緑推進会（旭区）</p> <p><内容></p> <p>都筑区にある川和市民の森を徒歩で視察し、市担当者から森の整備や管理等の説明を受けました。次に、田奈恵みの里で事業概要の説明を受け、設置している直売所「四季菜館」内の視察を行いました。続いて、環状4号線の緑区十日市場・霧が丘地区で、並木の再生が進められるとともに良好に管理されている街路樹の見学をしました。最後に旭区若葉台もみじ自治会周辺地区の地域緑のまちづくり事業の支援を受けた「若葉台もみじ花と緑推進会」の方々から、緑化計画や活動概要、課題などの説明を受けるとともに、計画地の視察を行いました。</p>



【現地調査】川和市民の森（都筑区）



【現地調査】若葉台もみじ自治会周辺地区（旭区）

(3) 報告書の発行

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2021 年度報告書を発行します。

(4) 委員

氏名	所属部会	区分	備考
網代 宗四郎	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜市町内会連合会 委員
池島 祥文	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	学識経験者	横浜国立大学大学院 准教授
池邊 このみ	・「緑をつくる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	千葉大学大学院 園芸学研究科教授
石原 信也	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
今関 美津枝	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
岩本 誠	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
内海 宏	・副座長 ・「農を感じる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
奥井 奈都美	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
川幡 賢司	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜農業協同組合 横浜農業総合対策室室長
国吉 純	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
進士 五十八	・座長	学識経験者	福井県立大学 学長
高田 房枝	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会部会長	公募市民	
高橋 秀忠	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
野渡 リツ子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜市南西部農業委員会 委員
村松 晶子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
望月 正光	・「森を育む」施策を検討する部会部会長 ・広報・見える化部会委員	学識経験者	関東学院大学 経済学部 教授

(50音順・敬称略、2021年9月時点)

評価と提案の概要

※「横浜みどりアップ計画市民推進会議2019年度、2020年度報告書」より抜粋

「計画の柱1：市民とともに次世代につなぐ森を育む」について

- ・樹林地の指定を粘り強く進めたことや、コロナ禍により土地所有者への働きかけが難しい状況においても土地所有者への丁寧な働きかけを行ったことを評価します。
- ・市民の樹林地に対する関心が高まるとともに、安心・安全のための管理がより重要となります。樹林地を保全するための取組を引き続き工夫しながら進めてください。

「計画の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる」について

- ・水田保全奨励など主要な取組について、概ね目標を達成していることを評価します。コロナ禍で外出自粛や在宅ワークが増えた結果、農業体験やガーデニング、家庭菜園などのニーズが高まってきています。様々なニーズに合わせた農園を通じ、市民が農にふれあう場が増えていくことを期待します。
- ・横浜の農畜産物や農景観、さらには、市内産農畜産物を利用したレストラン等の魅力を発信し、これまで以上に地域住民が地域の中で楽しみながら「農」の魅力を感じられるようなプロモーションが行われることを期待します。

「計画の柱3：市民が実感できる緑や花をつくる」について

- ・並木の再生やシンボリックな緑の創出など、市民が緑を身近に実感できる取組が進められていることを評価します。保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成では、子どもたちが専門家のアドバイスを受けながら積極的に整備やルールづくりに関わり、学習の場として効果的に活用されている点は大変意義があると言えます。
- ・緑はメンテナンスが重要ですが、地域で継続して行われることで、良好な状態に保たれてコミュニティも醸成されます。市民のライフスタイルを豊かにするとともに、横浜をアピールする魅力的な緑や花を創出・維持できるよう、今後もしっかり事業に取り組んでください。

「効果的な広報の展開」について

- ・新型コロナウイルス感染症によるイベント中止により、PRの機会が縮小されたものの、広報よこはまへの取組実績掲載や実績リーフレット作成といった取組を継続することで、市民への横浜みどりアップ計画の周知・広報に努めたことを評価します。
- ・リニューアルしたみどりアップ計画のロゴが広く使われ始め、ロゴマークとしての認知が広がったことや現地表示などの取組が強化されたことを評価します。こうした取組が途切れることなく組織全体で推進されることを期待します。

5

各区の実績

2019年度から2021年度までの実績を区ごとにまとめています。

取組ごとに実績累計を示しており、実績累計は、各年度の実績を合計した数値としています。

※「8 水田の保全」の水田保全面積は、2021年度の水田保全面積を実績累計としています。

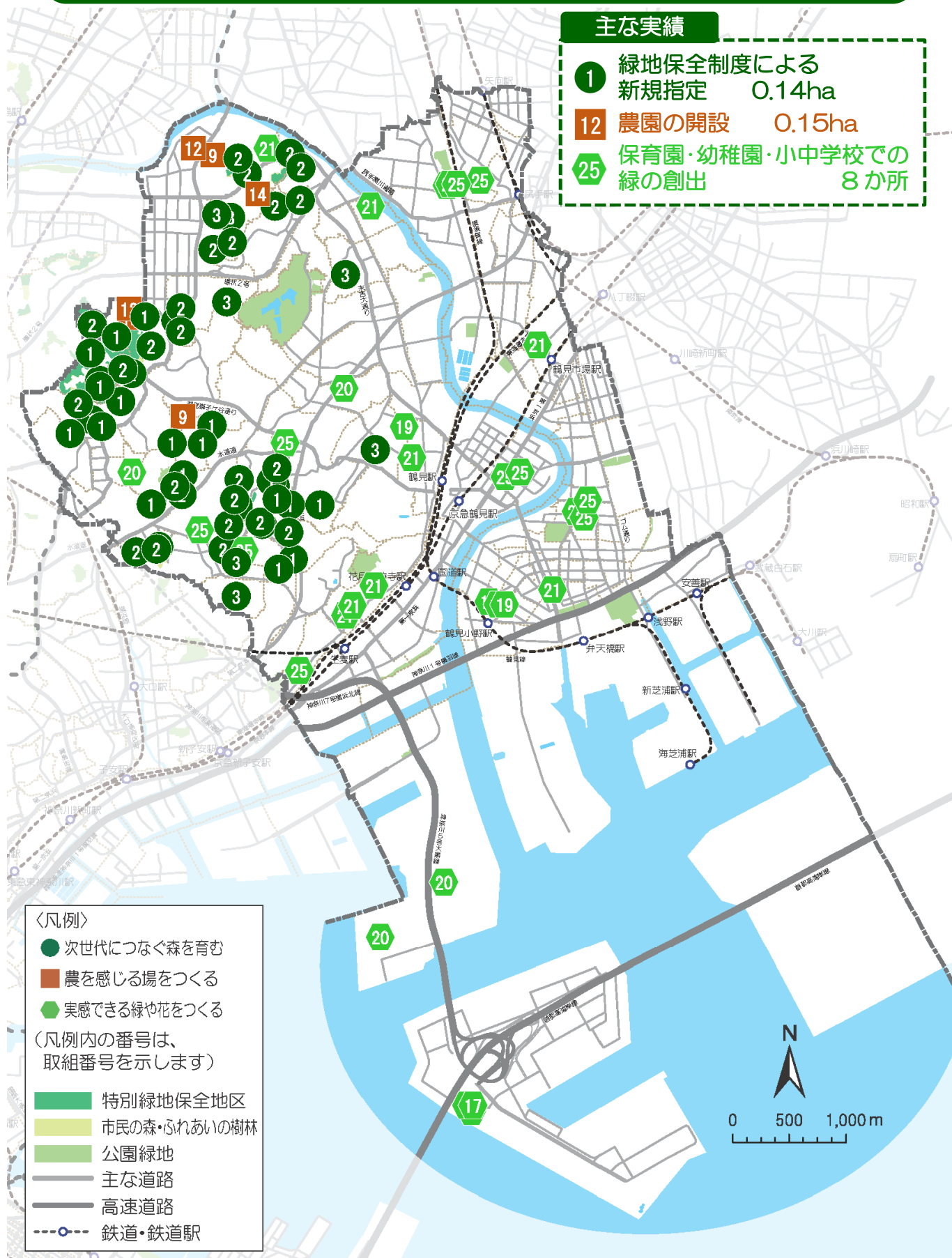
「10 農景観を良好に維持する活動の支援」の集団農地維持は、2021年度の水田保全面積を実績累計としています。

なお、市域全体から広く参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは各区の実績には含めていません。

鶴見区

主な実績

- 1** 緑地保全制度による
新規指定 0.14ha
- 12** 農園の開設 0.15ha
- 25** 保育園・幼稚園・小中学校での
緑の創出 8か所



〈凡例〉

- 次世代につなぐ森を育む
- 農を感じる場をつくる
- ◆ 実感できる緑や花をつくる

(凡例内の番号は、
取組番号を示します)

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 0.14ha

・市民の森等

2021年度 0.04ha 獅子ヶ谷市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2021年度 0.1ha 北寺尾七丁目

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場五丁目特別緑地保全地区

2020年度 1地区 東寺尾六丁目特別緑地保全地区

2021年度 1地区 獅子ヶ谷・師岡特別緑地保全地区

・公園樹林部

2019年度 1地区 馬場二丁目公園

○保全した樹林地の整備 16か所

2019年度 2か所 北寺尾七丁目特別緑地保全地区、獅子ヶ谷市民の森

2020年度 8か所 北寺尾七丁目特別緑地保全地区、馬場五丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目南特別緑地保全地区、獅子ヶ谷市民の森（2か所）、二本木第二公園、馬場二丁目公園

2021年度 6か所 東寺尾六丁目特別緑地保全地区、北寺尾七丁目特別緑地保全地区、獅子ヶ谷市民の森（2か所）、東寺尾ふれあいの樹林、馬場二丁目公園

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 36 箇所

・保全管理計画の策定（公園）

2020 年度 1 箇所 白幡公園

・維持管理（樹林地）

2019 年度 6 箇所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

2020 年度 7 箇所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場二丁目特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、東寺尾ふれあいの樹林、かぶと塚ふれあいの樹林

2021 年度 8 箇所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、馬場二丁目特別緑地保全地区、東寺尾六丁目南特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

・維持管理（公園）

2019 年度 5 箇所 駒岡堂ノ前公園、白幡公園、二本木第二公園、馬場町公園、二ツ池公園

2020 年度 3 箇所 白幡公園、馬場町公園、二ツ池公園

2021 年度 6 箇所 駒岡堂ノ前公園、白幡公園、二本木第二公園、馬場町公園、二ツ池公園、北寺尾七丁目緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 7 件

2019 年度 4 件 上末吉一丁目、駒岡一丁目、駒岡三丁目、寺谷一丁目

2021 年度 3 件 駒岡三丁目、東寺尾二丁目、東寺尾三丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2 件

2019 年度 2 件 北寺尾五丁目、駒岡四丁目

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.15ha

・市民農園

2019 年度 0.06ha 獅子ケ谷三丁目

2020 年度 0.09ha 駒岡五丁目、獅子ケ谷三丁目

14 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所・青空市等の支援 1件
・青空市・マルシェ等

2021年度 1件 JA 横浜鶴見支店駐車場直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

- 緑の維持管理 3か所

2019年度 1か所 大黒ふ頭西緑地

2020年度 1か所 大黒ふ頭西緑地

2021年度 1か所 大黒ふ頭西緑地

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

- 良好な維持管理

2019年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、平安町栄町公園通りほか 計1,159本

2020年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、平安町栄町公園通りほか 計1,065本

2021年度 小野末広線（末広町通り）・末広水際線プロムナード、平安町栄町公園通りほか 計995本

19 シンボリックな緑の創出・育成

- 公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

2019年度 1か所 下野谷町三丁目公園（管理）

2020年度 1か所 下野谷町三丁目公園（管理）

2021年度 1か所 下野谷町三丁目公園（管理）

- 公開性のある緑空間の創出支援 1か所

2019年度 1か所 佃野町

20 建築物緑化保全契約の締結

- 建築物緑化保全契約の締結 5件

2019年度 4件 諏訪坂（2件）、大黒町、馬場七丁目

2020年度 1件 大黒町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2020年度 6本 寺谷一丁目(3本)、東寺尾一丁目(3本)

・維持管理の助成

2019年度 1本 駒岡3丁目

2020年度 1本 上末吉一丁目

2021年度 10本 市場上町、岸谷一丁目(2本)、岸谷四丁目(4本)、仲通(3本)

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー

2020年度 JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー

2021年度 JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布(汐入公園ほか10か所)

2020年度 球根などの配布(江ヶ崎町公園ほか1か所)

2021年度 花壇講習会(中町公園)、球根などの配布(芦穂崎公園ほか55か所)、

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,017本

2019年度 343本

2020年度 327本

2021年度 347本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 8か所

2019年度 4か所 潮田小学校、岸谷小学校、鶴見小学校、矢向小学校

2020年度 3か所 鶴見小学校、寺尾小学校、東高等学校

2021年度 1か所 フラフフィー小規模保育園

○緑の維持管理 6か所

2019年度 2か所 潮田小学校、新鶴見小学校

2020年度 2か所 潮田小学校、新鶴見小学校

2021年度 2か所 潮田小学校、新鶴見小学校

5 各区の実績
鶴見区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（北寺尾七丁目）



1 保全した樹林地の整備
（馬場二丁目公園）



12 市民農園の開設
（獅子ヶ谷三丁目）



14 青空市・マルシェ等
（JA 横浜鶴見支店駐車場直売所）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（JR 鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー）

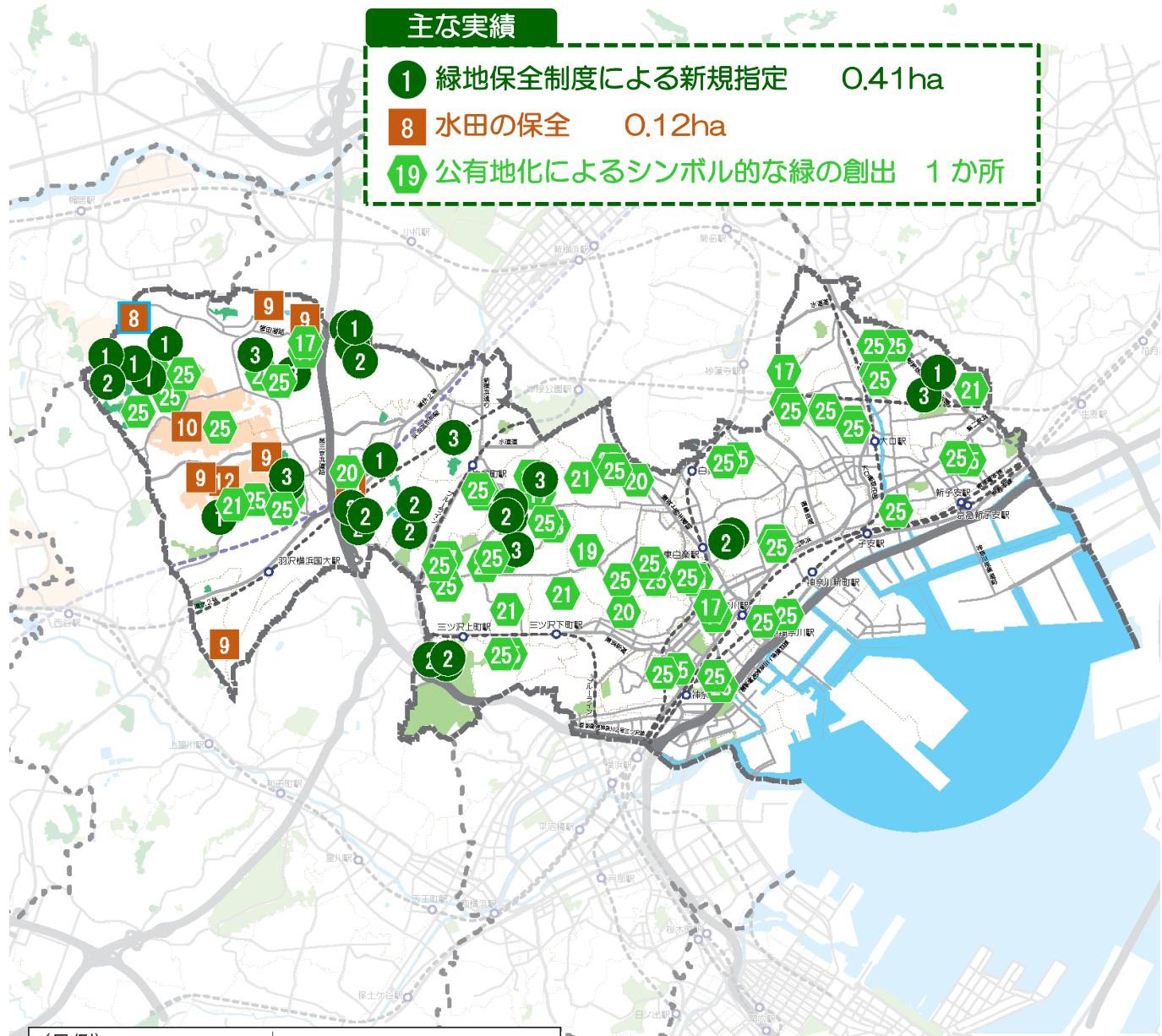


23 地域の花いっぱいにつながる取組
（中町公園）

神奈川区

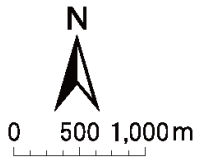
主な実績

- 1 緑地保全制度による新規指定 0.41ha
- 8 水田の保全 0.12ha
- 19 公有地化によるシンボリックな緑の創出 1か所



〈凡例〉

● 次世代につなぐ森を育む	■ 特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	■ 市民の森・ふれあいの樹林
● 実感できる緑や花をつくる	■ 公園緑地
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	■ 農業専用地区
	— 主な道路
	— 高速道路
	-○- 鉄道・鉄道駅
	- - - 新幹線



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 0.41ha

・緑地保存地区

2021年度 0.01ha 西寺尾三丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.4ha 羽沢町（2件）

・その他

2020年度 0.2ha 羽沢町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 1地区 菅田町赤坂特別緑地保全地区

2021年度 2地区 菅田町赤坂特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 5か所

2019年度 2か所 神大寺二丁目特別緑地保全地区、三枚町矢崎特別緑地保全地区

2020年度 2か所 神大寺二丁目特別緑地保全地区、菅田町出戸谷特別緑地保全地区

2021年度 1か所 菅田町赤坂特別緑地保全地区

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 17か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 4か所 三枚町牛道根特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区、豊
顕寺市民の森、白幡西緑地

2020年度 6か所 三枚町特別緑地保全地区、三枚町牛道根特別緑地保全地区、菅田町
出戸谷特別緑地保全地区、菅田町堀上特別緑地保全地区、豊顕寺市
民の森、白幡西緑地

2021年度 7か所 神大寺二丁目特別緑地保全地区、三枚町特別緑地保全地区、三枚町
牛道根特別緑地保全地区、菅田町出戸谷特別緑地保全地区、菅田町
堀上特別緑地保全地区、豊顕寺市民の森、白幡西緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 13件

2019年度 2件 菅田町（2件）

2020年度 5件 片倉三丁目、神大寺二丁目、菅田町（2件）、羽沢町

2021年度 6件 神大寺四丁目、菅田町、西寺尾三丁目（2件）、羽沢町（2件）

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 0.12ha

2019年度 0.12ha 菅田町

2020年度 0.12ha 菅田町

2021年度 0.12ha 菅田町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 6件

2019年度 1件 羽沢町

2020年度 3件 菅田町(2件)、羽沢南二丁目

2021年度 2件 羽沢町(2件)

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 31.5ha

2019年度 32.1ha 神奈川農地整備組合

2020年度 32.1ha 神奈川農地整備組合

2021年度 31.5ha 神奈川農地整備組合

・農地縁辺部への植栽 3件

2019年度 1件 神奈川農地整備組合

2020年度 1件 神奈川農地整備組合

2021年度 1件 神奈川農地整備組合

・井戸の改修 1地区

2020年度 1地区 神奈川農地整備組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 1.34ha

2019年度 0.41ha 羽沢町(2か所)

2020年度 0.65ha 羽沢町(4か所)

2021年度 0.28ha 羽沢町

・たい肥化設備等の支援 1件

2021年度 1件 菅田町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.02ha

・収穫体験農園

2020年度 0.02ha 羽沢町

14 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所・青空市等の支援 1件
 - ・直売所・加工所
- | | | |
|--------|----|-----|
| 2019年度 | 1件 | 羽沢町 |
|--------|----|-----|

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

- 緑の維持管理 10か所
- | | | |
|--------|-----|-----------------------------|
| 2019年度 | 4か所 | 神奈川区庁舎、砂田川、神奈川土木事務所、片倉消防出張所 |
| 2020年度 | 3か所 | 神奈川区庁舎、神奈川土木事務所、砂田川 |
| 2021年度 | 3か所 | 神奈川区庁舎、砂田川、松見町二丁目子どもの遊び場 |

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

- 良好な維持管理
- | | | |
|--------|-------------------|-------|
| 2019年度 | 鶴見三ツ沢線、栄本町線ほか | 計548本 |
| 2020年度 | 鶴見三ツ沢線、ギャラリーロードほか | 計488本 |
| 2021年度 | 鶴見三ツ沢線、栄本町線ほか | 計421本 |

19 シンボリックな緑の創出・育成

- 公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理
- | | | |
|--------|-----|----------------|
| 2019年度 | 1か所 | 六角橋四丁目公園（整備完了） |
|--------|-----|----------------|

20 建築物緑化保全契約の締結

- 建築物緑化保全契約の締結 3件
- | | | |
|--------|----|------------|
| 2019年度 | 2件 | 栗田谷、六角橋二丁目 |
| 2020年度 | 1件 | 羽沢町 |

21 名木古木の保存

- 名木古木の保存
 - ・新規指定
- | | | |
|--------|----|---------|
| 2019年度 | 1本 | 三ツ沢中町 |
| 2021年度 | 2本 | 松見町（2本） |
- ・維持管理の助成
- | | | |
|--------|----|----------------------|
| 2020年度 | 2本 | 西寺尾三丁目（2本） |
| 2021年度 | 4本 | 羽沢町、三ツ沢下町、六角橋二丁目（2本） |

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	反町公園でのモッコウバラ等つる性植物の植栽
2020年度	反町公園等における花壇整備
2021年度	東横フラワー緑道における花壇整備

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布（三枚町第一公園ほか6か所）
2020年度	球根などの配布（浦島公園ほか37か所）
2021年度	球根などの配布（赤坂公園ほか103か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 913本

2019年度	297本
2020年度	255本
2021年度	361本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 6か所

2019年度	2か所	なないろきつど保育園、浦島小学校
2020年度	2か所	白幡小学校、三ツ沢小学校
2021年度	2か所	浦島小学校、三ツ沢小学校

○緑の維持管理 66か所

2019年度	24か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、池上小学校、浦島小学校、大口台小学校、神奈川小学校、神橋小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田小学校、捜真小学校、中丸小学校、西寺尾小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校
2020年度	23か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、池上小学校、浦島小学校、大口台小学校、神奈川小学校、神橋小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田小学校、中丸小学校、西寺尾小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校
2021年度	19か所	神大寺保育園、西菅田保育園、松見保育園、青木小学校、浦島小学校、大口台小学校、神大寺小学校、幸ヶ谷小学校、子安小学校、斎藤分小学校、白幡小学校、菅田の丘小学校、中丸小学校、西寺尾第二小学校、羽沢小学校、二谷小学校、三ツ沢小学校、南神大寺小学校、盲特別支援学校

5 各区の実績
神奈川区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（西寺尾三丁目）



2 森の維持管理
（白幡西緑地）



8 水田の保全
（菅田町）



10 農景観を良好に維持する活動
（神奈川農地整備組合）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（東横フラワー緑道における花壇整備）

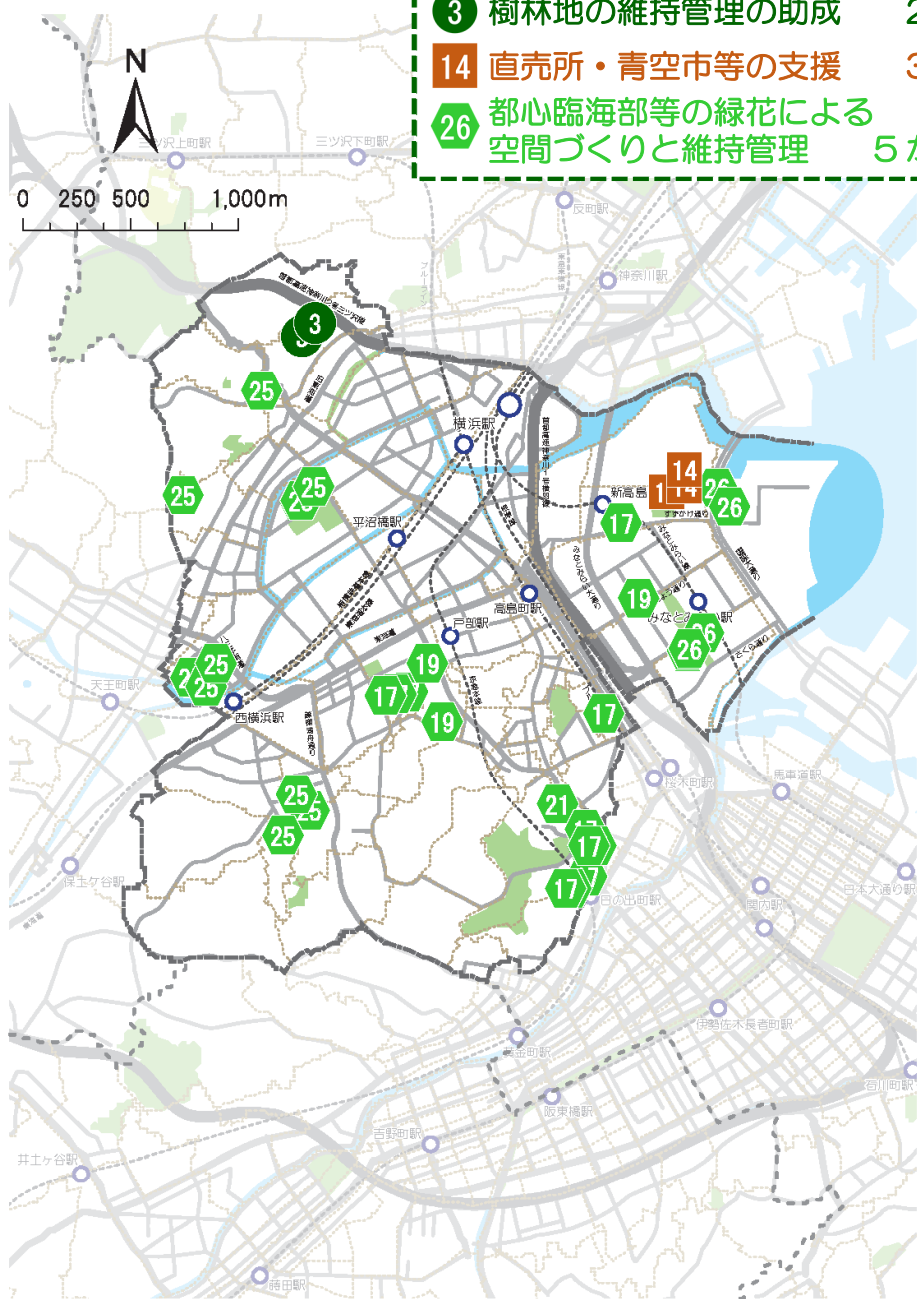


25 小学校での緑の創出・育成
（神大寺小学校）

西区

主な実績

- 3 樹林地の維持管理の助成 2件
- 14 直売所・青空市等の支援 3件
- 26 都心臨海部等の緑花による空間づくりと維持管理 5か所



〈凡例〉	特別緑地保全地区
● 次世代につなぐ森を育てる	市民の森・ふれあいの樹林
■ 農を感じる場をつくる	公園緑地
◆ 実感できる緑や花をつくる	主な道路
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	高速道路
	鉄道・鉄道駅

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 2件

2019年度 1件 南軽井沢

2020年度 1件 南軽井沢

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 3件

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 みなとみらい農家朝市

2020年度 1件 みなとみらい農家朝市

2021年度 1件 みなとみらい農家朝市

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 11か所

2019年度 4か所 西区庁舎、新高島駅周辺暫定通路、中央図書館、市長公舎

2020年度 4か所 西区庁舎、東横線廃線跡地（未供用区間）、中央図書館、市長公舎

2021年度 3か所 西区庁舎、中央図書館、市長公舎

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2019年度 低木 439本

2020年度 低木 65本

○良好な維持管理

2019年度 すずかけ通り、いちよう通りほか 計414本

2020年度 栄本町線、桜川新道ほか 計865本

2021年度 栄本町線、桜川新道ほか 計1,136本

19 シンボリックな緑の創出・育成

○公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

2019年度 1 箇所 伊勢町もくせい公園（管理）

2020年度 1 箇所 伊勢町もくせい公園（管理）

2021年度 1 箇所 伊勢町もくせい公園（管理）

○公開性のある緑空間の創出支援

2020年度 1 箇所 神奈川大学

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019年度 1 本 老松町

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 西区庁舎での植栽帯の整備

2020年度 回遊性向上を目的としたガーデンベアフォトスポット及びハンギングバスケット設置（2箇所）、フジの管理作業を学ぶ講習会の実施

2021年度 回遊性向上を目的としたガーデンベアフォトスポット及びハンギングバスケット設置、フジの管理作業を学ぶ講習会の実施、バラ育成講座の開催

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布

2020年度 球根などの配布（池ノ上公園ほか 21 箇所）

2021年度 球根などの配布（池ノ上公園ほか 10 箇所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 502 本

2019年度 181 本

2020年度 133 本

2021年度 188 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 3 箇所

2019年度 1 箇所 南浅間保育園

2020年度 1 箇所 浅間台小学校

2021年度 1 箇所 宮谷小学校

○緑の維持管理 8 箇所

2019年度 3 箇所 南浅間保育園、稲荷台小学校、岡野中学校

2020年度 3 箇所 南浅間保育園、稲荷台小学校、岡野中学校

2021年度 2 箇所 南浅間保育園、稲荷台小学校

5 各区の実績
西区

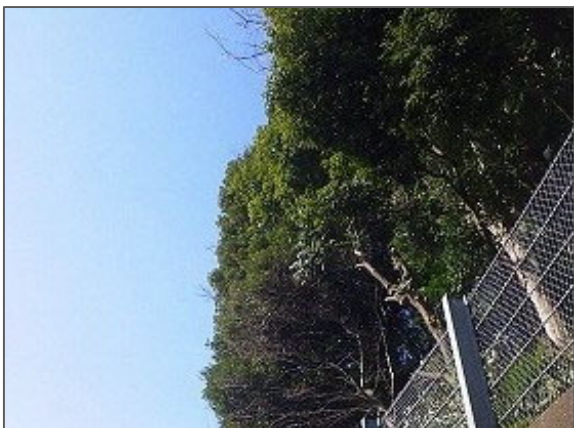
26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 5 箇所

2019 年度 2 箇所 グランモール公園、キングモール橋

2020 年度 2 箇所 グランモール公園、キングモール橋

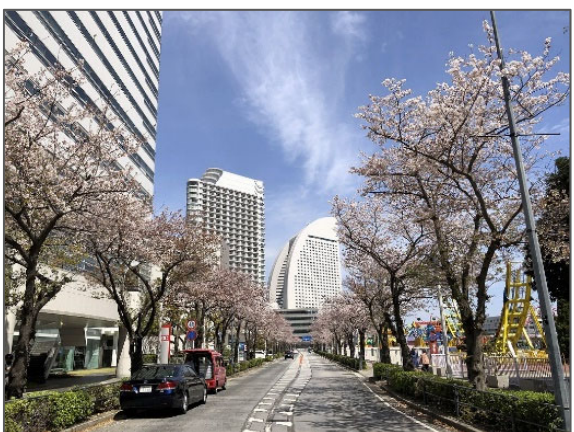
2021 年度 1 箇所 グランモール公園



3 樹林地の維持管理の助成
(南軽井沢)



14 青空市・マルシェ等
(みなとみらい農家朝市)



18 街路樹の良好な維持管理
(さくら通り)



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
(バラ育成講座)



23 地域の花いっぱいにつながる取組
(南軽井沢公園)



26 緑花による空間づくりと維持管理
(グランモール公園)

5 各区の実績
西区



中区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 0.2ha
- ⑭ 直売所・青空市等の支援 33件
- ⑳ 地域緑のまちづくり（新規） 2地区



<p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次世代につなぐ森を育む ■ 農を感じる場をつくる ◆ 実感できる緑や花をつくる <p>(凡例内の番号は、 取組番号を示します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別緑地保全地区 ■ 市民の森・ふれあいの樹林 ■ 公園緑地 — 主要道路 — 高速道路 —○— 鉄道・鉄道駅
---	--

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 0.2ha

・緑地保存地区

2019年度 0.1ha 北方町、竹之丸

2020年度 0.1ha 本牧町、山手町

○保全した樹林地の整備 2か所

2020年度 1か所 本牧間門緑地

2021年度 1か所 三溪園緑地

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 12か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

2020年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

2021年度 4か所 加曽台緑地、三溪園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 8件

2019年度 5件 北方町（2件）、竹之丸、本牧町、本牧間門

2020年度 1件 池袋

2021年度 2件 北方町、本牧町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 33件

・直売所・加工所

2021年度 1件 日ノ出町

・青空市・マルシェ等

2019年度 16件 横浜北仲マルシェ（16件）

2020年度 5件 横浜北仲マルシェ（4件）、戸塚4Hクラブ協議会よこはま野菜販売

2021年度 11件 横浜北仲マルシェ（10件）、戸塚4Hクラブ協議会よこはま野菜販売

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2 箇所

2019 年度 1 箇所 ハンマーヘッドパーク

2020 年度 1 箇所 ハンマーヘッドパーク

○緑の維持管理 7 箇所

2019 年度 3 箇所 旧市庁舎、中本牧コミュニティハウス、野毛地区センター

2020 年度 3 箇所 旧市庁舎、野毛地区センター、ハンマーヘッドパーク

2021 年度 1 箇所 ハンマーヘッドパーク

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019 年度 3 路線 本牧通り（整備中）、本牧桜道（整備完了）、谷戸坂（整備完了）

2020 年度 1 路線 本牧通り（整備完了）

○良好な維持管理

2019 年度 豊浦町第52号線、山下本牧磯子線（本牧通り）ほか 計1,286本

2020 年度 山下本牧磯子線（本牧通り）、山下本牧磯子線（新山下通り）ほか
計1,138本2021 年度 山下本牧磯子線（新山下通り）、山下高砂線（大棧橋浦舟線）ほか
計858本

19 シンボリックな緑の創出・育成

○公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理

2019 年度 1 箇所 山手町（整備中）

2020 年度 1 箇所 山手町（整備中）

2021 年度 1 箇所 山手町（整備中）

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 2 件

2019 年度 2 件 本牧元町、山手町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019 年度 3 本 山手町（3本）

2020 年度 1 本 滝之上

・維持管理の助成

2019 年度 11 本 日本大通、豆口台、山手町（4本）、山元町（5本）

2020 年度 15 本 滝之上、仲尾台、西之谷町、山手町（7本）、山元町（5本）

2021 年度 10 本 根岸旭台（3本）、豆口台、山手町、山元町（5本）

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2 地区

・新規

2020 年度 1 地区 元町河岸通り地区

2021 年度 1 地区 関内桜通り地区

・継続

2019 年度 1 地区 山下公園通り地区

2020 年度 1 地区 山下公園通り地区

2021 年度 1 地区 元町河岸通り地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜2019」PR事業、「ガーデンネックレス横浜2019」PR写真・絵画展、「ガーデンネックレス横浜2019」ウォーキングツアー

2020 年度 市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜2020」PR事業、「秋のローズ&ガーデンマーケット」連携イベント、「ガーデンネックレス横浜2020」ウォーキングツアー

2021 年度 市民参加型イベント等における「ガーデンネックレス横浜 2021」PR事業（開港記念会館イベントなど）、「ガーデンネックレス横浜 2021」ウォーキングツアー

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 市民連携花壇講座（山下公園）、花の種の配布

2020 年度 市民連携花壇講座（山下公園）、公園愛護会を対象とした「球根ミックス花壇の作り方」動画作成（山下公園）、球根などの配布（山手町公園ほか 36 か所）

2021 年度 市民連携花壇講座（山下公園）、球根などの配布（石川町五丁目公園ほか 34 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 546 本

2019 年度 157 本

2020 年度 180 本

2021 年度 209 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 3 箇所

2019 年度 2 箇所 立野小学校、仲尾台中学校

2021 年度 1 箇所 本牧南小学校

○緑の維持管理 10 箇所

2019 年度 4 箇所 竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校、横浜吉田中学校

2020 年度 3 箇所 竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校

2021 年度 3 箇所 竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 24 箇所

2019 年度 8 箇所 港の見える丘公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺

2020 年度 8 箇所 港の見える丘公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺

2021 年度 8 箇所 港の見える丘公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園、日本大通り、山下公園通り、新港中央広場、横浜ハンマーヘッド周辺

5 各区の実績
中区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（本牧町）



2 森の維持管理
（三溪園緑地）



14 青空市・マルシェ等
（横浜北仲マルシェ）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（「ガーデンネックレス横浜 2021」
ウォーキングツアー）



23 地域の花いっぱいにつながる取組
（市民連携花壇講座 山下公園）

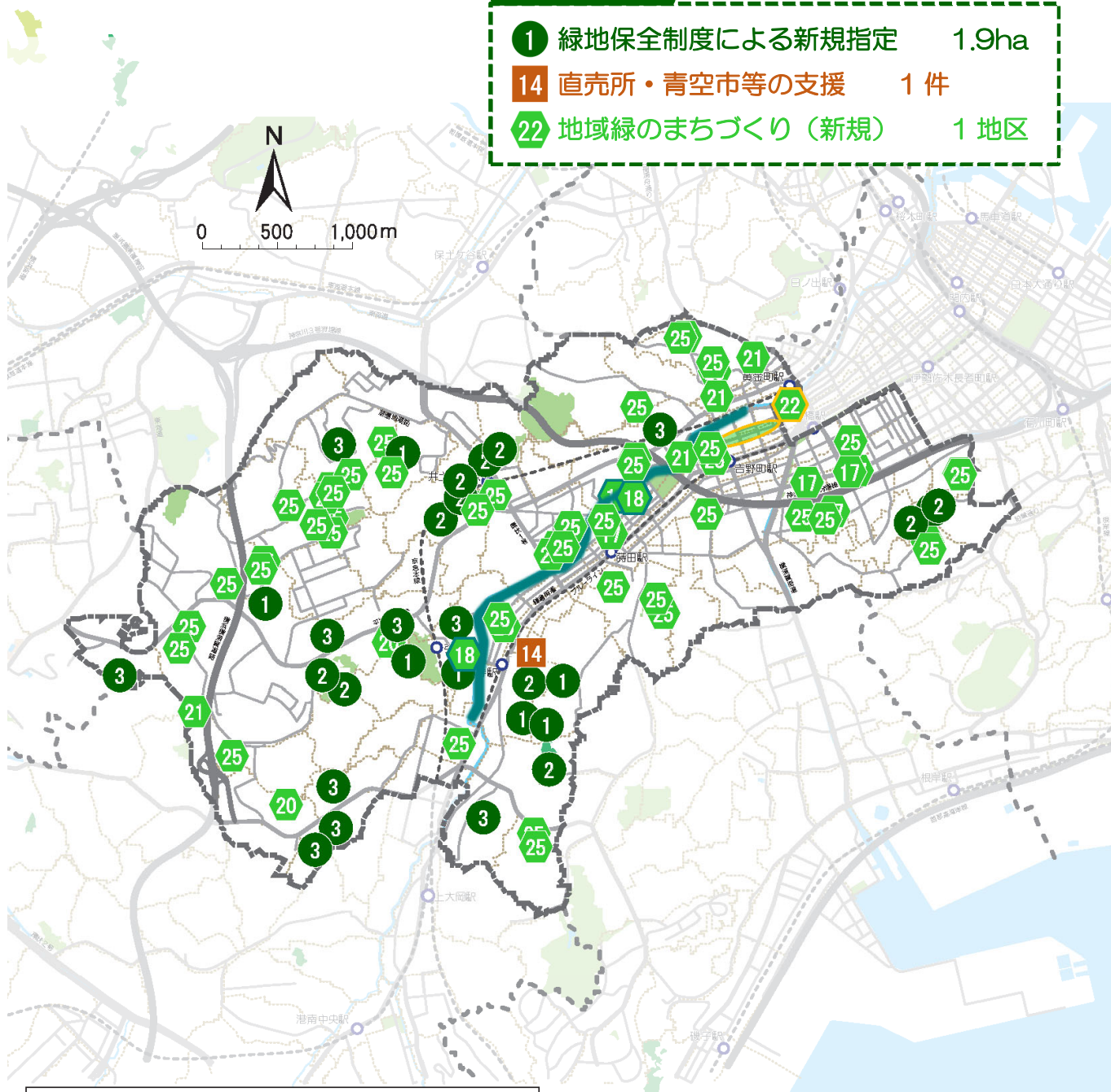


26 緑花による空間づくりと維持管理
（日本大通り）

南区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 1.9ha
- ⑭ 直売所・青空市等の支援 1件
- ⑳ 地域緑のまちづくり（新規） 1地区



● 次世代につなぐ森を育む	特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	市民の森・ふれあいの樹林
◆ 実感できる緑や花をつくる	公園緑地
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 1.9ha

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2021年度 1.4ha 中里三丁目特別緑地保全地区

- ・緑地保存地区

2019年度 0.3ha 弘明寺町、六ツ川一丁目

2020年度 0.1ha 永田東二丁目

2021年度 0.1ha 大岡一丁目

- ・その他

2020年度 0.2ha 別所五丁目

○保全した樹林地の整備 3か所

2019年度 2か所 大岡三丁目緑地（2か所）

2020年度 1か所 大岡特別緑地保全地区

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 13か所

- ・維持管理（樹林地）

2019年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2020年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2021年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

- ・維持管理（公園）

2019年度 2か所 唐沢公園、六ツ川中央公園

2020年度 2か所 唐沢公園、南太田四丁目公園

2021年度 3か所 唐沢公園、南太田四丁目公園、六ツ川中央公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 11件

2019年度 5件 大岡五丁目、永田北二丁目（2件）、別所三丁目、六ツ川一丁目

2020年度 3件 弘明寺町、別所二丁目、別所三丁目

2021年度 3件 南太田一丁目、六ツ川一丁目、六ツ川四丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 1件

・直売所・加工所

2020年度	1件	大岡町
--------	----	-----

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 5か所

2019年度	3か所	南区庁舎、中村地区センター、蒔田消防出張所
--------	-----	-----------------------

2020年度	1か所	南区庁舎
--------	-----	------

2021年度	1か所	南区庁舎
--------	-----	------

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度	1路線	大岡川プロムナード（整備中）
--------	-----	----------------

2020年度	1路線	大岡川プロムナード（整備中）
--------	-----	----------------

2021年度	1路線	大岡川プロムナード（整備中）
--------	-----	----------------

○良好な維持管理

2019年度	県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、中村川プロムナードほか	計628本
--------	--------------------------	-------

2020年度	県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、平戸桜木線ほか	計614本
--------	----------------------	-------

2021年度	県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、平戸桜木線ほか	計746本
--------	----------------------	-------

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 2件

2019年度	1件	六ツ川一丁目
--------	----	--------

2020年度	1件	別所五丁目
--------	----	-------

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度	1本	三春台
--------	----	-----

2021年度	4本	山王町（2本）、三春台、六ツ川四丁目
--------	----	--------------------

5 各区の実績
南区

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

・新規

2021 年度 1 地区 お三の宮通り周辺地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 大岡公園での桜の更新、公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2020 年度 阪東橋公園・餅井坂公園での桜の更新、公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2021 年度 公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布（蒔田公園ほか 6 か所）

2020 年度 球根などの配布（東橋公園ほか 78 か所）

2021 年度 球根などの配布（池下橋公園ほか 86 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 614 本

2019 年度 175 本

2020 年度 187 本

2021 年度 252 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 14 箇所

2019 年度 3 箇所 日枝小学校、南吉田小学校、六つ川小学校

2020 年度 5 箇所 井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、日枝小学校、六つ川台小学校

2021 年度 6 箇所 青山学院横浜英和小学校、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、日枝小学校、南小学校

○緑の維持管理 50 箇所

2019 年度 16 箇所 井土ヶ谷保育園、清水ヶ丘保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南太田小学校、六つ川西小学校、平楽中学校

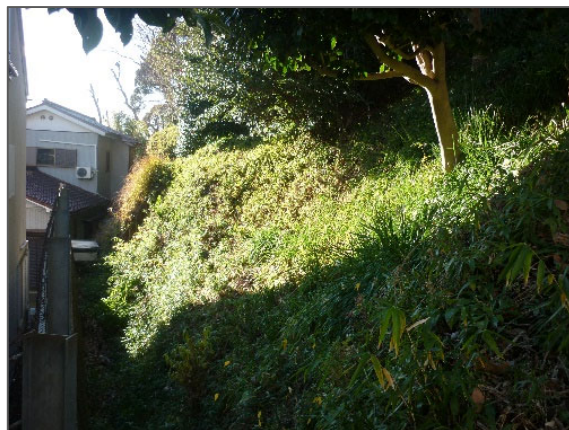
2020 年度 18 箇所 井土ヶ谷保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、別所小学校、蒔田小学校、南小学校、南太田小学校、六つ川小学校、六つ川西小学校、共進中学校、蒔田中学校

2021 年度 16 箇所 井土ヶ谷保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南太田小学校、六つ川西小学校、永田中学校、平楽中学校

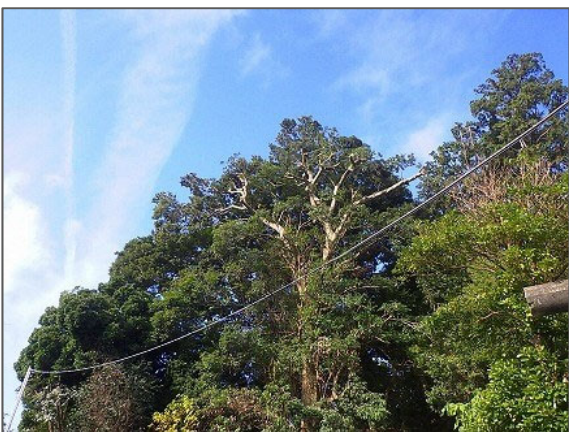
5 各区の実績
南区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（大岡一丁目）



2 森の維持管理
（大岡三丁目緑地）



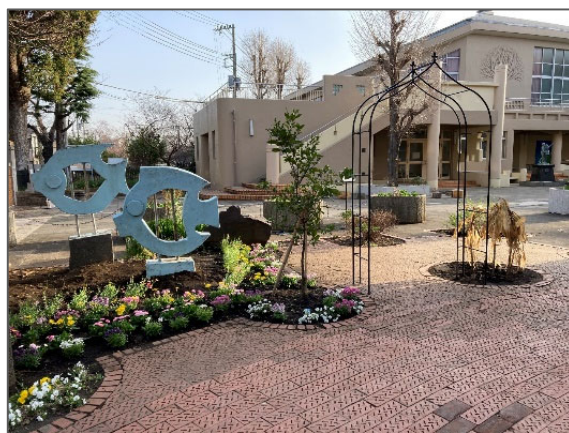
3 樹林地の維持管理の助成
（別所二丁目）



23 地域の花いっぱいにつながる取組
（中村公園）

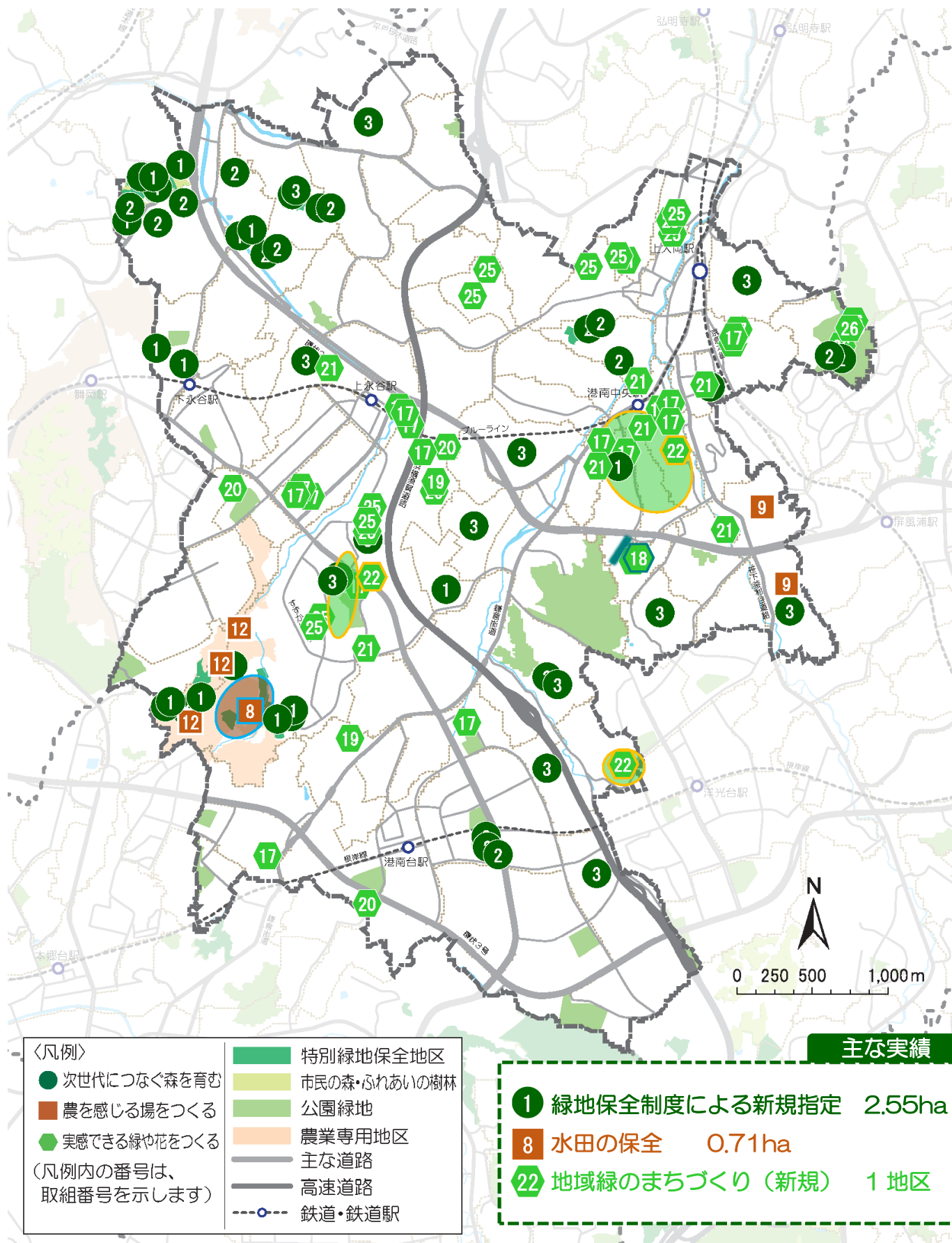


24 人生記念樹の配付
（南区役所）



25 小学校での緑の創出・育成
（大岡小学校）

港南区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 2.55ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1.1ha 野庭・上永谷町特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2020年度 0.02ha 下永谷市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2020年度 0.8ha 上大岡西三丁目、港南六丁目、下永谷四丁目、日野六丁目

・源流の森保存地区

2020年度 0.6ha 下永谷四丁目、野庭町

2021年度 0.03ha 野庭町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 野庭町特別緑地保全地区

2020年度 2地区 野庭町特別緑地保全地区、野庭・上永谷町特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 下永谷市民の森

○保全した樹林地の整備 9か所

2019年度 3か所 下永谷市民の森（3か所）

2020年度 2か所 下永谷市民の森、下永谷長町緑地

2021年度 4か所 野庭町特別緑地保全地区、野庭・上永谷町特別緑地保全地区、下永谷市民の森、下永谷長町緑地

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 17か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 4か所 下永谷市民の森、港南一丁目緑地、下永谷長町緑地、芹が谷五丁目緑地

2020年度 4か所 下永谷市民の森、港南一丁目緑地、下永谷長町緑地、芹が谷五丁目緑地

2021年度 4か所 港南一丁目特別緑地保全地区、芹が谷五丁目特別緑地保全地区、下永谷市民の森、下永谷長町緑地

・維持管理（公園）

2019年度 1か所 港南台中央公園

2020年度 2か所 久良岐公園、港南台中央公園

2021年度 2か所 久良岐公園、港南台中央公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 21 件

2019 年度	7 件	上大岡東一丁目、上永谷五丁目、笹下六丁目、野庭町（3件）、日野二丁目
2020 年度	9 件	港南台七丁目、笹下三丁目、芹が谷二丁目、野庭町（4件）、日野中央二丁目、日野四丁目
2021 年度	5 件	港南台一丁目、芹が谷五丁目、野庭町（2件）、日野中央二丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 0.71ha

2019 年度	0.71ha	野庭町
2020 年度	0.71ha	野庭町
2021 年度	0.71ha	野庭町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2 件

2020 年度	2 件	笹下二丁目、笹下三丁目
---------	-----	-------------

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.40ha

・市民農園

2020 年度	0.06ha	野庭町
2021 年度	0.34ha	野庭町（2 箇所）

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 1 箇所

2019 年度	1 箇所	港南台北公園こどもログハウス
---------	------	----------------

○緑の維持管理 17 箇所

2019 年度	9 箇所	港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、桜道コミュニティハウス、日野南コミュニティハウス、港南地区センター、野庭地区センター、下野庭スポーツ会館、横浜藤沢線、港南図書館
2020 年度	4 箇所	港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、横浜藤沢線、港南図書館
2021 年度	4 箇所	港南区庁舎、上大岡コミュニティハウス、横浜藤沢線、港南図書館

5 各区の実績
港南区

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度 1路線 港南桜道（整備中）

2020年度 1路線 港南桜道（整備完了）

○良好な維持管理

2019年度 舞岡上郷線（北部）、舞岡上郷線（南部）ほか 計1,271本

2020年度 環状2号線（下永谷）、県道横浜鎌倉（鎌倉街道）ほか 計1,132本

2021年度 環状2号線、舞岡上郷線ほか 計633本

19 シンボリックな緑の創出・育成

○公開性のある緑空間の創出支援 2か所

2020年度 1か所 日野南四丁目

2021年度 1か所 野庭町

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 4件

2019年度 2件 野庭町（2件）

2020年度 1件 丸山台四丁目

2021年度 1件 港南台九丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2020年度 4本 大久保二丁目、港南五丁目（3本）

2021年度 3本 上大岡西三丁目、港南六丁目（2本）

・維持管理の助成

2020年度 2本 港南三丁目、笹下四丁目

2021年度 3本 上永谷五丁目、港南六丁目、野庭町

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1地区

・新規

2021年度 1地区 野庭団地地区

・継続

2019年度 2地区 中之丸地区、日野団地地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 港南区役所で区制50周年記念特設花壇の設置、港南区役所・港南中央駅でのカウントダウンボックスの設置、区制50周年を記念した秋のひまわりプロジェクト、平戸永谷川での花の植え付け、いけばなワークショップの実施、下永谷第二公園での花壇整備

2020年度 上永谷第二公園、上永谷六丁目公園における公園愛護会の活動PR花壇の整備

2021年度 地域住民とのひまわり栽培、港南台北公園における花壇整備

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布（下永谷八木第三公園ほか 13 か所）

2020年度 球根などの配布（榎戸公園ほか 56 か所）

2021年度 球根などの配布（臼杵公園ほか 64 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,173 本

2019年度 388 本

2020年度 356 本

2021年度 429 本

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 2 か所

2020年度 1 か所 下永谷小学校

2021年度 1 か所 下永谷小学校

○緑の維持管理 11 か所

2019年度 3 か所 野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、桜岡小学校

2020年度 4 か所 大久保保育園、野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、桜岡小学校

2021年度 4 か所 大久保保育園、野庭第二保育園、野庭聖佳幼稚園、桜岡小学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 3 か所

2019年度 1 か所 久良岐公園

2020年度 1 か所 久良岐公園

2021年度 1 か所 久良岐公園

5 各区の実績
港南区



1 緑地保全制度による新規指定
源流の森保存地区（野庭町）



2 森の維持管理
（下永谷市民の森）



8 水田の保全
（野庭町）



12 市民農園の開設
（野庭町）

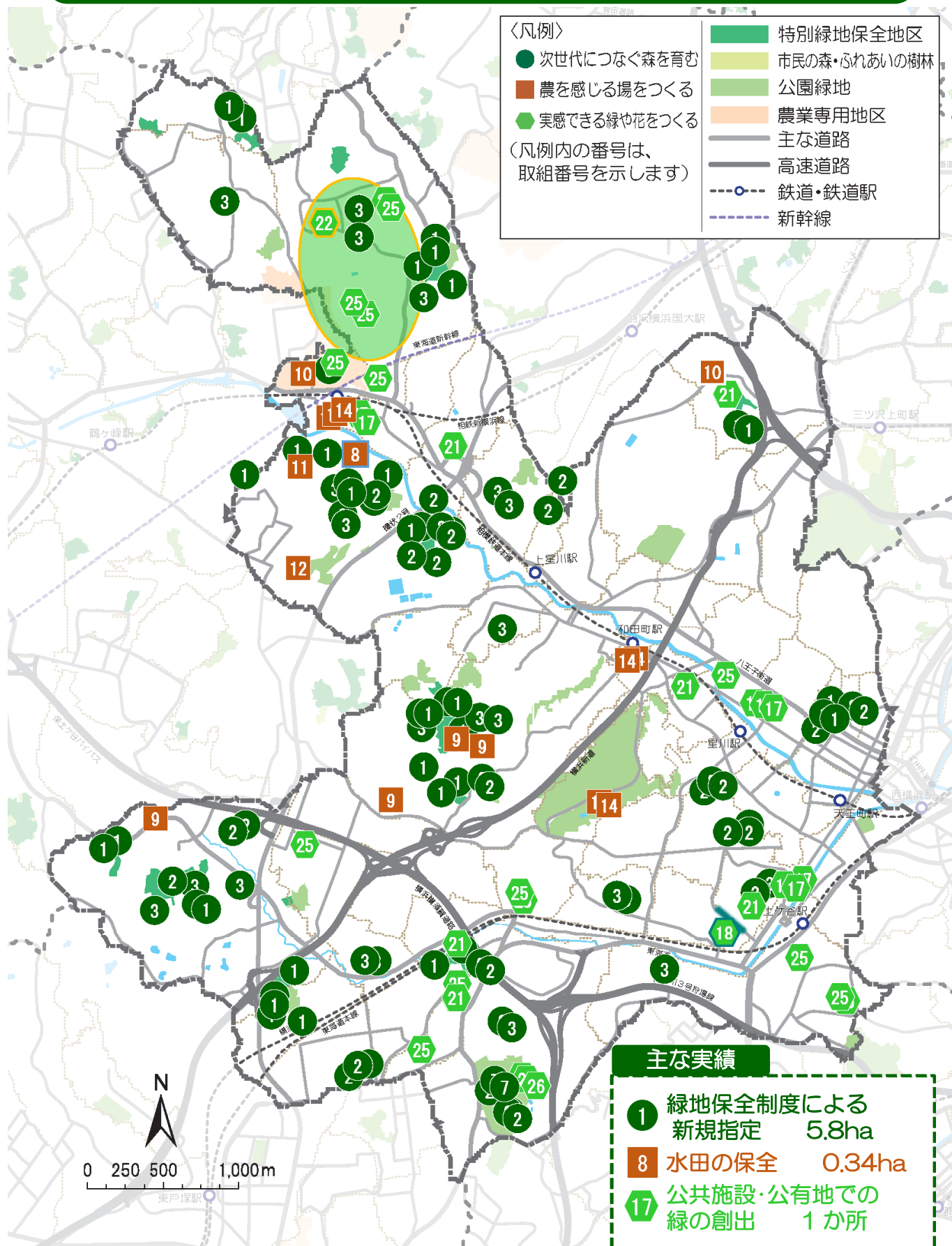


17 公共施設・公有地での緑の創出・育成
（港南区庁舎）



26 緑花による空間づくりと維持管理
（久良岐公園）

保土ヶ谷区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 5.8ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 1.4ha 仏向町横谷特別緑地保全地区、峰沢町特別緑地保全地区

2021年度 0.1ha 仏向町特別緑地保全地区（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.5ha 仏向町（3件）

・源流の森保存地区

2019年度 0.7ha 川島町（3件）、仏向町

2020年度 2.8ha 川島町（2件）

2021年度 0.3ha 川島町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 4地区 今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、仏向町特別緑地保全地区

2020年度 2地区 今井町特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区

2021年度 1地区 峰沢町特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 （仮称）今井・境木市民の森

2020年度 1地区 （仮称）今井・境木市民の森

○保全した樹林地の整備 22か所

2019年度 5か所 川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、（仮称）今井・境木市民の森、仏向町市有緑地、宮田緑地

2020年度 8か所 今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町金草沢東特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、仏向町特別緑地保全地区、（仮称）今井・境木市民の森、宮田緑地

2021年度 9か所 今井町特別緑地保全地区、今井町美立橋特別緑地保全地区、上菅田町金草沢東特別緑地保全地区、上菅田町寺下橋特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区（2か所）、仏向町特別緑地保全地区、（仮称）今井・境木市民の森、宮田緑地

※市による買取りの特別緑地保全地区・近郊緑地特別緑地保全地区について、過年度の報告書から実施箇所を修正しました。

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 31 か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 7 か所 上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、宮田緑地

2020年度 10 か所 今井町大久保特別緑地保全地区、上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、仏向町緑地、宮田緑地

2021年度 11 か所 今井町大久保特別緑地保全地区、今井町美立橋美立橋特別緑地保全地区、上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、権太坂特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、仏向町緑地、宮田緑地

・維持管理（公園）

2019年度 1 か所 横浜市児童遊園地

2020年度 1 か所 横浜市児童遊園地

2021年度 1 か所 横浜市児童遊園地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 32 件

2019年度 11 件 新井町、今井町（2件）、岩崎町、上菅田町、川島町（3件）、月見台、仏向町、法泉三丁目

2020年度 13 件 今井町、岩崎町、上菅田町、上星川一丁目、狩場町、川島町、瀬戸ヶ谷町（2件）、月見台、西谷町、仏向町（2件）、法泉三丁目

2021年度 8 件 今井町、上菅田町、上星川二丁目、狩場町、川島町（2件）、坂本町、仏向町

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度 環境活動支援センター交流スペース

2020年度 環境活動支援センター交流スペース

2021年度 環境活動支援センター交流スペース

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 0.34ha

2019年度 0.24ha 川島町

2020年度 0.24ha 川島町

2021年度 0.34ha 川島町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 4件

2020年度 3件 今井町、仏向町（2件）

2021年度 1件 仏向町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 11.5ha

2019年度 11.5ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

2020年度 11.5ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

2021年度 11.5ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.55ha

2019年度 0.15ha 上菅田町

2020年度 0.15ha 上菅田町

2021年度 0.25ha 上菅田町、法泉二丁目

11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.11ha

2021年度 0.11ha 川島町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.03ha

・収穫体験農園

2020年度 0.03ha 川島町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 9件

・青空市・マルシェ等

2019年度 3件 西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会

2020年度 3件 西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会

2021年度 3件 西谷朝市会、横浜中部地区市民朝市、和田町駅前直売会

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 1か所

2020年度 1か所 西谷地区センター

○緑の維持管理 6か所

2019年度 2か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷ビオガーデン

2020年度 2か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷ビオガーデン

2021年度 2か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷ビオガーデン

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度 1路線 月見台（整備完了）

○空き樹の補植

2020年度 高木5本

○良好な維持管理

2019年度 菅田第181号線（笹山団地前）、保土ヶ谷駅浅間線ほか 計233本

2020年度 保土ヶ谷駅浅間線、今井町第321号線（境木本町）ほか 計181本

2021年度 菅田第181号線（笹山団地前）、保土ヶ谷駅浅間線ほか 計235本

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度 2本 権太坂二丁目、峰沢町

2021年度 7本 霞台（4本）、上星川町、権太坂二丁目、峰沢町

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結

・継続

2019年度 1地区 上菅田地区

2020年度 1地区 上菅田地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 星川中央公園での「ほどがや花フェスタ」の実施

2020年度 和田町駅前の花壇整備

2021年度 区庁舎における花時計設置

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布（帷子公園ほか8か所）

2020年度 球根などの配布（南原ふれあい公園ほか25か所）

2021年度 球根などの配布（岩井町第三公園ほか32か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 898本

2019年度 282本

2020年度 276本

2021年度 340本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 10か所

2019年度 6か所 えがお園、えぶち保育園、初音丘学園PICCOLINO、みんなのみらい星川園、藤塚小学校、上菅田中学校

2020年度 2か所 権太坂小学校、上菅田中学校

2021年度 2か所 権太坂小学校、新井中学校

○緑の維持管理 6か所

2019年度 2か所 岩井保育園、上菅田小学校

2020年度 3か所 岩井保育園、初音丘学園 PICCOLINO、上菅田小学校

2021年度 1か所 岩井保育園

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理

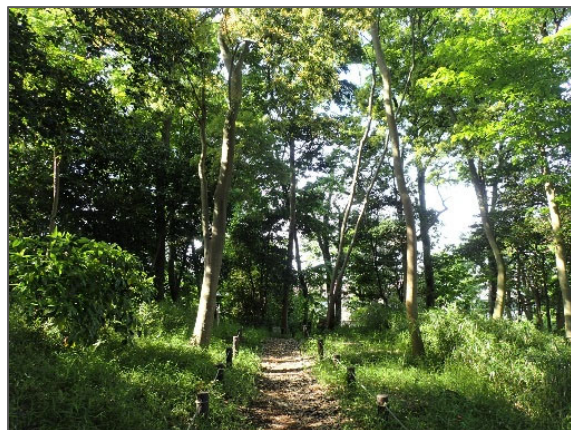
2019年度 1か所 横浜市児童遊園地

2020年度 1か所 横浜市児童遊園地

2021年度 1か所 横浜市児童遊園地



1 緑地保全制度による新規指定
(仏向町横谷特別緑地保全地区)



2 森の維持管理
(境木ふれあいの樹林)



8 水田の保全
(川島町)



14 青空市・マルシェ等
(西谷朝市会)



23 地域の花いっぱいにつながる取組
(上星川あおぞら公園)



26 緑花による空間づくりと維持管理
(横浜市児童遊園地)

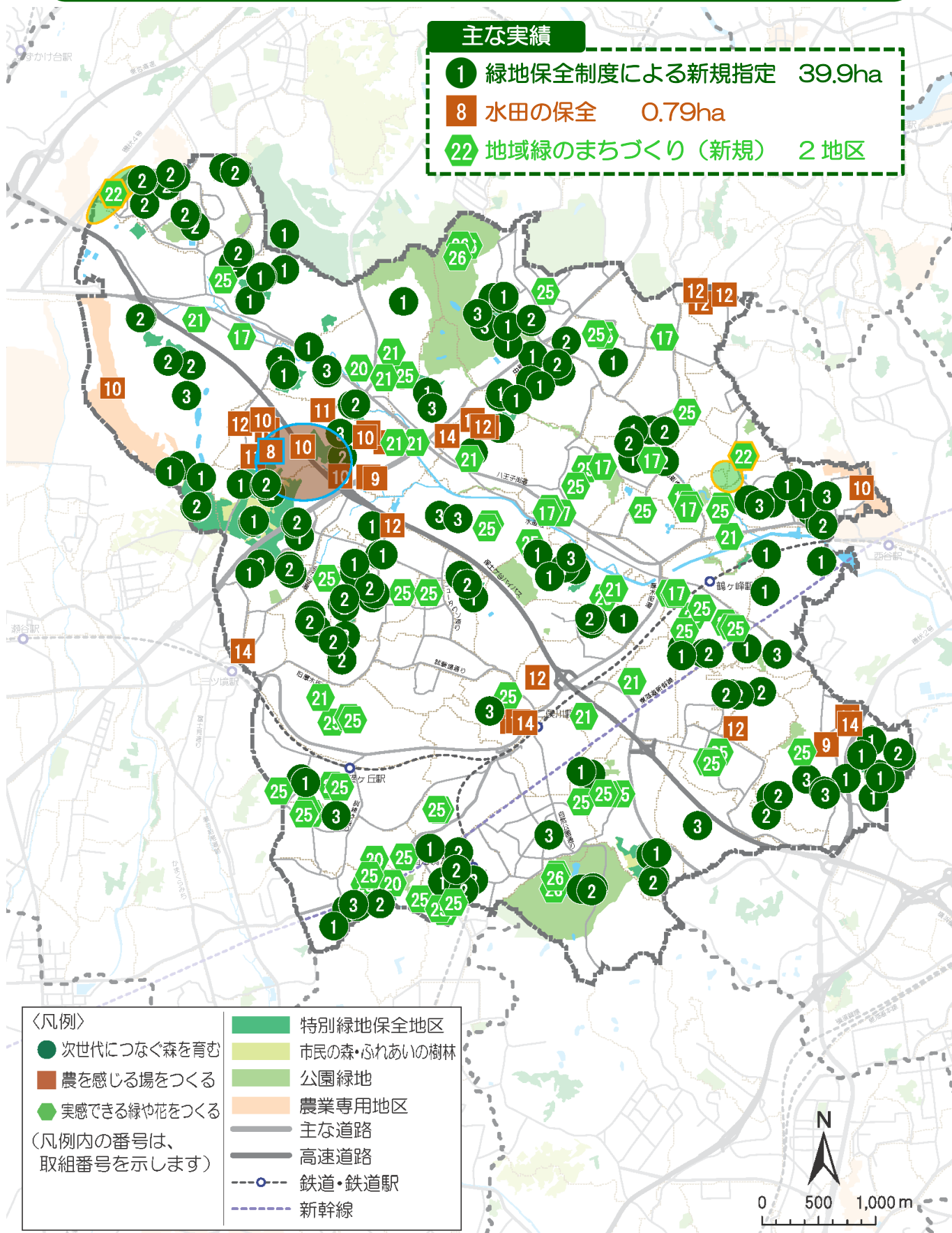
5 各区の実績
保土ヶ谷区



旭区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 39.9ha
- ⑧ 水田の保全 0.79ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 2地区



〈凡例〉

- 次世代につなぐ森を育む
- 農を感じる場をつくる
- ◆ 実感できる緑や花をつくる
- （凡例内の番号は、取組番号を示します）

■	特別緑地保全地区
■	市民の森・ふれあいの樹林
■	公園緑地
■	農業専用地区
—	主要道路
—	高速道路
—○—	鉄道・鉄道駅
—	新幹線

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 39.9ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 17.1ha 今宿西町特別緑地保全地区、市沢町特別緑地保全地区（指定拡大）、追分特別緑地保全地区（指定拡大）、上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）、白根五丁目特別緑地保全地区

2020年度 0.5ha 上白根町後谷特別緑地保全地区（指定拡大）

2021年度 4.8ha 上白根町小池特別緑地保全地区（指定拡大）、川井本町特別緑地保全地区（指定拡大）、中希望が丘特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1.2ha （仮称）市沢市民の森（指定拡大）、追分市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2020年度 0.8ha 今宿町、今宿二丁目、白根二丁目、中希望が丘

2021年度 0.2ha 川島町

・源流の森保存地区

2019年度 2.0ha 上川井町、上白根町、川島町、西川島町（3件）

2020年度 2.5ha 今宿一丁目、今川町、上川井町、上白根町、川井本町

2021年度 10.1ha 今川町、上白根町、川井宿町、善部町

・その他

2019年度 0.4ha 市沢町緑地

2021年度 0.3ha 今宿1号緑地、今宿7号緑地

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 5地区 市沢町特別緑地保全地区、今川町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、上川井町露木谷特別緑地保全地区、上白根町後谷特別緑地保全地区

2020年度 4地区 市沢町特別緑地保全地区、追分特別緑地保全地区、上川井町露木谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区

2021年度 2地区 市沢町特別緑地保全地区、追分特別緑地保全地区

・市民の森等

2021年度 2地区 追分市民の森、南本宿市民の森

・公園樹林部

2019年度 1地区 南本宿公園

2020年度 2地区 四季美台ふれあい公園、南本宿公園

○保全した樹林地の整備 26 か所

2019年度 11か所	上川井町堂谷特別緑地保全地区、下川井町特別緑地保全地区、都岡町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区（旭区内）、（仮称）市沢市民の森、追分市民の森、柏町市民の森（2か所）、白根ふれあいの樹林、上白根二丁目緑地
2020年度 9か所	今川町特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、鶴ヶ峰二丁目特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、柏町市民の森、白根ふれあいの樹林
2021年度 6か所	上白根町後谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、市沢市民の森、猪子山緑地

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 84 か所

・保安全管理計画の策定（樹林地）

2019年度 1 か所 柏町市民の森

2021年度 2 か所 上川井市民の森、鶴ヶ峰ふれあいの樹林

・維持管理（樹林地）

2019年度 19 か所 猪子山特別緑地保全地区、川井特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2020年度 22 か所 上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

2021年度 25 か所 猪子山特別緑地保全地区、上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井町特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

・維持管理（公園）

2019年度 5 か所 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園

2020年度 5 か所 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園

2021年度 5 か所 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 30件

2019年度	9件	市沢町、今宿西町、今宿南町、上白根町、川島町、桐が作、白根二丁目、善部町（2件）
2020年度	11件	市沢町、今宿南町（2件）、上川井町、上白根町、川井本町、下川井町（3件）、中希望が丘、都岡町
2021年度	10件	市沢町、今川町、上白根町、川井本町、川島町（2件）、白根二丁目、善部町、二俣川1丁目、万騎が原

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 0.79ha

2019年度	0.79ha	下川井町、矢指町
2020年度	0.79ha	下川井町、矢指町
2021年度	0.79ha	下川井町、矢指町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 3件

2019年度	2件	市沢町、下川井町
2020年度	1件	下川井町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 31.9ha

2019年度 21.7ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、上川井農業専用地区協議会

2020年度 21.3ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、上川井農業専用地区協議会

2021年度 31.9ha 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、上川井農業専用地区協議会、下川井農地整備組合

・農地縁辺部への植栽 3件

2019年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2020年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

2021年度 1件 都岡地区恵みの里運営協議会

・土砂流出防止対策 1件

2020年度 1件 下川井農地整備組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 2.10ha

2019年度 1.03ha 今宿南町（2か所）、下川井町、矢指町（2か所）

2020年度 0.65ha 上白根町、川井本町、下川井町（2か所）

2021年度 0.42ha 上白根町、川井本町、下川井町、矢指町

・たい肥化設備等の支援 2件

2020年度 2件 市沢町、下川井町

11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.64ha

2019年度 0.64ha 今宿西町、下川井町（2か所）

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.22ha

・収穫体験農園

2020年度 0.27ha 下川井町

2020年度 0.07ha 今宿西町

2021年度 0.09ha 今宿一丁目、今宿西町

・市民農園

2020年度 0.66ha 小高町、上白根町、白根町、本村町

2020年度 0.13ha 下川井町、白根町（2か所）

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 7件

・直売所・加工所

2019年度 1件 市沢町

2020年度 1件 今宿西町

2021年度 2件 市沢町、笹野台一丁目

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 横浜農協二俣川直売所

2020年度 1件 横浜農協二俣川直売所

2021年度 1件 横浜農協二俣川直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 4か所

2020年度 3か所 旭台中央公園、帷子川親水護岸、ふるさと尾根道緑道

2021年度 1か所 ふるさと尾根道緑道

○緑の維持管理 10か所

2019年度 3か所 旭区庁舎、旭土木事務所、旭図書館

2020年度 3か所 旭区庁舎、旭図書館、旭土木事務所

2021年度 4か所 旭区庁舎、旭図書館、旭土木事務所、ふるさと尾根道緑道

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度 県道丸子中山茅ヶ崎（中原街道）、水道道プロムナードほか
計720本

2020年度 今宿南郵便局通り、ニュータウン通りほか 計665本

2021年度 ニュータウン通り、県道丸子中山茅ヶ崎（中原街道）ほか
計535本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 5件

2019年度 5件 川井本町、四季美台、善部町（3件）

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2020年度 7本 川井宿町（7本）

2021年度 2本 東希望が丘（2本）

・維持管理の助成

2019年度 1本 下川井町

2020年度 8本 今宿西町（2本）、上川井町、白根六丁目（3本）、本宿町（2本）

2021年度 8本 今川町、川井宿町（3本）、下川井町（3本）、本宿町

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2019年度 1地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2021年度 1地区 白根二丁目地区

・継続

2020年度 1地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

2021年度 1地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 里山ガーデンでのあさひくん花壇づくり

2020年度 区民利用施設（13か所）における花壇整備、区内公園の花壇整備及び花苗支援

2021年度 区内公園における花壇・プランターの設置

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花苗などの配布（鶴ヶ峰公園ほか13か所）

2020年度 球根などの配布（二俣川二丁目第三公園ほか38か所）

2021年度 球根などの配布（旭台中央公園ほか93か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,450本

2019年度 444本

2020年度 471本

2021年度 535本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 8 箇所

2019 年度 3 箇所 鶴ヶ峯幼稚園、柏保育園、中沢小学校

2020 年度 3 箇所 笹野台小学校、白根小学校、万騎が原中学校

2021 年度 2 箇所 柏保育園、不動丸小学校

○緑の維持管理 46 箇所

2019 年度 17 箇所 柏保育園、左近山保育園、市沢小学校、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、二俣川小学校、南本宿小学校、旭中学校、上白根中学校、南希望が丘中学校

2020 年度 13 箇所 柏保育園、左近山保育園、鶴ヶ峯幼稚園、今宿小学校、今宿南小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、南希望が丘中学校

2021 年度 16 箇所 柏保育園、左近山保育園、中希望が丘保育園、鶴ヶ峯幼稚園、今宿小学校、今宿南小学校、上白根小学校、川井小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、南希望が丘中学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

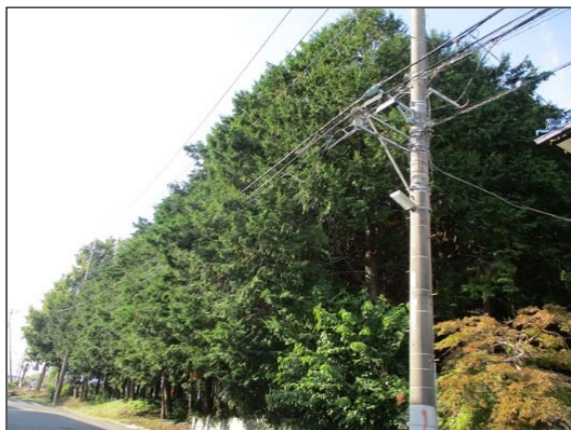
○緑花による空間づくりと維持管理 6 箇所

2019 年度 2 箇所 こども自然公園、里山ガーデン

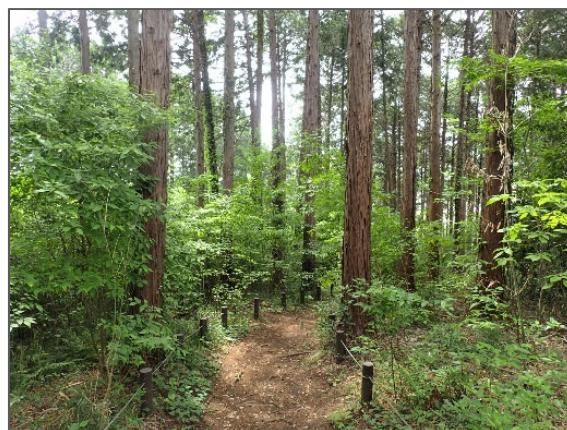
2020 年度 2 箇所 こども自然公園、里山ガーデン

2021 年度 2 箇所 こども自然公園、里山ガーデン

5 各区の実績
旭区



1 緑地保全制度による新規指定
(中希望が丘特別緑地保全地区)



2 森の維持管理
(今宿市民の森)



8 水田の保全
(矢指町)



12 収穫体験農園の開設
(今宿一丁目)

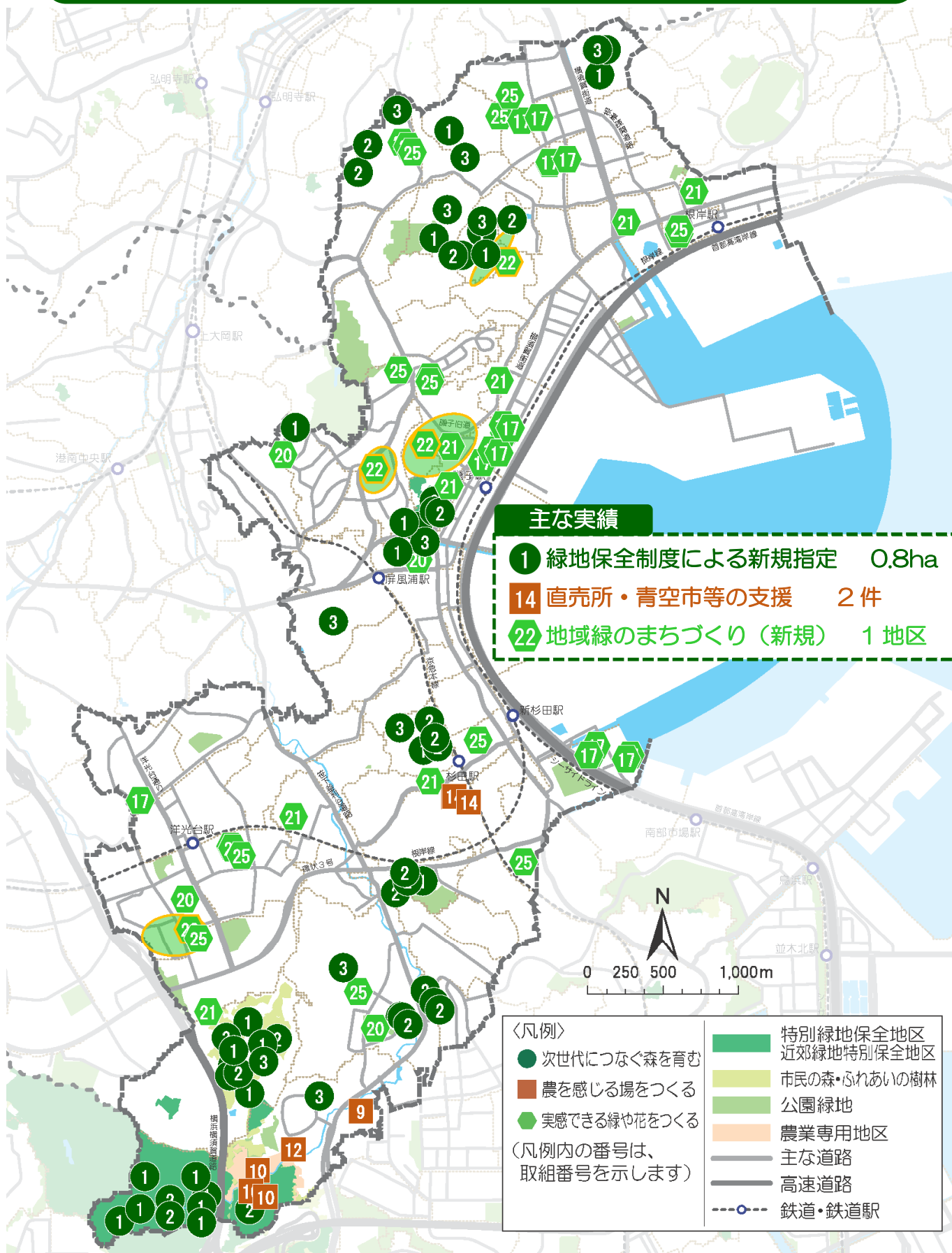


25 保育園での緑の創出・育成
(柏保育園)



26 緑花による空間づくりと維持管理
(こども自然公園)

磯子区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 0.8ha

・市民の森等

2020年度 0.3ha 氷取沢市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.1ha 上町

2020年度 0.2ha 岡村二丁目、滝頭一丁目

2021年度 0.1ha 森二丁目

・その他

2019年度 0.1ha 汐見台

2021年度 0.2ha 洋光台五丁目

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 円海山近郊緑地特別保全地区、氷取沢町特別緑地保全地区

2020年度 1地区 円海山近郊緑地特別保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 峯市民の森

2020年度 1地区 峯市民の森

○保全した樹林地の整備 14か所

2019年度 5か所 峯市民の森（2か所）、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

2020年度 3か所 岡村一丁目緑地、氷取沢市民の森（2か所）

2021年度 6か所 岡村一丁目緑地、森浅間社緑地、氷取沢市民の森（3か所）、峯市民の森

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 26か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 8か所 氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

2020年度 9か所 氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

2021年度 9か所 氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 15件

2019年度 4件 岡村四丁目、中原四丁目、氷取沢町、峰町

2020年度 4件 岡村三丁目、上町、峰町、森二丁目

2021年度 7件 岡村一丁目、岡村二丁目（2件）、上町、上中里町、峰町、森五丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 1件

2020年度 1件 氷取沢町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・農地縁辺部への植栽 3件

2019年度 1件 氷取沢畑地かんがい組合

2020年度 1件 氷取沢畑地かんがい組合

2021年度 1件 氷取沢畑地かんがい組合

・土砂流出防止対策 1件

2020年度 1件 氷取沢畑地かんがい組合

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.03ha

・市民農園

2019年度 0.03ha 氷取沢町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 2件

・青空市・マルシェ等

2020年度 1件 杉田野菜直売所

2021年度 1件 杉田野菜直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2 箇所

2020 年度 2 箇所 洋光台西公園、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

○緑の維持管理 15 箇所

2019 年度 5 箇所 磯子区庁舎、市道新杉田第 117 号線、滝頭コミュニティハウス、社会教育コーナー、杉田臨海緑地

2020 年度 4 箇所 磯子区庁舎、市道新杉田第 117 号線、滝頭コミュニティハウス、横浜市社会教育コーナー

2021 年度 6 箇所 磯子区庁舎、市道新杉田第 117 号線、滝頭コミュニティハウス、横浜市社会教育コーナー、杉田臨海緑地、横浜市脳卒中・神経脊椎センター

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019 年度 磯子産業道路、横浜逗子線（栗木-釜利谷）ほか 計1,128本

2020 年度 洋光台第5号線（洋光台六丁目第三公園東側）、洋光台通り（洋光台南公園西側）ほか 計1,109本

2021 年度 洋光台第183号線（上中里団地）、環状3号線ほか 計906本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 4 件

2019 年度 3 件 上中里町、汐見台、森二丁目

2021 年度 1 件 洋光台五丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019 年度 11 本 磯子三丁目（3本）、峰町（8本）

2021 年度 2 本 森二丁目（2本）

・維持管理の助成

2019 年度 4 本 杉田二丁目（2本）、原町（2本）

2020 年度 1 本 磯子三丁目

2021 年度 4 本 栗木二丁目、西町（3本）

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

・新規

2019 年度 1 地区 磯子3丁目地区

・継続

2019 年度 3 地区 磯子・岡村地区、汐見台2丁目地区、洋光台五街区周辺地区

2020 年度 2 地区 磯子3丁目地区、洋光台五街区周辺地区

2021 年度 1 地区 磯子3丁目地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 はまぎんこども宇宙科学館でのガーデンベア立体花壇の設置

2020 年度 JR洋光台駅前における立体花壇の設置

2021 年度 公園愛護会周知サインの設置、区の花 PR を目的とした区内の公園愛護会及び指定管理者への種配布

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布（坪舌公園ほか 17 か所）

2020 年度 球根などの配布（泉谷公園ほか 27 か所）

2021 年度 球根などの配布（泉谷第二公園ほか 29 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 989 本

2019 年度 388 本

2020 年度 261 本

2021 年度 340 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 7 か所

2019 年度 2 か所 浜小学校、汐見台中学校

2020 年度 2 か所 さわの里小学校、浜小学校

2021 年度 3 か所 梅林小学校、洋光台第四小学校、杉田小学校

○緑の維持管理 10 か所

2019 年度 4 か所 滝頭保育園、洋光台第二保育園、岡村小学校、根岸中学校

2020 年度 4 か所 滝頭保育園、洋光台第二保育園、岡村小学校、根岸中学校

2021 年度 2 か所 洋光台第二保育園、岡村小学校

5 各区の実績
磯子区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（森二丁目）



1 保全した樹林地の整備
（氷取沢市民の森）



10 農景観を良好に維持する活動
（氷取沢畑地かんがい組合）



14 青空市・マルシェ等
（杉田野菜直売所）



20 建築物緑化保全契約の締結
（洋光台五丁目）



22 地域緑のまちづくり
（磯子3丁目地区）

金沢区

主な実績

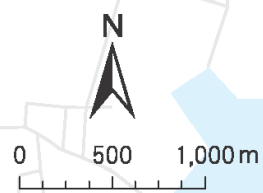
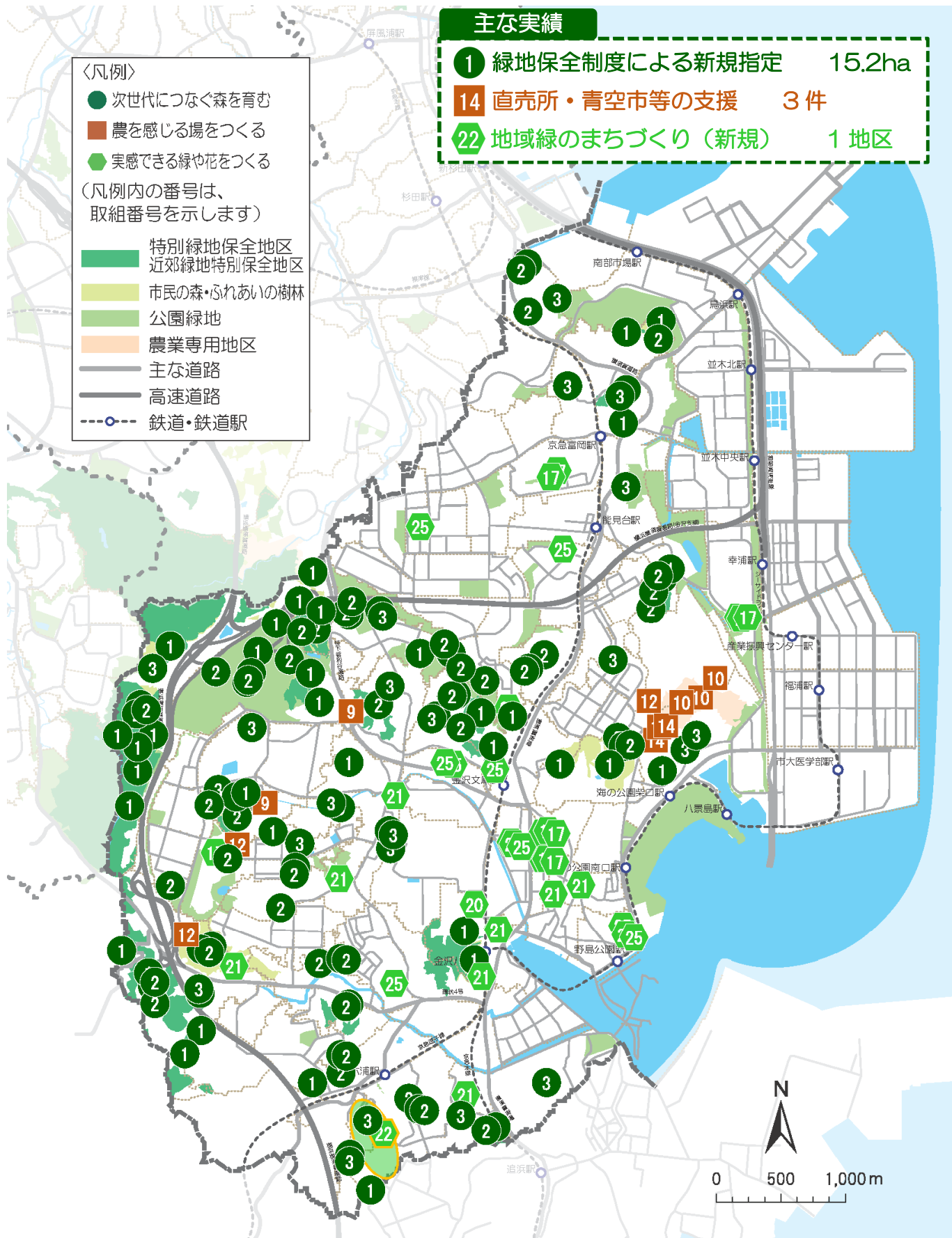
- 1** 緑地保全制度による新規指定 15.2ha
- 14** 直売所・青空市等の支援 3件
- 22** 地域緑のまちづくり（新規） 1地区

〈凡例〉

- 次世代につなぐ森を育む
- 農を感じる場をつくる
- ◆ 実感できる緑や花をつくる

（凡例内の番号は、
取組番号を示します）

- 特別緑地保全地区
- 近郊緑地特別保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- - - 鉄道・鉄道駅



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 15.2ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 8.3ha 朝比奈特別緑地保全地区（指定拡大）、円海山近郊緑地特別保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2019年度 0.8ha （仮称）御伊勢山・権現山市民の森（指定拡大）、（仮称）富岡東三丁目市民の森（指定拡大）

2021年度 1.8ha （仮称）富岡東三丁目市民の森（指定拡大）、金沢市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.5ha 釜利谷東六丁目、瀬戸、大道二丁目、能見台六丁目（2件）

2020年度 0.2ha 柴町、富岡東五丁目、六浦東三丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.8ha 釜利谷町

2020年度 2.8ha 朝比奈町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 大丸山近郊緑地特別保全地区

2020年度 3地区 釜利谷特別緑地保全地区、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区、大丸山近郊緑地特別保全地区

2021年度 3地区 朝比奈特別緑地保全地区管理用地、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区、大丸山近郊緑地特別保全地区

・市民の森等

2021年度 1地区 称名寺市民の森管理用地

○保全した樹林地の整備 19か所

2019年度 7か所 金沢市民の森（2か所）、釜利谷市民の森、関ヶ谷市民の森（2か所）、柴・長浜緑地、六浦五丁目緑地

2020年度 7か所 朝比奈特別緑地保全地区、釜利谷特別緑地保全地区（2か所）、柴・長浜特別緑地保全地区、大丸山近郊緑地特別保全地区、釜利谷市民の森、関ヶ谷市民の森

2021年度 5か所 朝比奈特別緑地保全地区、釜利谷特別緑地保全地区、釜利谷東五丁目特別緑地保全地区、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 60 か所

・保全管理計画の策定（公園）

2019年度 1 か所 金沢自然公園

2021年度 1 か所 能見堂緑地

・維持管理（樹林地）

2019年度 16 か所 朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、朝比奈緑地、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦東三丁目緑地、六浦五丁目緑地

2020年度 18 か所 朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、（仮称）富岡東三丁目市民の森、朝比奈緑地、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷東三丁目緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦東三丁目緑地、六浦五丁目緑地

2021年度 17 か所 朝比奈北市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、朝比奈緑地、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷東三丁目緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、大道二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地、六浦五丁目緑地

・維持管理（公園）

2019年度 3 か所 金沢自然公園、釜利谷五号緑地、能見堂緑地

2020年度 2 か所 金沢自然公園、能見堂緑地

2021年度 2 か所 金沢自然公園、能見堂緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 31 件

2019年度 8 件 釜利谷町、釜利谷東七丁目、釜利谷南一丁目（2件）、釜利谷南四丁目、富岡東一丁目、西柴二丁目、六浦南四丁目

2020年度 11 件 釜利谷町、釜利谷三丁目、釜利谷東三丁目、釜利谷東七丁目、釜利谷南一丁目、柴町（2件）、富岡東五丁目、能見台六丁目、六浦東三丁目、六浦南四丁目

2021年度 12 件 朝比奈町、釜利谷東三丁目、釜利谷東四丁目、釜利谷南一丁目、柴町（2件）、富岡東五丁目（2件）、富岡西二丁目、富岡東六丁目、六浦東一丁目、六浦南四丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2件

2019年度 2件 釜利谷東四丁目、釜利谷東八丁目

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 9.8ha

2019年度 9.8ha 柴農業機械利用組合

2020年度 9.9ha 柴農業機械利用組合

2021年度 9.8ha 柴農業機械利用組合

・農地縁辺部への植栽 3件

2019年度 1件 柴農業機械利用組合

2020年度 1件 柴農業機械利用組合

2021年度 1件 柴農業機械利用組合

・井戸の改修 1地区

2019年度 1地区 横浜市金沢区柴土地改良区

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.10ha

2021年度 0.10ha 朝比奈町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.24ha

・収穫体験農園

2019年度 0.14ha 釜利谷東八丁目

2021年度 0.02ha 柴町

・市民農園

2021年度 0.08ha 朝比奈町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 3件

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 柴シーサイド恵みの里直売所

2020年度 1件 柴シーサイド恵みの里直売所

2021年度 1件 柴シーサイド恵みの里直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2 箇所

2020 年度 1 箇所 富岡緑地

2021 年度 1 箇所 富岡緑地

○緑の維持管理 10 箇所

2019 年度 4 箇所 金沢区庁舎、泥亀公園、長浜水路、釜利谷消防出張所

2020 年度 3 箇所 金沢区庁舎、泥亀公園、長浜水路

2021 年度 3 箇所 金沢区庁舎、泥亀公園、長浜水路

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2020 年度 高木 140 本、低木 852 本

○良好な維持管理

2019 年度 洋光台第384号線（能見台）、杉田第590号線（並木）ほか 計 2,318本

2020 年度 杉田第590号線（並木）、洋光台第384号線（能見台）ほか 計 2,473本

2021 年度 杉田第590号線（並木）、洋光台第384号線（能見台）ほか 計 2,614本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 2 件

2019 年度 2 件 瀬戸、能見台五丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2020 年度 3 本 町屋町（3本）

・維持管理の助成

2019 年度 2 本 六浦東二丁目（2本）

2020 年度 5 本 釜利谷南一丁目（2本）、瀬戸（3本）

2021 年度 9 本 朝比奈町、釜利谷南一丁目（4本）、瀬戸、町屋町（3本）

※維持管理の助成について、過年度の報告書から実施箇所を修正しました。

5 各区の実績
金沢区

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

・新規

2019 年度 1 地区 六浦台地区

・継続

2020 年度 1 地区 六浦台地区

2021 年度 1 地区 六浦台地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 旧川合玉堂別邸（二松庵）庭園のリーフレット・ポスター作成、区の花「ボタン」の苗木配布、谷津坂第一公園におけるプロのガーデナーによる維持管理講習会の実施

2020 年度 区内公園における区の花「ボタン」の植栽、谷津坂第一公園における維持管理講習会の実施、金沢八景駅前におけるプランター緑化

2021 年度 区内 27 公園における区の花「ボタン」の植栽、「黒梅」の苗木購入、金沢土木事務所フラワーセンターにおけるボランティア活動支援

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布（片吹公園ほか 20 か所）

2020 年度 球根などの配布（北谷公園ほか 115 か所）

2021 年度 球根などの配布（北谷公園ほか 113 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,349 本

2019 年度 420 本

2020 年度 415 本

2021 年度 514 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 6 か所

2019 年度 1 か所 聖星保育園

2020 年度 4 か所 聖星保育園、釜利谷東小学校、六浦小学校、富岡中学校

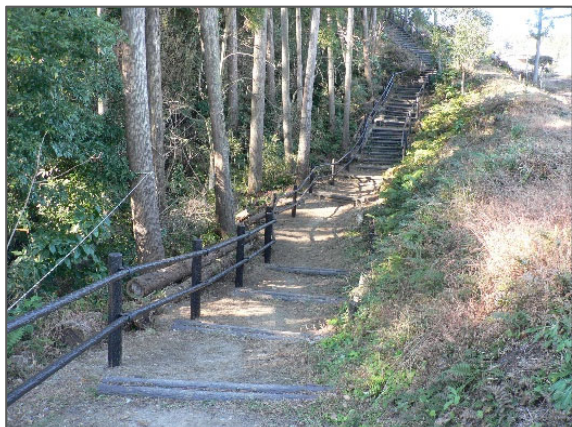
2021 年度 1 か所 きらら保育園

○緑の維持管理 6 か所

2019 年度 2 か所 釜利谷東小学校、八景小学校

2020 年度 1 か所 八景小学校

2021 年度 3 か所 聖星保育園、釜利谷東小学校、八景小学校



1 保全した樹林地の整備
(関ヶ谷市民の森)



2 森の維持管理
(能見堂緑地)



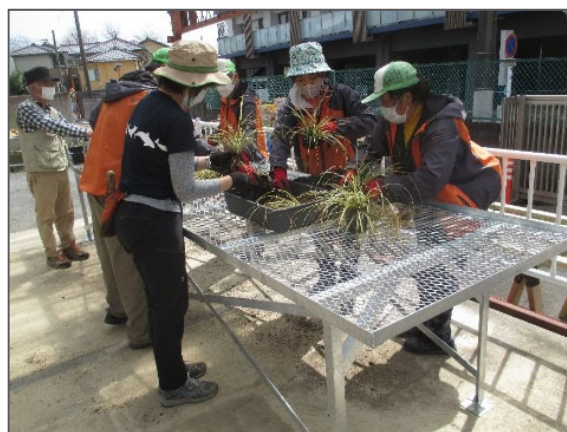
10 農景観を良好に維持する活動
(柴農業機械利用組合)



12 収穫体験農園の開設
(柴町)



22 地域緑のまちづくり
(六浦台地区)

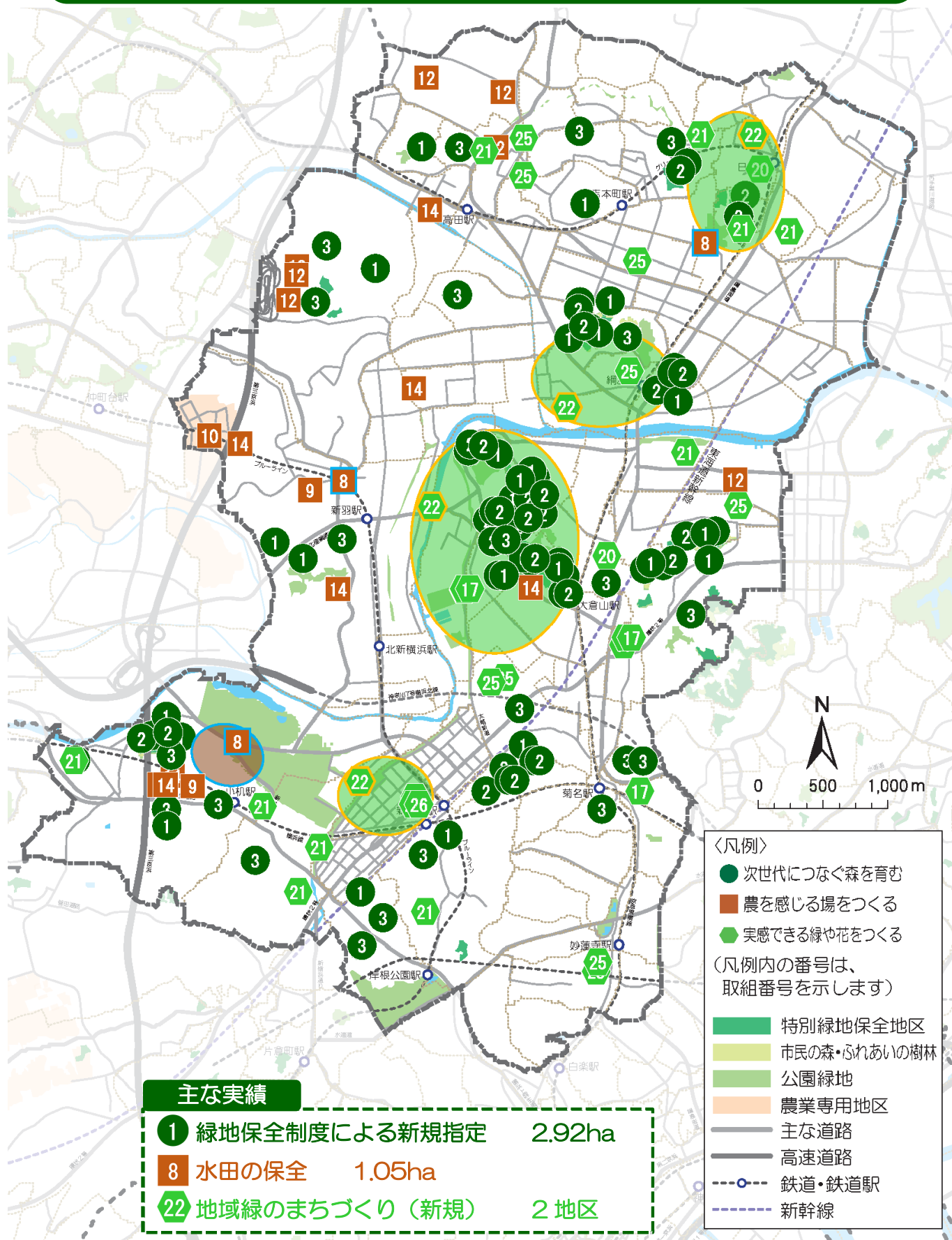


23 緑や花を身近に感じる各区の取組
(金沢土木事務所フラワーセンター
におけるボランティア活動支援)

5 各区の実績
金沢区



港北区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 2.92ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 0.6ha 大倉山特別緑地保全地区（指定拡大）、綱島特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2020年度 0.004ha 綱島市民の森（指定拡大）

2021年度 0.02ha 熊野神社市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 大倉山六丁目、岸根町、小机町、師岡町

2020年度 1.2ha 小机町、篠原町

・源流の森保存地区

2019年度 0.1ha 新吉田町

2020年度 0.3ha 新羽町（2か所）

・その他

2021年度 0.5ha 熊野神社市民の森

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 熊野神社特別緑地保全地区、小机城址特別緑地保全地区

2021年度 1地区 大倉山特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 綱島市民の森

・公園樹林部

2019年度 1地区 高田西公園

○保全した樹林地の整備 12か所

2019年度 4か所 大曽根台特別緑地保全地区、綱島市民の森、綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地

2020年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、小机城址市民の森、綱島東二丁目緑地

2021年度 4か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 39 か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 13 か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

2020年度 13 か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

2021年度 13 か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 39 件

2019年度 11 件 菊名五丁目、岸根町（2件）、小机町（2件）、下田町三丁目、綱島台、錦が丘、新羽町、大豆戸町、師岡町

2020年度 14 件 大倉山二丁目、岸根町（3件）、小机町、篠原町、新吉田町（4件）、鳥山町、日吉本町六丁目、箕輪町三丁目（2件）

2021年度 14 件 大倉山二丁目、菊名五丁目、小机町、新吉田町（8件）、新吉田東一丁目、高田西三丁目、師岡町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 1.05ha

2019年度 1.05ha 小机町、新羽町、箕輪町

2020年度 1.05ha 小机町、新羽町、箕輪町

2021年度 1.05ha 小机町、新羽町、箕輪町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2 件

2019年度 1 件 新羽町

2021年度 1 件 小机町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 11.0ha

2019年度 10.9ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

2020年度 11.0ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

2021年度 11.0ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

・農地縁辺部への植栽 3件

2019年度 1件 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

2020年度 1件 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）

2021年度 1件 新羽大熊農業専用地区協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.65ha

2020年度 0.32ha 新羽町（3件）

2021年度 0.33ha 新羽町（2件）、日吉本町六丁目

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.47ha

・収穫体験農園

2019年度 0.03ha 新吉田町

2020年度 0.11ha 新吉田町（2件）

・市民農園

2019年度 0.17ha 高田町、樽町三丁目

2020年度 0.16ha 高田町、高田東三丁目

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 8件

・直売所・加工所

2020年度 5件 大倉山三丁目、新吉田町、新吉田東八丁目、新羽町（2件）

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 JA小机農産物直売所

2020年度 1件 JA小机農産物直売所

2021年度 1件 JA小机農産物直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2 箇所

2020 年度 1 箇所 菊名コミュニティハウス

2021 年度 1 箇所 港北区庁舎

○緑の維持管理 5 箇所

2019 年度 2 箇所 港北区庁舎、港北土木事務所

2020 年度 2 箇所 港北区庁舎、港北土木事務所

2021 年度 1 箇所 港北土木事務所

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2019 年度 低木 450 本

2020 年度 高木 3 本、低木 50 本

2021 年度 低木 735 本

○良好な維持管理

2019 年度 環状2号線（鳥山町～大豆戸町）、環状2号線（大豆戸町～師岡町）
ほか 計752本

2020 年度 環状2号線（師岡町～鳥山町）、宮内新横浜線ほか 計796本

2021 年度 太尾新道、早渕川左岸（高田西）ほか 計992本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 2 件

2019 年度 2 件 大曽根一丁目、日吉本町一丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020 年度 8 本 小机町（2本）、樽町四丁目、鳥山町（3本）、箕輪町一丁目（2本）

2021 年度 7 本 小机町、篠原町、下田町三丁目、高田町（2本）、鳥山町、箕輪町三丁目

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2 地区

・新規

2019 年度 1 地区 綱島西地区

2020 年度 1 地区 日吉地区

・継続

2019 年度 2 地区 大倉山地区、新横浜二丁目地区

2020 年度 3 地区 大倉山地区、新横浜二丁目地区、綱島西地区

2021 年度 2 地区 綱島西地区、日吉地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 オープンガーデンの開催支援（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止）、大倉山観梅会

2020 年度 オープンガーデンの開催支援、花と木のウォーキングマップ制作

2021 年度 オープンガーデンの開催支援

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布（新吉田第一公園ほか 8 か所）

2020 年度 球根などの配布（市ノ坪公園ほか 81 か所）

2021 年度 花壇づくり講習会（太尾堤緑道）、球根などの配布（市ノ坪公園ほか 78 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,524 本

2019 年度 454 本

2020 年度 531 本

2021 年度 539 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 6 か所

2019 年度 2 か所 港北保育園、大豆戸小学校

2020 年度 2 か所 高田東小学校、樽町中学校

2021 年度 2 か所 港北保育園、大豆戸小学校

○緑の維持管理 5 か所

2019 年度 3 か所 港北保育園、第二尚花愛児園、高田東小学校

2020 年度 1 か所 高田東小学校

2021 年度 1 か所 南日吉保育園

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

○緑花による空間づくりと維持管理 3か所

2019年度 1か所 新横浜駅周辺

2020年度 1か所 新横浜駅周辺

2021年度 1か所 新横浜駅周辺

5 各区の実績
港北区



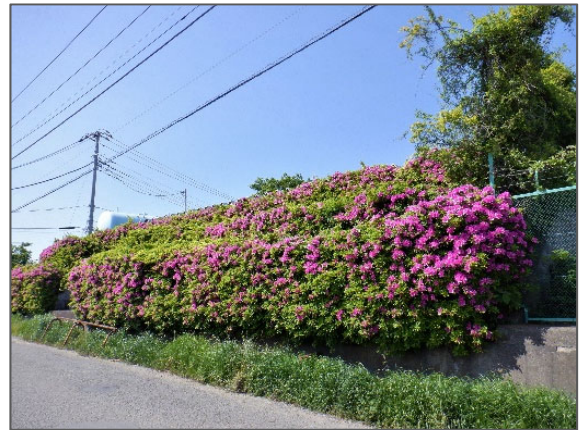
1 保全した樹林地の整備
(大曽根台特別緑地保全地区)



2 森の維持管理
(綱島市民の森)



8 水田の保全
(小机町)



10 農景観を良好に維持する活動
(新羽大熊農業専用地区協議会)



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成
(港北区庁舎)

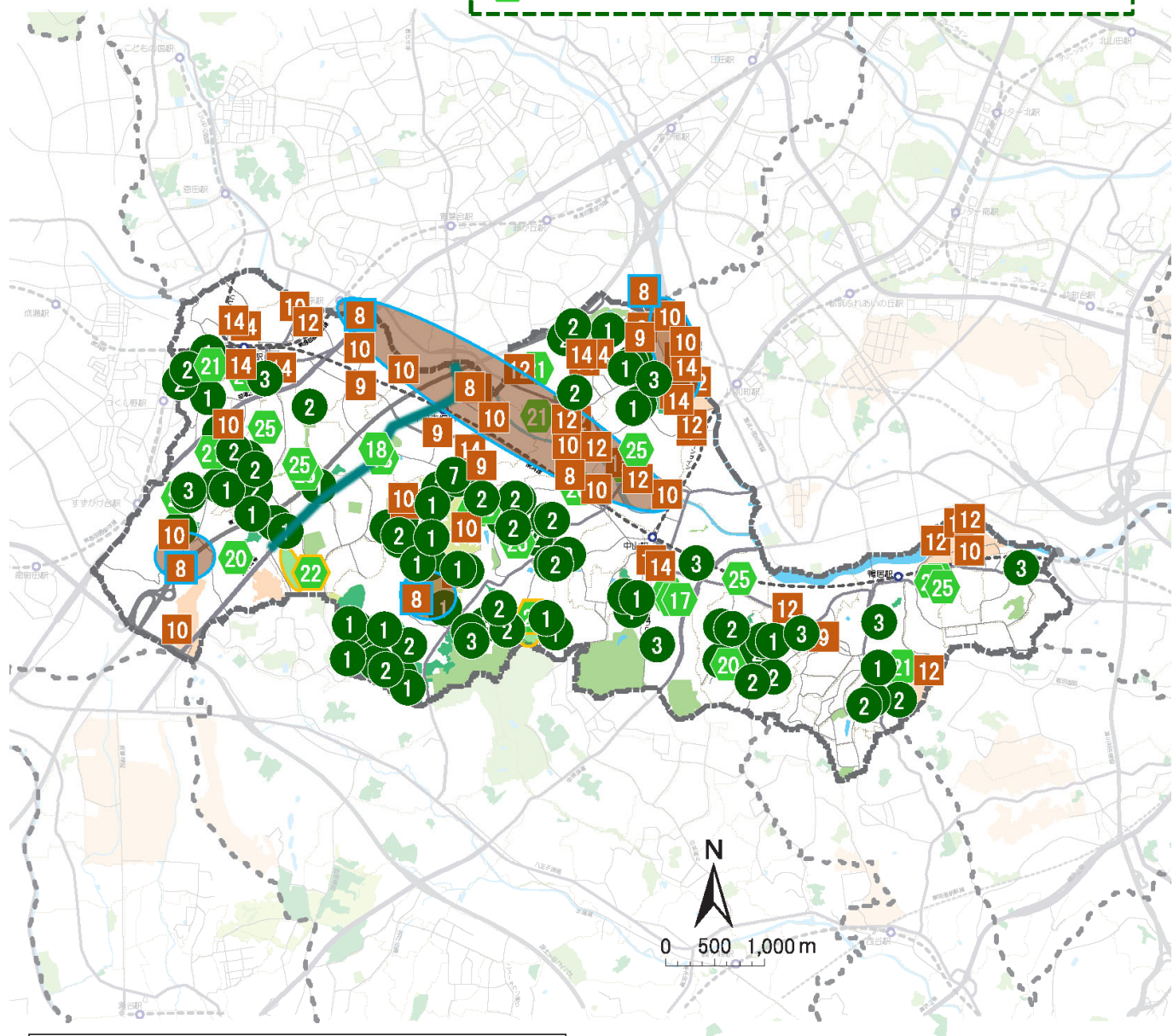


22 地域緑のまちづくり
(綱島西地区)

緑区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 4.3ha
- ⑧ 水田の保全 34.75ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 8か所



〈凡例〉	特別緑地保全地区
● 次世代につなぐ森を育む	市民の森・ふれあいの樹林
■ 農を感じる場をつくる	公園緑地
◆ 実感できる緑や花をつくる	農業専用地区
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 4.3ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 0.7ha 長津田町長月特別緑地保全地区（指定拡大）

2020年度 1.4ha 長津田町長月特別緑地保全地区（指定拡大）

・市民の森等

2019年度 0.2ha 新治市民の森（指定拡大）

2021年度 0.6ha 新治市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 北八朔町

2021年度 0.1ha 白山三丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.9ha 寺山町、長津田町

2020年度 0.2ha 長津田町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 3地区 台村町特別緑地保全地区、長津田町深田特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区

2021年度 1地区 三保特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 1地区 新治市民の森

2020年度 1地区 新治市民の森

○保全した樹林地の整備 21か所

2019年度 3か所 長津田宿市民の森、長津田長月特別緑地保全地区、新治市民の森

2020年度 9か所 上山・白山特別緑地保全地区、北八朔町中特別緑地保全地区、北八朔町南特別緑地保全地区、台村町特別緑地保全地区、寺山町本谷特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区、新治市民の森、三保市民の森、長津田みなみ台二丁目緑地

2021年度 9か所 北八朔中特別緑地保全地区、北八朔南特別緑地保全地区、寺山町本谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森（3か所）、三保市民の森（2か所）

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 41 か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 9 か所 上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

2020年度 12 か所 上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区、三保町東谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、長津田宿市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

2021年度 14 か所 上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、西八朔町藤林特別緑地保全地区、（仮称）三保町杉沢特別緑地保全地区、三保町杉沢堰特別緑地保全地区、三保町東谷特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、長津田宿市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

・維持管理（公園）

2019年度 2 か所 北八朔公園、玄海田公園

2020年度 2 か所 北八朔公園、玄海田公園

2021年度 2 か所 北八朔公園、玄海田公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 24 件

2019年度 7 件 北八朔町（2件）、長津田町（2件）、中山四丁目、三保町（2件）

2020年度 8 件 鴨居四丁目（2件）、寺山町、長津田町（2件）、東本郷六丁目、三保町（2件）

2021年度 9 件 北八朔町、長津田町（2件）、長津田七丁目、白山二丁目、三保町（4件）

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度 新治里山公園にいほる里山交流センター

2020年度 新治里山公園にいほる里山交流センター

2021年度 新治里山公園にいほる里山交流センター

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 34.75ha

2019年度 34.65ha いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町

2020年度 34.43ha いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町

2021年度 34.75ha いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町

○水源・水路の確保 3か所

2020年度 1か所 十日市場農業専用地区協議会

2021年度 2か所 新治町水利組合、小山西八朔用水組合

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 7件

2019年度 3件 北八朔町(2件)、十日市場町

2020年度 2件 いぶき野、鴨居六丁目

2021年度 2件 北八朔町、新治町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 129.3ha

2019年度 128.2ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合

2020年度 129.3ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合

2021年度 129.3ha 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合

・農地縁辺部への植栽 7件

2019年度 2件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）、新治恵みの里発展会

2020年度 2件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）、新治恵みの里発展会

2021年度 3件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）、新治恵みの里発展会、北八朔恵みの里連絡会

・土砂流出防止対策 1件

2019年度 1件 長津田台農業専用地区協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 1.91ha

2019年度 0.83ha 長津田町（5か所）、長津田三丁目

2020年度 0.29ha 長津田町（5か所）

2021年度 0.79ha 長津田町（7か所）、長津田三丁目

・たい肥化設備等の支援 3件

2019年度 2件 北八朔町、長津田町

2020年度 1件 新治町

※農地縁辺部への植栽について、過年度の報告書から実施箇所を修正しました。

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.87ha

・収穫体験農園

2019年度 0.64ha 鴨居町、北八朔町（3か所）、東本郷町

2020年度 0.66ha 北八朔町（2か所）、小山町（2か所）、東本郷町

2021年度 0.41ha 小山町（3か所）、長津田三丁目、東本郷町

・市民農園

2020年度 0.16ha 白山二丁目、西八朔町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 15 件

・直売所・加工所

2019 年度 1 件 十日市場町

2021 年度 4 件 北八朔町、長津田四丁目（3 件）

・青空市・マルシェ等

2019 年度 3 件 長津田支店前野菜直売会、緑区役所直売、北八朔日曜朝市

2020 年度 4 件 長津田支店前野菜直売会、緑区役所直売、北八朔日曜朝市、北八朔農産物直売所

2021 年度 3 件 長津田支店前野菜直売会、北八朔日曜朝市、北八朔農産物直売所

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 3 箇所

2019 年度 1 箇所 緑区庁舎

2020 年度 1 箇所 緑区庁舎

2021 年度 1 箇所 緑区庁舎

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019 年度 1 路線 環状4号線（整備中）

2020 年度 1 路線 環状4号線（整備中）

2021 年度 1 路線 環状4号線（整備中）

○空き樹の補植

2021 年度 高木 8 本、低木 45 本

○良好な維持管理

2019 年度 環状4号線（霧が丘～十日市場町）、霧が丘長津田線（長津田みなみ台地区）ほか 計799本

2020 年度 環状4号線（長津田町）、竹山中公園通りほか 計880本

2021 年度 環状4号線（霧が丘～十日市場町）、白山高校通り 計846本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 3 件

2020 年度 3 件 長津田町、白山三丁目、三保町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019年度 1本 鴨居町

2020年度 1本 長津田町

・維持管理の助成

2019年度 6本 小山町、長津田町（4本）、西八朔町

2020年度 1本 西八朔町

2021年度 1本 長津田町

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結

・継続

2019年度 2地区 霧が丘六丁目地区、武蔵中山台地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 みどりオープンガーデンに向けた寄せ植え講座、区内公園愛護会への花苗支援・寄せ植え講座

2020年度 区内公園愛護会への花苗支援（春57公園、秋67公園）

2021年度 区内公園愛護会への花苗支援、寄せ植え講座の動画配信

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布（森の台中ノ谷公園ほか 14か所）

2020年度 球根などの配布（東本郷公園ほか 67か所）

2021年度 球根などの配布（北八朔公園ほか 68か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 978本

2019年度 315本

2020年度 323本

2021年度 340本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 8か所

2019年度 2か所 みなみ台保育園アネックス、新治小学校

2020年度 3か所 みもぞ保育園、新治小学校、三保小学校

2021年度 3か所 小山保育園、みもぞ保育園、中山小学校

○緑の維持管理 3か所

2019年度 1か所 鴨居保育園

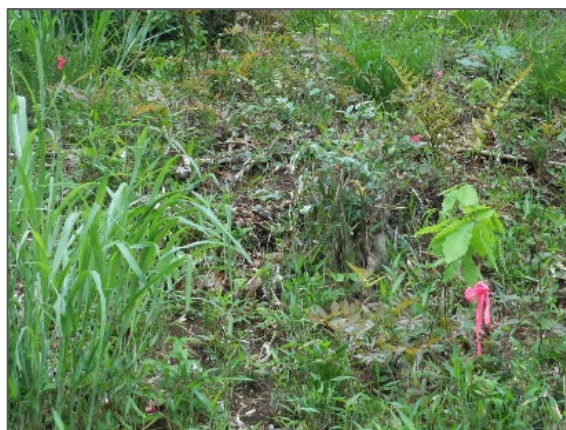
2020年度 1か所 鴨居保育園

2021年度 1か所 鴨居保育園

5 各区の実績
緑区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（白山三丁目）



2 森の維持管理
（三保不動緑地）



8 水田の保全
（新治町）



12 収穫体験農園の開設
（小山町）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（公園愛護会への花苗支援）

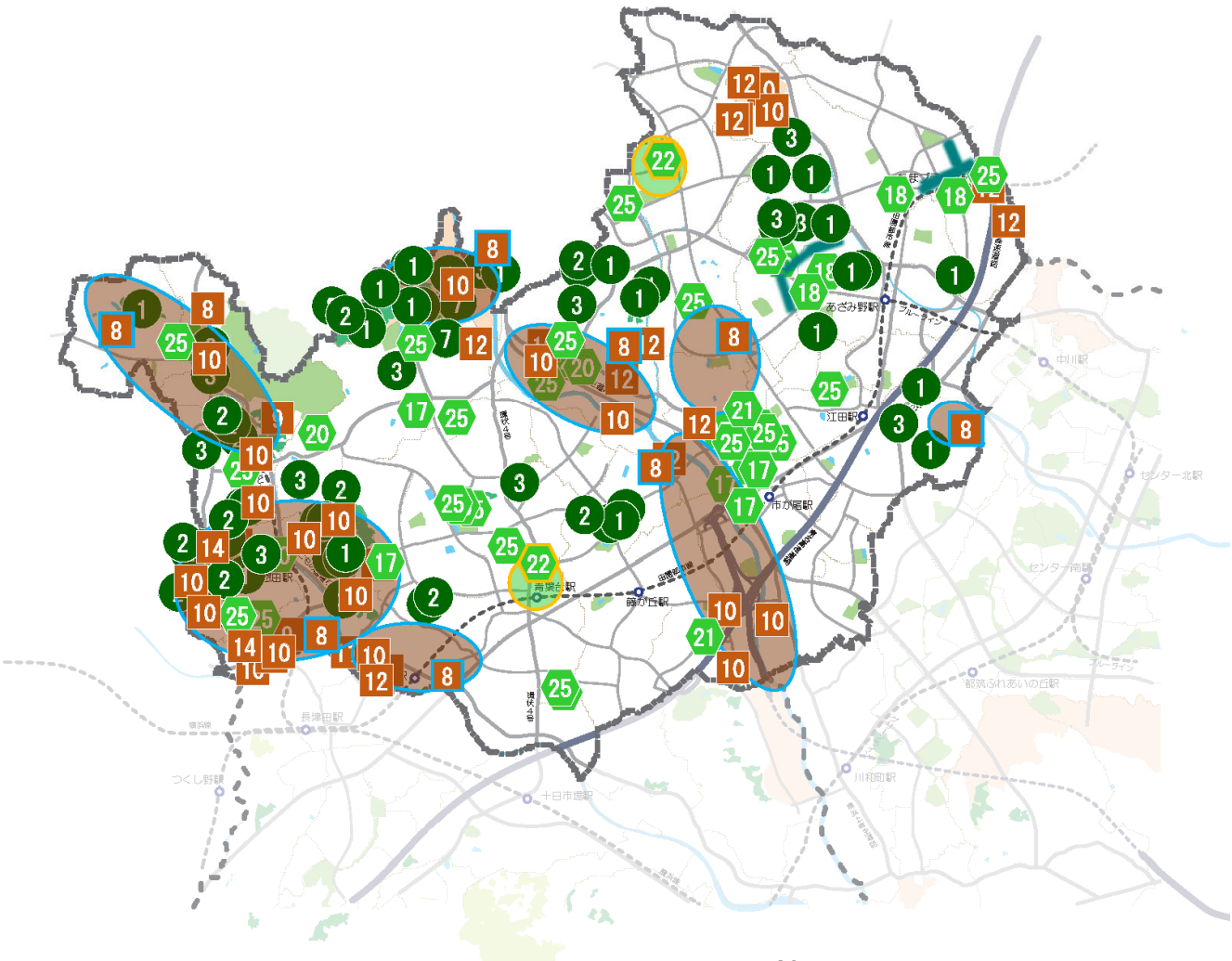


23 地域の花いっぱいにつながる取組
（北八朔公園）

青葉区

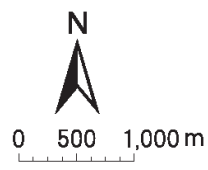
主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 7.95ha
- ⑧ 水田の保全 38.49ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 2地区



〈凡例〉

● 次世代につなぐ森を育む	■ 特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	■ 市民の森・ふれあいの樹林
● 実感できる緑や花をつくる	■ 公園緑地
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	■ 農業専用地区
	— 主な道路
	— 高速道路
	— 鉄道・鉄道駅



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 7.95ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 2.7ha 恩田町特別緑地保全地区（指定拡大）、寺家町居谷戸特別緑地保全地区

2021年度 2.5ha 寺家町居谷戸特別緑地保全地区（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.03ha あざみ野四丁目、新石川二丁目

2020年度 0.02ha あざみ野四丁目

2021年度 1.5ha あざみ野一丁目、あざみ野二丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.3ha 鉄町

2020年度 0.9ha 荏田町（2か所）、恩田町、寺家町

・その他

2021年度 3.6ha 青葉鴨志田西地区

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 恩田東部特別緑地保全地区、奈良町西ノ谷特別緑地保全地区

2020年度 6地区 恩田町特別緑地保全地区、恩田東部特別緑地保全地区、鉄町下ノ谷戸特別緑地保全地区、寺家特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、元石川町平崎北特別緑地保全地区

2021年度 1地区 寺家町居谷戸特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 8か所

2019年度 1か所 恩田東部特別緑地保全地区

2020年度 3か所 恩田東部特別緑地保全地区、元石川町平崎特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2021年度 4か所 恩田東部特別緑地保全地区、鉄町富士塚台特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 22 か所

・維持管理（樹林地）

2019 年度 5 か所 寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

2020 年度 7 か所 鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

2021 年度 7 か所 鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

・維持管理（公園）

2019 年度 1 か所 奈良山公園

2020 年度 1 か所 奈良山公園

2021 年度 1 か所 奈良山公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 24 件

2019 年度 9 件 あざみ野四丁目、恩田町、寺家町、すみよし台、たちばな台二丁目、奈良町（3件）、奈良町四丁目

2020 年度 12 件 あざみ野四丁目、荏田町（4件）、恩田町、鴨志田町、寺家町、奈良四丁目、奈良町（2件）、元石川町

2021 年度 3 件 あざみ野四丁目、恩田町、鉄町

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019 年度 寺家ふるさと村四季の家

2020 年度 寺家ふるさと村四季の家

2021 年度 寺家ふるさと村四季の家

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 38.49ha

2019年度 37.96ha 市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、
下谷本町、田奈町、奈良町

2020年度 38.27ha 市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、
下谷本町、田奈町、奈良町

2021年度 38.49ha 市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、
下谷本町、田奈町、奈良町

○水源・水路の確保 3か所

2019年度 2か所 苗万坂水利組合、恩田水利組合

2020年度 1か所 田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（杉山耕作組合）

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 2件

2019年度 2件 恩田町、奈良町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 127.9ha

2019年度 120.6ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、鴨志田町上耕地水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

2020年度 121.9ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

2021年度 127.9ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

・農地縁辺部への植栽 3件

2019年度 1件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2020年度 1件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2021年度 1件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

・土砂流出防止対策 1件

2019年度 1件 保木農用地利用改善組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.90ha

2019年度 0.08ha 恩田町

2020年度 0.37ha 元石川町（2か所）

2021年度 0.45ha 恩田町、元石川町（2か所）

11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.20ha

2019年度 0.20ha 恩田町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.25ha

・収穫体験農園

2020年度 0.29ha 鉄町、元石川町

2021年度 0.45ha 鴨志田町、市ヶ尾町、元石川町

・市民農園

2019年度 0.08ha あかね台一丁目

2020年度 0.29ha 上谷本町、鉄町（2か所）、新石川四丁目（2か所）

2021年度 0.14ha 田奈町、元石川町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 2件

・直売所・加工所

2021年度 2件 恩田町（2件）

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2か所

2021年度 2か所 市ヶ尾第三公園、松風台第三公園

○緑の維持管理 5か所

2019年度 3か所 青葉区庁舎、青葉消防署、鴨志田消防出張所

2020年度 1か所 青葉区庁舎

2021年度 1か所 青葉区庁舎

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度 1路線 あざみ野中学校通り（整備中）

2020年度 2路線 あざみ野中学校通り（整備中）、たまプラーザ駅周辺（整備中）

2021年度 2路線 あざみ野中学校通り（整備中）、たまプラーザ駅周辺（整備完了）

○空き樹の補植

2020年度 高木 32本、低木 113本

2021年度 高木 21本、低木 8本

○良好な維持管理

2019年度 美しが丘西第296号線・黒須田第199号線（すすき野）、美しが丘第162号線（山内地区センター通り）ほか 計2,075本

2020年度 黒須田第133号線・寺家第7号線（もみの木台～あざみ野駅）、新横浜元石川線（美しが丘公園～あざみ野駅）ほか 計1,765本

2021年度 美しが丘西第296号線・黒須田第199号線（すすき野）、美しが丘第162号線（山内地区センター通り）ほか 計2,082本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 3件

2019年度 2件 あかね台一丁目、奈良町

2020年度 1件 鉄町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2021年度 2本 鉄町、千草台

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2地区

・新規

2020年度 1地区 すすき野三丁目地区

2021年度 1地区 青葉台地区

・継続

2021年度 1地区 すすき野三丁目地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム

2020年度 地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム

2021年度 地元NPOと連携した花と緑の風土づくり・普及啓発（フラワーダイアログ）に関するプログラム

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布（みたけ台公園ほか17か所）

2020年度 球根などの配布（青葉台第三公園ほか93か所）

2021年度 球根などの配布（青葉台公園ほか106か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 2,670本

2019年度 845本

2020年度 888本

2021年度 937本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 16 箇所

2019 年度 4 箇所 荏田保育園、青葉台小学校、あざみ野第一小学校、黒須田小学校

2020 年度 5 箇所 荏田北保育園、青葉台小学校、市ヶ尾小学校、奈良の丘小学校、あかね台中学校

2021 年度 7 箇所 荏田北保育園、すすぎ野保育園、青葉台小学校、あざみ野第一小学校、市ヶ尾小学校、青葉台中学校、あかね台中学校

○緑の維持管理 15 箇所

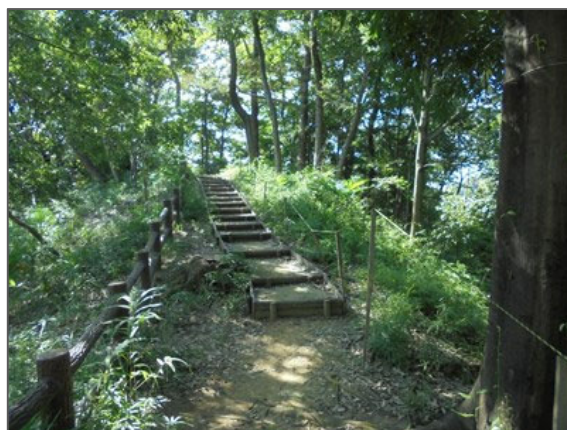
2019 年度 6 箇所 美しが丘保育園、荏田保育園、奈良保育園、鉄小学校、つつしが丘小学校、鴨志田中学校

2020 年度 4 箇所 荏田保育園、鉄小学校、つつしが丘小学校、鴨志田中学校

2021 年度 5 箇所 美しが丘保育園、荏田保育園、奈良保育園、鉄小学校、鴨志田中学校



1 緑地保全制度による新規指定
(寺家町居谷戸特別緑地保全地区)



2 森の維持管理
(奈良山公園)



8 水田の保全
(田奈町)



12 収穫体験農園の開設
(鴨志田町)



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
(フラワーダイアログあおば)

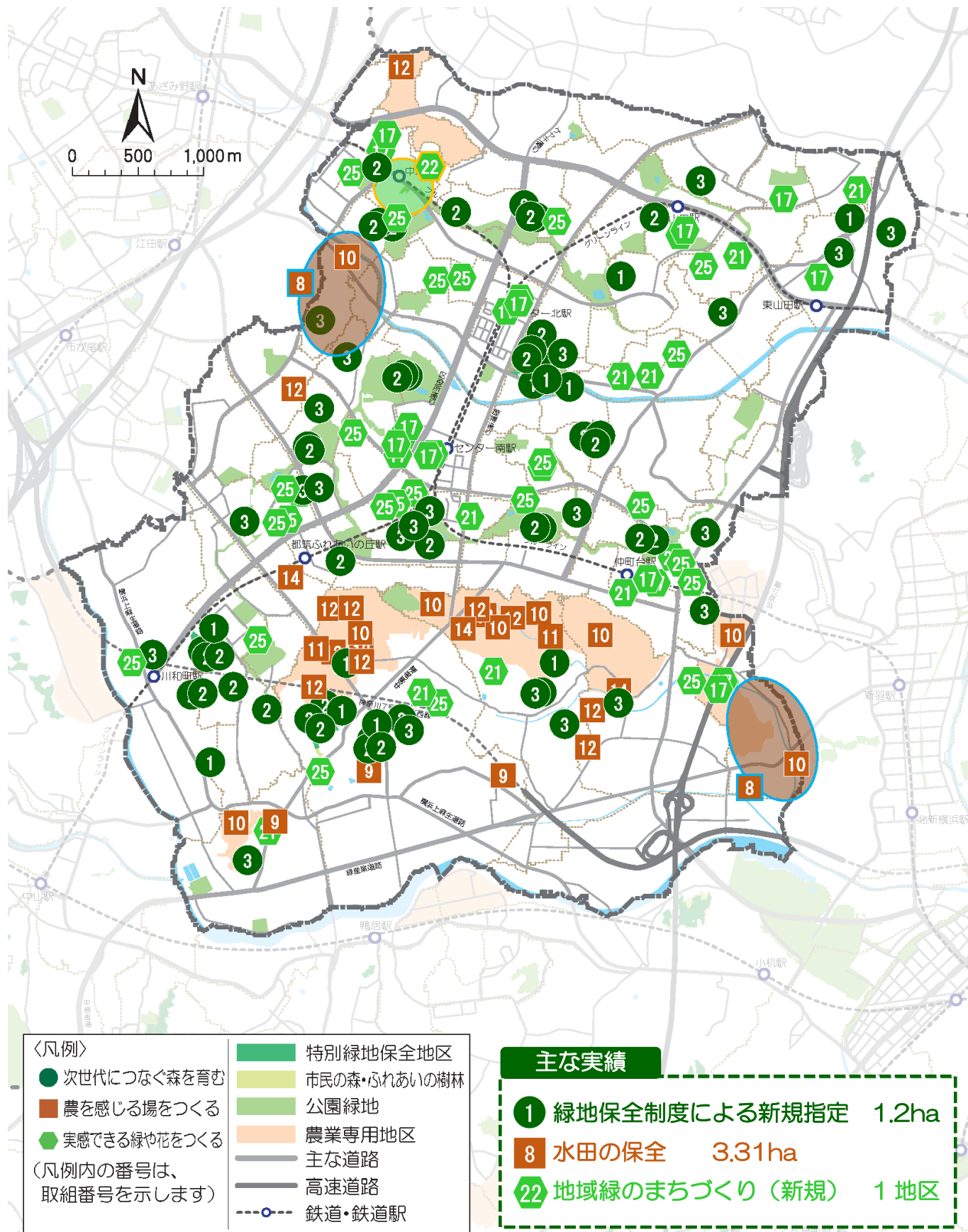


25 保育園での緑の創出・育成
(荏田北保育園)

5 各区の実績
青葉区



都筑区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 1.2ha

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 0.4ha 大棚町特別緑地保全地区（指定拡大）

- ・緑地保存地区

2020年度 0.1ha 川和町

2021年度 0.1ha 南山田二丁目

- ・源流の森保存地区

2019年度 0.2ha 東方町（2件）

2020年度 0.4ha 東山田町

○市による買取り

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 2地区 池辺町滝谷谷戸特別緑地保全地区、大棚町特別緑地保全地区

2021年度 3地区 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、大棚町特別緑地保全地区、川和特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 2か所

2020年度 2か所 大棚町特別緑地保全地区、池辺市民の森

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 38か所

- ・保安全管理計画の策定（公園）

2019年度 1か所 牛久保公園

2021年度 1か所 烏山公園

- ・維持管理（樹林地）

2019年度 5か所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

2020年度 5か所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

2021年度 5か所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

- ・維持管理（公園）

2019年度 6か所 大塚・歳勝土遺跡公園、鴨池公園、葛ヶ谷公園、茅ヶ崎公園、都筑中央公園、山崎公園

2020年度 8か所 牛久保公園、大塚・歳勝土遺跡公園、大原みねみち公園、鴨池公園、せせらぎ公園、月出松公園、都筑中央公園、山崎公園

2021年度 7か所 牛久保公園、大塚・歳勝土遺跡公園、茅ヶ崎公園、都筑中央公園、山崎公園、くさぶえのみち、ふじやとのみち

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 30件

2019年度	8件	池辺町、佐江戸町（2件）、茅ヶ崎南一丁目、茅ヶ崎南四丁目、東方町、東山田町、南山田町
2020年度	15件	荇田東四丁目、荇田南町、荇田南一丁目（2件）、大圃西、大丸（2件）、川和町、北山田七丁目、新栄町、茅ヶ崎南四丁目（2件）、仲町台三丁目、東方町、東山田町
2021年度	7件	池辺町、荇田東二丁目、荇田東三丁目、折本町（2件）、茅ヶ崎南四丁目、東方町

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 3.31ha

2019年度	3.44ha	荇田東町、荇田南町、大熊町、中川四丁目
2020年度	3.44ha	荇田東町、荇田南町、大熊町、中川四丁目
2021年度	3.31ha	荇田東町、荇田南町、大熊町、中川四丁目

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 3件

2019年度	1件	池辺町
2020年度	1件	佐江戸町
2021年度	1件	池辺町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・ 集団農地維持 106.5ha

2019年度 106.1ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2020年度 105.8ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2021年度 106.5ha 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

・ 農地縁辺部への植栽 8件

2019年度 3件 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区

2020年度 3件 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区

2021年度 2件 折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区

・ 井戸の改修 3地区

2019年度 1地区 横浜市都筑区東方北部土地改良区

2020年度 2地区 横浜市都筑区東方西部土地改良区、横浜市都筑区東方北部土地改良区

・ 土砂流出防止対策 6件

2019年度 2件 横浜市都筑区東方西部土地改良区、折本農業専用地区観音山協議会

2020年度 2件 佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区

2021年度 2件 折本農業専用地区観音山協議会、横浜市都筑区東方西部土地改良区

○周辺環境に配慮した活動への支援

・ 牧草等による環境対策 2.15ha

2019年度 0.37ha 池辺町、大熊町、佐江戸町（2か所）

2020年度 1.13ha 池辺町（4か所）、折本町（5か所）、東方町（3か所）

2021年度 0.65ha 池辺町（2件）、折本町（3件）

・ たい肥化設備等の支援 1件

2019年度 1件 東方町

11 多様な主体による農地の利用促進

○遊休農地の復元支援 0.42ha

2020年度 0.28ha 池辺町

2021年度 0.14ha 東方町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.65ha

・収穫体験農園

2019年度 0.42ha 池辺町（3か所）、折本町、東方町

2020年度 0.87ha 池辺町、折本町、東方町

2021年度 0.25ha 池辺町（2か所）、東方町

・市民農園

2020年度 0.07ha 牛久保町

2021年度 0.04ha 荻田南町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 4件

・直売所・加工所

2019年度 1件 折本町

2021年度 3件 高山（2件）、東方町

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 3か所

2019年度 1か所 センター北広場

2020年度 2か所 東山田地域ケアプラザ、東山田中学校コミュニティハウス

○緑の維持管理 18か所

2019年度 6か所 都筑区庁舎、センター南広場、北山田地区センター、中川西地区センター、仲町台地区センター、大熊スポーツ会館

2020年度 7か所 都筑区庁舎、センター北広場、センター南広場、北山田地区センター、中川西地区センター、仲町台地区センター、大熊スポーツ会館

2021年度 5か所 都筑区庁舎、センター北広場、センター南広場、北山田地区センター、大熊スポーツ会館

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度 佐江戸北山田線（歴博通り）、新横浜元石川線ほか 計2,962本

2020年度 佐江戸北山田線（歴博通り）、中山北山田線ほか 計2,397本

2021年度 横浜上麻生線、佐江戸北山田線（歴博通り）ほか 計2,246本

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019年度 9本 南山田町（9本）

2021年度 1本 大棚町

・維持管理の助成

2019年度 6本 佐江戸町（6本）

2020年度 11本 池辺町（4本）、大棚町（2本）、茅ヶ崎南三丁目、仲町台四丁目、東方町（3本）

2021年度 3本 大棚町（2本）、東山田四丁目

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1地区

・新規

2021年度 1地区 中川西地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 区内市立保育園におけるプランターの維持管理（中川西保育園ほか）、花と緑に関するウォーキングイベント、センター南すきっぷ広場・センター北駅前広場の花壇整備、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽

2020年度 区内市立保育園におけるプランターの維持管理、花と緑に関するウォーキングイベント、区庁舎・センター南すきっぷ広場・センター北駅前広場の花壇整備、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽

2021年度 区内市立保育園におけるプランターの維持管理、花と緑に関するウォーキングイベント、区役所・センター南すきっぷ広場・センター北駅前広場の花壇整備、江川せせらぎ緑道における花壇の植栽、早湊川・老馬谷ガーデンへの散水設備の設置

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布（吾妻山公園ほか12か所）

2020年度 球根などの配布（吾妻山公園ほか56か所）

2021年度 球根などの配布（吾妻山公園ほか41か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,500本

2019年度 469本

2020年度 441本

2021年度 590本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 20 箇所

2019 年度 5 箇所 茅ヶ崎南保育園、都田幼稚園、川和東小学校、茅ヶ崎東小学校、中川中学校

2020 年度 3 箇所 大熊保育園、茅ヶ崎東小学校、都筑小学校

2021 年度 12 箇所 シーブ保育所、みどり保育園、荏田南小学校、折本小学校、川和小学校、北山田小学校、茅ヶ崎小学校、都筑小学校、つづきの丘小学校、都田西小学校、中川西小学校、山田小学校

○緑の維持管理 10 箇所

2019 年度 4 箇所 大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、中川西保育園、みどり保育園

2020 年度 3 箇所 大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園

2021 年度 3 箇所 大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園

5 各区の実績
都筑区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（南山田二丁目）



2 森の維持管理
（池辺市民の森）



8 水田の保全
（大熊町）



10 農景観を良好に維持する活動
（横浜市都筑区東方北部土地改良区）

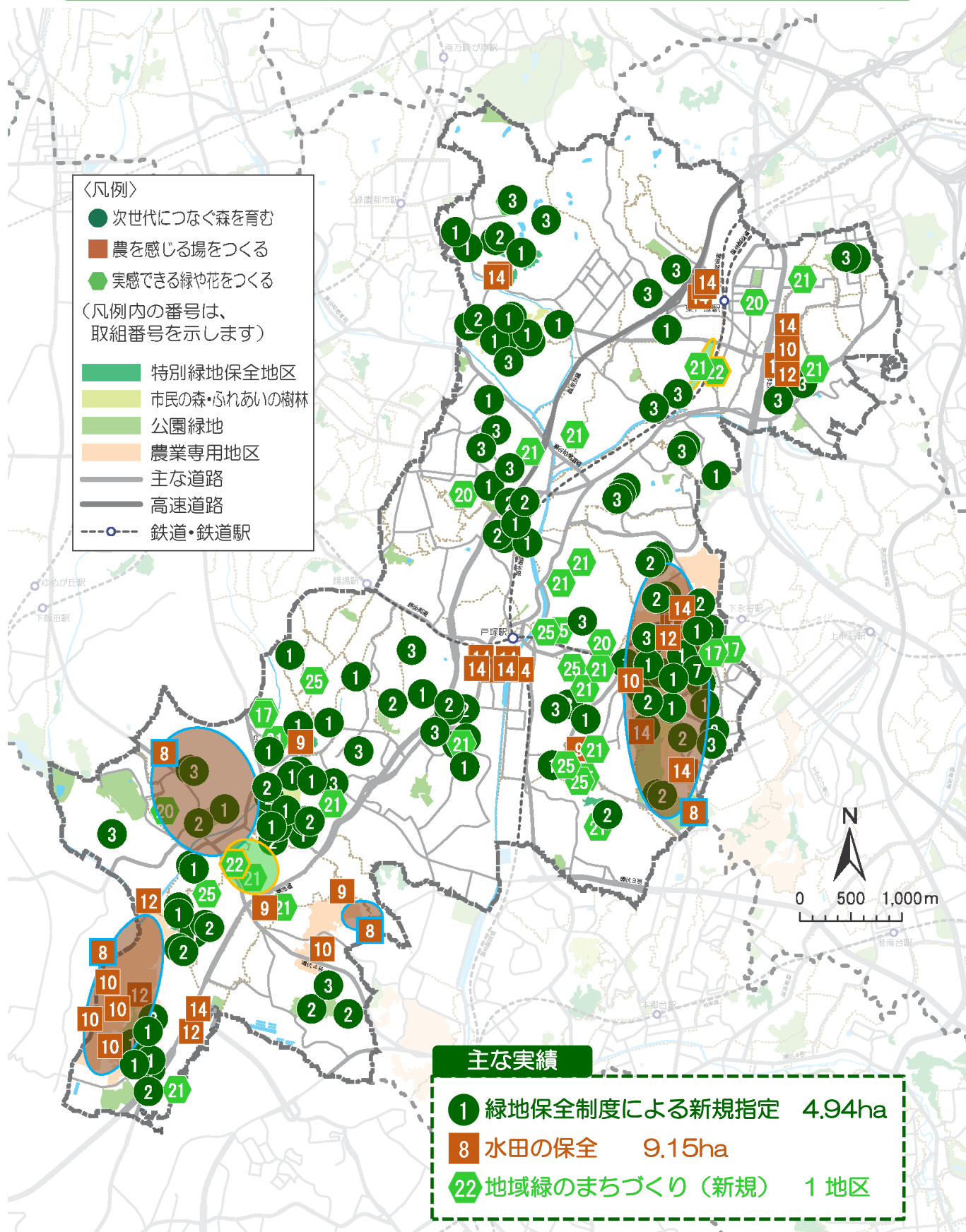


17 公共施設・公有地での緑の創出・育成
（センター南広場）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（花と緑に関するウォーキングイベント）

戸塚区



主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 4.94ha
- ⑧ 水田の保全 9.15ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 1地区

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 4.94ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2021年度 0.1ha 下永谷特別緑地保全地区（指定拡大）（※上柏尾町）

・市民の森等

2021年度 0.1ha 名瀬・上矢部市民の森（指定拡大）、舞岡ふるさとの森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.4ha 上倉田町、上矢部町（3件）、汲沢五丁目、深谷町

2020年度 1.4ha 上倉田町、川上町、汲沢六丁目、戸塚町、深谷町

2021年度 0.2ha 戸塚町

・源流の森保存地区

2019年度 0.6ha 深谷町、東俣野町

2020年度 0.8ha 名瀬町、舞岡町

2021年度 1.3ha 汲沢町、名瀬町、東俣野町

・その他

2020年度 0.01ha 汲沢四丁目

2021年度 0.03ha 舞岡ふるさとの森

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 名瀬・上矢部特別緑地保全地区

2020年度 1地区 汲沢四丁目特別緑地保全地区

・市民の森等

2019年度 2地区 まさかりが淵市民の森、深谷市民の森

2020年度 2地区 深谷市民の森、舞岡ふるさとの森

○保全した樹林地の整備 26か所

2019年度 8か所 （仮称）名瀬・上矢部市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森（3か所）、上矢部ふれあいの樹林、東俣野町緑地

2020年度 5か所 東俣野特別緑地保全地区、（仮称）名瀬・上矢部市民の森、まさかりが淵市民の森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林

2021年度 13か所 名瀬・上矢部特別緑地保全地区、名瀬北特別緑地保全地区、東俣野町特別緑地保全地区、（仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森（2か所）、まさかりが淵市民の森（2か所）、舞岡ふるさとの森（3か所）、ウイトリッヒの森、上矢部ふれあいの樹林

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 45 箇所

・保安全管理計画の策定（樹林地）

2019 年度 1 箇所 舞岡ふるさとの森

2020 年度 1 箇所 上矢部ふれあいの樹林

・保安全管理計画の策定（公園）

2019 年度 1 箇所 小雀公園

2020 年度 1 箇所 舞岡公園

・維持管理（樹林地）

2019 年度 11 箇所 （仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、名瀬北緑地、舞岡緑地、舞岡町緑地、俣野緑地

2020 年度 13 箇所 （仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、下倉田緑地、富塚八幡緑地、名瀬北緑地、東俣野町緑地、舞岡緑地、舞岡町緑地、俣野緑地

2021 年度 11 箇所 名瀬北特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、（仮称）名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、まさかりが淵市民の森、ウイトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

・維持管理（公園）

2019 年度 2 箇所 舞岡公園、舞岡下谷公園

2020 年度 3 箇所 小雀公園、舞岡下谷公園、宮谷西公園

2021 年度 1 箇所 舞岡下谷公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 56 件

2019 年度 15 件 柏尾町、上倉田町（3件）、上矢部町、汲沢町、戸塚町（5件）、平戸三丁目、平戸町、深谷町、南舞岡四丁目

2020 年度 24 件 柏尾町（2件）、上倉田町、上柏尾町、上矢部町（2件）、川上町、汲沢町、小雀町、平戸町、名瀬町（3件）、深谷町、舞岡町（2件）、前田町、南舞岡四丁目、俣野町、戸塚町（5件）

2021 年度 17 件 秋葉町、柏尾町（2件）、上柏尾町、上矢部町（2件）、川上町、汲沢町、戸塚町（5件）、名瀬町、平戸三丁目、舞岡町、吉田町

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019 年度 舞岡ふるさと村虹の家

2020 年度 舞岡ふるさと村虹の家

2021 年度 舞岡ふるさと村虹の家

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 9.15ha

2019年度 9.19ha 小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町

2020年度 9.36ha 小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町

2021年度 9.15ha 小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 4件

2019年度 1件 上倉田町

2020年度 1件 原宿二丁目

2021年度 2件 汲沢四丁目、小雀町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 64.7ha

2019年度 46.4ha 横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合

2020年度 46.0ha 横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合

2021年度 64.7ha 横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合

・農地縁辺部への植栽 11件

2019年度 3件 平戸農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、舞岡ふるさと村推進協議会

2020年度 3件 平戸農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、舞岡ふるさと村推進協議会

2021年度 5件 横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、平戸農業専用地区協議会、東俣野中部かん水組合、東俣野南部かん水組合、横浜市舞岡農業専用地区協議会

・井戸の改修 3地区

2020年度 1地区 横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会

2021年度 2地区 東俣野中部かん水組合、東俣野農業専用地区協議会

・土砂流出防止対策 1件

2020年度 1件 横浜市戸塚区舞岡土地改良区

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.85ha

2019年度 0.30ha 影取町

2020年度 0.25ha 影取町（2か所）

2021年度 0.30ha 影取町（2か所）

・たい肥化設備等の支援 1件

2021年度 1件 東俣野町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 2.71ha

・収穫体験農園

2019年度 0.15ha 東俣野町

2020年度 0.28ha 平戸町、舞岡町

2021年度 2.28ha 影取町、平戸町、舞岡町、俣野町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 18 件

・直売所・加工所

2020 年度 3 件 平戸町、舞岡町、名瀬町

2021 年度 3 件 影取町、舞岡町（2 件）

・青空市・マルシェ等

2019 年度 4 件 JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA横浜ハマッ子直売所「舞岡や」

2020 年度 4 件 JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA 横浜ハマッ子直売所「舞岡や」

2021 年度 4 件 JA横浜戸塚野菜直売所、戸塚区地産地消PR・直売コーナー、東戸塚市民朝市、舞岡ふるさと村・JA 横浜ハマッ子直売所「舞岡や」

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 6 箇所

2019 年度 3 箇所 宇田川、下水道用地（名瀬町鷹の台地区）、舞岡ふるさと村虹の家

2020 年度 2 箇所 宇田川、舞岡ふるさと村虹の家

2021 年度 1 箇所 舞岡ふるさと村虹の家

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019 年度 桜木東戸塚線、国道1号（戸塚宿）ほか 計505本

2020 年度 環状2号線（平戸町）、東戸塚西線 計530本

2021 年度 俣野第314号線（ドリームハイツ）、国道1号線（戸塚宿）ほか 計319本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 6 件

2019 年度 1 件 上矢部町

2020 年度 5 件 品濃町、深谷町（3 件）、吉田町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019年度	1本	吉田町
2020年度	6本	上倉田町(2本)、上矢部町(4本)
2021年度	1本	戸塚町

・維持管理の助成

2019年度	6本	影取町、汲沢町、品濃町、下倉田町、原宿二丁目、吉田町
2020年度	9本	下倉田町(2本)、原宿二丁目(6本)、吉田町
2021年度	7本	上倉田町(2本)、名瀬町、平戸町、前田町(3本)

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1地区

・新規

2021年度	1地区	深谷町東山地区
--------	-----	---------

・継続

2019年度	1地区	前田町桜の丘地区
--------	-----	----------

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	戸塚駅西口橋上デッキの植栽更新、地域団体への花苗等の支援
2020年度	阿久和川周辺における土壌整備・シバザクラ植栽、区内鉄道駅における花植えや植栽の維持管理
2021年度	区内鉄道駅における花植えや植栽の維持管理

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗などの配布(平戸第二公園ほか9か所)
2020年度	球根などの配布(舞岡川遊水地公園ほか129か所)
2021年度	球根などの配布(秋葉台公園ほか141か所)

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,756本

2019年度	595本
2020年度	524本
2021年度	637本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

5 各区の実績
戸塚区

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 3か所

2019年度 2か所 YMCAとつか保育園、原宿保育園

2020年度 1か所 倉田小学校

○緑の維持管理 7か所

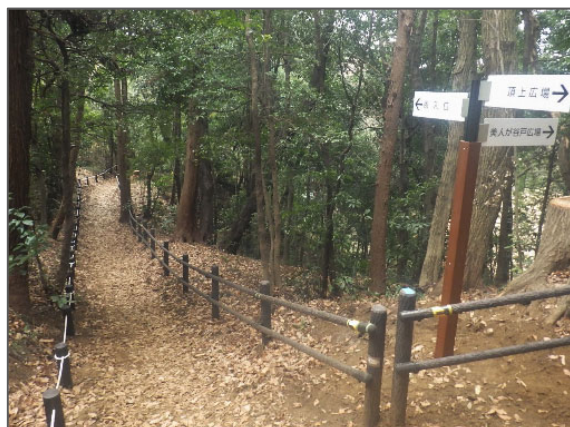
2019年度 2か所 倉田小学校、東戸塚小学校

2020年度 3か所 倉田小学校、東戸塚小学校、汲沢中学校

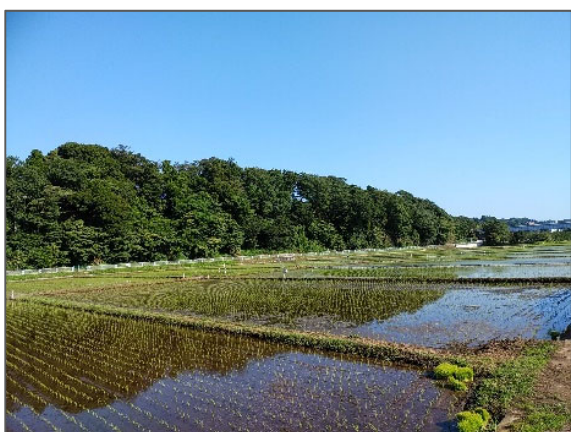
2021年度 2か所 倉田小学校、東戸塚小学校



1 緑地保全制度による新規指定
源流の森保存地区（名瀬町）



1 保全した樹林地の整備
（（仮称）名瀬・上矢部市民の森）



8 水田の保全
（東俣野町）



12 収穫体験農園の開設
（平戸町）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（区内鉄道駅における花植えや
植栽の維持管理）



25 小学校での緑の創出・育成
（東戸塚小学校）

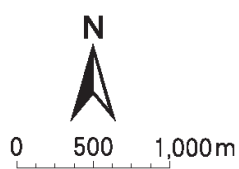
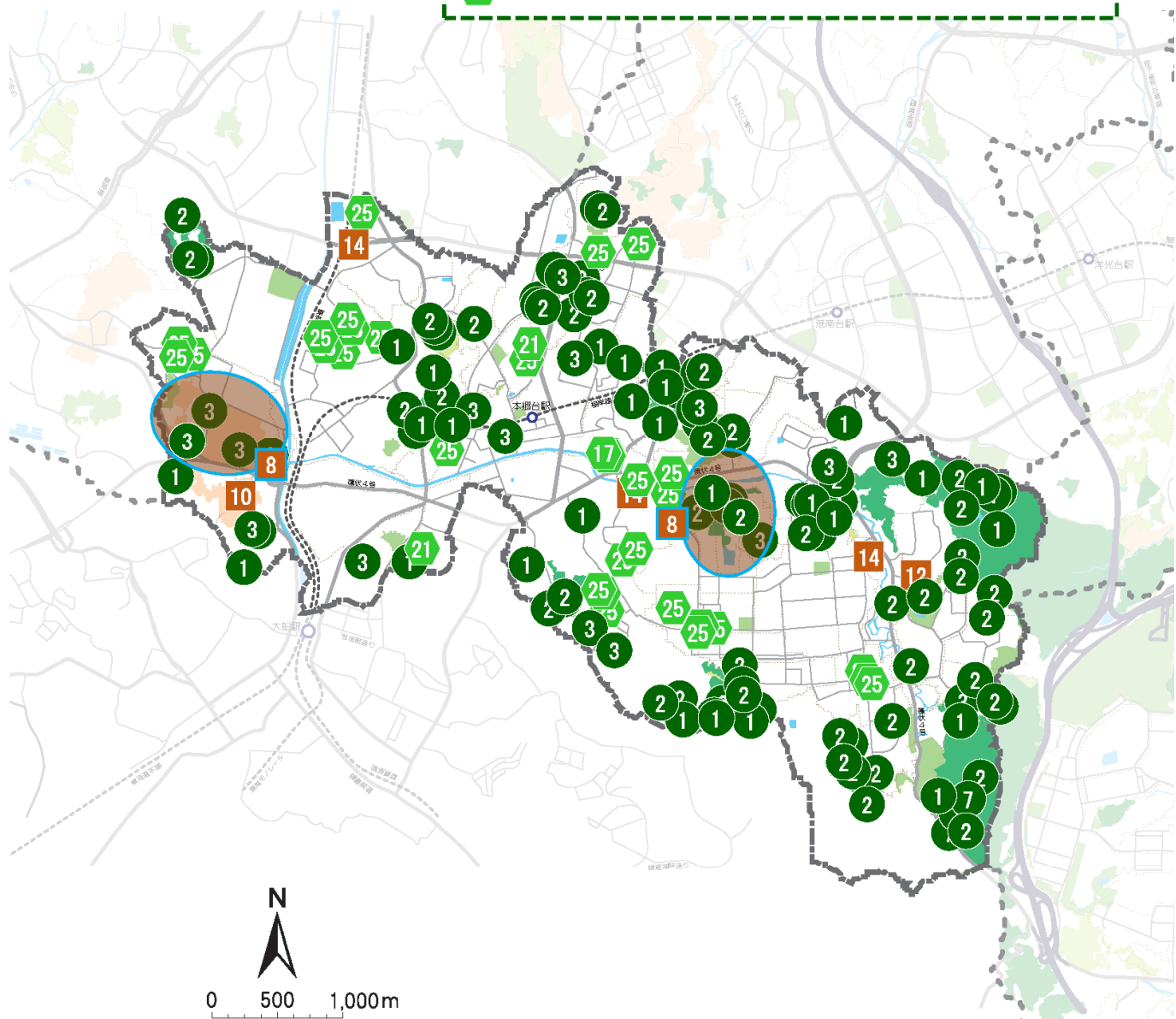
5 各区の実績
戸塚区



栄区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 10.67ha
- ⑧ 水田の保全 2.95ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 7か所



<p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次世代につなぐ森を育む ■ 農を感じる場をつくる ◆ 実感できる緑や花をつくる <p>(凡例内の番号は、 取組番号を示します)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別緑地保全地区 ■ 近郊緑地特別保全地区 ■ 市民の森・ふれあいの樹林 ■ 公園緑地 ■ 農業専用地区 — 主な道路 -○- 鉄道・鉄道駅
---	--

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 10.67ha

・市民の森等

2020年度 0.05ha 鍛冶ヶ谷市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.7ha 上郷町、小菅ヶ谷三丁目

2020年度 0.6ha 飯島町、笠間五丁目、鍛冶ヶ谷二丁目、公田町

・源流の森保存地区

2019年度 6.3ha 公田町（2件）

2020年度 3.0ha 庄戸五丁目、田谷町、長尾台町

・その他

2021年度 0.02ha 飯島町

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 3地区 上郷・尾月特別緑地保全地区、上郷町瀬上特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区

・市民の森等

2020年度 1地区 鍛冶ヶ谷市民の森

○保全した樹林地の整備 21か所

2019年度 5か所 飯島町特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森（2か所）、上郷市民の森

2020年度 6か所 飯島町特別緑地保全地区、荒井沢市民の森（2か所）、鍛冶ヶ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森

2021年度 10か所 飯島特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、荒井沢市民の森（2か所）、鍛冶ヶ谷市民の森、上郷市民の森（2か所）、瀬上市民の森（2か所）、横浜自然観察の森

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 60 か所

・維持管理（樹林地）

2019年度 15 か所 横浜自然観察の森、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、飯島町緑地、金井緑地、上郷・中野緑地、公田緑地、公田・荒井沢緑地、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地、野七里緑地

2020年度 15 か所 横浜自然観察の森、飯島町特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、金井緑地、上郷・中野緑地、公田緑地、公田・荒井沢緑地、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地

2021年度 14 か所 横浜自然観察の森、金井特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地

・維持管理（公園）

2019年度 3 か所 上郷一号緑地、上郷九号緑地、本郷ふじやま公園

2020年度 8 か所 上郷一号緑地、上郷二号緑地、上郷五号緑地、上郷七号緑地、上郷八号緑地、上郷九号緑地、小菅ケ谷北公園、本郷ふじやま公園

2021年度 5 か所 上郷六号緑地、上郷七号緑地、上郷九号緑地、小菅ケ谷北公園、本郷ふじやま公園

※維持管理（樹林地）について、過年度の報告書から実施箇所を修正しました。

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 31 件

2019年度 7 件 鍛冶ケ谷一丁目、上郷町、小菅ケ谷二丁目、小菅ケ谷三丁目・四丁目、田谷町（2件）、長尾台町

2020年度 14 件 笠間二丁目、鍛冶ケ谷一丁目、亀井町、上郷町、公田町（4件）、小菅ケ谷二丁目（2件）、小菅ケ谷三丁目、小菅ケ谷四丁目、田谷町、長尾台町

2021年度 10 件 鍛冶ケ谷二丁目、上郷町、公田町（3件）、小菅ケ谷四丁目、田谷町（3件）、長尾台町

7 森に関する情報発信

○ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度 横浜自然観察の森自然観察センター

2020年度 横浜自然観察の森自然観察センター

2021年度 横浜自然観察の森自然観察センター

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 2.95ha

2019年度 2.92ha 上郷町、田谷町

2020年度 2.76ha 上郷町、田谷町

2021年度 2.95ha 上郷町、田谷町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 4.8ha

2019年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

2020年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

2021年度 4.8ha 横浜市栄区长尾台土地改良区

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 0.30ha

2021年度 0.30ha 田谷町（2か所）

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.02ha

・収穫体験農園

2020年度 0.02ha 上郷町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 3件

・直売所・加工所

2019年度 2件 上郷町、公田町

2020年度 1件 長沼町

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 3か所

2019年度 1か所 栄区庁舎

2020年度 1か所 栄区庁舎

2021年度 1か所 栄区庁舎

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度	桂台通り、県道原宿六ツ浦（上郷町）	計468本
2020年度	庄戸西線、飯島本郷台通りほか	計568本
2021年度	湘南桂台通り、庄戸第121号線（上郷町）	計487本

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2021年度	2本	小菅ケ谷、笠間五丁目
--------	----	------------

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	イベント会場でのガーデンネックレス横浜のPR（本郷台アオソラマルシェほか）、いたち川の桜ライトアップ、公園愛護会への花苗等の支援、オープンガーデンの開催支援（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止）	
2020年度	いたち川の桜ライトアップ、公園愛護会への花苗等の支援、オープンガーデンの開催支援	
2021年度	いたち川の桜ライトアップ、公園愛護会への花苗等の支援、オープンガーデンの開催支援	

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布（本郷台四丁目第二公園ほか 23 か所）	
2020年度	球根などの配布（飯島町久保公園ほか 47 か所）	
2021年度	花壇づくり講習会（いの山南公園）、球根などの配布（あさもや公園ほか 55 公園）	

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 640本

2019年度	186本
2020年度	208本
2021年度	246本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 7 箇所

2019 年度 1 箇所 公田小学校

2020 年度 4 箇所 公田小学校、西本郷小学校、本郷台小学校、桂台中学校

2021 年度 2 箇所 公田小学校、豊田小学校

○緑の維持管理 26 箇所

2019 年度 9 箇所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、公田小学校、小山台小学校、千秀小学校、本郷小学校

2020 年度 9 箇所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、公田小学校、小山台小学校、千秀小学校、本郷小学校

2021 年度 8 箇所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、公田小学校、千秀小学校、本郷小学校



2 森の維持管理
(荒井沢市民の森)



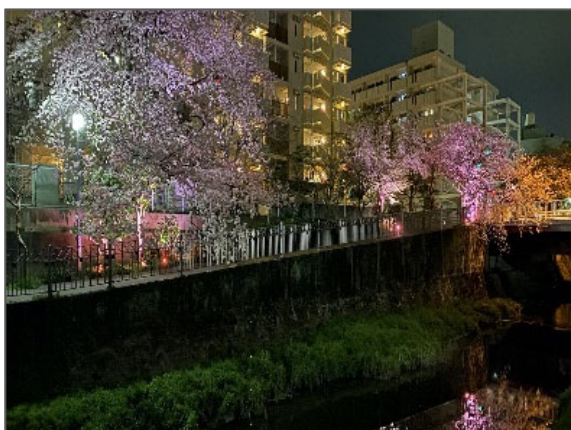
2 森の維持管理
(上郷九号緑地)



8 水田の保全
(田谷町)



10 農景観を良好に維持する活動
(田谷町)



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
(いたち川の桜ライトアップ)

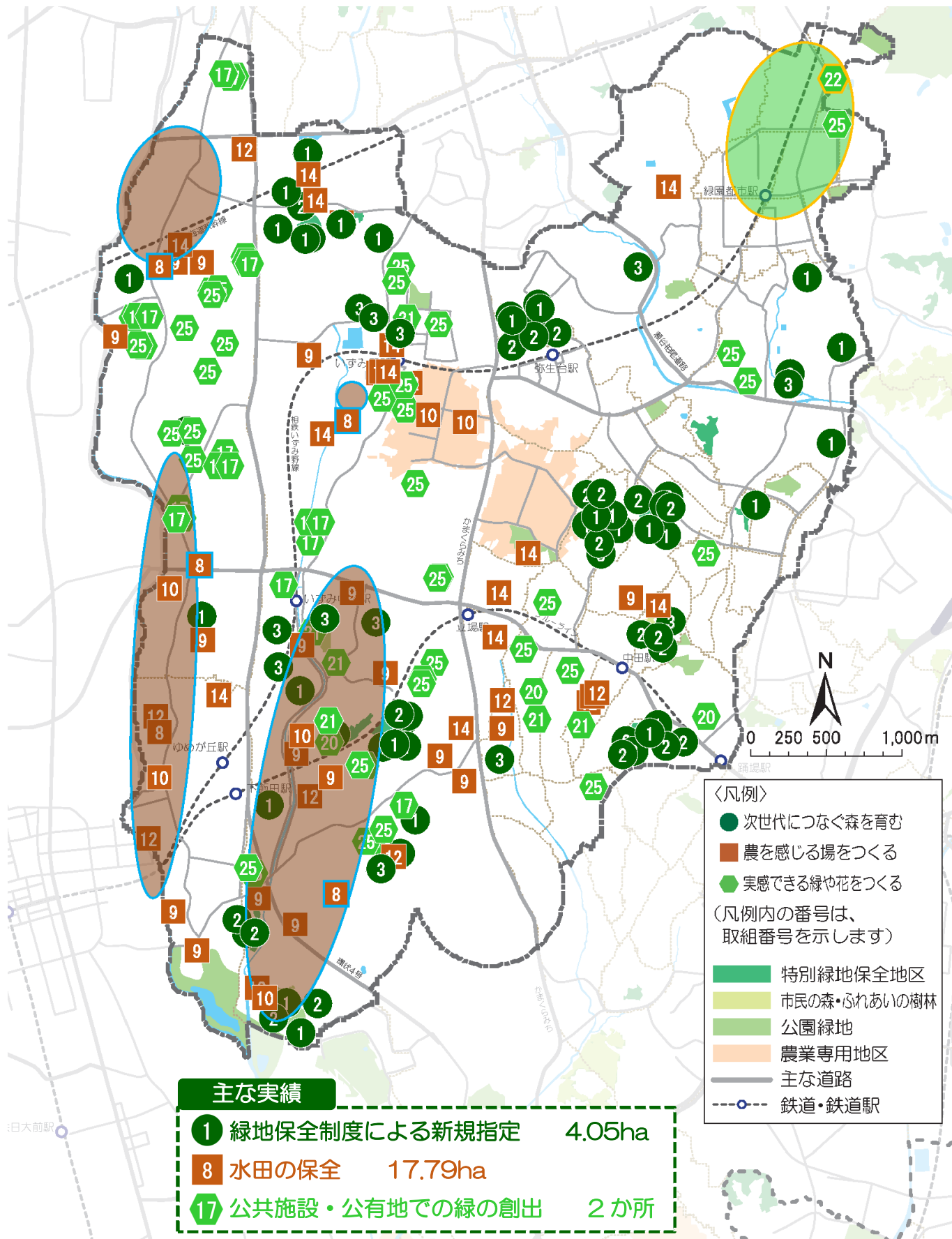


23 地域の花いっぱいにつながる取組
(いの山南公園)

5 各区の実績
栄区



泉区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 4.05ha

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 0.1ha 和泉町早稲田特別緑地保全地区（指定拡大）

2020年度 0.2ha 岡津町金堀谷特別緑地保全地区（指定拡大）

2021年度 0.6ha 和泉町蟹沢特別緑地保全地区

- ・緑地保存地区

2019年度 0.2ha 上飯田町、中田北三丁目

2020年度 0.1ha 岡津町

- ・源流の森保存地区

2019年度 1.1ha 和泉町、岡津町、下和泉四丁目

2020年度 0.9ha 和泉町（4か所）

2021年度 0.8ha 和泉町、上飯田町

- ・その他

2021年度 0.05ha 岡津町ふれあい公園

○市による買取り

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 1地区 和泉町天王森特別緑地保全地区

2020年度 1地区 和泉町早稲田特別緑地保全地区

2021年度 1地区 和泉町早稲田特別緑地保全地区

- ・市民の森等

2019年度 1地区 古橋市民の森

○保全した樹林地の整備 15か所

2019年度 5か所 和泉町天王森特別緑地保全地区、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林

2020年度 5か所 古橋市民の森、新橋市民の森（2か所）、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林

2021年度 5か所 古橋市民の森、新橋市民の森（2か所）、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 28 箇所

・保全管理計画の策定（樹林地）

2019 年度 1 箇所 泉の森ふれあい樹林

・保全管理計画の策定（公園）

2019 年度 1 箇所 天王森泉公園

・維持管理（樹林地）

2019 年度 8 箇所 和泉町早稲田特別緑地保全地区、古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林、鯉ヶ久保緑地

2020 年度 8 箇所 古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林、和泉町早稲田緑地、鯉ヶ久保緑地

2021 年度 6 箇所 古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林

・維持管理（公園）

2019 年度 1 箇所 鍋屋の森

2020 年度 2 箇所 鍋屋の森、天王森泉公園

2021 年度 1 箇所 鍋屋の森

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 28 件

2019 年度 7 件 和泉町（3件）、上飯田町（2件）、中田北三丁目、中田東二丁目

2020 年度 14 件 和泉町（7件）、和泉中央南三丁目、和泉中央南五丁目、岡津町（3件）、新橋町、中田西四丁目

2021 年度 7 件 和泉町（2件）、和泉中央南四丁目、和泉中央南五丁目、岡津町（2件）、下和泉四丁目、

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 17.79ha

2019年度 19.28ha 和泉町、上飯田町、下飯田町

2020年度 18.74ha 和泉町、上飯田町、下飯田町

2021年度 17.79ha 和泉町、上飯田町、下飯田町

○水源・水路の確保 1か所

2020年度 1か所 泉区下飯田町水利組合

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 20件

2019年度 8件 和泉中央南三丁目、和泉中央南四丁目、和泉町（2件）、上飯田町（2件）、下飯田町、中田西三丁目

2020年度 8件 和泉が丘一丁目、和泉が丘二丁目、和泉町（3件）、和泉中央南四丁目、中田東四丁目、上飯田町

2021年度 4件 和泉町、上飯田町（2件）、下飯田町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 68.4ha

2019年度 68ha 柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会

2020年度 68.6ha 柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会、蔵関水利組合

2021年度 68.4ha 柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、中田緑の大地を守る会、蔵関水利組合

・農地縁辺部への植栽 6件

2019年度 2件 中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会

2020年度 2件 中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会

2021年度 2件 中田緑の大地を守る会、横浜市泉区並木谷農業専用地区協議会

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 2.23ha

2019年度 0.31ha 上飯田町（3か所）

2020年度 0.39ha 上飯田町（2か所）、下和泉四丁目

2021年度 1.53ha 和泉町（7か所）、上飯田町（2か所）

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 1.06ha

・収穫体験農園

2019年度 0.39ha 和泉町（2か所）、下飯田町、中田南三丁目

2020年度 0.13ha 上飯田町、中田南三丁目

2021年度 0.07ha 中田南三丁目

・市民農園

2019年度 0.33ha 和泉町、中田西三丁目

2020年度 0.14ha 和泉町、下飯田町

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 15件

・直売所・加工所

2019年度 3件 和泉町、中田町、中田西三丁目

2020年度 6件 和泉が丘二丁目、新橋町、和泉町（2件）、下飯田町、上飯田町

2021年度 3件 上飯田町（2件）、中田北一丁目

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 いずみ野即売会

2020年度 1件 いずみ野即売会

2021年度 1件 いずみ野即売会

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の創出 2 箇所

2019 年度 1 箇所 泉区民文化センター

2020 年度 1 箇所 下和泉地区センター

○緑の維持管理 19 箇所

2019 年度 6 箇所 泉区庁舎、上飯田地区センター、日向山公園、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）

2020 年度 6 箇所 泉区庁舎、上飯田地区センター、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）、日向山公園

2021 年度 7 箇所 泉区庁舎、上飯田地区センター、下和泉地区センター、市有地（いちよう小学校跡地）、市有地（上飯田団地入り口付近）、市有地（向ヶ丘自治会館横）、日向山公園

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019 年度 中田さちが丘線（緑園）、和泉町第33・88号線（和泉川沿い）ほか計588本

2020 年度 上飯田第112号線（弥生台）、中田さちが丘線（領家地区）ほか計682本

2021 年度 中田さちが丘線（緑園）、中田さちが丘線（領家地区）ほか計452本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 5 件

2019 年度 4 件 中田西二丁目（3件）、中田東一丁目

2020 年度 1 件 和泉町

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2019 年度 3 本 中田西二丁目、和泉中央南四丁目、和泉町

2020 年度 3 本 和泉町、中田南一丁目（2本）

2021 年度 1 本 和泉町

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1 地区

・新規

2020 年度 1 地区 緑園都市地区

・継続

2021 年度 1 地区 緑園都市地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019 年度 区内各駅における植栽設置、泉区庁舎前の花壇改修

2020 年度 泉区庁舎・区内公園内・立場駅前の花壇整備

2021 年度 区民利用施設における花壇整備

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019 年度 花の種の配布、花苗などの配布（いずみ台公園ほか 30 か所）

2020 年度 球根などの配布（泉が丘公園ほか 33 か所）

2021 年度 球根などの配布（和泉アカシア公園ほか 43 か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 752 本

2019 年度 248 本

2020 年度 222 本

2021 年度 282 本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 3 箇所

2019 年度 2 箇所 中田小学校、上飯田小学校

2021 年度 1 箇所 中和田南小学校

○緑の維持管理 37 箇所

2019 年度 8 箇所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、伊勢山小学校、下和泉小学校、泉が丘中学校、上飯田中学校、中和田中学校

2020 年度 20 箇所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、和泉小学校、いずみ野小学校、伊勢山小学校、岡津小学校、上飯田小学校、葛野小学校、下和泉小学校、中田小学校、中和田南小学校、西が岡小学校、緑園東小学校、泉が丘中学校、いずみ野中学校、岡津中学校、上飯田中学校、中田中学校、中和田中学校

2021 年度 9 箇所 和泉保育園、北上飯田保育園、飯田北いちよう小学校、いずみ野小学校、伊勢山小学校、上飯田小学校、下和泉小学校、泉が丘中学校、中和田中学校



1 緑地保全制度による新規指定
(和泉町蟹沢特別緑地保全地区)



2 森の維持管理
(新橋市民の森)



8 水田の保全
(和泉町)



10 農景観を良好に維持する活動
(中下水利組合)



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
(区民利用施設における花壇整備)

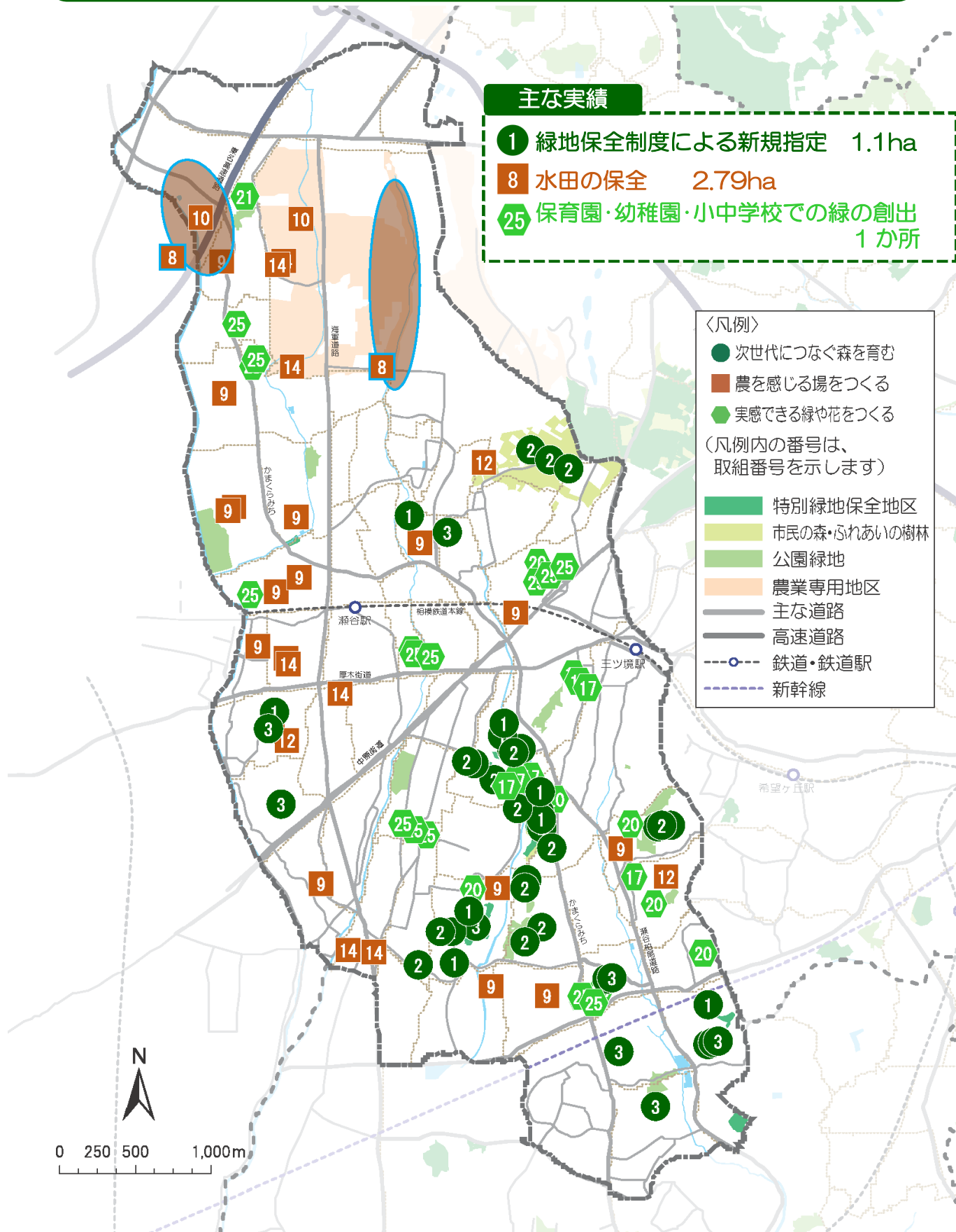


23 地域の花いっぱいにつながる取組
(日向山公園)

5 各区の実績
泉区



瀬谷区



計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 1.1ha

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 0.5ha 阿久和南一丁目藤ヶ谷特別緑地保全地区

- ・緑地保存地区

2020年度 0.1ha 橋戸三丁目

2021年度 0.2ha 相沢三丁目

- ・源流の森保存地区

2020年度 0.3ha 宮沢三丁目

○市による買取り

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区 地区

2021年度 1地区 宮沢・蟹沢特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 6か所

2019年度 1か所 宮沢三丁目特別緑地保全地区

2020年度 2か所 宮沢三丁目特別緑地保全地区、宮沢ふれあい樹林

2021年度 3か所 東山ふれあい樹林（2か所）、宮沢ふれあい樹林

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 21か所

- ・維持管理（樹林地）

2019年度 5か所 瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林、宮沢緑地、宮沢・蟹沢緑地

2020年度 5か所 瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林、宮沢緑地、宮沢・蟹沢緑地

2021年度 6か所 宮沢特別緑地保全地区、宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、宮沢三丁目特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林

- ・維持管理（公園）

2019年度 2か所 長屋門公園、瀬谷貉窪公園

2020年度 1か所 長屋門公園

2021年度 2か所 長屋門公園、瀬谷貉窪公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 12件

2019年度 2件 阿久和南一丁目、宮沢三丁目

2020年度 3件 阿久和東四丁目、阿久和南一丁目、阿久和南二丁目

2021年度 7件 相沢三丁目、阿久和南一丁目、阿久和南三丁目、阿久和東四丁目、北新（2件）、橋戸三丁目

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

○水田保全面積 2.79ha

2019年度 3.20ha 瀬谷町、目黒町

2020年度 3.35ha 瀬谷町、目黒町

2021年度 2.79ha 瀬谷町、目黒町

9 特定農業用施設保全契約の締結

○特定農業用施設保全契約の締結 17件

2019年度 8件 阿久和東一丁目、下瀬谷三丁目、瀬谷五丁目、瀬谷六丁目、二ツ橋町、本郷三丁目、宮沢三丁目、宮沢四丁目

2020年度 5件 相沢三丁目、阿久和西四丁目、上瀬谷町、中屋敷一丁目、本郷一丁目

2021年度 4件 本郷一丁目(2件)、本郷二丁目、本郷三丁目

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 81.7ha

2019年度 81.6ha 八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会

2020年度 81.7ha 八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会

2021年度 81.7ha 八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会

・農地縁辺部への植栽 3件

2019年度 1件 八幡耕地整理組合

2020年度 1件 八幡耕地整理組合

2021年度 1件 八幡耕地整理組合

○周辺環境に配慮した活動への支援

・牧草等による環境対策 1.40ha

2019年度 0.77ha 下瀬谷一丁目、瀬谷町(3か所)、中屋敷三丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目(2か所)

2020年度 0.15ha 下瀬谷一丁目、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目

2021年度 0.48ha 下瀬谷一丁目、瀬谷町(2か所)、南瀬谷一丁目、南瀬谷二丁目(2か所)

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

○様々なニーズに合わせた農園の開設 0.67ha

・収穫体験農園

2020年度 0.05ha 橋戸三丁目

2021年度 0.07ha 瀬谷町

・農園付公園

2019年度 0.55ha 阿久和富士見小金台公園

14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 8件

・直売所・加工所

2019年度 2件 下瀬谷一丁目、橋戸三丁目

2020年度 1件 橋戸三丁目

2021年度 2件 下瀬谷一丁目、瀬谷五丁目

・青空市・マルシェ等

2019年度 1件 上瀬谷直売所グループ

2020年度 1件 上瀬谷直売所グループ

2021年度 1件 上瀬谷直売所グループ

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 7か所

2019年度 3か所 ニツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺、阿久和消防出張所

2020年度 2か所 ニツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺

2021年度 2か所 ニツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○良好な維持管理

2019年度 環状4号線（海軍道路）、環状4号線（瀬谷駅南口-下瀬谷）ほか 計 574本

2020年度 環状4号線（海軍道路北部）、環状4号線（瀬谷駅南側）ほか 計 362本

2021年度 環状4号線（海軍道路北部）、環状4号線（瀬谷駅南側）ほか 計 490本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 6件

2019年度 5件 阿久和西一丁目、阿久和東一丁目、阿久和東二丁目、ニツ橋町、宮沢三丁目

2020年度 1件 阿久和東三丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度 3本 上瀬谷町（3本）

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度	区内小中学生と保護者を対象としたフラワーアレンジメント講座、二ツ橋公園におけるプランターの設置・植栽管理
2020年度	オープンガーデンの実施（会場の様子をオンラインで公開）、区内24公園における花苗支援、二ツ橋公園におけるプランター設置、旧上瀬谷通信施設でのイベント実施、たねダンゴワークショップの実施
2021年度	オープンガーデンの実施、区内の花・緑を紹介するガイドマップの制作、二ツ橋公園・楽老南公園におけるプランター設置、旧上瀬谷通信施設でのイベント実施、たねダンゴワークショップの実施

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度	花の種の配布、花苗の配布（瀬谷土橋公園ほか1か所）
2020年度	球根などの配布（相沢四丁目公園ほか36か所）
2021年度	球根などの配布（相沢四丁目公園ほか33か所）

24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 839本

2019年度	216本
2020年度	286本
2021年度	337本

※過年度の報告書から本数を修正しました。

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 1か所

2019年度	1か所	大門小学校
--------	-----	-------

○緑の維持管理 15か所

2019年度	5か所	瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校、二ツ橋高等特別支援学校
2020年度	5か所	瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校、二ツ橋高等特別支援学校
2021年度	5か所	瀬谷第二保育園、中屋敷保育園、原小学校、南瀬谷小学校、二ツ橋高等特別支援学校

5 各区の実績
瀬谷区



1 緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（相沢三丁目）



2 森の維持管理
（瀬谷市民の森）



8 水田の保全
（瀬谷町）



12 収穫体験農園の開設
（瀬谷町）



23 緑や花を身近に感じる各区の取組
（旧上瀬谷通信施設でのイベント）



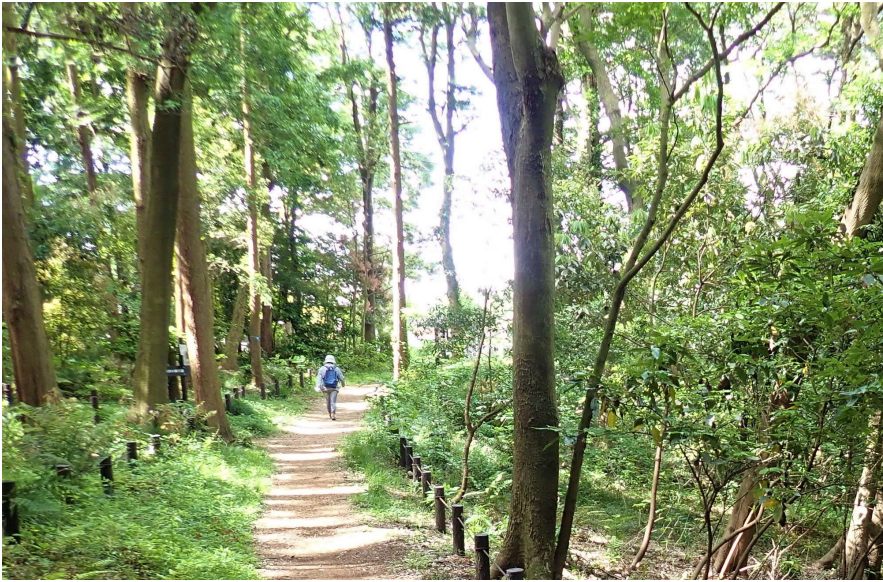
25 小学校での緑の創出・育成
（大門小学校）



2022年10月発行（第1版）
横浜市環境創造局みどりアップ推進課
横浜市中区本町 6-50-10
電話 045-671-2712 FAX 045-224-6627



横浜みどりアップ計画



横浜みどりアップ計画3か年の評価・提案（案）

～横浜みどりアップ計画市民推進会議 2021 年度報告書～

目次

1	はじめに	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議 2021 年度の活動実績	5
	(1) 2021 年度の活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③広報・見える化部会	
	④調査部会（現地調査）	
4	横浜みどリアップ計画 3か年の評価・提案	16
	◆計画の体系	
	◆各計画の柱のハイライト	
	◆評価・提案の概要	
(1)	計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	22
	施策1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	
(2)	計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	31
	施策1 農に親しむ取組の推進	
	施策2 地産地消の推進	
(3)	計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	40
	施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	
	施策2 緑や花に親しむ取組の推進	
(4)	効果的な広報の展開	48
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿	54
6	市民推進会議委員からのコメント	58
7	市民推進会議広報誌「Yokohama みどリアップ Action」、 「森づくり体験会」の案内チラシ	62

1 はじめに

進士座長による
メッセージ

横浜みどりアップ計画市民推進会議
座長 進士 五十八

2 横浜みどりアップ計画と市民推進会議

(1) 横浜みどりアップ計画

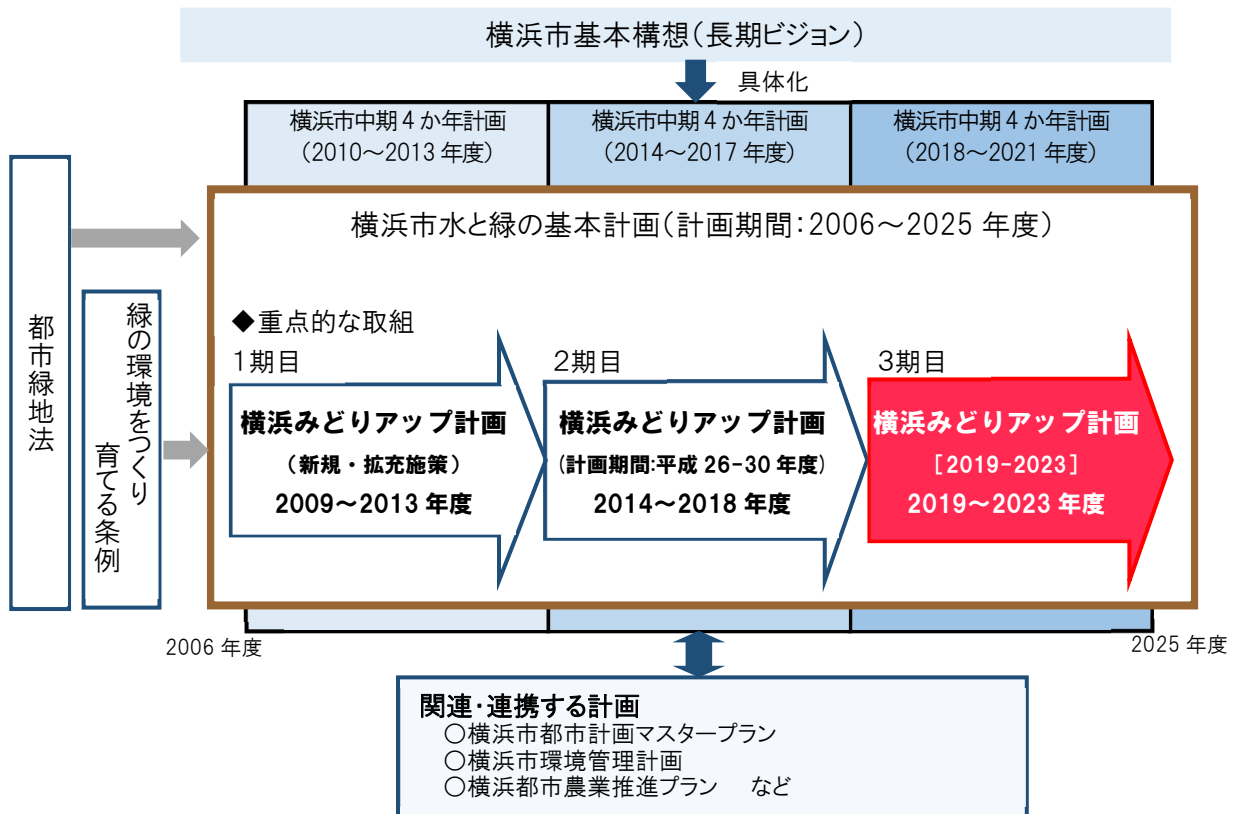
ア 位置付け

横浜市は、大都市でありながら、市民生活の身近な場所にまとまった規模の樹林地や農地などがあり、また、起伏に富んだ地形から、変化に富んだ水や緑の環境を有しています。この緑の環境を生かし、次世代へ引き継いでいくため、市は2025年度を目標年次とした「横浜市水と緑の基本計画」を2006年に策定し、計画に基づき長期的な視点から「横浜らしい水・緑環境の実現」に向けた取組を展開しています。

1期目となる「横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)」は、2008年度までの取組を強化・充実するため2009年度から2013年度までの5か年の事業計画として策定されました。また、「横浜みどり税」は、取組を進めるための重要な財源として2009年度から導入されました。

緑の保全や創造は長い時間をかけて継続的に取り組むことが重要であることから、2期目となる「横浜みどりアップ計画(計画期間:平成26-30年度)」が策定されました。

さらに、2期目の取組の成果や課題、市民意見募集結果などを踏まえ、3期目となる「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」が策定されました。



【図】横浜みどりアップ計画 [2019-2023] の位置付け

イ 横浜みどりアップ計画[2019-2023]の構成

2019年度より、3期目の「横浜みどりアップ計画」に基づき、「みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜」を理念とし、5か年の目標を設定しました。目標の実現に向け、横浜みどりアップ計画では、「市民とともに次世代につなぐ森を育む」「市民が身近に農を感じる場をつくる」「市民が実感できる緑や花をつくる」を3つの柱とした取組と効果的な広報を推進しています。

計画の理念 みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

計画の柱 1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

計画の柱 2

市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

計画の柱 3

市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組めます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。



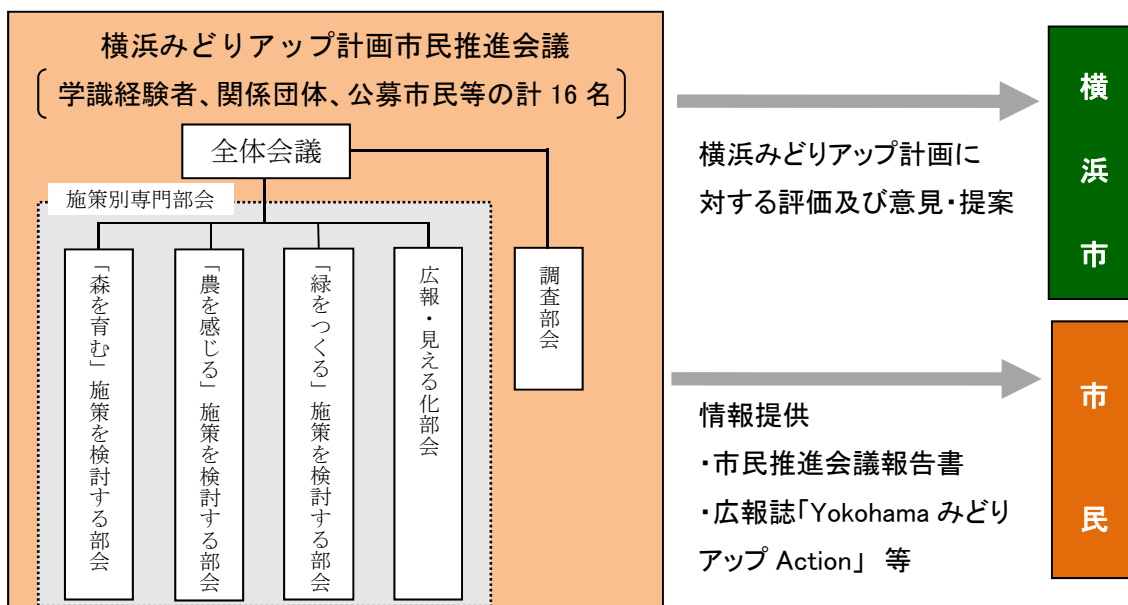
効果的な広報の展開

(2) 横浜みどりアップ計画市民推進会議

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、横浜みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民への情報提供等を行うことを目的として、2009年に設置され、2012年からは条例設置の附属機関に位置付けられました。これまでに全体会議や施策別専門部会の開催に加え、参加市民を公募したオープンフォーラムや現地調査を実施し、市民意見の聴取にも努め、計画の評価・提案を行ってきました。

横浜みどりアップ計画を推進するうえで、市民推進会議の取組は大きな役割を果たしており、3期目の横浜みどりアップ計画についても継続して活動することとなりました。

2019年度からは新たな委員も含め、学識経験者や関係団体、町内会・自治会代表、公募市民の計16名で活動しています。(54頁に委員名簿を掲載)



横浜市附属機関設置条例第2条第2項本文：

附属機関(※)の担任する事務は、別表担当事務の欄に掲げるとおりとする。

別表(抜粋)

執行機関	附属機関	担当事務	委員の定数
(中 略)			
市長	横浜みどりアップ計画市民推進会議	横浜市内の樹林地及び農地の保全並びに緑化の推進を図ることを目的とする横浜みどりアップ計画に係る施策及び事業についての情報提供、評価等に関する事務	20人以内
(以下省略)			

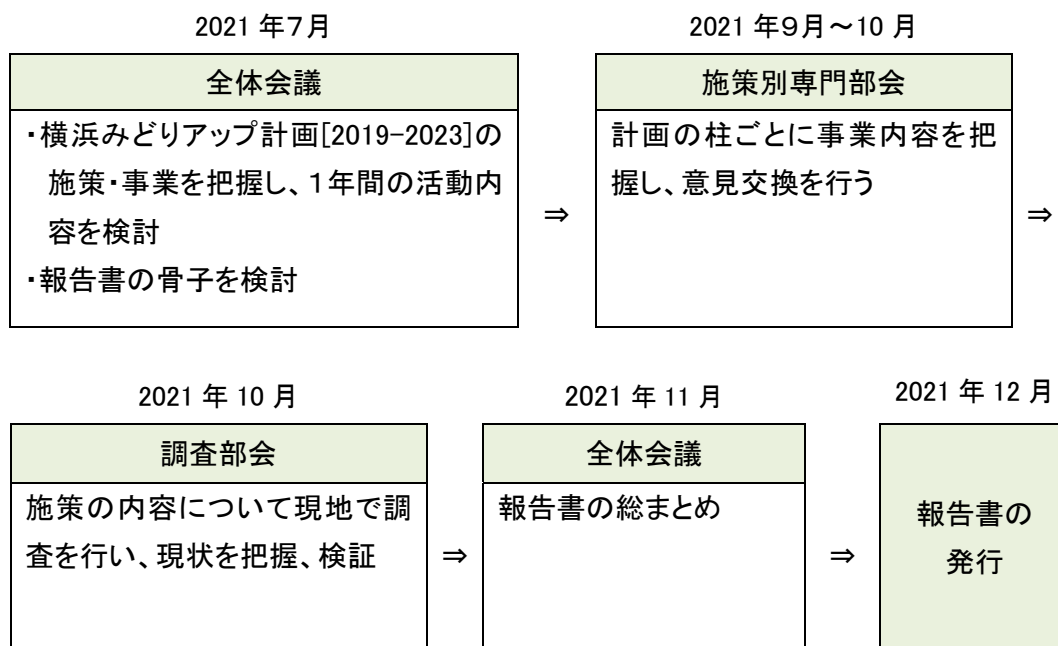
※附属機関とは、法律又は条例に基づき設置する機関で、市長等の執行機関の要請により、行政執行のために必要な審査、審議、調査等を行うことを職務とする機関。

3 市民推進会議 2021 年度の活動実績

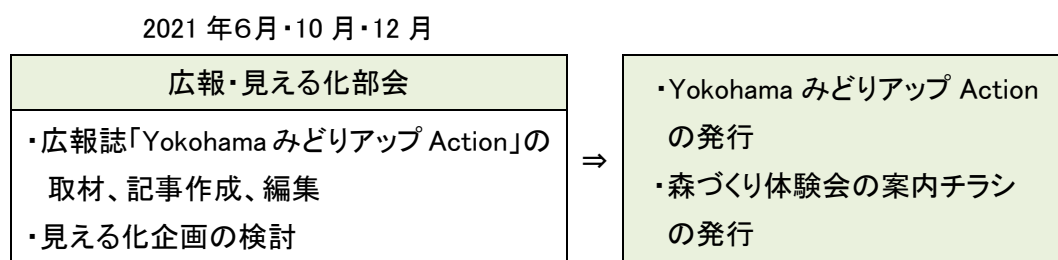
(1) 2021 年度の活動の概要

市民推進会議の主な活動は、「横浜みどりアップ計画に対する評価及び意見・提案」と「市民への情報提供」の2つです。

ア 横浜みどりアップ計画に対する評価及び意見・提案



イ 市民への情報提供



2021年度は引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策として、WEBを併用したりモート会議の開催や飛沫感染防止のマスク着用、手指消毒の徹底をしながら活動に取り組みました。

(2) 活動の詳細内容

ア 市民推進会議(全体会議)

市民推進会議の全体会議において、部会の構成や調査の実施など年間の活動内容を確認し、横浜みどりアップ計画の内容、進捗状況について説明を受けて、質疑応答、意見交換を行いました。

(ア) 第34回市民推進会議(2021年7月12日)

- ・横浜みどりアップ計画の進捗状況について
- ・市民推進会議 2020年度報告書について



(イ) 第35回市民推進会議(2021年11月26日)

- ・横浜みどりアップ計画 2020年度の事業実績について
- ・市民推進会議 2020年度報告書(案)について
- ・市民推進会議 2022年度の取組について

イ 施策別専門部会

計画の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに詳細に説明を受け、意見交換を行いました。

※2014年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、「効果的な広報の展開」事業に対する評価・提案については、「広報・見える化部会」にて実施しています。

(ア) 第14回「森を育む」施策を検討する部会(2021年10月6日)

- ・「森を育む」施策の評価・提案について

(イ) 第14回「農を感じる」施策を検討する部会(2021年9月28日)

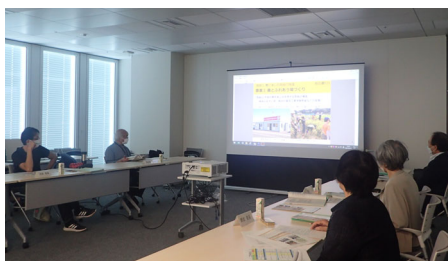
- ・「農を感じる」施策の評価・提案について

(ウ) 第14回「緑をつくる」施策を検討する部会(2021年9月29日)

- ・「緑をつくる」施策の評価・提案について



「森を育む」施策を
検討する部会



「農を感じる」施策を
検討する部会



「緑をつくる」施策を
検討する部会

ウ 広報・見える化部会

2014年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、施策別専門部会として横浜みどりアップ計画の広報について評価・提案を行うとともに、横浜みどりアップ計画や横浜みどり税についての情報提供のあり方の検討や広報誌の編集を行っています。

広報誌「YokohamaみどりアップAction」では、横浜みどりアップ計画の取組が進んでいる現場を取材した上で、緑の魅力をいかに伝え、「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような内容とするために毎号議論を重ね、市民目線の現場レポートを作り上げています。2021年度は第5・6号を発行しました。駅及び主要な公共施設のPRボックスや、各区役所・土木事務所・公園緑地事務所等の公共施設で配布するとともに、市のホームページでも公開しています。

(ア) 第47回広報・見える化部会(2021年6月30日)

- ・2021年度広報誌テーマ案について
- ・見える化企画案について

(イ) みどりアップ Action 第5号取材(2021年7月17日)

- ・テーマ：農園付公園
(泉区 岡津町ふれあい公園)



(ウ) みどりアップ Action 第6号取材(2021年10月2日)

- ・テーマ：地域緑のまちづくり事業
(西区 みなとみらい21 新港地区運河パーク花時計)

(エ) 第48回広報・見える化部会(2021年10月6日)

- ・「効果的な広報の展開」事業の評価・提案について
- ・みどりアップ Action 第5号原稿案について
- ・見える化企画案について
- ・みどりアップ Action 第6号記事内容について



(オ) 第49回広報・見える化部会(2021年12月15日)

- ・みどりアップ Action 第6号原稿案について
- ・2022年度みどりアップ Action テーマ案について

2021年度に発行した「Yokohama みどリアップ Action」及び「森づくり体験会の案内チラシ」

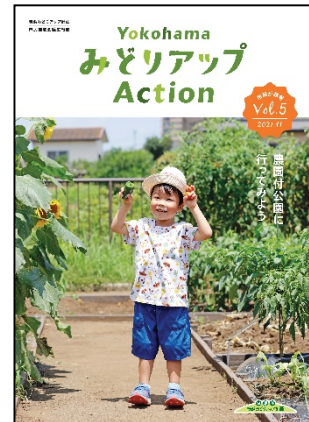
○ YokohamaみどリアップAction 第5号

《発行月》 2021年11月

《発行部数》 18,500部

《テーマ》 農園付公園

(泉区 岡津町ふれあい公園)



遊ぶだけが公園じゃない！野菜づくりをはじめませんか？
農園付公園の一つである「岡津町ふれあい公園」。大人から子どもまで楽しめる野菜づくりを通じた地域交流を紹介しています。お近くの農園付公園を探してみてもはいかがでしょうか。

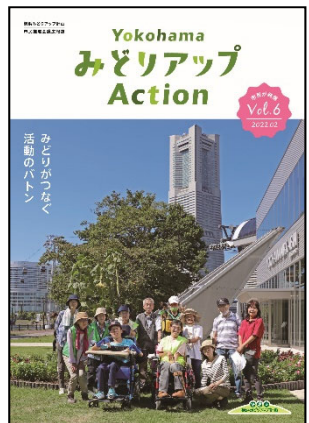
○ YokohamaみどリアップAction 第6号

《発行月》 2022年2月

《発行部数》 18,500部

《テーマ》 地域緑のまちづくり事業

(西区 みなとみらい21新港地区運河パーク花時計)



脈々と受け継がれる花時計
みなとみらい地区の運河パークには花時計（日時計）があります。彩り豊かな花はどのように育まれているのか。「開国博Y150」から続く歴史と地域の活動をご紹介します。

○ 森づくり体験会の案内チラシ

《発行月》 2021年11月

横浜みどリアップ計画、みどり税の見える化の取組として、大学生を対象とした「森づくり体験会」の参加募集チラシを作製しました。市内の大学などでの配付及び市ホームページの掲載を行いました。



※報告書末尾に「Yokohama みどリアップ Action」「森づくり体験会の案内チラシ」を添付しています。

エ 調査部会(現地調査)

<第21回調査部会>

日 時 2021年10月27日(水) 午後1時10分～午後4時45分

参 加 者 委員12名

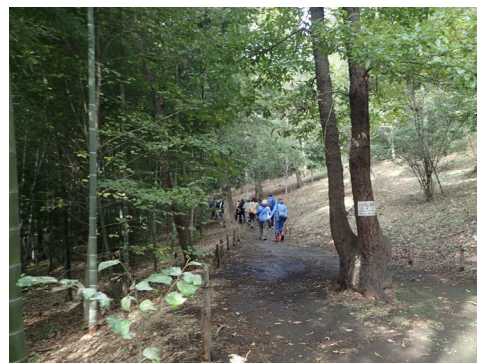
調査場所 川和市民の森(都筑区)、
田奈恵みの里 ハマツ子直売所「四季菜館」(青葉区)
並木の再生 環状4号線(十日市場・霧が丘地区)
若葉台もみじ花と緑推進会(旭区)

(ア) 森の多様な機能に着目した森づくりの現場を調査(川和市民の森)

都筑区西部に位置する川和市民の森を視察しました。



川和市民の森の概要を説明



散策路を徒歩

<委員の感想や主な意見>

- よく維持管理されています。愛護会の皆さまの努力に感謝するばかりです。川和市民の森はとても美しい森と思います。
- 間伐などよく手入れされており、散策路も整備されて、良いと感じました。愛護会の皆さまの努力があると思います。担い手づくりが課題かと思えます。
- 蚊が多かったので、驚きました。難しいところですが、利用する方、散策する方にとっても悩ましい存在のように感じました。森として保全されることによって、地域の風景のアクセントにもなっていると思います。
- 良く整備されていて愛護会の皆さまのご苦勞と整備された後の達成感の笑顔が目に見えます。
- きれいな遊歩道が整備され、市のご担当者、また愛護会の方々がしっかりと森を維持管理されていらっしゃると思いました。
- 市民の森は昔の里山と同じで、地域の方が利用しながら手入れをしていました。タケノコ掘り等のイベントで楽しく参加してもらえていて良かったです。若い人達が引継いで下さると良いのですが。

- コナラやクヌギなども多く、子ども達との散歩コースには最適な印象を受けました。ただし、オオスズメバチの存在は、とても危険であり、巣の撤去だけではなく、女王蜂が出てくる春先からの対策をお願いしたいと思いました。
- 愛護会の方達の維持管理の努力もあり、散策路もよく整備されており、タケノコ掘りなどのイベントも行われているとのことで、地域の方にも親しまれていると感じました。
- 川和駅から近く、非常にアクセスが良い場所に市民の森として樹林地が残ったことは良かったと思います。展望台があり、そこまでのアプローチを視察しましたが、市民の利活用の取組状況等を知るためには、休憩広場までの構成・整備の状況の視察が必要と思いました。市民の利活用の一つに広場は重要と感じています。
- 竹林が多く手入れも大変なのかなという印象です。愛護会のメンバーも少ないということで、活動の維持のためにもメンバーが増えるといいと思います。
- 街を通り抜け電車から降りると駅前に管理された農地の中にこんもりとした森があり、懐かしい気持ちになります。森は散策道が整備され市民に利用しやすい立地です。木々の名前も標示されていたら楽しめると思います。
- クヌギや竹林等からなる雑木林で人の手が入った、川和町のシンボリックな森として存在感がある街なかの市民の森と印象を抱きました。しかも、その前の集団農地と一体的な田園環境としての存在が非常に貴重なのだと思えました。そのすぐ近くに駅があり、区画整理事業が行われている状況を考えても、これからの新しい川和地区にある地域資源を市民の森として確保、継承したことは大きな意義があることではないかと思いました。市民の森愛護会も、地権者型ではなく、里山の保全・継承に興味・関心を持つ住民が主体的に参加している。その方々がもっと広がっていくのを期待します。

(イ) 水田の保全・農景観を良好に維持する活動の支援現場を調査

(田奈恵みの里 ハマツ子直売所「四季菜館」)

青葉区及び緑区の一部に位置する田奈恵みの里を視察し、恵みの里事業の概要について説明を受けました。また、直売所「四季菜館」の現場も視察しました。



恵みの里事業の概要説明



四季菜館内の視察

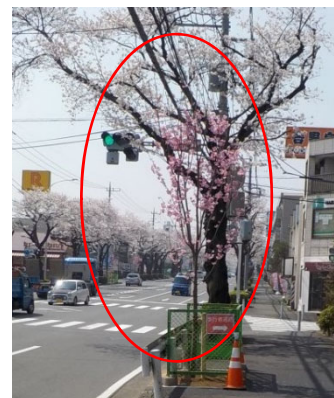
<委員の感想や主な意見>

- 水田保全に奨励金の交付が実施されているなど、農地保全に役立っている状況を説明して頂きました。
- 地産地消教室やイベント、加工など総合的に農の取組を進めているところが良いと思います。
- これらの事業にどのくらい「みどりアップ計画」が貢献しているのか見えると効果検証にとって有益な素材(データ)になると思います。
- 新鮮野菜から花、植木、加工品などを見て回っているといろいろ購入したくなる品揃えで非常に良い直売所でした。
- 直売所の野菜等に生産者の名前が多くあり、積極的な取組が感じられました。恵みの里における次世代の子ども達との関わりをもう少しお話しが聞ければ良いと思います。
- 新鮮な野菜、季節感あふれる野菜を手にする恩恵を受けられる大切さを感じています。また食の恵みだけではなく、景観としての農の風景は、横浜で暮らす子ども達にも「原風景」として残ることでしょう。今後も大切にしていきたい農の姿と感じています。
- 田奈地区の圃場の様子を近くで確認できませんでしたが、農の散歩道にレンゲなど景観植物を栽培して、散策に来た方々が楽しんでいるとのこと。なお、レンゲを緑肥として田畑にすき込むことは殆んどされていないとのことでした。
- 市民と農を繋げる活動を体験やイベントを通じてきめ細やかに行き、その機能を十分に果たす施設と思われました。
- 四季菜館では、加工所が設けられていることにより、生産物が加工品となって市場に出て、地産地消に繋げている点が地域活性の基盤になっていると思われました。四季菜館での多種の加工品ほか、多くの市内の生産品も取り扱い地産地消の拠点の機能も果たしていると思われました。
- 歴史ある古い蔵を移転させて今の四季菜館になっているという、さらに震災の間に移動していたという話に驚きました。市内の JA 直売所の中で唯一あのような外観の建物であることがとても素敵だと思います。加工品づくりは農家の活躍の場として積極的に進めていくとよいと思います。地元の穀物や野菜を使ったお惣菜や加工品は素晴らしいです。イベントにも参加してみたいと思いました。
- 十日市場農業専用地区は空いている田も見受けられましたが、水利の改修を進めて水田を潤して欲しいです。大草や雑木が育つと元に戻すのに労力がいらいます。
- 販売する農産物等が広く地域外から持ち込まれているとのこと、以前に比べると旧田奈農協管内の農業生産が後退しているのかと感じたところです。水田の奨励金がほぼ 100%使われており、体験水田の取組も根付いていることから水田としては継続的に受け継がれそうですが、直売所に並ぶ野菜や農産加工物に地場産のものが減るのは非常に残念です。
新鮮な地場野菜等の販売が根付くのを願うとともに、おいしい茶饅頭、シフォンケーキ等の田奈ならではの食べ物がいつでも手に入る状況をどう作り出していくのが課題だと感じました。

(ウ) 街路樹による良好な景観の創出・育成現場を調査

(並木の再生 環状4号線十日市場・霧が丘地区)

環状4号線の十日市場・霧が丘地区の老朽化した桜並木などの再生や空いている植栽枠への補植などを車窓から見学し、事業説明を受けました。



ヨウコウの植栽状況

<委員の感想や主な意見>

- サクラ「ヨウコウ」の植替えの工夫は良いと思います。10年後の姿が楽しみです
- 見事な桜並木だと思っただけでしたが、約40年で植替えが必要となると大変だと思います。並木の維持を期待します。
- 街路樹は市民が日常的に目にするものだと思います。ただ日常的すぎるがゆえになかなか気にとめられないと思います。これがみどりアップ計画の事業だと知らない市民が多いと思います。何かしらの看板や掲示ができると良いと思います。
- 大変な大工事となりますが、将来が楽しみです。
- ソメイヨシノの根上がりの箇所が多く見受けられ、道の段差によるお年寄りや子ども達の事故が心配でした。
- ソメイヨシノの植替えは大切です。ゆっくり大きくなる木も何十年かたてば、歩道におさまりきらなくなるので、ゆったりと道幅があると良いと思います。
- 横浜の緑区、青葉区、都筑区に住み続ける理由の一つとして、車で走る車窓からもいつも美しい樹木の緑が見ることができると、また春の訪れを感じられる桜の存在かと思えます。ソメイヨシノの桜を樹木管理の観点から、伐採せざるを得ない問題は各地で起こっているかと思いますが、近隣住民の方たちへの説明、状況を納得させる方法など、どのような形で行っているかという点も、気になる点でした。
- 市内のソメイヨシノの並木は、植栽から約40年になり台風などでの倒木リスクも増しており、衰弱した木から伐採し植え替えています。環状4号線沿いのこの地区もソメイヨシノより成長が遅く、耐寒性・耐暑性への環境適応力が高いヨウコウザクラに植え替えています。
- 桜の更新で、街路樹に成長の遅い樹種、ヨウコウが植樹されていることがわかりました。花の色がソメイヨシノとは違うようですが、樹種の選択は重要と思えました。
- 見事な花をつけていたソメイヨシノでしたが、老朽化して根元から1メートルほどで伐採し幹だけになっていました。そこから新たな芽が吹き、次世代の木にもなりそうです。拝見した幹からは芽が吹き、再生するのかと思えました。
- 車窓から見ただけですが、桜の木は種類によってだいぶ大きさが違いました。春を象徴する桜の維持管理は大変だと思いますが、再生・保全を継続していただきたいと思います。
- 桜並木の倒木にびっくりです。ヨウコウに更新していただいて、安心して桜をめぐる事が出来ますように。

○この地域の環状4号線の桜はソメイヨシノであったが、約40年が経過する中で、植栽マスの破壊、舗装面の根上がり等が多発しているのはよく耳にしていますが、ベッコウタケのような腐朽菌による衰弱も結構あるとのことあまりよく知りませんでした。街路樹のソメイヨシノも40年もたてば腐朽菌で幹の中から衰弱するものも多く、樹木医の診断に基づき伐採しているとのことでした。

街路樹は成長速度が速いソメイヨシノは不適で、成長が遅いヨウコウを更新植栽していること、ジンダイアケボノは病気には強いという利点はあるが、成長速度は比較的早いので、街路樹には不適であるとのこと、参考になりました。幹線道路の街路樹は、樹形といった景観面の側面だけでなく、時間軸を考えて植栽する必要があるというのは正直驚きました。

(E) 市民と連携した緑のまちづくりに取組む現場を調査(若葉台もみじ花と緑推進会)

旭区若葉台で市民との協働により緑化を進めている現場を見学しました。取組を進めた若葉台もみじ花と緑推進会の方々から、緑化計画や活動の概要、感じている課題などについて説明を受けました。



敷地内の駐車場周辺に新たに植栽



池の跡地を花壇として整備

<委員の感想や主な意見>

○若葉台もみじ花と緑推進会の活動は工夫されており、継続されることを期待します。また、ホームページの広報活動はとても素晴らしいと思います。

○住民の方々の緑を作ろうという熱意に感動しました。緑をきれいに保つには、人手、お金、仕組など大変だと思いました。

○取り組み自体は素晴らしいと思います。「みどりアップ計画」と表示したポップも確認できましたが、このポップの数を増やすことが市民の認知度を高めるのではないのでしょうか。

○広い花壇で今後も維持管理をするのが大変と思いました。推進会の皆さまの苦勞に感謝します。今後のご活躍に期待します。

○推進会のメンバーの人数が少ないなかで、大変精力的に活動されていると感じました。陽当たりの課題もありますが、大きなエリアに今後、花と緑があふれる光景が実現出来るように頑張ってい頂きたいです。

- 本地区では、大変良く取り組んでいると感じました。他の棟の方々もまねして始められるのではないのでしょうか。
- 自治会の特別組織として花と緑推進会があるので、維持管理も上手く行われていると感じました。特に「花と緑憩いの広場」には、のぼり旗や子どもが描いた絵、看板には活動日や QR コードが貼ってあり、また推進会の Web ページと植栽植物など、その場でスマホ検索できる工夫が印象に残りました。
- メンバーの皆さんは意欲的で計画に邁進されている様子が良くわかりました。
- 現状は、樹種等は手が掛かからないような選択はされているようでしたが、その面積が広く、伺った人数では、水やり、除草に追われる活動となり、花柄取り、花植え替え等に力が入れられないと思われました。
- 若葉台団地での取り組みは、古い団地としての新しい住民活動コミュニティガーデンのあり方の一例を見せていただいたように思います。さまざまな同じようなグループを見てきていますが、何よりも、会の方達の団結や和やかな活動の雰囲気がとても素晴らしく感じました。また、どこのマンション等にも一時期存在した噴水、水場の再利用、近隣の学校等の学生さんたちへの景観の配慮など至る所に皆さんの気持ちがこもった花壇作りと感じました。
また、廃校を利用したスポーツ活動等の存在等、高齢になっても健康に自立して生活、住み続けられる街づくり、そしてそれが住民の方たちにも浸透、実行されている様子なども直接伺うことができました。
外側から見ると、住み心地はどうなのかという印象があったのですが、実際に住われている方が、「とても住みやすい良いところだよ！」とおっしゃった言葉がとても印象的でした。園芸作業だけではなく、時には一緒に会食をするなど、相互の交流も活発な様子でした。
- 今後進められる彩のpromenade計画は、バス停近くの街路樹、また、奥の学校の植栽とも続くことで一体感のある景観になるのではないのでしょうか。陽当たりも良くないとのことでしたので、高木に樹種根元に彩のある手のかからない常緑のツワブキ等をさらに植樹しても季節感が感じられると思われそうです。
- 会のメンバーの方の熱意に驚かされました。積極的な活動と、QR コードを活用したホームページなどの情報発信には感心させられました。緑地の改良や修繕において、地権が細かく分かれていることにもまた、勉強になりました。
- 若葉台団地の緑化彩りプロジェクトはいろいろ学ぶことができました。整備後の彩りpromenadeが楽しみです。高校生を巻き込んで管理出来たらより良いと思います。みどりアップ計画による取組がはっきりしていて良かったです。
- 若葉台もみじ自治会の地域緑のまちづくり事業は、期待をもって見学させていただき、話を聞かせてもらいました。団地開発から 30 年が経過し、集会所の前の噴水やその水の流れる水路が使われなくなり、その跡地を使い、元の水路沿いを芝生広場にしたりとポイントを緑化場所にしていました。
それからバス停留所までの歩行者通路に沿ってコキアが植えられていましたが、陽当

たりが悪くて、成長が悪かったり、真っ赤になっていなかったりとまばらになっていました。バス停横の三角広場(駐車場の一部)は規模も大きく、面的には拠点的な緑化場所でしたが、植えられている植生のコンセプトがわかりにくいと感じました。傍らで苗をつくっていましたが、カラスに種が食べられたりしているとのことでしたので、苗床施設の導入を始め、専門家のアドバイスが必要と思いました。

また、星槎高校までの道路沿いの植栽帯は、奥行きがあるため植物の成長に伴い、管理に手間取ることも想定されました。全般的には、今の 30 人のメンバーだけで緑化や維持管理するのは困難で、もっとたくさんの担い手登場を促す仕掛けが重要だと感じました。

4 施策ごとの評価・提案

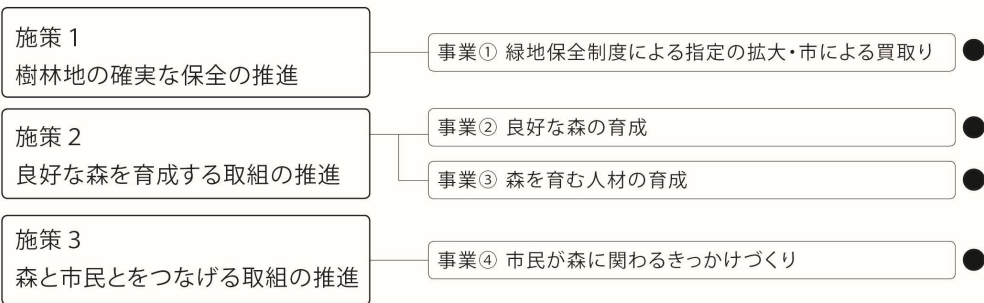
市民推進会議では、横浜みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む(「森を育む」)」、「市民が身近に農を感じる場をつくる(「農を感じる」)」、「市民が実感できる緑や花をつくる(「緑をつくる」)」の施策と、横浜みどりアップ計画を市民の皆さまに周知するための「広いました」。

なお、横浜みどりアップ計画で進めている事業・取組には、横浜みどり税の導入時に定めた用途に沿って横浜みどり税を充当している事業・取組と、横浜みどり税を充当せずに進めている事業・取組がありますが、市民推進会議では市民の皆さまが負担している横浜みどり税を充当している事業・取組を中心に評価・提案を行いました。

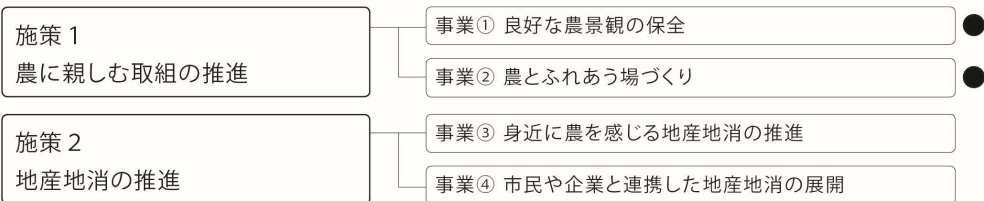
◆計画の体系

●：横浜みどり税を充当している事業・取組

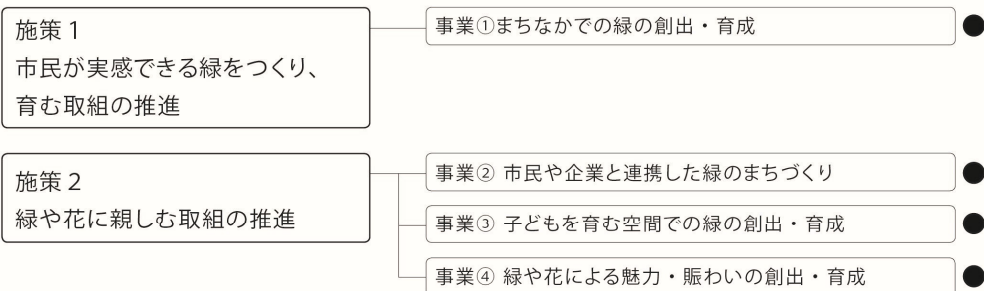
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

◆各計画の柱のハイライト

2021年度の実施状況について、これまでの実施状況とあわせて振り返ります。

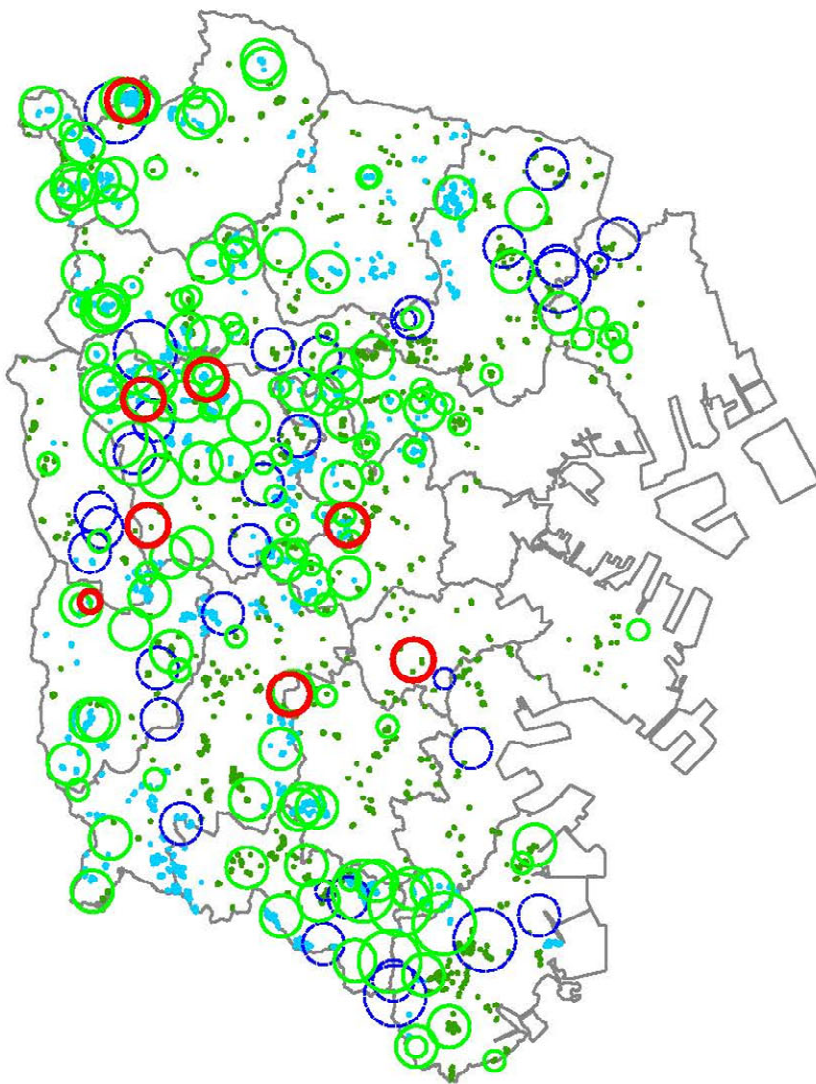


計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

緑地保全制度による指定の拡大が進んでいます

特別緑地保全地区などの緑地保全制度による指定は、緑のネットワークの核となるまとまりのある樹林地を中心に土地所有者へ働きかけを行い、2009年度から2020年度の12年間で約981.7ha、2021年度は31.9ha指定されました。

<緑地保全制度による指定の状況>



2022年3月末現在



<凡例>

都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法に基づく指定地区 (特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区)			
■2008年度以前指定地区			
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	
■2009～2020年度指定地区			みどりアップ 期間中の指定
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	
■2021年度指定地区			本報告書で 評価対象と なる実績
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	
市の条例に基づく指定地区			
● 緑地保存地区 (市街化区域の身近な樹林地を保全する制度)			
● 源流の森保存地区 (市街化調整区域の良好な樹林地を保全する制度)			



計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

農園の開設が進んでいます

野菜の収穫や果実のもぎとりなどを気軽に体験できる収穫体験農園、区画割りされた農園で本格的な農作業が出来る認定市民菜園や農園付公園など、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設が進んでいます。



<農園の開設状況>

(2009年度から2021年度の13年間)

※()内は2021年度新規開設・支援分



●収穫体験農園



●収穫体験農園



●認定市民菜園



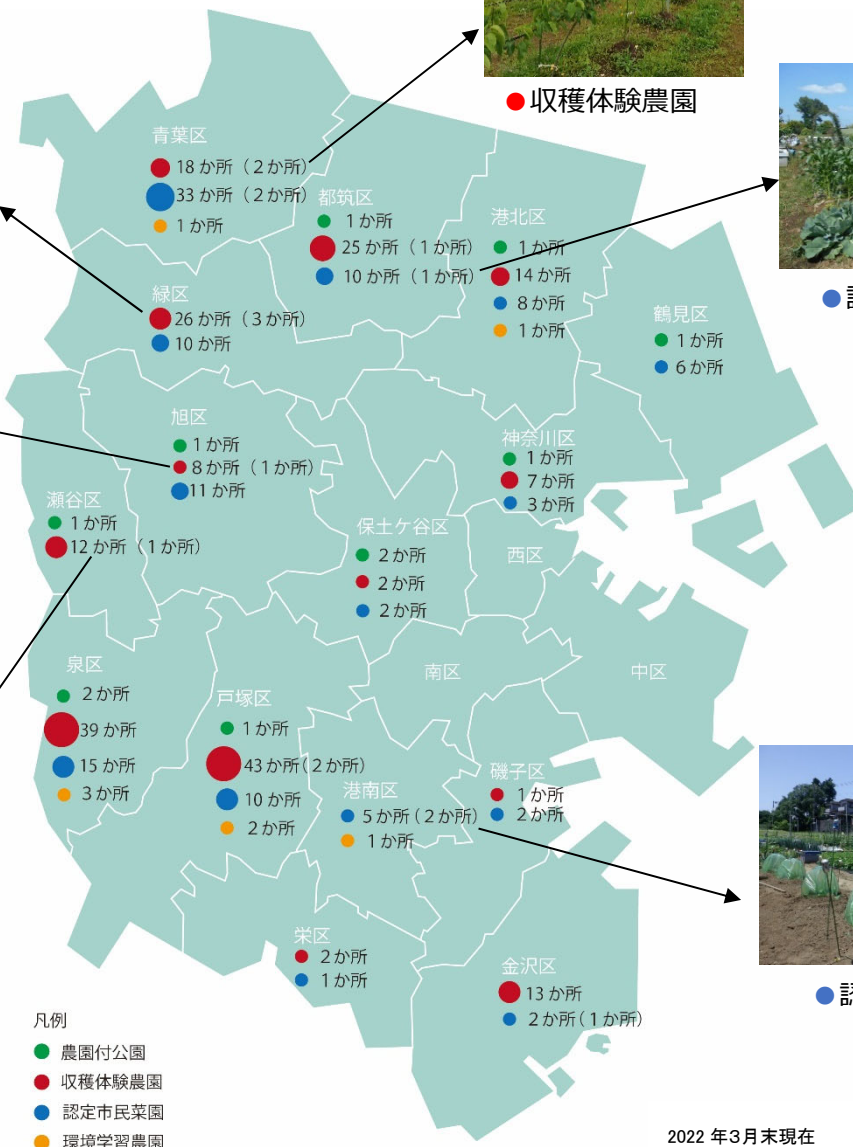
●収穫体験農園



●収穫体験農園



●認定市民菜園



2022年3月末現在



計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

緑のまちづくりが進んでいます

市内各地で様々な緑をつくる自主的な活動が行われ、2009 年度から 2020 年度の 12 年間で市内 55 地区において、魅力ある緑のまちづくりが進んでおり、2021 年度は新たに7地区で緑化の取組が進みました。



＜地域緑のまちづくり実施地区一覧＞



網島西地区(港北区)



磯子3丁目地区(磯子区)

※横浜みどりアップ計画の詳細な実績については、「3か年(2019 年度～2021 年度)の事業・取組の評価・検証」をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midoriup/jigyhouhoukou.html>

◆評価・提案の概要

「計画の柱1：市民とともに次世代につなぐ森を育む」については、コロナ禍により土地所有者への働きかけが難しい状況においても土地所有者への丁寧な働きかけを継続したことを評価します。

樹林地を良好に管理することは様々な観点から重要であり、良好な管理を行っていることを評価します。引き続き、森の魅力を高める管理を進めるとともに、維持管理助成についても、土地所有者が安心して樹林地を持ち続けられる支援を期待しています。

コロナ禍によりイベントの開催が難しい状況において、工夫しながら事業を行ったことを評価する一方、森を訪れる利用者が増えたことで、利用マナーなどの新たな課題も見えてきました。

このような課題への対応も含め、市民の幅広いニーズに沿った森との関わり方ができるような取組の検討を進めてください。

「計画の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる」については、土地所有者や農家等への粘り強い働きかけの結果、着実に取組を進めていることを評価します。またコロナ禍の中、オンラインの活用や感染症対策など工夫しながら事業を進めていることを評価します。

また、身近な場所でできる家庭菜園や農体験などへのニーズが高まっています。今後は、地域の特色や様々なニーズに合わせ、市民が農にふれあう場が増えていくことを期待します。さらに、市民や企業等の地産地消への関心やニーズをとらえ、多様な主体と連携した取組により、「横浜農場」を活用したPRがさらに推進されることを期待します

農景観保全の取組や地域のニーズに合わせた農の取組を進めることは、担い手の創出や農地の継承にもつながり、農地減少の歯止めになると考えます。今後は、農地だけではなく樹林地や緑の施策と連携しながら地域全体で取り組むことを期待します。

「計画の柱3：市民が実感できる緑や花をつくる」については、概ね順調に取組が進められています。

取組により地域の緑や花が増えて親しむきっかけを生み、維持する活動がコミュニティ醸成につながっています。また、保育園・幼稚園・小学校においても、子どもたちが緑に親しむ空間づくりが広がっています。今後も緑や花の取組において、あらゆる世代の市民や企業の参加につながるようPRを工夫し、活動を継続する支援を充実させていくことを望みます。地域活動が支える質の高い緑や花の取組が一層発展し、市内外へのアピールにつながることを期待しています。

効果的な広報の展開については、事業実施場所の現地表示に二次元バーコードを記載することで、活動している公園愛護会について簡単に知ることができ、身近なみどりへの理解が一層深まるよう取り組んでいます。引き続き二次元バーコードを活用した現地表示を進めてください。

マスコットキャラクターを用いた計画の解説アニメーションを新たに YouTube で発信する取組や、花や緑の映像による庁舎内デジタルサイネージでの放映、幅広く市民が目にする電車やバスの車内広告による広報の取組を評価します。若年層の認知が低いため、映像や SNS など若年層が認知しやすい広報ツールを積極的に取り入れることに期待します。

(1)計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

施策1 樹林地の確実な保全の推進

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

市内に残る樹林地の多くは民有地であり、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐためには、土地を所有する方が、できるだけ持ち続けられるよう支援することが必要です。そこで、緑地保全制度に基づく指定により土地所有者へ優遇措置を講じることで、樹林地を保全します。

また、土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に対応します。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り				
緑地保全制度による新規指定	60ha	31.9ha	108.0ha	300ha
土地所有者の不測の事態等による土地の買取り	(想定)22.9ha	19.6ha	57.7ha	(想定)113ha
保全した樹林地の整備	推進	86か所	227か所	推進



特別緑地保全地区に新規指定された緑地
(旭区中希望が丘特別緑地保全地区)



緑地保全制度により買入れた緑地
(泉区和泉町早稲田特別緑地保全地区)

市担当者からのコメント(環境創造局緑地保全推進課)

- みどりアップ計画の第3期に入り、制度指定のメリットを土地所有者の皆様にお伝えしながら、さらなる樹林地指定に取り組めました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止等の影響もあり、指定面積は、2019年度の47.2haに対し、2020年度28.9ha、2021年度31.9ha、3か年合計では108haと目標を下回る結果となりました。また、3年間に新規指定した緑地1か所あたりの面積は0.51haと、前期みどりアップ計画期間(2014～2018年度)の0.72haに比べ、小規模化しています。
- 都市計画により永続的に緑地を保全する特別緑地保全地区(近郊緑地特別緑地保全地区を含む)は、3年間で新規に9か所を指定し、20か所を拡張しました。
- 一方、樹林地の買取りが進み市の管理地が増えるなか、特別緑地保全地区等の新たな指定にあたっては、傾斜地など地形の状況や接道などの周辺状況を踏まえ、適切な整備や維持管理が行える区域とすることが必要です。区域設定の調整や課題の検討には時間を要しますが、今後もまとまりのある貴重な樹林地を保全するため、粘り強く事業を進めていきます。

◆施策1についての評価・提案

- 緑地保全制度による樹林地の指定については、この数年はコロナ禍により土地所有者への働きかけが難しい状況が続く中でも粘り強く働きかけを継続し、一定の成果を上げてきたことを評価します。
- しかしながら、目標に達していないことは課題であり、引き続き樹林地の指定、買取りによる保全に向けてより効率的な土地所有者への働きかけなどの検討が必要です。
- 指定する個々の樹林地が小規模になってきているということは、これまでの取組により大きな樹林地の指定が進展した結果であると考えられます。今後は、小さな樹林地であっても、きめ細やかに指定実績を積み上げることで、少しでも多くの緑を将来世代に残していくことを期待しています。
- これまで指定、買取りを行った樹林地を適切に管理するとともに、それぞれの樹林地や地域の状況に応じた活用の方向性を検討することも計画や事業への理解を得る上で重要と考えます。

● 施策2 良好な森を育成する取組の推進

事業② 良好な森の育成

みどり税

● 事業概要(計画書から抜粋)

生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など、森に期待される多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮し、愛護会や森づくりボランティア、企業等様々な主体と連携しながら、良好な森づくりを進めます。

また、樹林地を所有する方が、できるだけ樹林地として持ち続けられるよう、緑地保全制度による指定地における維持管理の負担を軽減するための支援を行います。

● 実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進				
森の維持管理	推進	保安全管理計画の策定:4か所 維持管理:201か所	保安全管理計画の策定:14か所 維持管理:576か所	推進
取組(2) 指定した樹林地における維持管理の支援				
維持管理の助成	100件	130件	414件	500件

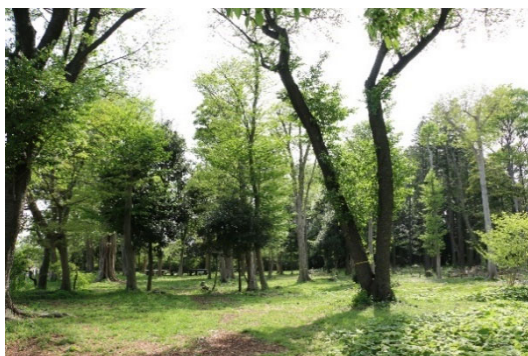
A 【肥田ゾーン】 樹れあいの実証実験

樹種	樹高	間隔	備考
スギ	10m	2.5m	...
ヒノキ	10m	2.5m	...
ケヤキ	10m	2.5m	...
...



計画検討会の様子

保安全管理計画の策定 (旭区鶴ヶ峰ふれあいの樹林)



(泉区 古橋市民の森)

森づくりガイドライン等を活用した維持管理



作業前

作業後

(緑区)

維持管理の助成

●事業概要(計画書から抜粋)

市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。また、森づくり活動を行う団体を対象に、活動に必要な支援を行います。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 森づくりを担う人材の育成				
森づくりを担う人材の育成	推進	研修の実施:11回 体験会の開催:10回	研修の実施:38回 体験会の開催:24回	推進
広報誌等での森づくり活動に関する情報発信	4回	4回	12回	20回
取組(2) 森づくり活動団体への支援				
森づくり活動団体への支援	30団体	36団体	99団体	150団体
森づくり活動団体への専門家派遣	4回	4回	12回	20回
チップターの貸出し	推進	6か所	28か所	推進



森づくりを担う人材育成
森づくり体験会(継続編)の様子
(上川井市民の森)



森づくりを担う人材育成
森づくり体験会(親子編)の様子
(寺家ふるさとの森)



森づくりを担う人材育成
アドバイザー派遣
(中田宮の台市民の森愛護会)



市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 樹林地管理においては、特に樹林地外周部の斜面で、災害予防を目的とした剪定や伐採などを行いました。その意義や効果については、多くの方々にご理解をいただけるようになってきたと感じています。市民の森やまとまった樹林のある公園等において保全管理計画の策定が進み、計画的な管理についても、愛護会とも連携しながら進め、多様な環境が形成され多くの生き物が確認でき、樹林地外周部の斜面では豪雨時の土砂流出が抑制されました。今後も作業成果の検証を行いながら、生物多様性や安全性など森の機能を高める管理を着実に進めていきたいと考えています。
- 樹林地維持管理助成事業は、2020 年度に比べると申請件数はやや減ったものの、傾向としては依然増加傾向にあります。今後も台風などの災害から樹林地を守っていくための一助として、土地所有者の方にこの助成の活用を呼びかけ、計画的な維持管理をしていただくことで、樹林地における防災・減災を図っていききたいと考えています。
- 「よこはまの森ニュースレター」では研修や支援制度の紹介、愛護会や森づくり活動団体の活動紹介のほか、森づくり活動に必要な安全管理の知識や、森づくり体験会を実施した樹林地の林床にどんな変化がもたらされたのかなどの情報提供を行っています。森づくり活動団体やボランティアの皆さんの活動内容や楽しみの幅が広がるような記事を掲載していきたいと考えています。

◆施策2についての評価・提案

- 計画を進めてきたことで樹林地の保全が進むとともに、それらの樹林地を良好な森として次世代につなぐためには、倒木や土砂流出等の災害予防に加え、多様な環境がつくられ、多様な生きものがみられるような森を育んでいく管理の視点も重要です。引き続き、保全管理計画や森づくりガイドラインを活用しながら、愛護会や森づくり活動団体と森の魅力を高める管理を継続してください。
- 樹林地維持管理助成については、引き続き目標を上回る件数に対応しているとともに、2020 年度から助成対象を台風の被害復旧にも拡大するなど、土地所有者のニーズに柔軟に対応していることを評価します。今後も、より多くの土地所有者が安心して樹林地を持ち続けられるよう、ニーズに沿った支援の充実を期待します。
- 近年、横浜市内でも公有地、民有地に関わらず、ナラ枯れ被害が広がっています。全国的に広がっている状況でもあり、有効な対策が難しい問題ですが、引き続き良好な森の育成を進めつつ、支援の充実を検討してください。
- 樹林地の維持管理を支えている愛護会や森づくり活動団体の活動は大変重要です。引き続きニュースレターによる情報発信などの支援を進めるとともに、森づくり活動団体や愛護会の活動がより充実したものとなるよう、必要な支援を行ってください。
- 広報・見える化部会で提案し配布した、若年層向けの森づくり体験会のチラシなど、関心を持つ人を増やし、新たな担い手の確保につながるような取組も検討してください。

施策3 森と市民とをつなげる取組の推進

事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり

みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや講座の開催により、市民が森に関わるきっかけを提供します。また、市内5か所にあるウェルカムセンターの活用などにより、情報発信等に取り組みます。

●実績

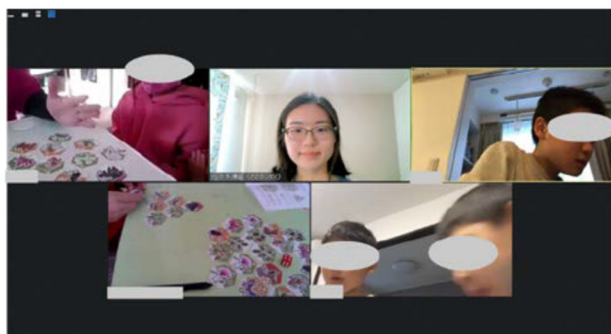
項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 森の楽しみづくり				
市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施	36回	42回	151回	180回
取組(2) 森に関する情報発信				
ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等	10回	10回	26回	50回

2021年度 ～森の楽しみづくり イベントの内容～

- ・よこはま森の楽校
- ・森の中のプレイパーク(中止)
- ・クラフト教室
- ・自然教室(昆虫観察会) など



よこはま森の楽校の様子
(緑区東洋英和女学院大学)



よこはま森の楽校の様子(Zoomにて開催・送付したゲーム)
(都筑区東京都市大学北村研究室)





**インタープリター養成講座
について**

市内に残るみどりの大切さを
広く知っていただくため、横浜
の森の魅力や役割を、単なる
情報提供だけではなく、直接体
験や教材を通して、効果的に伝
える技術や知識を学ぶ講座で
す。



インタープリター養成講座の様子



ウェルカムセンターイベント
「ヤゴ観察会」の様子
(保土ヶ谷区環境活動支援センター)



ウェルカムセンターイベント
「旬の里山探訪」の様子
(緑区にいほる里山交流センター)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 森の楽しみづくりとして、市内各地にある樹林地や緑を活用した自然観察イベント等を実施しました。森の楽校のキャンパスイベントについては、感染症の状況に応じて、対面による体験型とオンラインによる WEB 参加型の両方で各大学が実施しました。市内小学生を対象に図書館及び公園で実施したイベント(森の中のプレイパーク)は、感染状況が悪化したことから、令和3年度は実施することができませんでした。市民の森やふれあいの樹林などの自然観察や散策のできる樹林地が市内には数多くあることを紹介、樹林地で過ごす時間の魅力を感じる機会を提供しました。
- コロナ禍での生活様式の変化から、憩いの場としての市民の樹林地に対する関心は高まっており、これまで関心の無かった方にも樹林地を訪れてもらう機会が増えました。この機会を捉えて、森の楽しみ方を伝え、「横浜の森ファン」を増やすことで、利用マナーや、みどりアップ計画への理解や協力を得ていきたいと考えています。
- しかしながら、感染症の拡大状況によっては、準備を進めたイベントであっても中止の判断をせざるを得ない場面もあり、3年前とはイベントを取り巻く状況は様変わりしています。森の魅力については、現場での体験があつてこそ実感できると思いますが、体験が無くても伝わる、響く情報発信が何かを考えていかなければならないと思います。

◆施策3についての評価・提案

- イベント運営については、コロナ禍により難しい状況が続いている中で、感染対策や開催方法などを工夫しながら目標を上回る回数のイベントを実施したことを評価します。一方で、オンラインイベントや動画等、これまでとは異なる「森に関わるきっかけづくり」の方法が一般的になりつつあります。森の魅力は実際に体験しなければ伝わらない部分もありますが、より多くの市民に森の魅力を伝えるため、様々な方法できっかけづくりの取組を進めてください。
- コロナ禍での生活様式の変化から、身近な自然に対する関心が高まり、市民の森などの樹林地を訪れる市民が増えています。今後も「きっかけづくり」の取組を進めることで、これまで以上に「横浜の森ファン」が増えていくことを期待します。一方で、新たに樹林地を訪れる方が安心・安全に森を利用するためにも、基本的な利用マナーの理解や協力を得るための取組を継続してください。
また、森に関心を持つ市民が増える中で、より多様な森との関わり方が求められていくことが考えられます。散策など個人で森を楽しむことから、観察会への参加や管理作業、森の案内などの森づくり活動まで、幅広いニーズに沿った森との関わり方ができるような取組を検討してください。

「森を育む」施策を検討する部会 部会長コメント

横浜みどりアップ計画の第3期[2019-2023]が中間年までできました。第3期の「森を育む」施策を検討する部会において実感するのは、各種の緑地保全制度による指定の拡大、横浜市による買取りの保証によって森の保全活動が定着してきたことです。同時に、これらの森を育むための人材育成や森づくり活動団体への支援も着実に実行されています。緑の保全は、市民と行政による長い時間がかかる取組ですが、多くの市民の共感を得ています。また、コロナ禍で市民による森の楽しむ機会も増加しています。横浜みどりアップ計画の第3期[2019-2023]において、横浜のみどりアップ計画が絶えることなく実行されていることを高く評価します。

望月 正光



(2) 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

施策1 農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

農地は良好な農景観の形成や生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養機能など多様な機能を有しており、横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様です。農業専用地区に代表される、集団的な農地から構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家や法人などにより農地を維持する取組を支援します。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標	
	目標	実績			
取組(1) 水田の保全					
水田保全面積	125ha	112.2ha	112.2ha	125ha	
水源・水路の確保	2か所	2か所	7か所	10か所	
取組(2) 特定農業用施設保全契約の締結					
特定農業用施設保全契約の締結	制度運用	17件	75件	制度運用	
取組(3) 農景観を良好に維持する活動の支援					
まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援	集団農地維持面積	705ha	679.0ha	679.0ha	730ha
	農地縁辺部への植栽	11件	18件	48件	55件
	井戸の改修	1地区	2地区	8地区	5地区
	土砂流出防止対策	3件	2件	11件	15件
周辺環境に配慮した活動への支援	牧草等による環境対策	4ha	5.87ha	14.48ha	20ha
	たい肥化設備等の支援	5件	2件	8件	25件
取組(4) 多様な主体による農地の利用促進					
遊休農地の復元支援	0.3ha	0.26ha	1.38ha	1.5ha	



保全された水田(戸塚区東俣野町)



水田の用水路の更新(青葉区恩田町)



土砂流出防止対策を実施した農地
(都筑区東方町)



まとまりのある農地への景観植物の植栽
(緑区北八朔恵みの里)



●事業概要(計画書から抜粋)

食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を市内各地で進めます。

また、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農とふれあう機会の提供や、農家への援農活動を支援します。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設				
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	4ha	4.59ha	12.5ha	22.8ha
うち 収穫体験農園の開設支援	1.5ha	(3.99ha)	(8.92ha)	(7.5ha)
うち 市民農園の開設支援(栽培収穫体験ファーム・環境学習農園・認定市民菜園)	2.00ha	(0.60ha)	(3.03ha)	(10ha)
うち 農園付公園の整備	0ha	(0ha) (着手済 4.4ha)	(0.55ha) (着手済 4.4ha)	(5.3ha)
取組(2) 市民が農を楽しみ支援する取組の推進				
横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施	90回	86回	227回	450回
市民農業大学講座の開催(1年次の講座回数)	20回	20回	40回	100回
家族で学ぶ農体験講座の開催	6回	5回	17回	30回



開設支援した収穫体験農園
(戸塚区平戸町)



開設支援した認定市民菜園
(青葉区田奈町)



開設した農園付公園(2019年度)
(瀬谷区阿久和東二丁目)



恵みの里の農体験教室
(緑区北八朔町)



家族で学ぶ農体験講座
(保土ヶ谷区環境活動支援センター)

市担当者からのコメント(環境創造局農政推進課・みどりアップ推進課・環境活動支援センター)

- 水田保全に関する事業では、保全期間10年が満了した土地所有者に更新手続きをお願いしていますが、高齢化が進み、10年後の耕作状況まで見通せないと更新を辞退される方が増えていて、目標の達成に困難を感じています。一方、水稻を作付していながら申し出いただいていない土地所有者も少数ながらいらっしゃるため、個別に事業の趣旨を説明するなど粘り強く働きかけ、新規に1.1haを保全することができました。
- 市民農園の事業では、小中学校の児童が農家の指導により農作業を体験できる環境学習農園において、新型コロナウイルス感染症対策による学校の休校措置やイベントの人数制限対応などにより、園主から「児童への指導を例年通りに実施することができず苦勞している」などの意見や相談が数多く寄せられました。感染拡大防止対策なども工夫して取り入れながら、多くの学校等で体験が行われました。
- 農園付公園は、現在3か所の予定地において開園に向けて整備を進めています。2020年4月1日に公開した阿久和富士見小金台公園では、指定管理者による利用者向けの野菜の育て方指導や、協働農園を活用した収穫体験イベント等が開催されています。
- ふるさと村や恵みの里で実施を予定していた農体験イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年はその多くが中止されましたが、2021年度は感染症対策を取りながら、多くのイベントを開催することができました。
- コロナ禍の中、恵みの里が実施する収穫体験などのイベントに対して、例年を上回る申込みがあったことや、市民農園の利用に関する問合せの増加など、生活様式の変化に伴い、横浜の農業への関心や農体験のニーズが高まっていることを実感しています。
- 家族で学ぶ農体験講座では、小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までの様々な農作業を体験するなど、楽しみながら農と触れ合う機会を提供しました。2020年からは班分けや時間差での作業で密状態を防ぐなど感染症の対策を行いながら、種まきから収穫に至るまでの体験の取組を進めました。参加者からは「農業、自然への興味が増した」、「スーパーや食卓に並ぶ野菜を見て、学んだことについて家族で話すようになった」などの感想がありました。

◆施策1についての評価・提案

- 水田保全の取組については、粘り強い働きかけの結果、着実に新規の保全につなげていることを高く評価します。今後は担い手の高齢化などの課題に対応する仕組みなど、水田景観が未永く維持管理できる方法を検討してください。
- 農地縁辺部への植栽は、市民の目に触れる機会が多い場所に景観植物を植えるなど、順調に進んでいることを評価します。土砂流出対策については、近年、予想を上回る規模の大雨が多く発生していることから、継続して一層強力に対策を実施していく必要があります。
- 遊休農地を解消することは、農景観を保全するうえで大変重要です。良好な農景観の保全に向け、今後も引き続き取組を推進し、関係者と連携しながら遊休農地の解消が進むことを期待します。
- 農景観保全は、農地だけではなく樹林地や緑などの施策と連携しながら地域全体で取り組むことを期待します。
- 市民ニーズに合わせた農園については、収穫体験農園の開設支援が着実に増え、全体として目標を上回ったことは評価します。他の農園についても引き続き開設の取組を進めることを期待します。農園付公園は、用地取得や整備に時間がかかるものの、整備後の利用ニーズがあるため、継続した取組を期待します。
- 市民が農を楽しむ支援する取組については、感染拡大防止対策を行いながら実施したことを評価します。農体験をきっかけとして高まった農への関心が、援農ボランティアなど他事業につながるよう期待します。
- コロナ禍の中、身近な場所でできる家庭菜園や農体験などへのニーズが高まってきています。例えば実際の農家の作業を市民が体験できれば、農への理解はさらに深まると考えられます。また今後は、これまでの取組でニーズに応えられていない地域でも農とふれあうことができるようになることや、地域での農を通じた交流の実現など、様々なニーズに合わせ、市民が農にふれあう場が増えていくことを期待します。

施策2 地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

●事業概要(計画書から抜粋)

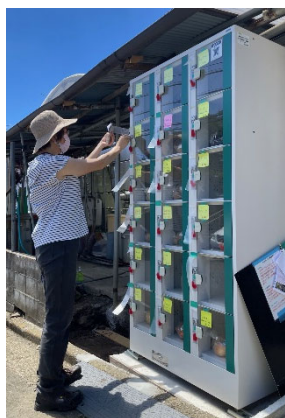
身近に市内産農畜産物や加工品を買える場や機会があることへの市民ニーズは高く、地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の取組は、身近に農を感じ、横浜の農への理解を深めるきっかけにもなります。

そこで、「横浜農場[※]の展開」による地産地消を推進するため、地域でとれた農畜産物などを販売する直売所等の整備・運営支援や、市内で生産される苗木や花苗を配布するなどの取組を進めます。あわせて、地産地消に関わる情報の発信など、PR活動を推進します。

※横浜農場：食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場と見立てた言葉

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 地産地消にふれる機会の拡大				
直売所・青空市等の支援	57件	49件	133件	285件
緑化用苗木の配布	25,000本	22,505本	73,232本	125,000本
情報誌などの発行	6回	6回	18回	30回



野菜の自動販売機(青葉区)



杉田野菜直売所(磯子区)



緑化用苗木の配布(中区)



はまふうどナビ第59号

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

●事業概要(計画書から抜粋)

市内産農畜産物を食材として活用し、加工販売したいと考える企業や、横浜の農業の魅力伝える活動を行う野菜ソムリエや料理人などが増え、市民や企業、学校など農業関係者以外の主体が地産地消の取組を実施する活動が広がっています。この動きをさらに拡大するため、市民の「食」と、農地や農畜産物といった「農」をつなぐ「はまふうどコンシェルジュ」などの地産地消に関わる人材の育成やネットワークの強化を図り、「農のプラットフォーム」を充実するとともに、農と市民・企業等が連携した「横浜農場の展開」を推進します。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 地産地消を広げる人材の育成				
はまふうどコンシェルジュの活動支援等	30件	32件	87件	150件
地産地消ネットワーク交流会の開催	1回	1回	3回	5回
取組(2) 市民や企業等との連携				
市民や企業等との連携	10件	13件	41件	50件
ビジネス創出支援	4件	5件	8件	16件
学校給食での市内産農産物の一斉供給	推進	311校	954校	推進
料理コンクールの開催	1回	1回	3回	5回



はまふうどコンシェルジュ活動支援
(マルシェの開催)



地産地消ネットワーク交流会の開催
(食と農のフォーラム)



企業等との連携による地産地消の推進
(横浜 FC ホームゲームにおける地産地消イベントの開催)



はま菜ちゃん料理コンクール
入選作品レシピ集

市担当者からのコメント(環境創造局農業振興課)

- 直売所等の支援として、自動販売機や冷蔵ショーケースの導入等に補助を行いました。また、市民ニーズに応えるため、感染症対策を取りながら、市内各地で青空市やマルシェを開催している団体等に PR 資材やアルコール消毒液等を配付しました。より多くの市民が身近に地産地消を暮らしの中に取り入れてもらえるよう、こうした青空市やマルシェを継続的に支援していくことが必要だと思います。
- 令和3年度は、横浜FCとの連携による横浜FCホームゲームにおける地産地消イベントの実施や、CDA合同会社[※]と連携した市庁舎北プラザでの地産地消キッチンカー継続出店など、新たな地産地消の取組を企業等との連携により実現することができました。その他、マルシェを開催するイベント事業者やメディア関係等からも地産地消に関する相談・問合せが寄せられており、コロナ禍で市民生活に身近な「地産地消」への関心が高まっていることが感じられました。こうした企業等のニーズをとらえ、様々な主体と連携して、より多くの方に横浜で営まれている農の魅力を感じていただけるよう、取組を進めていきます。

※CDA合同会社…関東圏のオフィス街やイベントなどに出店するキッチンカーグループ

- 地産地消ビジネス創出支援事業では、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、講座をオンラインでも実施するなど、柔軟な対応により円滑に事業を進めることができました。また、事業開始にかかる初期費用の補助や専門家による相談対応により、中小企業等が、食育や6次産業化などにつながる新たな地産地消ビジネスに取り組みました。コロナによる経済的影響が長引く中、飲食業等の事業者が新たな事業に取り組み際に「地産地消」に注目するケースも増えているように感じています。

◆施策2についての評価・提案

- 直売所や青空市等は、市民が身近な場所で市内産農畜産物を手に取ることができ、地産地消のきっかけとなる場です。感染症対策を取りながらそうした機会を継続的に提供していることを評価するとともに、引き続き移動販売等の新しいニーズに応じた支援を期待します。
- 400人を超える「はまふうどコンシェルジュ」によるマルシェや農作業体験教室の開催は、地産地消の展開に大きく寄与しています。今後は多様な市民ニーズに応えるために、コンシェルジュ同士が相互に連携を深めるとともに、地域に密着した活動の機会を増やすことを期待します。
- 企業等からのニーズの高まりを受けて農業以外の事業者とも連携が進み、地産地消の取組数が着実に増えています。また地産地消ビジネス創出支援事業では、多様な取組への支援を通じて、地産地消に寄与する活動や、市内産農畜産物を使用した加工品などが新たに生まれています。こうした取組により、市民が身近に農を感じる場づくりが着実に進んでいることを評価します。今後も市民や企業等の地産地消への関心やニーズをとらえ、多様な主体と連携した取組により、「横浜農場」を活用したPRがさらに推進されることを期待します。

「農を感じる」施策を検討する部会 部会長コメント

「農を感じる」施策を検討する部会は、①農に親しむ取組の推進(施策1)②地産地消の推進(施策2)を対象に、評価・提案を行うことになっています。

施策1では、水田保全、農地縁辺部への植栽、市民ニーズに合わせた農園、市民が農を楽しみ支援する取組などで、コロナ禍での創意工夫により目標を上回る実績をあげていると言えます。その一方で、100ha に上ると言われる「耕作放棄地」が増えており、これをどうするかは深刻で重要な問題です。農業後継者の育成、資材置き場化への対応、福祉団体や市民団体等の活用などをできるところから組み立て、仕組化するかが大きな課題です。

施策2では、はまふうどコンシェルジュ講座や交流会といった人材育成、市民や企業等との連携が着実に進んでいることは確かです。これからは、市域や区域だけでなく市民に身近な地域レベルで、農家・消費者・学校・飲食店・ヘルスマイト・はまふうどコンシェルジュ・料理教室・大学生など多様な主体が横につながり、新たな視点で地域密着型の取組が実験的にでも少しずつ進展していくことを願っています。また、直売所や青空市が郊外住宅地で高齢者対策として進展しつつある「移動販売」とつながり、新しい動きとして連携させていく必要もあると考えます。

内海 宏



(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成

みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

●実績

項目	2021 年度		3か年の 実績	5か年の 目標
	目標	実績		
取組(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成				
緑の創出	7 か所	5 か所	21 か所	36 か所
緑の維持管理	推進	47 か所	160 か所	推進
取組(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成				
並木の再生	2 路線	4 路線 (1 路線完了・ 3 路線整備中)	9 路線 (6 路線完了・ 3 路線整備中)	10 路線
空き枿の補植	推進	高木 29 本 低木 788 本	高木 209 本 低木 2,757 本	推進
良好な維持管理	18 区で推進	16,993 本(18 区で実施)	53,131 本(18 区で実施)	18 区で推進
取組(3) シンボリックな緑の創出・育成				
公有地化による シンボリックな緑 の創出・管理	推進	緑の創出:1か所 (整備中 1か所) 緑の管理:2か所	緑の創出:2か所 (整備完了 1か所 整備中 1か所) 緑の管理:6か所	推進 (想定箇所:継続2か 所、新規2か所)
公開性のある緑 空間の創出支援	推進	1 か所	4 か所	推進 (想定箇所:10 か所)
取組(4) 建築緑化保全契約の締結				
建築物緑化保全 契約の締結	制度運用	2 件	52 件	制度運用
取組(5) 名木古木の保存				
名木古木の保存	推進	新規指定:11 本 維持管理助成:82 件	新規指定:66 本 維持管理助成:194 件	推進



公開性のある緑空間の創出支援
(港南区)



名木古木の新規指定(都筑区)



公有地化によるシンボリックな緑の創出
(神奈川区六角橋四丁目公園)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 街路樹における良好な維持管理では、対象の街路樹路線を選定し、樹木の目標樹形を決め、計画的な剪定を行うことで、限られた道路空間の中でも形が整った美しい並木を作る取り組みが進み、緑陰の確保や街中の景観の向上につながっています。
- 公有地化によるシンボリックな緑の創出では、1公園(六角橋四丁目公園)が開園しました。また、これまでに本事業で整備した緑化地では良好な芝生を育成するための、質の高い維持管理を行っています。これにより、多くの市民の目にふれる場所での貴重な緑の創出・育成が進んでいます。引き続き、緑の少ない市街地においてまとまりのある緑化用地を確保していく必要があります。
- 名木古木の保存事業では、82本の樹木に対して維持管理助成を行い、樹木所有者の負担を軽減しました。また、今年度は新たに11本の樹木を名木古木に指定し、保存されることで都市の美観風致の維持に寄与しました。利用者からは「古木の維持管理には費用がかかり、助成金があることで維持を継続できている」という声もあり、需要も高いため、助成を必要とする利用者に偏りなく支援できるよう、樹木診断や維持管理等に係る助成金について、助成メニューの適切な活用を促進することが重要です。

◆施策1についての評価・提案

- 多くの市民が目にする機会の多い街路樹では、街並みの美観向上に寄与する良好な維持管理が 18 区で着実に進められています。一方で、地域に即した作業の意図やその取組の効果が市民に伝わりにくいことが課題となっています。市民の実感につながるよう、取組やその効果をわかりやすく伝える工夫が必要です。
- 公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成では、六角橋四丁目公園が開園し、良好な芝生を育成するための質の高い維持管理により市民の実感につながる地域の緑が育まれています。土地の取得から整備して公開するまでに長い年月がかかるようですが、事業推進箇所をはじめ、今後も地域で親しまれる緑が創出・育成されていくことを期待します。
- 公開性のある緑空間の創出支援や建築物緑化保全契約の締結、名木古木の保存など、市内では、民有地での緑の創出や保全が、地域の身近な緑として重要な役割を担っています。支援制度がより認知・活用されるよう周知を図り、市民・企業の緑化の取組を促進することを望みます。



施策2 緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

また、第33回全国都市緑化よこはまフェアなど、これまで多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を、引き続き推進します。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 地域緑のまちづくり				
地域緑のまちづくり	新規6地区	新規7地区	新規15地区	新規30地区
取組(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり				
緑や花を身近に感じる各区の取組	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進
地域の花いっぱいにつながる取組	推進	推進	推進	推進
取組(3) 人生記念樹の配布				
人生記念樹の配布	8,000本	7,423本	20,110本	40,000本配布



創出された民有地の緑化
(金沢区六浦台地区)
【地域緑のまちづくり】



緑化活動(花壇の花植え)
(港北区綱島西地区)
【地域緑のまちづくり】

●事業概要(計画書から抜粋)

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多く時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成				
緑の創出	20か所	47か所	131か所	100か所
緑の維持管理	推進	102か所	337か所	推進



園庭の芝生化
(青葉区荏田北保育園)



保育園でのビオトープ整備
(港北区港北保育園)



校庭芝生の維持管理
(青葉区鉄小学校)



校庭・園庭芝生の育て方講座
(保土ヶ谷区保土ヶ谷公園)

●事業概要(計画書から抜粋)

第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人々が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。

●実績

項目	2021年度		3か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 都心臨海部等の緑花※による魅力ある空間づくり				
緑花による空間づくりと維持管理	推進	14か所	15か所	推進

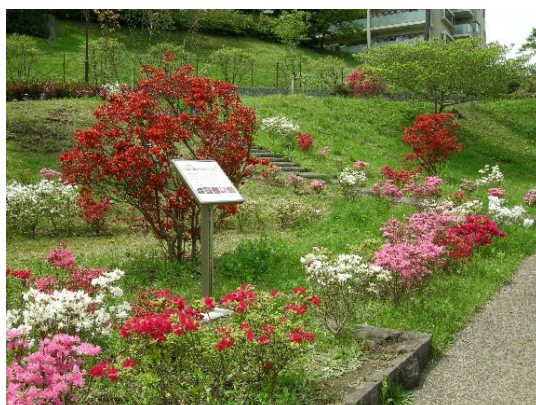
※緑花(りよっか)とは・・・樹木や芝生などの「緑」と四季折々の彩(いろどり)としての「花」を組み合わせて植栽することで、街の魅力形成や賑わいづくりを行うものです。



緑花の維持管理
(中区山下公園)



緑花の維持管理
(中区新港中央広場)



花の名所づくり
(港南区久良岐公園)



主要な駅前での緑化
(港北区新横浜周辺)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 地域緑のまちづくり事業では、新型コロナウイルス感染症に対応するため、地域団体の活動が難しい状況を鑑みて、提案団体への個別事業説明を実施しました。提案団体には、地域緑化計画策定に向けた支援を行い、2021年度は7団体が選考を通過しました。市民生活に身近な多くの地区で、こうした緑のまちづくりの機運が高まっていると感じています。また、協定締結期間が終了する団体からも、活動をきっかけとして地域に緑や花が増えたという喜びの声や、まちなかの緑化を通じてこれまで交流のなかった高齢者と子どもなど、地域での新しいつながりが生まれたなどの声が寄せられました。一方で、協定期間終了後に助成がなくなることで、活動規模が縮小する団体もあるため、外郭団体の事業も含め、活用可能な支援を案内し、つないでいくことも重要です。
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成では、保育園や小学校等で園庭・校庭の芝生化を進めています。青々とした芝生に寝転がったり、側転などの運動をしたり、子どもたちが芝生ならではの過ごし方をしています。またビオトープや花壇づくりを通して、生きものに触れる機会が増えています。学校では生活科や総合学習などでも効果的に活用されています。
- 緑花による空間づくりにより、山下公園や港の見える丘公園、日本大通りなど、都心臨海部等で、緑や花による街の魅力や賑わいづくりを進めています。また都心臨海部に加え里山ガーデンなど、ガーデンネックレス横浜として市内外へ発信し多くの市民や来街者に楽しんでいただくことができました。18区での取組などと合わせて、ガーデンシティ横浜の魅力を伝える取組を続けています。

◆施策2についての評価・提案

- 地域緑のまちづくりでは、コロナ禍での団体の活動の難しさに向き合い、計画策定のためのサポートを丁寧に行ったことが、目標を上回る実績につながったと評価します。協定終了後の支援など、引き続き団体の声に耳を傾けながら、活動の継続につながる仕組みを踏まえつつ、支援が充実することを期待しています。
- 保育園・幼稚園・小学校での緑の創出・育成は、すでに5か年の目標を超える実績となっており、子どもたちが緑に親しむ空間づくりが広がっています。今後も緑に親しむきっかけをつくり、創出された緑が維持されていくよう、ニーズをくみ取りながら支援を工夫していく必要があります。
- 人生記念樹の配布は、様々な市民が緑を育むきっかけとなる取組です。取組の認知につながる周知方法の工夫や、市民ニーズに応じた樹種選定など進めてください。
- 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりが広がっています。今後は、創出・育成された空間を核としながら、地域の緑花の取組と連携して市民、企業とともに盛り上げ、横浜ならではの緑や花がシティブランドとして市内外へのアピールにつながる取組に一層発展していくことを期待しています。

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくるでは、緑化フェア以降続く、緑と花のあふれる横浜をバックアップすべく、街路樹の計画更新や校庭の芝生化など、市民の皆様の眼に見える緑化を続けてきました。街路樹などの美しい樹形を目指した剪定などは、実際に成果がでるまで少し時間がかかるかと思えます。一方、地域緑のまちづくり事業では、コロナ禍で実施が難しいところもありながら、順調に市内に浸透し、緑や花の活動を通じたコミュニティの活性化の成果がでているように思えます。この事業は、横浜みどり税ならではの、他の地方自治体には中々類似の事業ができないものです。横浜みどり税が、緑や花を増やすだけでなく、市民の方の心を癒し、活力を生んでいることはとても嬉しいことです。また、臨海部の緑化など、緑化フェア以来、すっかり横浜は、「薔薇の美しい街」のイメージが定着し、新住民の増加にも一役買っているのではないかと思います。国際園芸博覧会に向けて、ますます市民と企業、行政の連携した緑づくりを続けて欲しいと思えます。

池邊 このみ



(4)効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

●事業概要(計画書から抜粋)

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開します。

●実績

目標	2021 年度実績	3か年実績
広報よこはま等の広報紙への記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・市版:3件(9月、10月、3月号) ・区版:9件 (西区版10月号、旭区版4月号、緑区版5月号、都筑区版5月号、1月号、戸塚区版11月号、3月号、瀬谷区版5月号、10月号) ・季刊誌みどり 1件 ・かんきょう横浜 3件 ・こどもタウンニュース(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市版:のべ10件 ・区版:のべ26件 ・その他広報紙:のべ9件
実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明や回覧	<ul style="list-style-type: none"> ・市連会、区連会での実績報告(10月) ・実績リーフレット等の単位自治会・町内会長配布(10月) ・実績リーフレット等の区役所やPRボックスでの配架(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市連会、区連会での実績報告 ・町内会等での回覧 ・実績リーフレット等の単位自治会・町内会長配布 ・実績リーフレット等の区役所やPRボックスでの配架
広告、動画等の各種メディアを活用したPR	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画の制作(2件)、 ・横浜市役所アトリウム及び18区役所等で動画放映(4月～3月) ・交通広告の動画放映(6～7月、11月) (JR横浜線、市営地下鉄(ブルーライン・グリーンライン)、市営バス(3営業所)) ・YouTube動画掲載:6件 ・地域情報webへの記事掲載(11月) ・日産スタジアムへのPR看板の掲出 ・横断幕の掲出(動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市役所アトリウム及び横浜市役所デジタルサイネージ動画放映 ・18区役所で動画放映 ・交通広告の掲載(市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン・JR横浜線・市営バス3営業所、京浜急行電鉄、東急東横線、相鉄線、みなとみらい線) ・YouTube動画掲載 ・地域情報webへの記事掲載 ・市営バス・公用車等へのPR用ステッカーの貼付掲載 ・日産スタジアムへのPR看板の掲出 ・横断幕の掲出(動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等)

ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・制度やイベントの募集案内(毎月) ・イベントや体験スポット紹介、制度紹介ページの新設(9月) ・実績報告書掲載(10月) ・計画関連動画の掲載(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページの更新(実績報告書、計画関連動画の掲載等)
メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜みどりアップ計画メールマガジン」の発行(毎月) ・ツイッターの発信(横浜 GO GREEN @yokohama_kankyo) 	
緑に関するイベントでのPR	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリングフェア(4月) ・春の里山ガーデン(3~5月) ・農と緑の感謝デー(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントブース出展:のべ11回
取組に基づいて実施したことを示す現地表示(プレート)	<ul style="list-style-type: none"> ・約1,300枚の公園花壇への現地表示プレートの設置(3月~) ・都心部の公園花壇・里山花壇への現地表示プレートの設置(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組実施箇所での現地表示看板の設置 ・工事看板への表示 ・市民・ふれあいの樹林の案内板へのロゴステッカーの掲示

※市民推進会議による広報企画としては、広報誌「Yokohama みどりアップ Action」第5号、第6号及び「森づくり体験会」の案内チラシを発行(詳細は8頁「③広報・見える化部会」参照)



広報よこはまへの取組実績の記事掲載
(市版 10月号)



こどもタウンニュース
(令和3年11月発行)



PR動画を活用した広報
(横浜市役所アトリウム)



市営バス車内での動画放映



横浜みどりアップ葉っぱが解説する
計画紹介アニメーション



農と緑の感謝デー(令和3年11月)



公園花壇での現地表示プレートの設置
(港北区小机町第二公園)

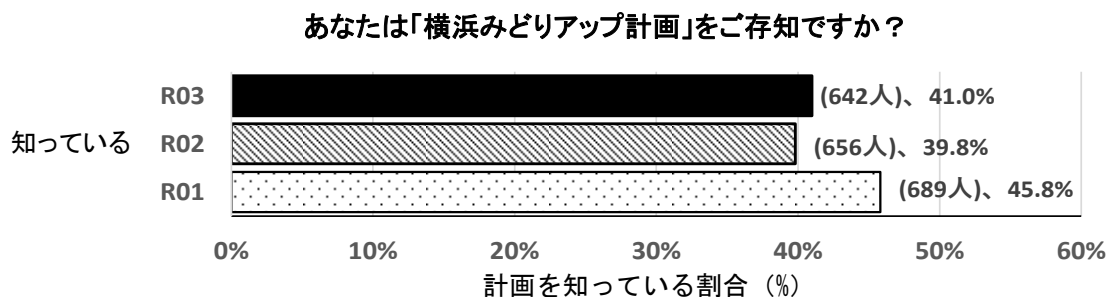


ガーデンネックレス横浜と連携した現地表示板
(里山ガーデン)

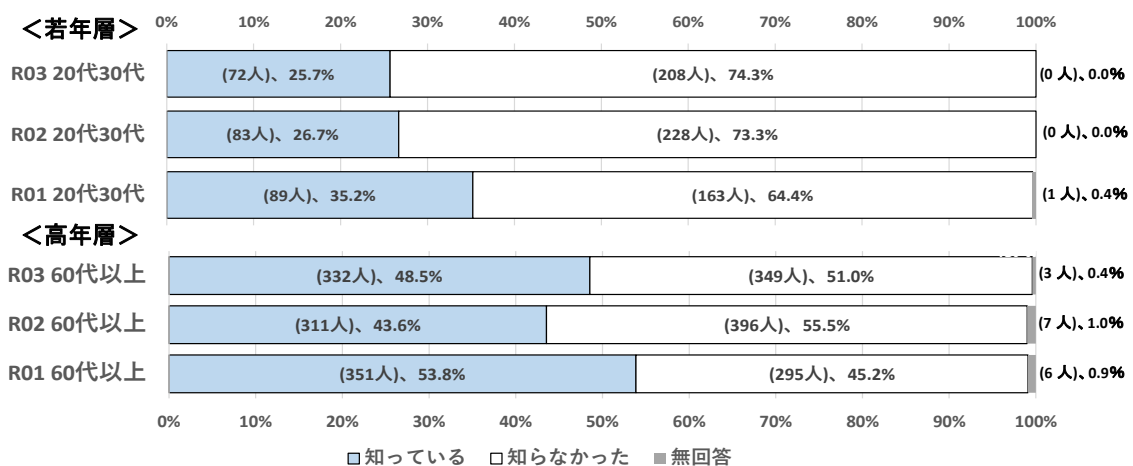
Q.「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

計画を知っている割合は40%前後で推移。

2021年度は、41.0%が知っていると回答



計画を知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている。



※「知っている」は、「取組内容を知っている」、「あることを知っている」、「名称を見たことや聞いたことがある」の計

令和3年度「横浜みどりアップ計画認知度調査」の調査結果より

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 横浜みどりアップ計画の実績については、リーフレットを作成し自治会・町内会へ説明を行うほか、広報よこはま市版に記事掲載を行い、広く市民へ実績が伝わるよう努めました。
- また、マスコットキャラクターが計画を解説するアニメーション動画を制作し、YouTubeへの掲載や、緑や花が美しく育っているイメージ動画を横浜市役所アトリウムで放映したほか、18区役所や庁舎内のデジタルサイネージ、電車やバスの車内広告で放映を行い、映像による横浜みどりアップ計画の取組成果をPRしました。
- 公園愛護会の皆さんが植えた球根ミックス花壇に市内約1,300枚の現地表示プレートを設置するとともに、横浜みどりアップ計画の取組がより多くの方の目に留まるよう、SNSやホームページなどを強化していくなど、多様な手法による広報を進めています。

◆施策についての評価・提案

- 広報よこはまの定期的な記事掲載を行うことで、認知度向上が見込まれます。また、子ども向けの広報紙などに記事を掲載することは、子どもだけでなく親にも情報共有できるため、より幅広く広報が可能となります。引き続き認知度向上に資する広報を継続してください。
- 事業実施場所での現地表示は、計画の成果を実感できる広報です。現地表示に二次元バーコードを記載することで、活動している公園愛護会について簡単に知ることができ、身近なみどりへの理解が一層深まります。引き続き二次元バーコードを活用した現地表示を進めるとともに、樹林地や農地にも二次元バーコードの記載を広げることを検討してください。
- マスコットキャラクターを用いた計画の解説アニメーションを新たにYouTubeで発信する取組や、花や緑の映像による庁舎内デジタルサイネージでの放映、幅広く市民が目にする電車やバスの車内広告による広報の取組を評価します。
- 計画を知っている割合は40%を超えていますが、若年層では30%を割っています。紙媒体に限らず、引き続き映像やSNSなど若年層が認知しやすい広報ツールを積極的に取り入れることを期待します。また、広報・見える化部会の提言を踏まえて配布した「森づくりボランティア活動証明」は若い世代の参加者を促すうえで有効と考えられます。参加者が更に新たな参加者を生み出すような展開が期待できるよう工夫して取り組んでください。
- コロナ禍において制約がある中、ガーデンネックレスなど開催できたイベントを効果的に活用し、広報に取組んだことを評価します。
- 広報・見える化部会で市民委員が主体となって発行している「みどりアップAction」のように、より多くの市民や事業者に計画への理解を進めるため、市民目線で事業や取組みについて継続的に発信することは、大変意義があります。この視点を生かした広報の展開を期待します。

広報・見える化部会 部会長コメント

広報・見える化部会は、公募市民委員が中心となってみどりアップ計画の取組を分かりやすく広報する役目を担っています。これまでのみどりアップされた緑地を訪ねてみよう、活動してみよう等、Action(行動)までを目指した広報誌「Yokohama みどりアップ Action」の発行も3年目となりました。各号の市民委員の目線での取材では、各所で皆さまの生き生きとした笑顔での活動を知ると同時に、問題点や今後の課題、意向等を伺いました。それを踏まえ、記事の構成にも検証を重ね、記載には二次元バーコードを入れながらみどりアップ計画の情報を効果的に提供できるようにしました。

みどりアップ計画に対する認知度が低い若い世代へのアピールとしては、「森づくりボランティア活動証明書」を提案しましたが、今後は証明書の具体的な活用方法を提案したいと思います。

高田 房枝



5 市民推進会議委員名簿

横浜みどりアップ計画市民推進会議 名簿(2022年10月時点)

(50音順・敬称略)

役職	氏名	区分	備考
	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 准教授
	池邊 このみ	学識経験者	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	今関 美津枝	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
副座長	内海 宏	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
	奥井 奈都美	公募市民	
	小野 英明	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	国吉 純	公募市民	
座長	進士 五十八	学識経験者	東京農業大学名誉教授・元学長
	関根 宏一	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	高田 房枝	公募市民	
	高橋 秀忠	公募市民	
	野渡 リツ子	関係団体	横浜市南西部農業委員会 委員
	村松 晶子	公募市民	
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

<施策別専門部会 名簿>

「森を育む」施策を検討する部会 名簿

(50音順・敬称略)

役 職	氏 名	区 分	備 考
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
	奥井 奈都美	公募市民	
	関根 宏一	関係団体	横浜市町内会連合会 幹事
	高橋 秀忠	公募市民	
部会長	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

「農を感じる」施策を検討する部会 名簿

(50音順・敬称略)

役 職	氏 名	区 分	備 考
	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学大学院 准教授
部会長	内海 宏	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
	小野 英明	関係団体	横浜農業協同組合 営農部長
	野渡 リツ子	関係団体	横浜市南西部農業委員会 委員
	村松 晶子	公募市民	

「緑をつくる」施策を検討する部会 名簿

(50音順・敬称略)

役 職	氏 名	区 分	備 考
部会長	池邊 このみ	学識経験者	千葉大学大学院 園芸学研究所 教授
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	今関 美津枝	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
	国吉 純	公募市民	
	高田 房枝	公募市民	

広報・見える化部会 名簿

(50 音順・敬称略)

役 職	氏 名	区 分	備 考
	奥井 奈都美	公募市民	
	国吉 純	公募市民	
部会長	高田 房枝	公募市民	
	高橋 秀忠	公募市民	
	村松 晶子	公募市民	
	望月 正光	学識経験者	関東学院常務理事、関東学院大学名誉教授

6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、緑について日ごろ各委員が感じたことについて、委員の皆さまからもコメントをいただきました。

池島委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会 所属）

2021 年度もコロナ禍が継続していましたが、ワクチン接種も始まり、少しずつ、対面でのコミュニケーションが戻ってきた時期でもあったと思います。ニューノーマルな生活様式も定着してきたため、引き続き、横浜市の「みどり要素」である公園・緑地、森林・樹林地、農地は市民にとって憩いの空間として利用されてきました。

そうした側面はありつつも、それでも、農地は生産者の高齢化に伴い、たとえば、相続発生を通じて、着実に消失していきます。森林・樹林地はこの横浜みどりアップ計画のなかで、緑地保全制度に基づく指定により土地所有者へ優遇措置を講じたり、土地所有者の不測の事態への対応として買い取りを進めたり、直接的な保全が取り組まれています。こうした措置を農地にも適用できないか検討する時期を迎えているのではないのでしょうか。

石原委員コメント（「緑をつくる」施策を検討する部会 所属）

コロナ禍で様々な活動が制限される中においても、「2019～2023 年度横浜みどりアップ計画」は、多くの方々のご理解とご協力により着実に実行されています。

コロナの影響により社会全体に閉塞感が募るこうした時こそ、人々の心に癒しや活力を与える「みどり」の持つ力は大変貴重な役割を担うものであると改めて感じる事が出来ました。

推進会議委員を務めて 3 年が経過しましたが、本計画の理念である「みんなで育むみどり豊かな美しい街 横浜」の更なる実現のために、横浜のみどりを守り・育むといった意識を一人でも多くの市民の皆様を持っていただけるよう、今後も活動を続けて参りたいと思います。

今関委員コメント(「緑をつくる」施策を検討する部会 所属)

「緑をつくる」ために校庭の芝生化や公園に花壇をと活動が広がってきました。しかし、つくるより減らさないのも大切では？街なかの緑も手入れできずに土がアスファルトで固められ、隙間からネコジャランが種をとばしたりしています。公園の花壇も1年草を植え替えるのではなく、開花時期の異なる宿根・球根・こぼれ種でランダムに植え、ワイルドガーデン風にして不要な草の芽や枯れ枝を土に返してできるだけ手間を減らさないと続けていけないのでは。もっと草花のことを皆に知ってもらうことが大切です。

岩本委員コメント(「森を育む」施策を検討する部会 所属)

「市民とともに次世代につなぐ森を育む」という計画の柱の中で、最近特に感じていることに、森の維持管理活動中等、親子づれの方々、来園する市民の皆様が年々増加している事を実感しております。来園者が自主的に散策路の枯枝を除去したり、ユリの群生地が増える中でユリが倒れているのを棒で立ててくれたり、花壇の除草をしてくれたり…、森に対する愛情を感じます。また、広場等でのコミュニケーションの場所として、森の中でのお互いのあいさつもよくできている事をみかけます。維持管理活動の中で心身ともにすがすがしい気持ちになります。こういう事等が計画の理念である、「みんなで育むみどり豊かな美しい街 横浜」なのかと思います。来園者の皆様と横浜みどり税についての話題も時々出る中で継続的に計画していただきたいという意見が多くあります。今後もみどり税は必要だと思えます。

奥井委員コメント (「森を育む」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属)

コロナ禍において、市民の生活はより一層緑に癒しを覚えるようになり、公園や市民の森といった、身近な緑に親しむ機会が増えました。緑は多ければいいという訳ではなく、きちんと維持管理がされ質が保たれてこそ、人々の癒しとなる景観を保ち、安全に楽しむことができ、また防災・減災といった点でも重要な役割を持ちます。

市民推進委員として活動して3年。現地視察や広報の取材などを通して、良好な森を育み継承していくために、愛護会や森づくりボランティアの方々の活動がいかにか大切なものかを知り、感謝いたします。それとともに、市民のみなさんにも横浜みどりアップ計画によって守り育まれている豊かな緑と農と、緑や花をより身近に感じていただけるよう、わかりやすく発信をしていきたいと思えます。

小野委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会 所属）

新型コロナウイルス感染拡大が終息しない中、自宅で過ごす時間が、いまだ増える傾向にあり、家庭菜園や花の植栽など「農」や「緑」に触れる機会が増えています。ウィズコロナを展開していく上で、私自身、市民の森の草刈りや消防団による防災訓練など地域貢献活動を徐々に進めています。

市民推進会議では、JAの職員として現場の実態を正確且つ詳細にお伝えすることで、些少なりとも各委員皆様の参考になれば幸いです。

横浜市内の農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様化しています。耕作放棄地は市内で160ha以上あると言われており、有効活用できていないのが現状です。高齢化や担い手不足等により、農地の所有者にとっても不本意ながら耕作放棄地になってしまっていることも少なくありません。その実情をしっかりと把握し、対応していく必要があると考えます。

農景観の保全についても「なぜ、畑の真ん中に資材置場があるのか？」など同様に原因と実態を把握すべきであると考えます。

緑地保全制度は重要な取組と考えますが、人が手を加え「里山化」を実現させると有害鳥獣被害が拡大し、農業意欲をなくす担い手が増えると同時に、耕作放棄地の増加を止めることができません。森林と住宅地の環境整備は、今後も重要な課題であり、みどり税の有効活用をお願いしたいと思います。

国吉委員コメント（「緑をつくる」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

観光都市でもある横浜のみなとみらい近辺では、景観と調和した美しい花壇がより一層横浜市的美観イメージを高め、横浜市外の方々からも話題にもなっているようです。今年は市民の生活圏内の公園や駅周辺などの花壇の整備や植栽などが充実してきており、みどりアップ計画の看板も目立つように設置されるようになりました。花を通じたのコミュニティガーデン活動の活発化が「市民に身近な緑」を意識、そして大切にしていこうという動きにも繋がることでしょう。今後も引き続き応援していくべき重点施策だと思えます。

また街の景観を大きく左右する街路樹も街の成長とともに、大木化し通行を妨げるほどの成長が見られ、さらに昨今の温暖化により病害虫の被害が見られるものも増えてきました。これに対しても少しずつ維持管理、再生作業が計画的に進められている実績を見ると、より一層安心して暮らせる街づくりがなされていることに大変満足感を得ています。

関根委員コメント（「森を育む」施策を検討する部会 所属）

市民の皆様から等しく横浜みどり税が徴収され、市の発展のために使われていることに対し、以前より少なからず関心を持ってきました。

この度、委員として細かく、今までの市の考え、取組・成果そして関係ボランティアの皆様のご活動・努力も知ることが出来ました。

今まで取り組まれてきた結果に敬意を表します。

花・水を含め森林に代表される自然は人の心を穏やかに、豊かに、大きく前向きに活性化させる作用を有しています。

森を育むことで、横浜市民全体の心を豊かにし、とりわけ子どもたちの心の発達、成長に大きくかかわっていきと思われまます。

未来の都市形成の見本となるような横浜市として、この事業を大きく発展させることが大切かと思ひます。その為には、横浜市全域での森や緑そして花の創出を如何にしていくかということが、これから横浜市が、市民が心豊かに生活できる、世界に誇れる街に形成していくために必要であると思ひます。

高田委員コメント（「緑をつくる」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

2021年度の「市民が実感できる緑や花をつくる」計画の柱3について、目標に向かって順調に推進された結果が現れ、評価できました。

個人的には、2013年から「地域緑のまちづくり事業」の助成金を受けながら、国道沿道の企業の駐車場等を緑化してきました。住民と一体となって緑化計画を立て、横浜市との協定が終了後も月例の除草や清掃、簡単な維持管理、イベント等を継続して10年が経ちます。樹木管理の助成金はありませんが、現在では沿道の緑化したどの企業も高木から低木までの剪定費用を自社で捻出し樹形を維持しています。みどりの沿道まちづくりのきっかけに助成金が果たした役目は大きかったと実感しています。

今後も、多くの市民、企業の参加しやすい仕組みと、その後のみどりが楽しく継続できる方策等のアプローチを期待します。

高橋委員コメント（「森を育む」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

みどり税をベースとする横浜みどりアップ計画の各事業・取組は、コロナ禍という制約の中でも、工夫しながら推進されております。

最近では市民の森など樹林地を散策する人が増えています。心配なのは、市民の森でもナラ枯れが発生しており、枯死木の倒壊や枝の落下の危険があります。特に被害木の近くには猛毒性のカエンタケが発生することも多く、森を散策する市民向けに分かり易い注意喚起をする必要があります。

2021年度の環境に関する市民意識調査では、SDGsという言葉の認知度は76.1%でした。みどりアップ計画の取組がより多くの市民、特に若年層の目に留まるようにeye-catcherとしてSDGsアイコンを広報コンテンツにつける良いタイミングと考えます。「横浜みどりアップ計画はSDGsに貢献しています」ので、効果的な広報の展開を期待いたします。

野渡委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会 所属）

みどりアップ計画のおかげもありまして緑の環境も整い、住み良い街になっています。樹林地、農地、公園など、それに伴いボランティアのみなさんとの交流と緑の美しさには癒されます。

都市農業保全にもみどり税が活用され助けられております。毎日手のぬけない作業の積み重ねですが、地産地消できるのが都市農業の利点だと思います。

それでも農業従事者は半減する危機を迎えておりますが、特定生産緑地制度も延長され、環境保全や防災なども更新できます。

人が自然に接する大切さ、生物の多様性にと地球によい環境になれば良いと思います。相続のたびに緑が減っていかないように継続し、守り担っていきたく思います。

村松委員コメント（「農を感じる」施策を検討する部会、広報・見える化部会 所属）

大都市でありながら農業が残る点で、横浜市は全国的に非常にユニークです。横浜ならではの都市農業のあり方として、市民団体がボランティアで農家を手伝う農園を提案してきました。現在取り組まれている区分された市民農園や単発的な援農に加えて、農地をまるごと継続的に市民が手伝う形の農園で、実例も見られるようになっていきます。コロナ禍で畑仕事に興味を持つ市民が増えていますし、ウクライナ危機で食料自給と地産地消への関心も高まっていますが、農地は減り続けています。農地と農業を守るため、農業市民団体づくりや農家とのマッチングなど多くの難しい課題があるとは思われますが、市独自の新しい農園を期待します。

7 市民推進会議広報誌

「YokohamaみどりアップAction」

- 第1号（2019年11月発行）
市民の森愛護会
（緑区 鴨居原市民の森）

- 第2号（2020年2月発行）
めぐりツアー
（泉区 横山四季彩園）
（瀬谷区 相澤良牧場/オーガスタミルクファーム）
（瀬谷区 グリーンファーム あい菜フローラ店）

- 第3号（2021年2月発行）
オープンガーデン
（港北区 園芸ボランティアみらい）

- 第4号（2021年3月発行）
市民の森
（緑区 ながつたしゆく長津田宿市民の森）

- 第5号（2021年11月発行）
農園付公園
（泉区 岡津町ふれあい公園）

- 第6号（2022年2月発行）
地域緑のまちづくり事業
（西区 みなとみらい21新港地区運河パーク花時計）

「森づくり体験会」の案内チラシ（2021年11月発行）

Yokohama みどりアップ Action

市民が発信
Vol.1
2019.11

次世代へつなぐ
鴨居原市民の森



横浜みどりアップ計画

Special Interview

15周年を迎えてますます元気に!

緑区にある鴨居原市民の森。約2haのこの森は、竹林が広がる北地区とクヌギやコナラの雑木林からなる南地区で構成されています。森の歴史や魅力を知り尽くす、鴨居原市民の“森の長”にお話を伺いました。

文：奥井 奈都美、高橋 秀忠



ごみの山から、宝の森に?

その昔、ここは不法投棄された自動車の古タイヤや粗大ごみの山でした。それをどうにか「みんなで綺麗な森にしたい!」と鴨居第八地区自治会長が声をあげ、自治会役員を中心とした有志のメンバーが集まり、森の再生が始まりました。そこで結成されたのが「鴨居原ふれあいの森愛護会」(後の「鴨居原市民の森愛護会」)です。平成16年に愛護会が発足し、翌17年に市民の森が開園してからずっと、地域の皆さんに愛される森を目指して、15年間様々な活動を行ってきました。

親子で参加したくなる楽しいイベント

“子どもたちが故郷ふるさととを感じる森づくり”をスローガンに、春の竹の子掘りや夏のソーメン流しなど、親子で参加できるイベントを季節ごとにたくさん行っています。

森からの贈り物に触れて、そして食べて美味しい! イベントには、地域の住民から区境を越えて隣町の人たちまで、毎回たくさんの参加者で賑わっています。「この森が20年、30年と

続いてほしい」と同愛護会の菅原会長。みどりアップ計画で保全した森を、地域の人がみんなで大事に育てていて、森の恵みが子どもたちに受け継がれていることを感じました。

セカンドライフは愛護会で



活動の中核メンバーは50人程度。それも88歳を筆頭に、70歳以上が約9割を占めています。「月2回の定例活動と、それ以外にも市民の森に隣接する民有地の『ふれあい農園』で作業もしており、けっこう忙しいが、『できる事をできるだけやる。無理はしない』がモットー」「午前中の短時間作業を心掛け、楽しんでいる」と阿部名誉会長と菅原会長。力仕事の多い森の作業は男性が中心ですが、農園の作業は主に女性の得意分野。それがきっかけで、女性会員が増え、今ではメンバーの4割が女性なのだとか。農園で採れた野菜をみんなで山分けしていただくのも、楽しみの一つですね。森で体を動かし、土に触れ、仲間とお喋りを楽しみながらやる、これらが、愛護会の皆さんが元気でいられる秘訣なのでしょう。活動に参加したい!と思えるような、幅広い世代の笑顔と活気あふれる森でした。

Best Point

ここが魅力! 鴨居原市民の森



多様な生き物に出会え、季節の移ろいを実感できる市民の森。イベントには多くの世代の人が集い、笑顔があふれます。そんな鴨居原市民の森の南地区をご紹介します。



3 鎌倉古道沿いの「ハンカチの木広場」

入り口では、花壇と開園記念に植えられたハンカチの木、キンモクセイ、シダレザクラなどが、訪れた皆さんを迎えます。



1 樹木に囲まれた「ふれあい広場」

竹の間伐材を利用した「ソーメン流し」などのイベントを開催し、地域のたくさんの方との“ふれあい”を感じる広場です。



2 市民の森と共存共栄「ふれあい農園」

市民の森に隣接する民有地で、愛護会が地主さんの協力を得ながら農園を開始。野菜を作り、焼き芋大会などで振る舞っています。



ふれあい農園を始めたら女性の会員が増えました!

鴨居原市民の森愛護会

市民の森ってなに?

横浜市独自の、緑地を保全する制度の一つで、緑を守り育てるとともに、山林所有者の方々のご協力により、市民の憩いの場として利用されています。

市民の森愛護会ってなに?

市民の森の日常的な維持管理をされている地域住民の団体です。平成31年4月までに開園した市民の森39か所で、31の愛護会が活動しています。



ここにみどり税

横浜みどりアップ葉っぱ

みどりアップ計画では市民の森などの制度によって緑の保全を推進中。市が森を買い取るときや愛護会の維持管理作業にはみどり税を使っています。

市民の森に 遊びに行こう!

中面でご紹介した鴨居原市民の森以外にも、市内では平成31年4月1日現在39箇所の市民の森が公開されています。

まずは、近くの森に散歩に行ってみませんか?

市民の森利用ルール

- ✓ 利用時間は日の出から日の入りまで。
- ✓ 植物などを持ち帰ったり、持ち込んではいけません。
- ✓ ごみは持ち帰りましょう。

森のガイドマップ 無料配布中!

各市民の森のガイドマップを市民情報センター(市庁舎1階)、各区役所広報相談係、環境創造局みどりアップ推進課で無料配布しています。



ダウンロードは
こちらから!



私たちが「みどりアップACTION」をつくっています!

2019年度から横浜みどりアップ計画市民推進会議広報・見える化部会の委員は新メンバーとなりました。横浜のみどりの現状を市民の視点で捉え、さらに問題点や解決方法を取材し、みどりを点から線、面へと繋ぐために、誰もが行動できる様々なきっかけ、情報を皆さまにお伝えしていきます。

(写真左から国吉、高橋、村松、望月、高田、奥井)



横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

YOKOHAMA みどりアップACTIONとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のACTION(行動・活動)を起こしましょう!!

※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想を お待ちしております!

みどりアップACTIONについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくは
こちら!



YOKOHAMAみどりアップACTION 第1号

(旧みどりアップQ)(市民推進会議広報誌第36号)令和元年11月発行
編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)
TEL:045-671-4214 FAX:045-641-3490
E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp



Yokohama みどりアップ Action

市民が発信
Vol.2
2020.2

笑顔あふれる、
農との出会い。



撮影：泉区和泉町

横浜みどりアップ計画



1. 2. 農家の横山さんがお芋の掘り方を説明 3. 焼き芋を試食 4. 参加者全員で集合写真 5. 親子で芋掘り 6. 牛舎の乳牛 7. 生まれたての子牛をのぞき込む子どもたち

横浜で農にふれる、 おいしさを知る「あぐりツアー」



『みなと』のイメージが強い横浜ですが、実は農地がたくさんあり、農産物もたくさん生産されています。そんな横浜の姿を知り、採れたてのおいしさを味わえるイベント「あぐりツアー（横浜農業探検隊）」に参加しました。

文：村松晶子、国吉純

畑で芋掘り体験



今回のツアーは、サツマイモの収穫・牧場の見学・直売所での買い物という内容で、10月に泉区・瀬谷区で行われました。まず横山四季彩園の見晴らしの良い広い畑で芋掘り。ここは横浜市独自の制度「農業専用地区」の畑です。農園主の横山拓巳さんは四代目の若い専業農家さん。ハワイに2年住んで日本の四季の美しさに気づき、日本の自然を感じられる農業に打ち込んでいます。はじめに親子の体験用に準備された畝の前に集まり、説明を聞き、さあ芋掘りです。思ったより大きいお芋も多く、手で懸命に土を掻き出しながら夢中で掘っていました。「土いじりが楽しい」とみんな笑顔。収穫後には、「つぼ焼き」という専用器具で焼いたお芋がふるまわれ、「こんなおいしいお芋食べたことない!」との声が上がりました。

牧場と直売所の見学



次に向かったのは相澤良牧場。約40頭の乳牛を飼育しています。初めて見る牛に子どもたちがびっくりしていました。7年

前から牧場の牛乳だけを使ったソフトクリームを製造し、カフェを開業。6次産業化*することで、経済的に好転したそうです。子どもたちが思わず笑顔になる、優しいミルク味が印象的でした。市街地の牧場なので、近隣との共存が気になりましたが、学校給食への提供や、児童の乳搾り体験などに積極的に取り組んでおり、むしろ地域のシンボルとなるような牧場だと思いました。最後はグリーンファームあい菜フロア店。花の苗や野菜が並んでおり、地元の新鮮な野菜の買い物をしました。

農とふれあう場づくりと大学との協働

今回のツアーは、横浜市環境創造局と農的資源を活用した地域活性化や環境に配慮した取組をすすめることを目的として、連携協定を結んだフェリス学院大学の学生さんと佐藤輝教授が企画運営に参加しました。当日は、学生さんがツアーガイドとして、クイズやインタビューを交えながら進行し、農の魅力を柔らかく伝える役割を果たしてくれました。



*農林漁業者が生産から加工・販売までを手掛けること。(1次×2次×3次)



3



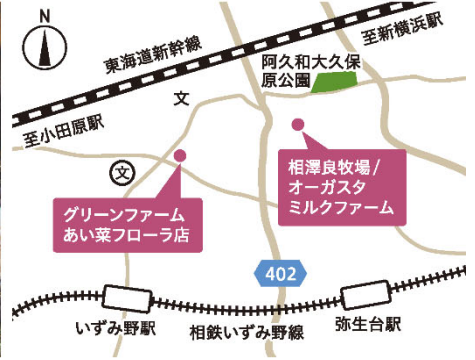
4



6



7



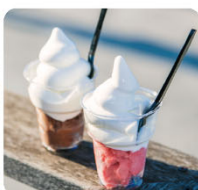
巡った場所をご紹介します



横山四季彩園 (泉区)

菜花、アスパラ菜、トマト、サツマイモなど年間36品目の季節野菜を栽培し、直売所などで販売。横山さんがご用意してくださった「紅はるか」の焼き芋は専用の壺を使い低温で2時間ほどかけて焼いているため、甘くしっとりとしたお味が特徴。※通常は収穫体験は実施していません。

泉区直売所
マップ



相澤良牧場 / オーガスタミルクファーム

約70年の歴史があり、搾りたての新鮮な牛乳で濃厚なソフトクリームなどを作り販売。横浜の酪農家は13軒。横浜の酪農の歴史は古く、日本の牛乳製造販売も横浜が発祥。

- 住所: 瀬谷区阿久和南3-11-11 ●電話: 045-489-6211
- 営業時間: 10:30~16:00
- 休業日: 1月~3月中旬の月曜日・年末年始(3月下旬~12月は無休)

HPは
こちら!



グリーンファーム あい菜フローラ店

総合ガーデニングショップの中にある新鮮な地場野菜が買える野菜直売所。

- 住所: 瀬谷区阿久和南4-8-289 ●電話: 045-360-6887
- 営業時間: 春夏 9:30~18:30 秋冬 9:30~17:30
- 休業日: 1月・2月の水曜日

HPは
こちら!



行ってみよう! 体験してみよう! /



収穫体験情報
はこちら!



あぐりツアー
はこちら!



青空市・直売所
はこちら!

ここがみどりアップ計画

計画では、農とのふれあいを楽しめる場づくりが進められています。あぐりツアーは、その取組のひとつとして実施している農産物の生産現場や直売所などを訪れる企画です。一緒に横浜の素敵な「農」を発見しましょう!



現地調査に行ってきました!

市民推進会議では、横浜みどり税を活用した横浜みどりアップ計画の取組について検証することを目的に、現地を視察する調査部会を毎年実施しています。

2019年10月に泉区を訪れました。文：高橋秀忠

横浜みどりアップ 葉っぱ



和泉小学校 1

2年前にピオトープへと再生された校内の「ニコニコ池」は総合学習の場としても活用されています。子どもを育む空間として維持管理するには、地域の方々のサポートが欠かせません。

こはし 古橋市民の森 2 3

20年前までごみが多かった森が再生され、今年4月に市民の森になりました。訪れたときは、台風19号による倒木などで散策路が通れない状況になっており、愛護会の方は市の協力を得て、森の復旧に取り組んでいました。近隣の高齢者宅の庭木の剪定や庭の手入れなどにも大活躍、愛護会の方々は地域に頼られる存在となっています。

和泉町の水田 4

刈り取られた稲の「はさがけ」も見られ、秋の田園風景が広がっていました。

Column

横浜の農と学校連携

横浜みどりアップ計画では地産地消推進の取組の一環として、市民や企業、大学と連携した様々な取組を行っています。例えば、フェリス学院大学の学生は、横浜市と連携して、Instagramで横浜の「農」と「食」に関する写真を投稿する「ハッシュタグ横浜農場キャンペーン」を実施しており、地産地消のPRなどに協力しています。これからの横浜の農には、市民参加が欠かせません。地産地消の推進に生かされるような活動(Action)に熱心に取り組む学生をととても頼もしく感じました。



横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

YOKOHAMA みどりアップACTIONとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のACTION(行動・活動)を起こしましょう!!

※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想をお待ちしています!

みどりアップACTIONについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくはこちら!



YOKOHAMAみどりアップACTION 第2号

(旧 みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第37号) 令和2年2月発行

編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会

発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)

TEL:045-671-4214 FAX:045-641-3490

E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp



Yokohama みどりアップ Action

市民が発信
Vol.3
2021.2

花がとりもつ、
人との出会い。





※撮影時のみマスクを外していただきました。



緑と花でつながる仲間の絆

園芸ボランティアみらいの
皆さんに聞きました!

港北区にある新吉田地域ケアプラザ。敷地内に咲くきれいな花々をお手入れされているのが「園芸ボランティアみらい」です。その熱心な活動の原動力は？大事に育てられている花を見ることができるといえるベストな機会は？取材を通して見てきたのは、緑と花を介して結ばれる、人と人との絆でした。 文：奥井 奈都美、国吉 純

活動歴はなんと18年! 仲間との交流も楽しみのひとつ

園芸ボランティアみらいは、2000年に新吉田地域ケアプラザで開催された、園芸ボランティア養成講座の修了生が中心となり立ち上げたと言った代表の吉岡さん。設立から18年、メンバーひとりひとりが自分のスキルを上手に生かし、地域での大人の仲間づくりを楽しみながら、息の長い活動を続けています。

現在メンバーの平均年齢は80代。『ここで皆さんと会えるのが楽しみ』、『お花がきれいに咲くのが一番嬉しい』とおっしゃっていました。これが元気の秘訣ですね。

活動エリアは広く、ケアプラザのほとんどの植物を、年間を通してお手入れされています。そんな熱心な園芸活動が認められ、様々な賞を受賞しています。

港北オープンガーデンでお披露目



何った季節は秋、奥の花壇には、色とりどりの可愛らしい花が咲いていました。ポチュルカ、コスモス、ニラバナ、etc. 秋の美しい花がこんなにあったとは、と驚きました。皆さん、おしゃべりを楽しみながら伸び過ぎた枝葉をサクサクと手際よく切っています。毎年春に開催されている「港北オープンガーデン」に参加されているとのことなので、次のイベントでは是非ここに来て、春の花と皆さんの笑顔に再会したいと思います。



活動を始められた頃の様子

ここが みどりアップ 計画

緑や花に親しむ市民の盛り上げを醸成するため、「地域に根差した緑や花の楽しみづくり」を進めています。その取組のひとつとして、港北オープンガーデンの運営を支援し、地域発の緑の活動に寄り添っています。





港北区の職員の方に
聞きました!



※2019年度のオープンガーデンの様子。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止となりました。



港北オープンガーデンとは？

転入者の多い港北区において、地域への愛着を深めてもらおうと始まった取組です。2013年から毎年春に開催*され、期間中、会場となっている個人庭や地域の方々がお手入れしている花壇を楽しむことができます。オープンガーデンの企画・運営は、区民ボランティアと港北区役所で組織された「港北オープンガーデン運営委員会」が担っています。ボランティアスタッフに

よる案内所設置や、人気企画のガイドツアーもあり、会場間を楽しみながら歩けるような工夫も。区民の方々に支えられた、地域に根差したイベントになっていますね。お庭のオーナーさんとボランティア、参加者…多様な人たちの出会いの場にもなり、地域の絆が育まれているそうです。緑と花が人にもたらす力を感じました。

港北オープンガーデン 詳しくはこちら▶



やってみようガーデニング ～春の花を楽しむ～

花を置いて楽しみたくなったら、難しく考えず、園芸店などに行って苗を買うことから始めましょう。名前がわからなくても、好きな色の花を選んでベランダやお庭でガーデニングをしてみませんか？蕾が多くて、しっかりとした苗がおすすめです！



葉裏の病気の跡や虫の有無もチェックしておくといいでしょう♪

植え方

- 1 プランターに鉢底石をひと並べする。
- 2 肥料を混ぜた培養土を鉢の半分くらいまで入れる。
- 3 花苗を置く。鉢から1cmくらい下まで土がくるように。低すぎるときは調整する。
- 4 苗の周りに土を入れる。割り箸などで隙間なく土が入るように突く。
- 5 苗の土と同じ高さまで土が入り、苗がぐらつかなくなったら完成。
- 6 花に水がかからないようにたっぷり水やりをする。鉢底から水が流れるのを確認したらもう一度、水が流れるまで水やりをする。



春の花壇やプランターに向く花

春の庭やベランダでは優しいパステルカラーの花色がたくさん出回ります。

- 🌸 青い花：ワスレナグサ、ネモフィラ、ブルーデージー
- 🌸 黄色い花：クリサンセマム・ムルチコーレ、カレンジュラ
- 🌸 白い花：スイートアリッサム、ノースポール、マーガレット
- 🌸 ピンクの花：リナリア、キンギョソウ、オステオスペルマム、etc.



身近な緑、 増えています!!

横浜みどりアップ計画では、今ある樹林地や農地を守るだけでなく、多くの市民の皆さんの目にふれる場所で、緑豊かな空間を新たに作っています。今回は、「シンボリックな緑の創出・育成」の取組として新たに整備された公園をご紹介します！



六角橋四丁目公園

中央に芝生広場があり、眺めがよく、季節の花も楽しめます。シンボルツリーとして芝生広場の中央に植えられている木は、区の木でもある「コブシ」です。まちなかに心地良い空間が生まれました。



所在
神奈川区六角橋 4-720-4

アクセス
横浜駅から市営バス50系統・
神大寺入口行
県営栗田谷住宅前バス停下車
徒歩2分

皆さんの身近な場所にも「新しい緑」があるかも!?
ぜひ、見つけてみてください!

これが目印!
横浜みどりアップ計画

苗木の数だけ思い出がある 「人生記念樹」

区の木などの中から、
お好きな苗木を
選べます!

詳しくは
こちら!

無料
配布!

横浜みどりアップ計画では、多くの市民の皆さんが緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、人生記念樹として苗木を配布しています。思い出とともに人生記念樹を育ててみませんか? インターネットまたは各区の区役所で配布している専用はがきで申し込みます。



横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

Yokohama みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!

※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想を お待ちしております!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくは
こちら!



YokohamaみどりアップAction 第3号

(旧みどりアップQ)(市民推進会議広報誌第38号)令和3年2月発行
編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)
TEL:045-671-4214 FAX:045-550-4093
E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp



Yokohama みどりアップ Action

市民が発信
Vol.4
2021.3

森と過ごす
幸せな時間。



横浜みどりアップ計画



市民の森って何？

「市民の森」、聞いたことはありますか？市民の森は横浜市独自の制度により守られた、散策できる樹林地です。実は、土地所有者を始めとした多くの方の支えにより利用できています。今回は、オープンしたばかりの「長津田宿市民の森」を訪ねながら、市民の森についてご紹介します。

文：高田房枝、高橋秀忠、村松晶子



実は身近にあった市民の森

長津田宿市民の森の出入口は民家のすぐ先にあり、街の中にひょっこり現れる印象です。公園と違い門はなく案内板が目印となっていて、日の出から日没まで自由に出入りできます。私たちが散策できるこのような市民の森は市内に47か所*あり、多くは土地所有者と横浜市が契約することで公開されています。こんなに身近なところに森があるなんて、驚く方も多いのでは？



市民の森で見つけた整備の工夫

入口の先には木漏れ日注ぐ樹林地が広がり、街の喧騒から一転、森の精気が感じられます。中は散策路やステージのような広場、野外卓が整備され、親子連れが楽しそうに利用していました。急な斜面地は柵で囲われ安全も確保されています。森の整備にあたっては、その森が持つ景観や特徴を生かせるよう工夫しているそうです。森ごとに異なる表情を楽しみたいですね。



*2021年3月現在。40か所を公開中。





1. 森づくりボランティア体験会 2. クロアゲハ 3. 保全管理計画の打合せ 4. マルバスマシ 5. ウグイスカグラ 6. アカネスミレ 7. 保全管理計画フォローアップ研修
8. 長津田市民の森案内板



森づくりの担い手 やってみよう!

市民の森では、森を良好な状態に保つため「市民の森愛護会」や「森づくり活動団体」として多くの市民が活躍しています。下草刈りから樹木の手入れまで多種多様な活動をしています。森に興味がある方は、はじめてでも気軽に参加できる「森づくり体験会」があるので、森と関わるはじめての一步を体験してみませんか？

森づくりボランティア —森づくり体験会—

美しく様々な生き物が暮らす豊かな横浜の森は、森づくり活動により守り育まれています。手を入れるとこたえてくれる、森の魅力を味わってみてはいかがでしょう。



みんなで考える 保全管理計画

将来にわたって良好な森を保つためには、計画的な管理が欠かせません。市民の森では、愛護会、土地所有者、ボランティアなどの市民と行政、専門家が集まって話し合い、未来の森の姿を描いた「保全管理計画」を作っているそうです。

計画では、林・草地・谷戸・土手などの自然環境面や、生き物の保全・育成や環境学習といった機能面、安全面から区域を分け、区域ごとの管理方法などが決められていました。このようにしてみんなの森がつくれ、保たれているんですね。



まずは訪ねてみましょう やってみよう!

市民による、市民のための「市民の森」、いかがでしたか？市民の森には、夏の朝に広場の木陰で朝刊を読んだり、鳥や植物の観察会、愛護会が開催するイベント（切った竹で流しそうめんやパームクーヘンづくりなど）に参加したりと、色々な楽しみ方があります。市主催の森づくり体験会に参加してみても良いかもしれません。まずは、お住まいの近くの市民の森を探して、公園とひと味違う市民の森を楽しんでみてください！

市民の森ではフィールド マナーを守りましょう!



ここにみどり税

市民の森の整備や維持管理、愛護会・森づくり活動団体の支援、保全管理計画づくりなどに横浜みどり税が使われています。

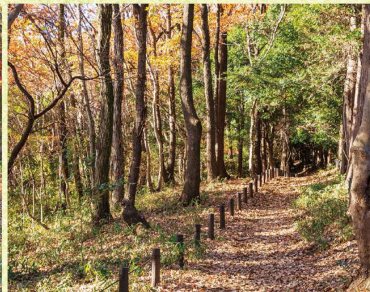


横浜みどりアップ 葉っぴー

2020年4月オープン! 長津田宿市民の森

おのたちらくがん
長津田十景*のひとつ「御野立落雁」すぐ近くにある約3.0 haの森で、日々の散策や自然観察、憩いの場として利用できるエリアと、斜面緑地を保全する樹林保護区(非公開)とがあります。

目を引くのは森の中央にある、まるでステージのような、緩やかな斜面を持った広場です。かつて耕作が行われていた場所を生かして整備されました。



アクセス良好で長津田駅から散歩気分が訪れることができます♪

所在 横浜市緑区長津田町2365-2

アクセス JR横浜線・東急田園都市線長津田駅南口より徒歩10分
(駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。)

長津田宿市民の森のマップはこちら!



※長津田十景詳しくはこちら!



市民推進会議広報誌・バックナンバー公開中!



市民推進会議広報誌のバックナンバーを横浜市のHPで公開しています。市民の森をレポートしたバックナンバーもあるので、ぜひアクセスしてみてください!

詳しくはこちら!



横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

Yokohama みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!

※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想をお待ちしています!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくはこちら!



YokohamaみどりアップAction 第4号

(旧みどりアップQ)(市民推進会議広報誌第39号)令和3年3月発行
編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)
TEL:045-671-4214 FAX:045-550-4093
E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp



Yokohama みどりアップ Action

市民が発信
Vol.5
2021.11



農園付公園に
行ってみよう。

横浜みどりアップ計画



① 岡津町ふれあい公園 ② アドバイスをする栽培相談員 ③ 団体区画利用の保育園児

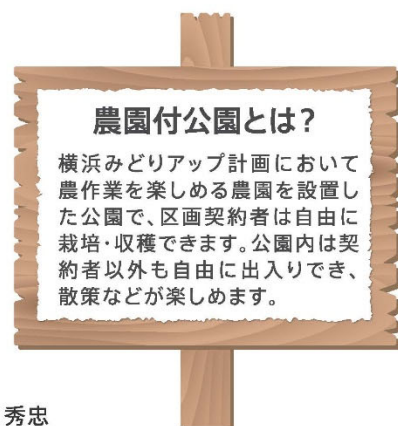
農園付公園で 野菜づくりをはじめませんか？

梅雨明け間もない晴天の7月、泉区緑園都市に近い「岡津町ふれあい公園」を訪問しました。

公園といっても中央に広がるのは農園、そして周りを囲む樹林。

ここには、子どもや高齢者、障害のある方、

誰もが野菜や土に親しめるきっかけがありそうです。 文：奥井 奈都美、高橋 秀忠



農園付公園とは？

横浜みどりアップ計画において農作業を楽しめる農園を設置した公園で、区画契約者は自由に栽培・収穫できます。公園内は契約者以外も自由に入出りでき、散策などが楽しめます。



自分だけの畑で 自分なりの野菜づくり

農体験ゾーンの団体区画で最初にあったのは、かわいい利用者さん。地元保育園の園児でした。ちょうど収穫にきたところで、手に持っている野菜を見せてもらおうと、ピーマン、トマト、ナス、ししとうと色鮮やかな夏野菜でした。「どんな野菜が好き？」という問いかけに、意外にも「ピーマン！」という元気な声。保育園では収穫した野菜を調理し、給食として食べているそう。みんな自分の手で育てた野菜の美味しさをよく知っているんですね。

2年以上個人区画を利用しているという方にも畑を見せていただくと、こちらも立派なトマト、ナス、オクラが育っていました。話を聞くと、せっかく美味しそうに育ったトウモロコシを、ハクビシンに食べられてしまったとのこと。畑の周りをしっかりと網で囲って獣害対策をしていました。



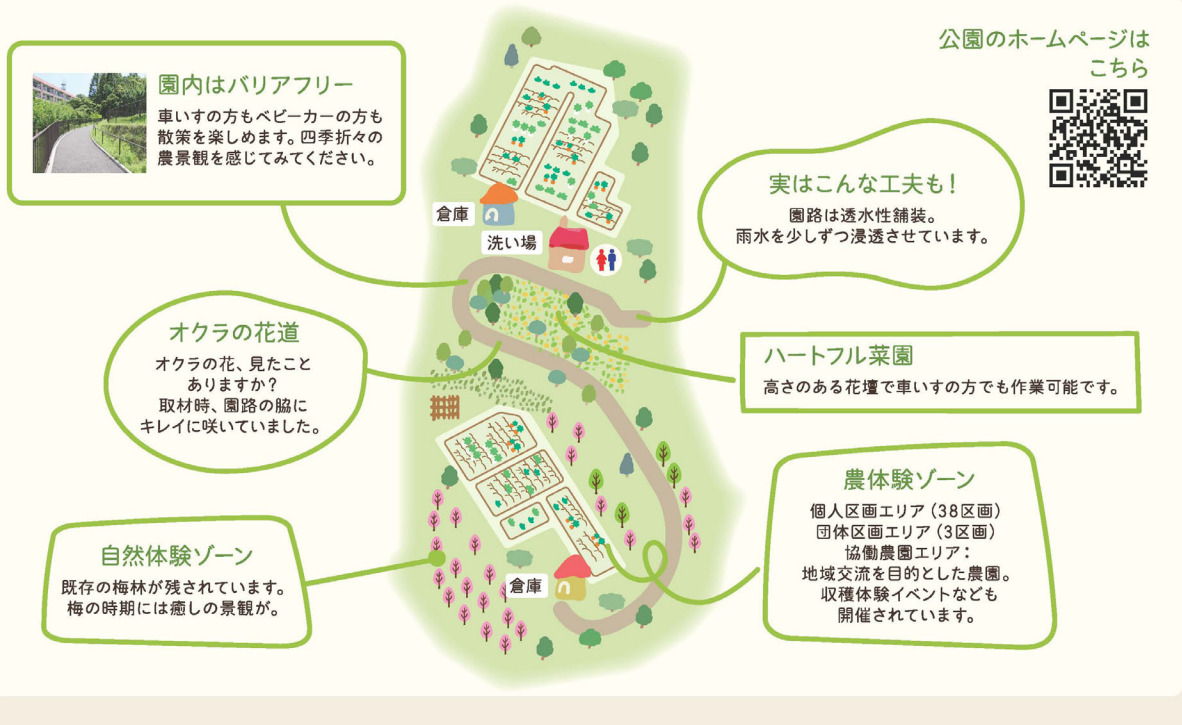
初めてでも 誰でも楽しめる！

公園にいる指定管理者の栽培相談員が、土づくりをはじめ、植付けから収穫までの野菜の育て方を定期的にアドバイスしてくれます。クワやスコップ、ジョウロ、バケツなどの道具の無料貸出しや土の酸度を測定するサービスも。菜園活動をサポートしてもらえます。

園内には、車イスのままでも野菜づくりが楽しめる「ハートフル菜園」もありました。ここでは近隣の特別養護老人ホームと協働で野菜づくりをしているそうです。



岡津町ふれあい公園の案内図



① 栽培相談員と談笑する利用者 ② ハートフル菜園で植え付けする利用者 ③ 協働農園では地域の方と農作業も



公園×野菜づくり＝ 地域交流?!

この公園を管理しているのは、横浜に根差して130年の歴史を持つ種苗会社。利用者の皆さんは専門の会社から種や肥料を注文することもできるので安心ですね。ここでは「はまっ子ユーキ」という、市内の公園緑地や街路樹の管理で出た剪定枝や刈草をリサイクルした環境にやさしい堆肥を提供していました。

感染症が流行する前は、近隣の特別養護老人ホームと連携しながら、農園で採れた野菜を使ってBBQや焼き芋をして、地域の皆さんとの交流を図っていました。再開を楽しみに待っている人もきっと多いことでしょう。



ここにみどり税

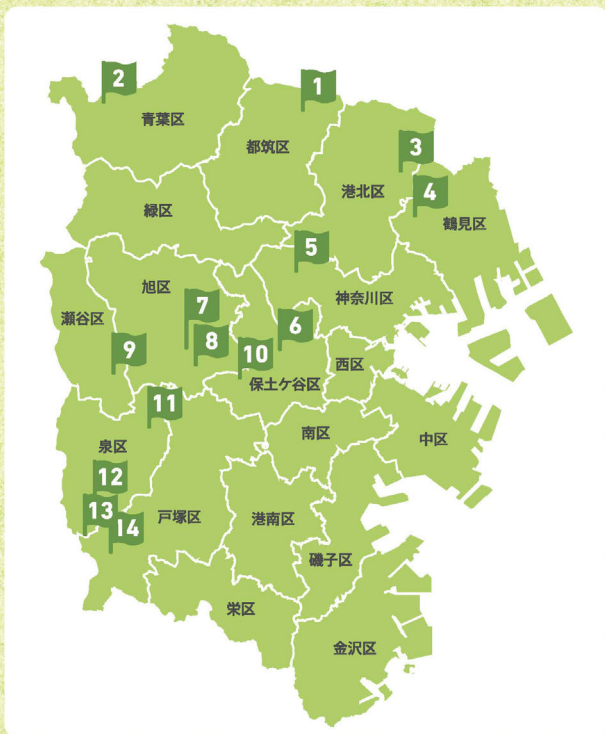
みどりアップ計画では、市民が身近に農体験ができる公園として、農園付公園を設置しています。公園整備に横浜みどり税を使っています。

横浜みどりアップ 葉っぱー



市内の農園のある公園

農園のある公園は市内に14か所あり、初心者からベテランの方までたくさんの方が野菜づくりを楽しんでいます。園内を散策することもできますので、まずはお近くの公園に足を運んで農を感じてみてはいかがでしょうか。



市内の農園のある公園

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 大棚杉の森ふれあい公園 | 都筑区大棚町472-1 |
| ② 若草台第二公園 | 青葉区若草台6-1 |
| ③ 師岡町梅の丘公園 | 港北区師岡町511-3 |
| ④ 東寺尾一丁目ふれあい公園 | 鶴見区東寺尾1丁目66-1 |
| ⑤ 菅田町赤坂公園 | 神奈川区菅田町222-1 |
| ⑥ 仏向原ふれあい公園 | 保土ヶ谷区仏向町1252番1 |
| ⑦ 南本宿公園 | 旭区南本宿町37-4 |
| ⑧ 南本宿第三公園 | 旭区南本宿町81-3 |
| ⑨ 阿久和富士見小金台公園 | 瀬谷区阿久和東2丁目61-1 |
| ⑩ 今井の丘公園 | 保土ヶ谷区新桜ヶ丘1丁目42 |
| ⑪ 岡津町ふれあい公園 | 泉区岡津町2623 |
| ⑫ 泉が丘公園 | 泉区和泉が丘3丁目6 |
| ⑬ 和泉アカシア公園 | 泉区下和泉1丁目8 |
| ⑭ 深谷町ふれあい公園 | 戸塚区深谷町1272-5 |

☆区画の空き状況、利用料金等については、各公園の指定管理者にお問い合わせください。(各公園のホームページも参考にしてください)

市民推進会議広報誌・バックナンバー公開中!



市民推進会議広報誌のバックナンバーを横浜市のHPで公開しています。「農」をテーマにレポートしたバックナンバーもあるので、ぜひアクセスしてみてください!

詳しくはこちら!



横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民と一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

Yokohama みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!
※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想をお待ちしています!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくはこちら!



YokohamaみどりアップAction 第5号

(旧みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第40号) 令和3年11月発行

編集: 横浜みどりアップ計画市民推進会議広報・見える化部会
発行: 横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)
TEL: 045-671-4214 FAX: 045-550-4093
E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp



Yokohama みどりアップ Action

市民が発信
Vol.6
2022.02

みどりがつなぐ
活動のバトン



横浜みどりアップ計画



① 興味をもった保育園児も参加

レガシーつなぐ花時計



みなとみらい地区の運河パークに丸い花時計(日時計)があります。これは、2009年に開催された「開国博Y150」を祝して、横浜青年会議所と市内企業を中心とする実行委員会により開国博入り口前に作られました。当時は30m×40mの大きなものでしたが、終了後の撤去を惜しむ声があがり、市民団体が維持管理を引き継いで、モニュメント周辺部分に縮小して存続しています。10年以上にわたって、市民団体の方々による緑のまちづくりの活動として、ボランティア参加の市民とともに花時計を育んできました。 文: 国吉 純、村松 晶子



花時計に関わる 多くの人々の協力

現在、花時計は「NPO法人横浜移動サービス協議会」によって維持管理されています。開国博時の幹事会社や公益財団法人横浜市緑の協会の支援をもとに活動を進め、「一般社団法人横浜みなとみらい21」からはタネや苗の支援をしています。隣接するホテルは、当初より協力いただき駐車場に園芸道具の収納場所を提供。それによって重い道具等を自宅から持っていく必要がなくなりました。今後、ロープウェイで乗降する観光客の方達とのワークショップの開催など、周辺の企業ともいろいろな連携ができることを期待しています。



だれでも参加できる 花壇の手入れ

月2回の作業日には、近隣の自治会や福祉作業所、保育園の子供たちが植替えや水やりに来ています。作業日以外にも水やりなど、気づいた時に手入れをしているそうです。車椅子の方々には貴重な屋外活動であり、子供たちにとっては車椅子の方と交流する機会ともなっています。花壇の手入れをしていると、通りすがりの人が手伝ってくれることもあります。花の好きな人には土に触れることができる魅力的な場です。「花壇のボランティアはいつでも大歓迎!」とのこと。



花時計から未来へ

2021年4月に桜木町駅から花時計のあるところまでロープウェイが開業。この花時計の花壇と活動の様子をロープウェイを利用する方々、そして駅から散策する方々の目にとまる機会が増えました。今後は、関内駅からこの花壇までの道のりを新たに花のアプローチで繋ぐ企画を考えているそうです。これによって駅と駅、花と花、そして人と人との繋がりがさらに発展していくことになるでしょう。

開国博の記憶とみなとみらいのシンボルとして、企業、市民、行政が協働して美しい花壇を続けていってほしいと願っています。



ここにみどり税

地域緑のまちづくり事業では、「緑や花でいっぱい街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理などにみどり税を活用して、緑のまちづくりに地域と協働で取り組んでいます。

横浜みどりアツア 葉っぱ





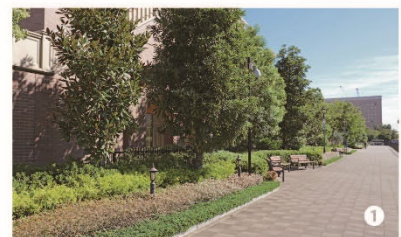
②、③維持管理活動の様子 ④花壇に咲くマリーゴールド ⑤多くの人の目に留まる立地
⑥園芸道具 ⑦花時計を中心に自然と交流が生まれる

みなとみらい21新港地区の 地域緑のまちづくり

みなとみらい21地区などの都心臨海部では、これまでも様々な場所で地域が連携して緑や花によって街を彩る取組が進められています。緑や花で彩られたみなとみらいにぜひお越しください。



①アニヴェルセルみなとみらい横浜(16街区)での緑化 ②マリン&ウォーク横浜(4街区)での緑化
③グランドオリエンタルみなとみらい(11-2街区)での緑化 ④新港中央広場(8街区)での緑化



地域緑のまちづくり 実施一覧

旭区 若葉台もみじ自治会周辺地区



磯子区 洋光台五街区周辺地区



港北区 綱島西地区



中区 山下公園通り地区



- ★ 2020年度協定締結地区
- 2019年度協定締結地区
- 協定締結期間終了地区

2021年4月現在



地域緑のまちづくりについてはこちら

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/3ryokuka/chiikimidori/chiikimidori2.html
 問合せ先: 横浜市環境創造局みどりアップ推進課(緑化推進担当) 電話番号: 045-671-3447 E-mail: ks-ryoka@city.yokohama.jp

横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民と一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

Yokohama みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!
 ※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌

ご意見・ご感想を お待ちしております!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくはこちら!



YokohamaみどりアップAction 第6号

(旧みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第41号) 令和4年2月発行

編集: 横浜みどりアップ計画市民推進会議広報・見える化部会
 発行: 横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)
 TEL: 045-671-4214 FAX: 045-550-4093
 E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp





森づくりボランティアしませんか？

ヨコハマ 「森づくり体験会」

参加者 募集

「森づくり体験会（ボランティア）」に
参加して、身近な森をもっとよく知り、
まもる活動を一緒にしませんか？

横浜には、大都市でありながら
多くの樹林地が残されています。
良好な森を維持するためには、人
の手による管理が必要で、管理が
行き届かないために荒れてしまう
森も少なくありません。



横浜には緑豊かな樹林地が多く残されています



良好に管理された森で
散歩や森林浴を！

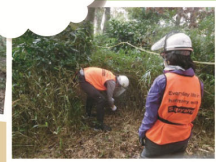
森づくり体験会とは？

「森でボランティアをしてみたい！」と思った方と、手入れを必要
としている緑地との橋渡しをお手伝いするプログラムで、草刈り
や小さな木の伐採等、森の管理の基本となる作業を行います。
スタッフがいているので初心者でも安心してご参加いただけます。



小さな木の間伐作業

こんな作業を
します！



ササ刈り作業

森づくり体験会に参加すると??

ボランティア活動したことを
『証明するカード』がもらえます！

さらに…

- ・身近な森を守る活動ができます。
- ・森づくり活動に必要な技術・知識が身に付きます。
- ・市内で活躍する森づくりボランティアとの交流ができます！



森づくり
ボランティアに
参加しました！

森づくり体験会の詳細・申込はこちら！

※QRコードを読み込むか、URLにアクセスしてください。
URL : <https://nora-yokohama.org/join/?cat=153>
【森づくり体験会運営団体（よこはま里山研究所 NORA）のホームページにリンクしています】
※申込み先着順で定員になり次第申込み締め切りとなります。



開催日・場所等、
最新情報が
確認できます。



※森づくり体験会への参加には森づくりボランティアへの登録が必要です。(参加当日の登録も可) 森づくりボランティア、登録方法についての詳細は裏面をご覧ください。

発行 | 横浜みどりアップ計画市民推進会議
広報・見える化部会

問合せ | 横浜市環境創造局政策課
電話 045-671-4214 FAX 045-550-4093
Eメール : ks-mimiplan@city.yokohama.jp



森づくりボランティアについて

横浜の森では、多くのボランティアの方たちが生き物の多様性や人の利用等に配慮した草刈り、間伐、生き物調査といった「森づくり活動」を行っています。横浜市はそのようなボランティアの方たちに、様々な支援を行っています。

※森づくりボランティアは、横浜市市民協働による森づくりに関する要綱に基づく制度です。

■登録条件は？

・18歳以上の横浜市在住・在学・在勤の方

■森づくりボランティアに登録すると？

こんな支援が受けられます！

ニュースレターによる情報提供



よこはまの森ニュースレター

森づくり活動団体や森づくりグループの紹介、イベント等、森づくりに役立つ情報をお届けします。

森づくりに関する研修案内



自然観察講習会チラシ 森づくり体験会チラシ

森づくりに関する技術・知識を学ぶことのできる研修等の情報や森づくりを行っている団体の情報提供を受けることができます。

※体験会当日の登録もOK!

森づくりボランティア登録のながれ

- ①横浜市みどりアップ推進課ホームページから申請書をダウンロード
- ②みどりアップ推進課に申請書提出（メール・FAX可）
- ③承認・登録完了

みどりアップ推進課 HP (森づくりボランティア 支援の仕組みと手続き)

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/1mori/volunteer/mori-youkou.html



横浜みどりアップ計画とは？

豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています

横浜みどりアップ計画



横浜みどりアップ 葉っぴー

2022 年〇月発行
横浜みどりアップ計画市民推進会議

これからの緑の取組について

「みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜」を理念とする「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」は、2023 年度に計画期間が終了します。ゆとりと潤いのある暮らしに欠かせない緑の保全や創造は長期的な視点を持ちながら継続的に取り組む必要があるため、これまでの取組の成果や課題、近年の社会情勢の変化等を踏まえ、2024 年度以降の緑の取組の方向性について検討状況を報告します。

1 検討の方向性について

(1) これまでの取組の成果・課題

柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- ・みどりアップ計画開始以降、約 1,000ha の樹林地を緑地保全制度による新規指定を進めました。
- ・3 期にわたり指定を着実に進めてきた一方で、未指定の私有樹林地は約 1,400ha 残っています。
- ・緑地保全制度の契約更新を迎える既指定私有樹林地に対しても、継続的な働きかけが必要です。
- ・緑地保全制度による買取り申し出に着実に対応し、これまで 287.9ha の樹林地の買取りを行いました。
- ・緑地保全制度による指定を推進してきたことで、今後買取りが発生する可能性のある既指定私有樹林地は令和3 年度末時点で約 440ha となっています。
- ・これまで保全してきた樹林地を良好に育成するとともに活用をはかることで、市民生活の充実とみどりアップ計画の成果の実感につなげることが重要です。

単位：ha	1 期 (2009-2013)	2 期 (2014-2018)	3 期 (2019-2021)
新規指定面積	527.2ha	378.4ha	108.0ha
買取り面積	124.6ha	105.6ha	57.7ha



柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる

- ・市内の水田面積の約 9 割に水田保全奨励を行い、市域に残る貴重な水田景観の保全を進めました。
- ・農家の高齢化や担い手不足により遊休農地が増加しており、良好な農景観を維持するための対応が必要です。
- ・これまで約 65ha の農園の開設支援・整備を進め、市民が農とふれあう場が着実に増加しました。
- ・子育て世代をはじめとした多くの市民が身近に農とふれあうニーズが高まり地域の資源をいかしながら、それに応える取組の充実が必要です。



柱 3 市民が実感できる緑や花をつくる

- ・みどりアップ計画開始以降、自治会・町内会などが主体となり、地域にふさわしい緑を創出する「地域緑のまちづくり」が、62 地区で進展しました。
- ・多くの市民が訪れる都心臨海部等では、緑や花による空間づくりを進め、街の魅力の向上や賑わいを創出しました。
- ・市民が緑や花に親しむ取組を各区で進め、ガーデンネックレス横浜等で発信し、市民や企業等の関心の高まりにつながりました。
- ・今後も多様な主体と連携した取組を推進しながら、緑や花の創出・育成に積極的な地域・企業が取組に関わり継続していくための支援の充実が必要です。



効果的な広報の展開

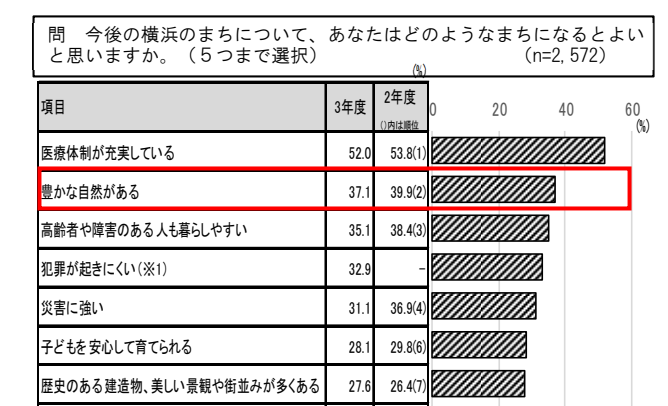
- ・みどりアップ計画の認知を向上させるため、広報よこはま、SNS の活用など様々な手法を用いて幅広い年齢層への広報を展開しました。
- ・みどりアップ計画の取組の成果が、市民・企業等の実感につながるよう工夫した広報が必要です。

(2) 取組に寄せられた声

- ・コロナ禍でも取組を工夫しながら、目標に向けて着実に取り組んでいます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を通して、身近な緑に対するニーズが高まり、都市における緑の価値が再認識されるなか、より多くの市民がみどりアップ計画に関われるよう進めてもらいたい。
- ・これからの森の維持管理は、災害対策に重点を置いて質を高めてもらいたい。
- ・緑の質の向上とあわせてその活用もますます求められてくることから、保全した樹林地でも、新たな活用の手法について検討してもらいたい。
- ・ガーデンネックレス横浜により、花や緑による魅力あるまちづくりが進んでおり、今後も取組を継続、発展させ、横浜の魅力、市民の誇りとして高めていくことが重要。
- ・次代を担ってもらおう子どもに土のぬくもり・感触、野菜や米の成長する姿、収穫の喜びを感じてもらえるよう、農体験の機会づくりを一層進めてもらいたい。
- ・子どもが感性豊かに育つためには、多くの時間を過ごす幼稚園や保育園、小中学校に緑をつくることにとどまらず、なるべく多くの機会を捉え、緑と触れ合える場を増やしていくことが重要。

(3) 近年の社会情勢の変化等

- ・人口減少・少子高齢化が進む一方で、今後も継続して宅地開発や土地利用の転換が見込まれます。
- ・自然災害の頻発化・激甚化により、令和元年の台風の際には、市内の樹林地において倒木や幹折れなどの被害が多数発生しました。
- ・令和 3 年度横浜市民意識調査では、今後そうなると思う横浜のまちについて、「医療体制が充実している」に次いで「豊かな自然がある」となっています。
- ・改定が進む「横浜市住生活マスタープラン（横浜市住生活基本計画）」では、身近な農や緑、水辺、歴史など、横浜ならではの地域の資源や自然の恵みを生かしたまちづくりを検討するとしています。
- ・「新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について」では、重視する観点として、「ストック効果をより高める」等が示されています。（平成 28 年 5 月 国土交通省）
- ・都市緑地法等が改正され、良好な都市環境の形成を図る観点から都市における農地の計画的な保全を図るものとされました。（平成 29 年 6 月）
- ・「グリーンインフラ推進戦略」では、自然環境が有する多様な機能を活用した取組を広く普及・促進することが示されました。（令和元年 7 月 国土交通省）
- ・横浜市で開催する「2027 年国際園芸博覧会」について、政府より博覧会国際事務局（BIE）に対し認定申請書が提出されました。（令和 4 年 6 月）基本計画案では、国際園芸博覧会の開催は「花や緑、農が身近にある幸せの暮らしの姿を示し、人々のライフスタイルを緑や自然環境を一層尊重するものへと変革する契機」としています。



出典：令和 3 年度横浜市民意識調査

(4) これからの緑の取組の検討の視点

- ① 緑豊かな横浜の環境を次世代に引き継ぎ、魅力的なまちづくりにつなげていくため、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、計画の理念、基本的な枠組みや主な取組は継承
- ② 保全・創出した緑の良好な育成、活用を進め、緑の質を高めることで、緑のストック効果を発揮させる
- ③ 市民・企業が緑の魅力を実感できるきっかけを広げ、緑との関わりにつなげる取組を強化

(5) 柱ごとの検討の方向性

① 森の保全・育成・活用に関する施策（現行計画：柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む）

- 樹林地がもつ生物多様性や雨水の貯留・涵養、レクリエーションなどの多様な機能を効果的に発揮する大きなまとまりの樹林地の保全を重点的に推進
- 樹林地を周辺の安全にも配慮しながら良好に育成することで活用の場や機会を創出し、森に親しむ取組の充実

<具体的な取組の方向性>

- ・これまでに保全した樹林地の周辺の指定を進め、より大きなまとまりやネットワークを構成することで、樹林地の機能を発揮させる効果的な指定を推進。指定目標は、近年の新規指定実績や土地所有者一人当たりの樹林地面積が小規模化している状況などを踏まえ設定
- ・相続などの土地所有者の不測の事態の際に、既指定民有樹林地の買取り申し出に着実に対応
- ・土地所有者の維持管理負担の軽減及び緑地保全制度による指定促進のため、維持管理に対する支援を充実
- ・あらゆる世代が身近に森を感じ・親しむため、樹林地の多様な活用の場や機会の充実を進めるとともにプロモーションを展開

② 農に関する施策（現行計画：柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる）

- 新鮮な農畜産物の供給の場であることに加え、市域の貴重な緑として良好な景観の形成、農業体験、学習体験や交流の場となる農地の保全を推進
- 人材や施設などの地域の資源をいかしながら、市民が農をより身近に感じる機会の創出

<具体的な取組の方向性>

- ・都市農業推進プランに基づく取組とあわせ、水田の保全や市民農園の開設支援、地産地消などの取組を充実
- ・郊外部から都心部まで、地区特性や市民のライフスタイルに応じて身近に農に親しむ取組を充実

③ 緑花に関する施策（現行計画：柱3 市民が実感できる緑や花をつくる）

- 暮らしを豊かにする緑や花の創出・育成や市民参加の広がり全市的な展開、横浜ならではの緑や花を市民・企業とともに盛り上げ発信することで、市民の実感につながる緑や花による魅力・賑わいのさらなる創出

<具体的な取組の方向性>

- ・子どもが緑と触れ合う場やコミュニティの醸成にもつながる、地域での身近な緑の創出・育成を継続
- ・緑や花の取組の継続的な活動につながる支援を充実
- ・緑や花の取組を全市的につなぎ、計画の成果をより多くの市民に伝える積極的なPRを展開

④ 効果的な広報の展開

- 緑の取組に対する理解を広げ、市民の主体的な参加につなげるため、広報媒体を効果的に活用しながら、各柱の緑の取組の広報を総合的に展開

2 今後のスケジュールについて

横浜の緑に関する市民・土地所有者意識調査の結果、環境創造審議会、市会での御意見などを踏まえ、令和5年1月以降の税制調査会にて、「これからの緑の取組（素案）」を報告する予定です。

年度	月	
R4	6月	横浜の緑に関する市民・土地所有者意識調査
	7月	
	8月	
	9月	【市会 第3回定例会】「これからの緑の取組」の検討の方向性を報告
	10月	
	11月	環境創造審議会へ「これからの緑の取組」の検討の方向性を報告 税制調査会へ「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」の現状等について報告
	12月	【市会 第4回定例会】「これからの緑の取組（素案）」を報告 「これからの緑の取組（素案）」に対する市民意見募集
	1月以降	税制調査会へ「これからの緑の取組（素案）」報告 環境創造審議会へ「これからの緑の取組（素案）」報告

【参考】緑のストック効果を活用した取組例

— 緑を介した様々な市民活動や、緑とともにある暮らし —



身近な場所にある樹林地



環境学習（生き物観察会）



マルシェ



里山ガーデン



農体験



森づくり活動（市民の森愛護会）



農景観



地域での緑花活動



市民の森での散策

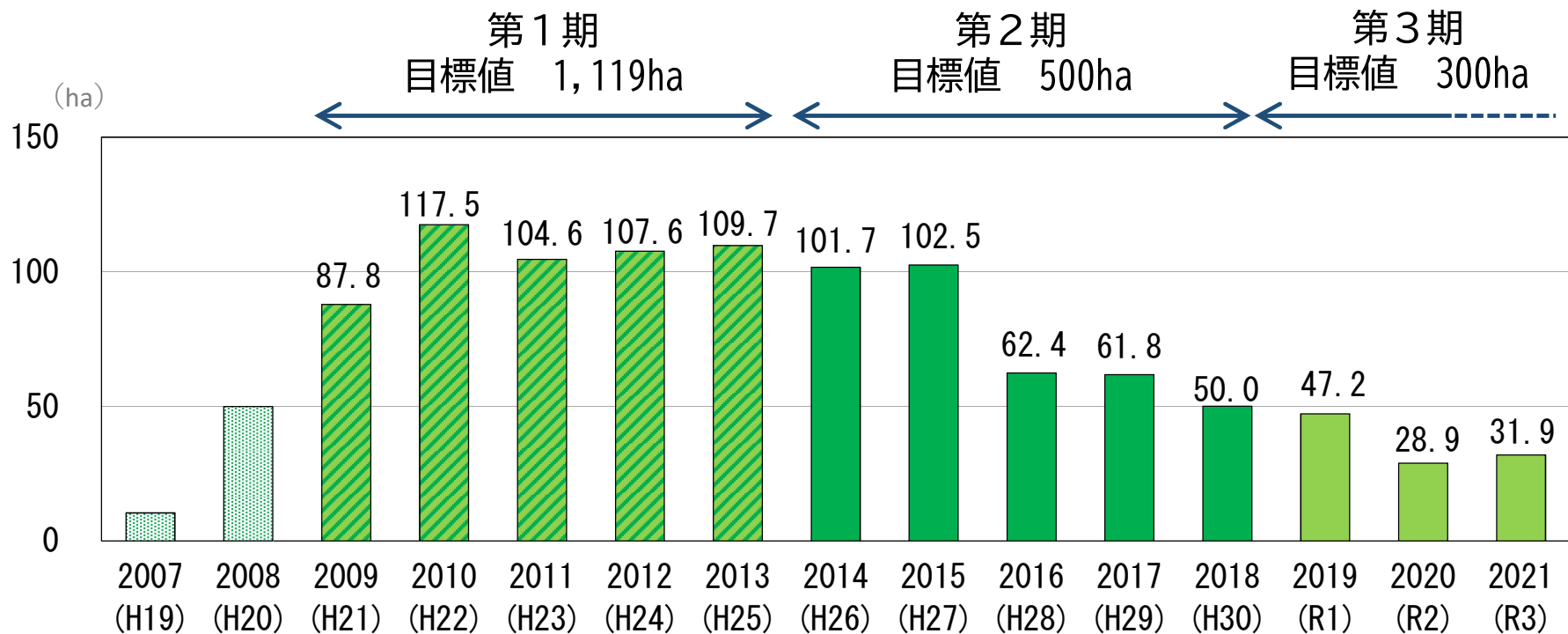
これからの緑の取組の検討の方向性について

これまでの取組の成果・課題

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

○ みどリアップ計画開始以降の13年間では、1,013haを指定

緑地保全制度による新規指定等の面積推移 環境創造局作成

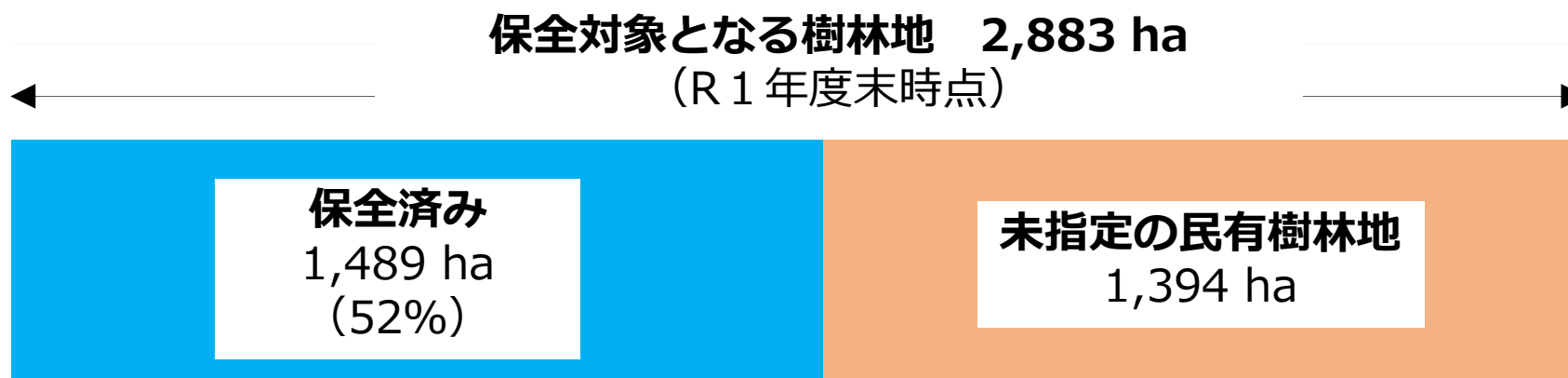


柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 未指定の民有樹林地は1,394ha残っている

保全対象の未指定民有樹林地の総量 (R1年度末時点)

環境創造局作成



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

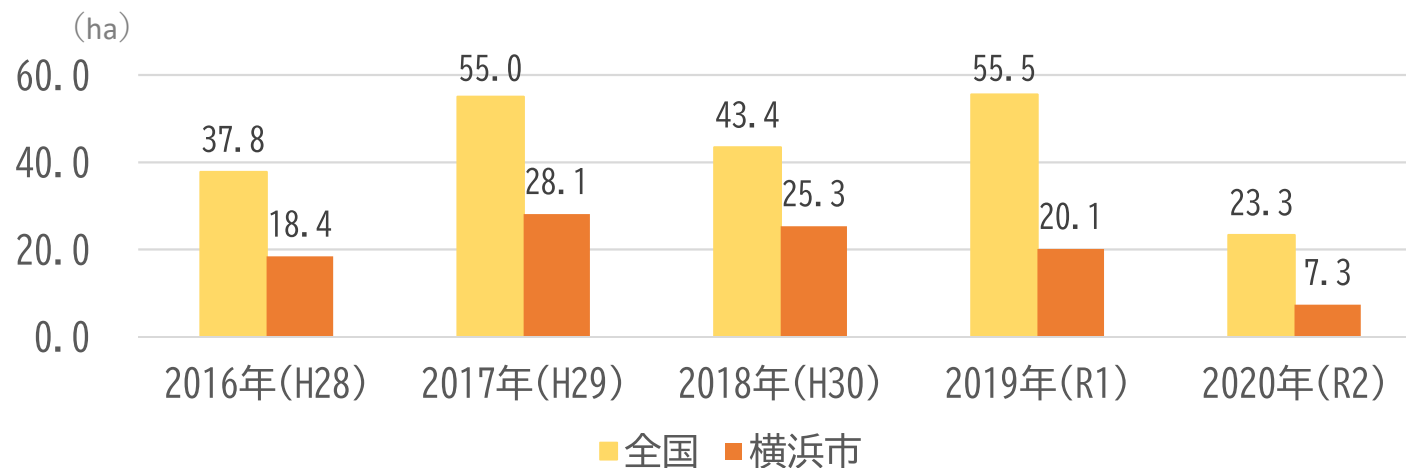
- 特別緑地保全地区は、指定面積、地区数ともに他の政令市を上回っている

特別緑地保全地区の指定状況（全国比） 国土交通省ホームページより

・指定状況（令和2年度末時点）

	全国	横浜市	神戸市	名古屋市	川崎市	福岡市
指定 (ha)	2896.4	514.3	479.9	204.0	134.2	117.5
地区数	636	170	21	73	78	71

・指定面積の推移

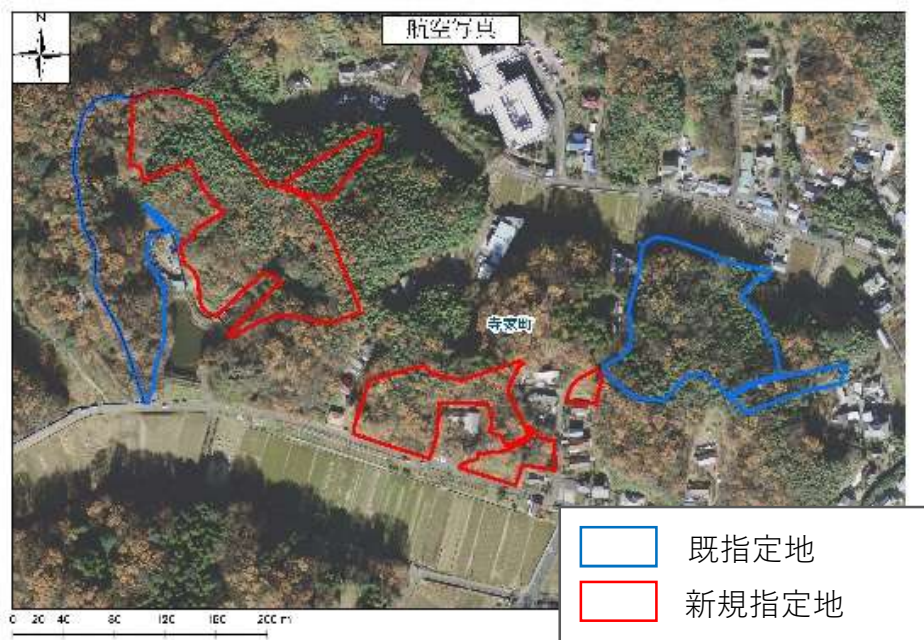


柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 指定対象地を連担させながら、より大きなまとまりを形成
- 指定推進に伴い、未指定の私有樹林地は小規模化傾向、きめ細やかな指定が増えている

特別緑地保全地区の指定事例 環境創造局作成

- ・ 大きなまとまりの形成



【寺家町居谷戸特別緑地保全地区(約4.9ha)】

- ・ 既指定樹林地周辺のきめ細やかな指定



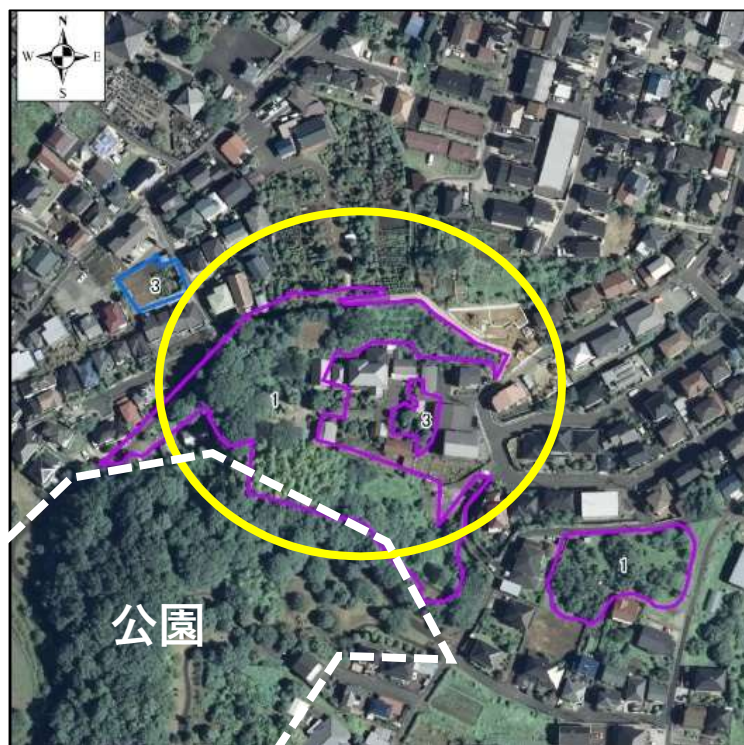
【大倉山特別緑地保全地区(約5.6ha)】

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

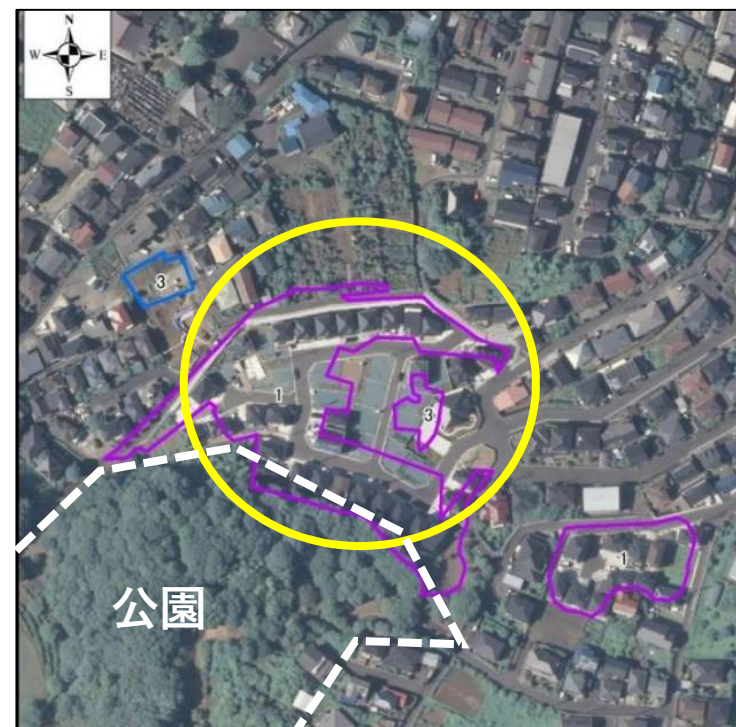
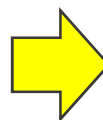
- 継続して宅地開発や土地利用の転換が起きている

樹林地が他の用途に転換された事例 ① 環境創造局作成

市街化区域



2014 (H26)



2019 (R1)

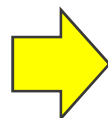
柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地が他の用途に転換された事例 ② 環境創造局作成

市街化調整区域



2014 (H26)

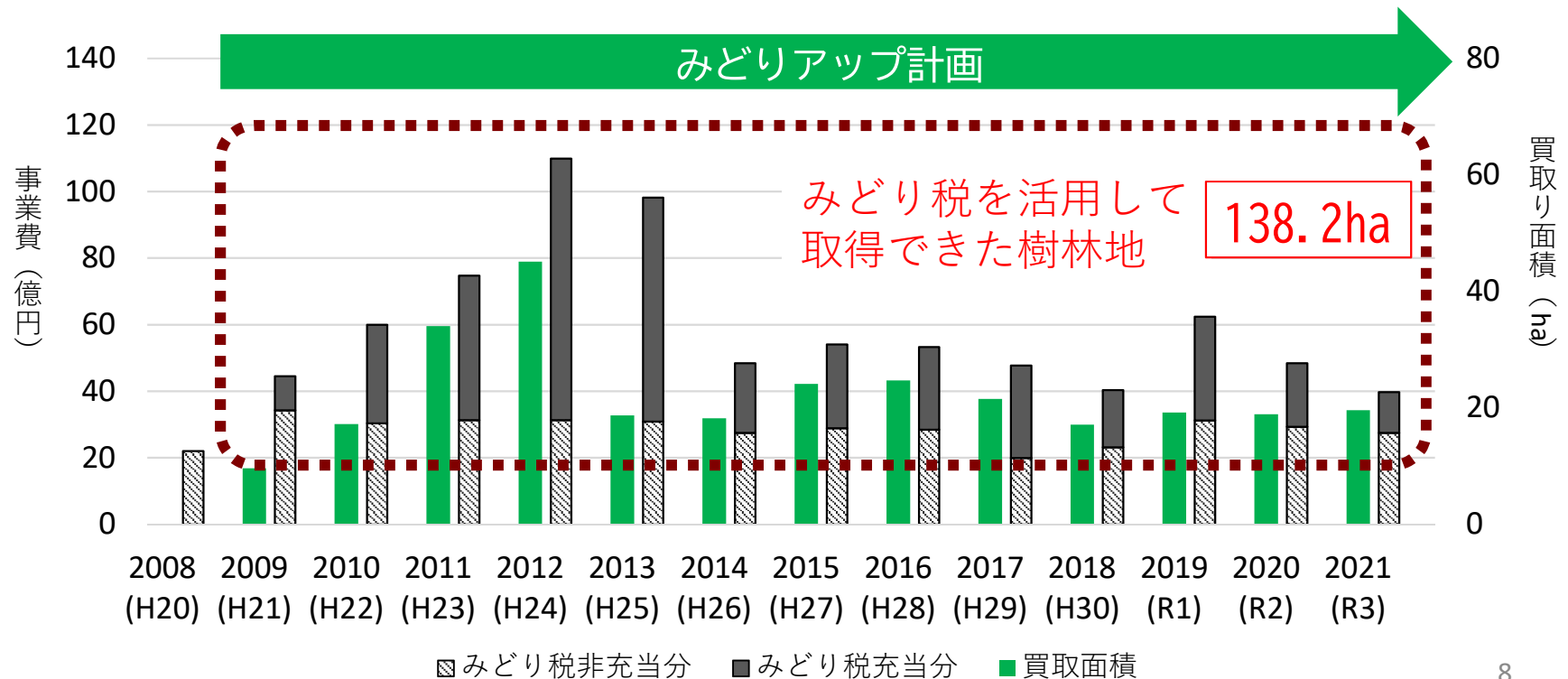


2019 (R1)

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- みどり税による安定的かつ機動的な財源を確保したことで、樹林地の買入れ申出に着実に対応（138.2ha／287.9ha）
- 不測の事態等での買取りの安心感から、緑地保全制度の指定も進んだ
- 指定推進により買取り対象となる既指定樹林地は令和2年度末で444.1ha

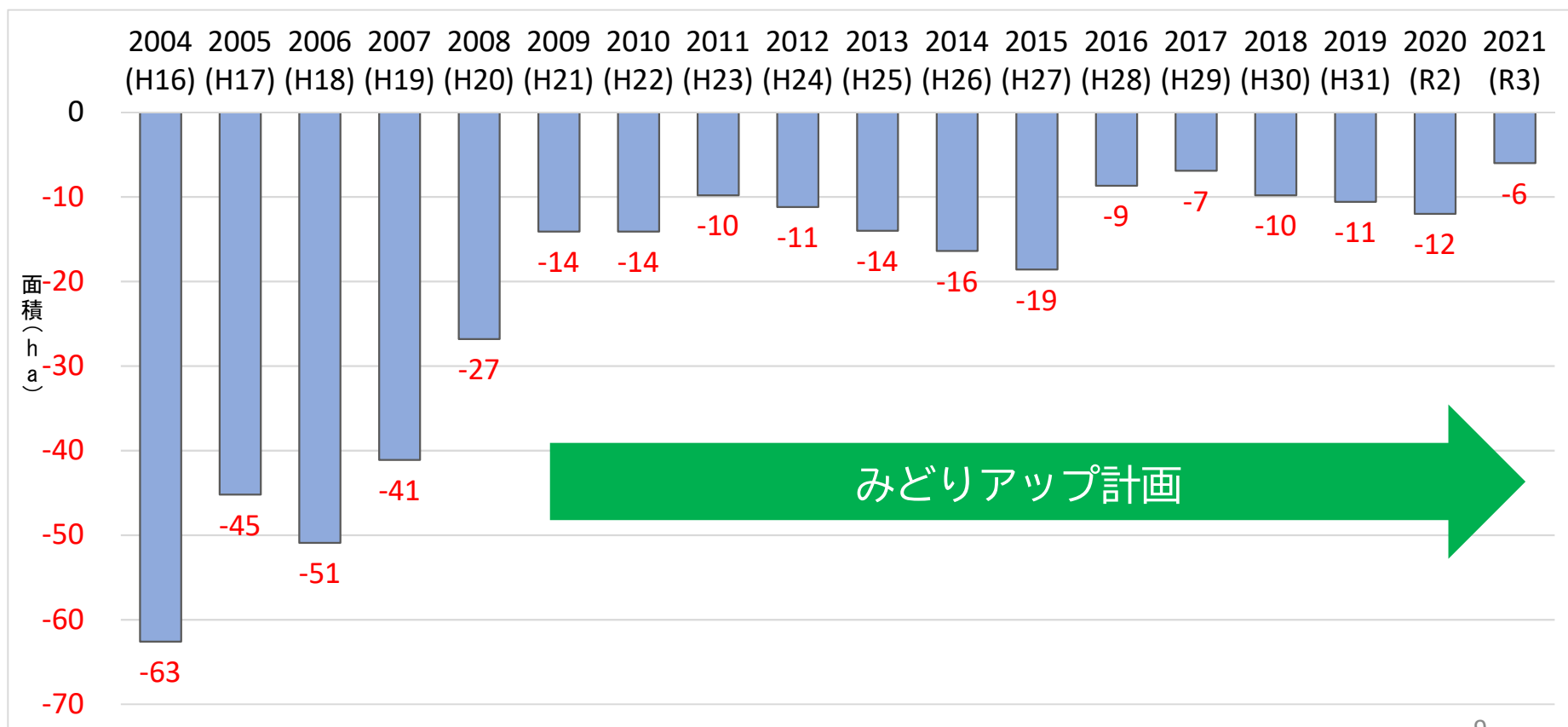
樹林地買取り事業費の推移 環境創造局作成



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 平成21年度の計画開始以降、樹林地の減少が鈍化

課税地目山林面積の減少量の推移 固定資産税概要調書より環境創造局作成



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 横浜の樹林地は、大半がかつて里山として人為的に維持されてきた時代とともに、住宅が近接し、管理放棄されてきた経過がある
- 利用者や樹林地周辺の安全にも配慮し、緑の持つ多様な機能を発揮させるような良好な育成を進めてきた

樹林地の維持管理

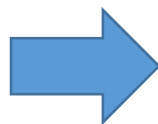
環境創造局作成



住宅地に隣接



管理放棄



周辺と調和した良好な育成

- ・ 住宅地と接する外周部の管理
- ・ 崖地の安全対策
- ・ 地域特性に合わせ機能発揮させるための計画的な管理（保全管理計画の策定）



実施直後



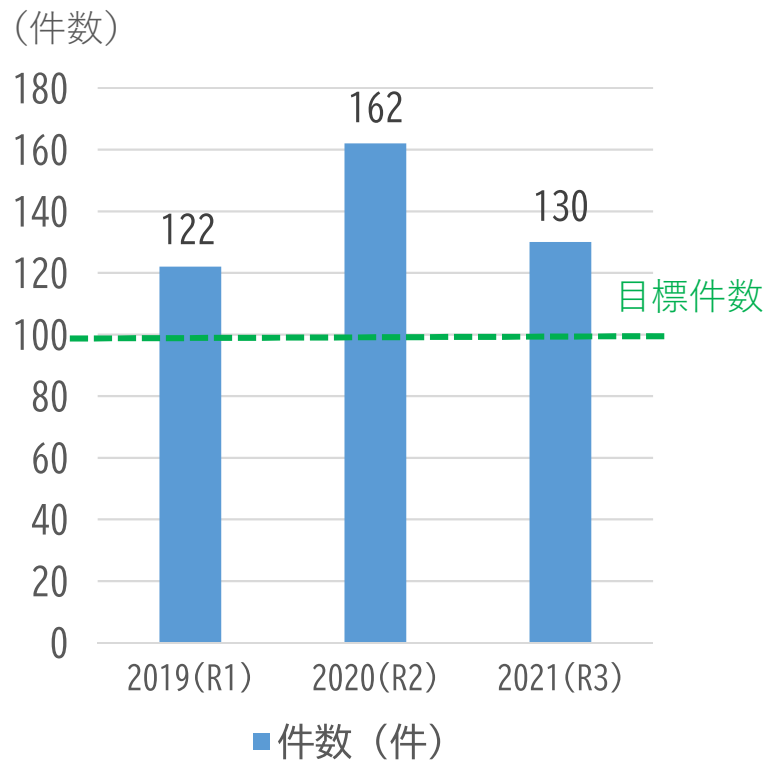
2か月後

【維持管理事例】

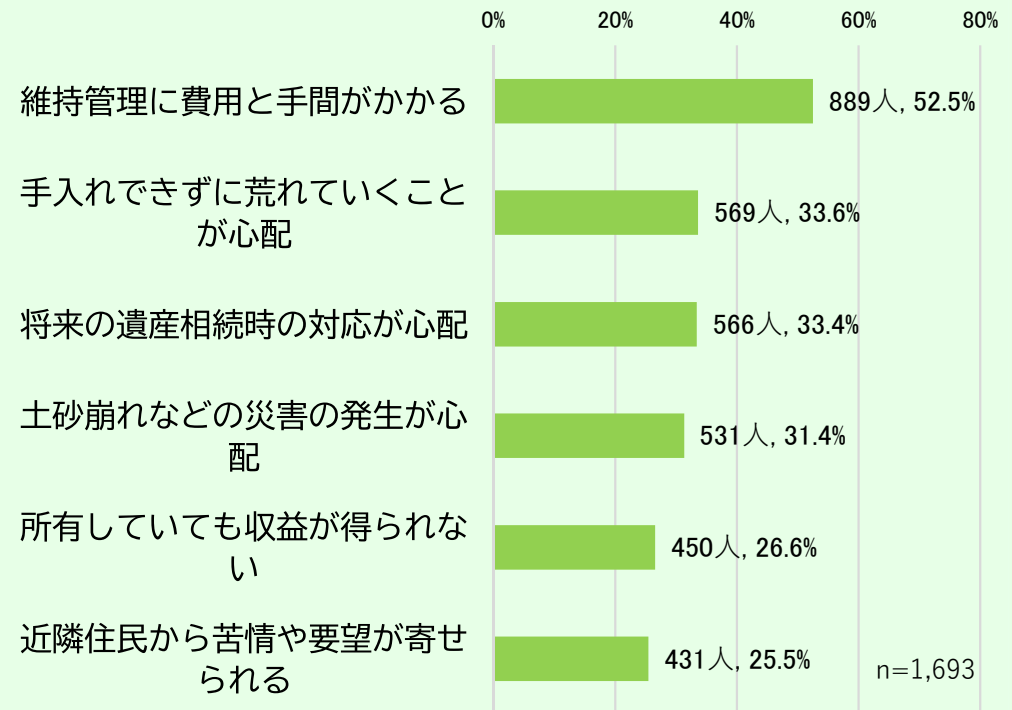
柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 維持管理助成は申請件数が目標（100件/年）を上回っているなど、維持管理に対する支援のニーズが高く、指定推進とともに対象地も増加

民有樹林地の維持管理助成 環境創造局作成



問 樹林地を所有するうえで困っていると感じていること【複数回答可】

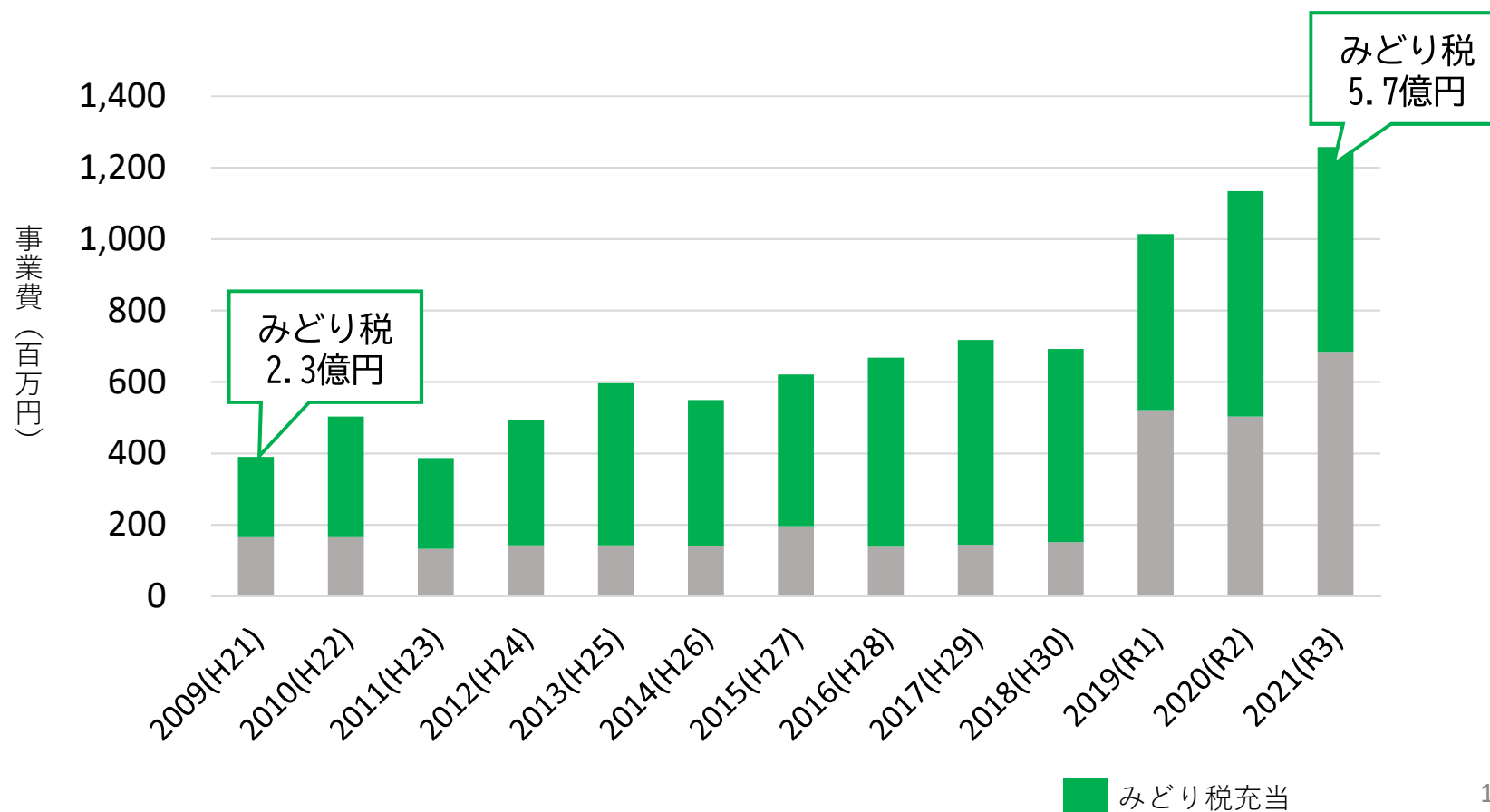


柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 維持管理に関する事業費は増加傾向

樹林地の維持管理に関する事業費の推計（実績）

環境創造局作成

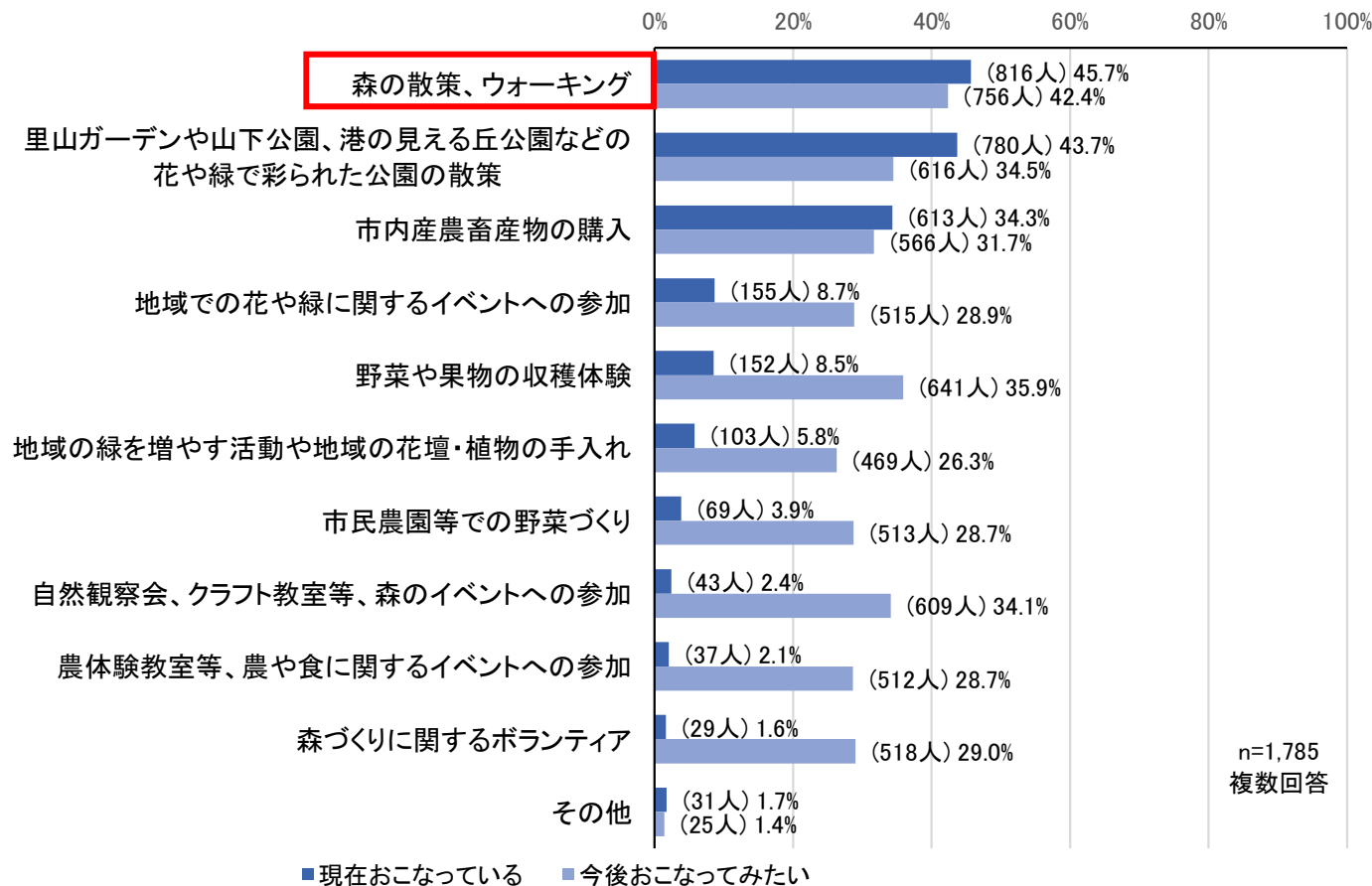


柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

○ 森での散策、ウォーキングなど、保全した樹林地との関わりが求められている

市民ニーズ 横浜の緑に関する市民意識調査より（令和4年度実施）

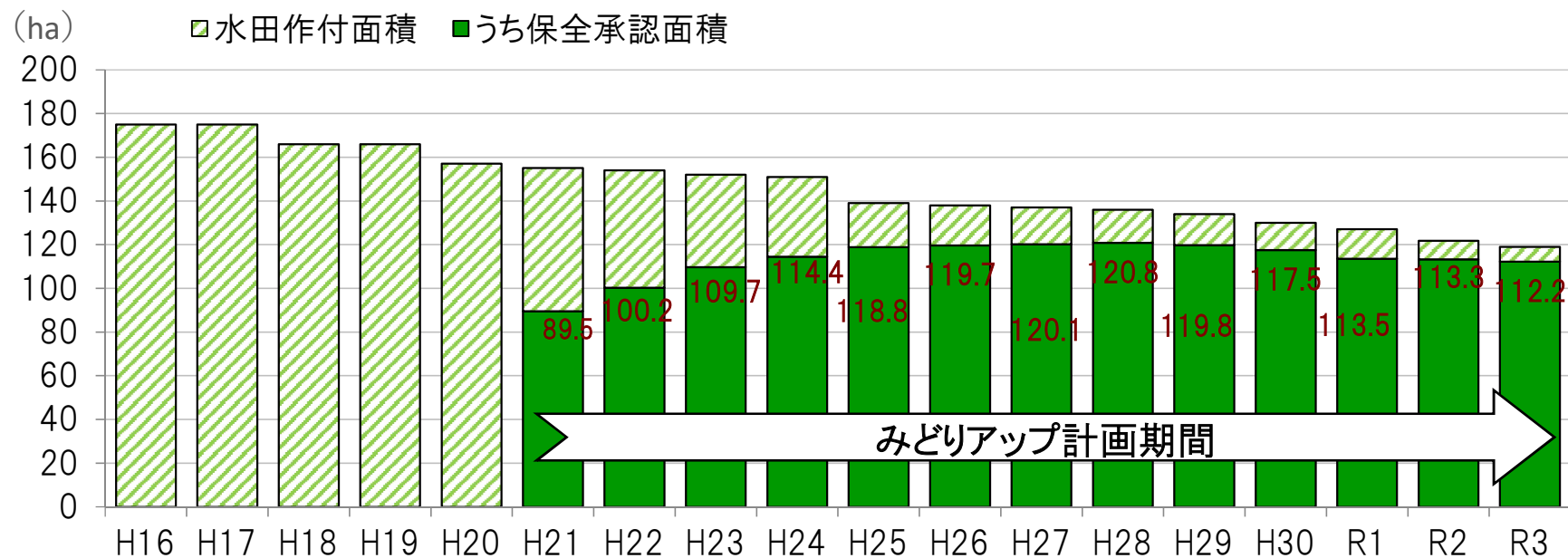
問 森や農、街なかの緑や花について、現在おこなっていること、今後おこなってみたいことは
どんなことですか。【複数回答可】



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

- 市内の水田の作付け面積の約9割にあたる112.2haを保全することができている

水稲作付面積と保全承認面積の推移 環境創造局作成

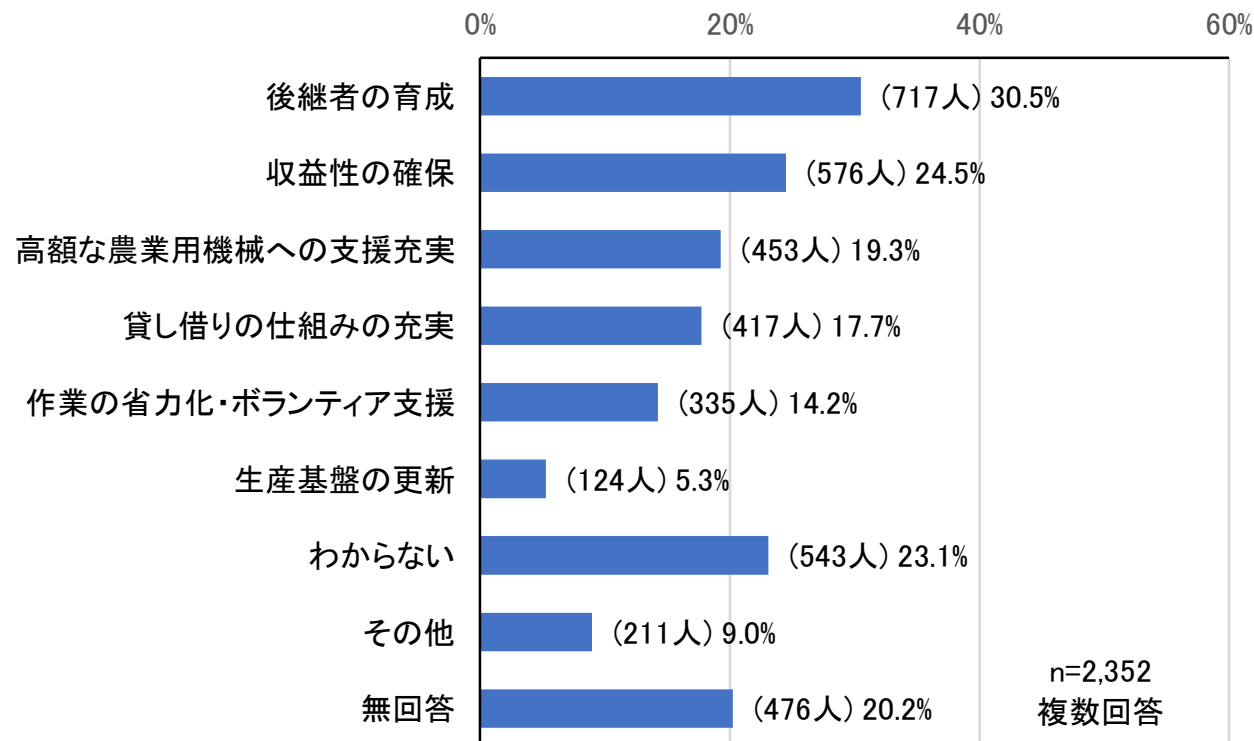


柱2 市民が身近に感じる場をつくる

- 水田を維持するうえで、後継者の育成や機器導入への支援の充実が求められている

水田を維持するうえでの課題 緑に関する土地所有者意識調査（令和4年度実施）

問 水田を維持していくうえで、課題に感じることは何ですか。【複数回答可】



柱2 市民が身近に感じる場をつくる

- 計画開始以降、収穫体験農園や農園付公園の開設が進み、全体として約63haの農園が開設されている（赤字：みどり税充当事業）

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 環境創造局作成

みどりアップ計画に位置付けられた農園の開設状況（R3年度末時点）

農園の種類	特徴	箇所数	面積
収穫体験農園	収穫体験	61	17.0ha
農園付公園	区画を自由に耕作	11	5.7ha
栽培収穫体験ファーム	農家指導のもと、市民が共同で耕作	48	7.36ha
環境学習農園	農家指導のもの、児童等が共同で耕作	19	1.19ha
認定市民菜園	区画を自由に耕作	266	32.17ha
	合計	407	63.66ha

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

○ 計画開始以降、62地区で魅力ある緑のまちづくりが進んでいる

地域緑のまちづくり実施箇所 環境創造局作成

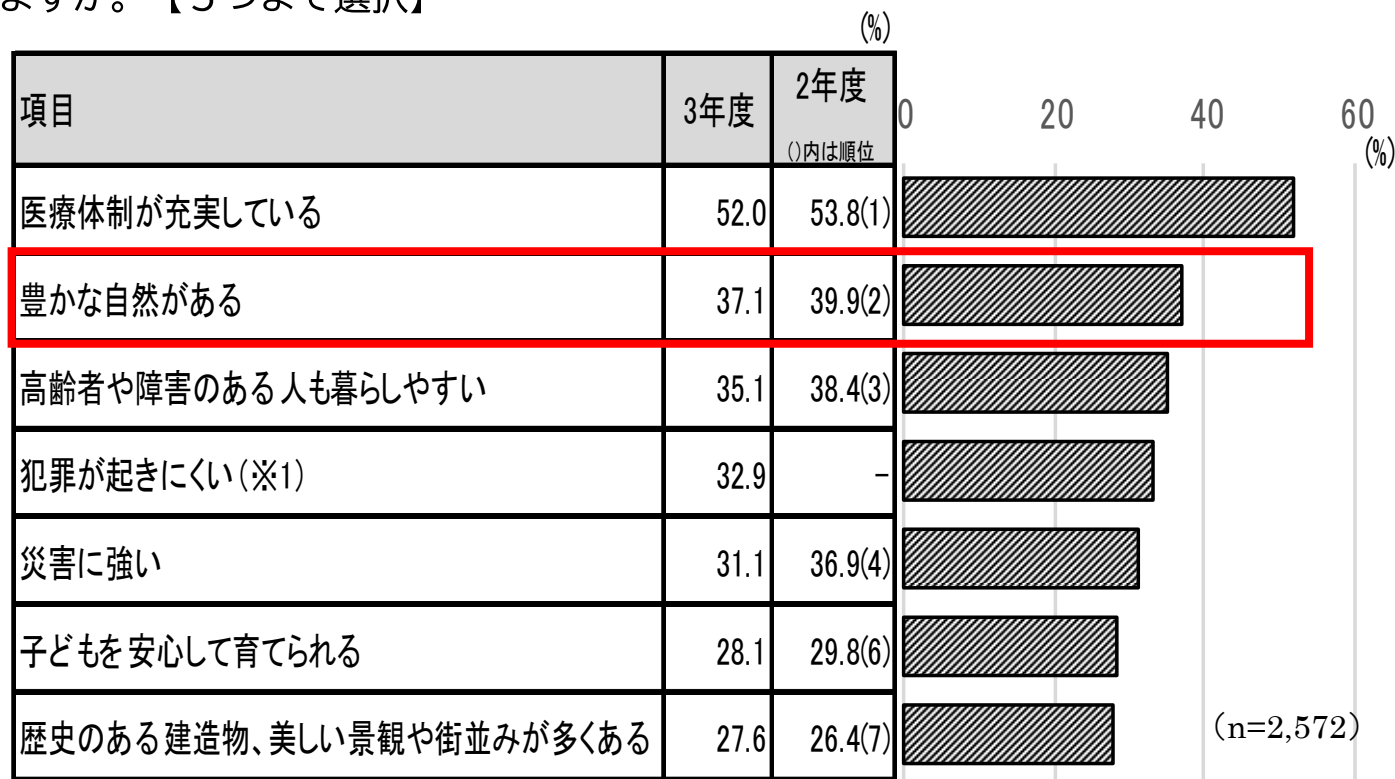


市民のニーズ

- 今後の横浜のまちについて、「医療体制が充実している」に次いで、「豊かな自然がある」となっており、身近な自然への意識が高まっている

令和3年度 横浜市民意識調査（政策局）

問 今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。【5つまで選択】



(参考) R4年度調査（速報値）では「豊かな自然がある」は34.9%